

入間市

こども・子育て支援に関するニーズ調査

(令和6年3月実施)

こどもの意識・生活に関する調査

(令和6年2月実施)

報告書

令和6年6月

入間市

目 次

第1部 こども・子育て支援に関するニーズ調査	1
第1章 調査の概要	3
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	5
第2章 未就学児調査結果	7
1. 回答者および対象児童の属性	7
2. こどもの育ちをめぐる環境について	10
3. 保護者の就労状況について	12
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	22
5. 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	31
6. 子育て支援センター・子育て支援事業等の利用状況について	36
7. 病気の際の対応について	41
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について	46
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方、居場所について	51
10. 育児休業の取得について	56
11. 「ヤングケアラー」の認知度について	61
12. 子育ての環境や支援について	62
第3章 就学児調査結果	64
1. 回答者および対象児童の属性	64
2. こどもの育ちをめぐる環境について	66
3. 保護者の就労状況について	68
4. こどもの放課後の過ごし方、居場所について	77
5. 子育て支援事業の認知・利用度	88
6. 「ヤングケアラー」の認知度について	91
7. 子育ての環境や支援について	92
第4章 妊婦調査結果	94
1. 回答者の属性	94
2. 子育て環境や支援について	95
3. 就労状況について	96
4. 教育・保育事業・子育て支援事業等の利用について	97
第2部 こどもの意識・生活に関する調査	107
第1章 調査の概要	109

1. 調査実施の目的	109
2. 調査方法と回収結果	109
3. 主な調査項目	109
4. 貧困線と等価世帯収入の算出について	110
5. 調査結果を見る上での注意事項	111
6. 回答者の属性	112
第2章 小学校5年生／中学校2年生調査結果	115
1. 学習の状況	115
2. 進学希望	121
3. 人との関わり	123
4. 部活動等への参加状況	130
5. 日常的な生活の状況	132
6. 居場所	138
7. 「ヤングケアラー」の認知度	147
8. こどもの心理的な状態	149
9. 現在の生活の満足度	159
第3章 小学校5年生／中学校2年生の保護者調査結果	160
1. 保護者と世帯の概要	160
2. 保護者の就労状況	167
3. こどもとの関わり方	171
4. 学校との関わり方	174
5. 進学期待・展望	176
6. 経済的な状況、暮らしの状況	178
7. 「ヤングケアラー」の認知度・居場所	187
8. 保護者の心理的な状態	190
9. 頼れる人の有無・相手	193
10. 現在の生活の満足度	195
第3部 調査票	197
1. 未就学児調査	199
2. 就学児調査	206
3. 妊婦調査	210

第1部 こども・子育て支援に関する ニーズ調査

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は今後の市の計画策定に向けて、市の教育・保育サービスや子育て支援事業に関する市民ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の課題を整理することを目的として実施した。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 未就学児調査	就学前児童（0歳から5歳）の保護者
2. 就学児調査	就学児童の保護者
3. 妊婦調査	妊娠届を提出した妊婦

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送、面談によるアンケート調査（紙及びWebで対応）

調査期間：令和6年3月5日（火）～3月29日（金）

<回収結果>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 未就学児調査	2,000件	1,107件	55.4%
2. 就学児調査	1,000件	554件	55.4%

調査名	回収数
3. 妊婦調査	101件

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 未就学児調査	・回答者および対象児童の属性 ・こどもの育ちをめぐる環境について ・保護者の就労状況について ・平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 ・土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 ・子育て支援センター・子育て支援事業等の利用状況について ・病気の際の対応について ・不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について ・小学校就学後の放課後の過ごし方、居場所について ・育児休業の取得について ・「ヤングケアラー」の認知度について ・子育ての環境や支援について
2. 就学児調査	・回答者および対象児童の属性 ・こどもの育ちをめぐる環境について ・保護者の就労状況について ・こどもの放課後の過ごし方、居場所について ・子育て支援事業の認知・利用度 ・「ヤングケアラー」の認知度について ・子育ての環境や支援について
3. 妊婦調査	・回答者の属性 ・子育て環境や支援について ・就労状況について ・教育・保育事業・子育て支援事業等の利用について

5. 調査結果を見る上での注意事項

(1) 年齢の定義

※年齢算出基準日：令和5（2023）年4月1日時点

就学前児童の年齢区分	該当する生年月
0歳	令和4（2022）年4月以降生まれ
1歳	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年4月
2歳	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年4月
3歳	平成31（2019）年4月～令和2（2020）年4月
4歳	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年4月
5歳	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年4月

就学児の年齢区分（学年）	該当する生年月
6歳（1年生）	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年4月
7歳（2年生）	平成28（2016）年4月～平成29（2017）年4月
8歳（3年生）	平成27（2015）年4月～平成28（2016）年4月
9歳（4年生）	平成26（2014）年4月～平成27（2015）年4月
10歳（5年生）	平成25（2013）年4月～平成26（2014）年4月
11歳（6年生）	平成24（2012）年4月～平成25（2013）年4月

(2) 地域一覧表

報告書内でふれている市内6地区は以下の通りです。

1 豊岡地区	豊岡、扇町屋、善蔵新田、東町、扇台、久保稻荷、黒須、河原町、春日町、宮前町、鍵山、高倉、向陽台
2 東金子地区	小谷田、上小谷田、新久、森坂、牛沢町、狭山ヶ原、狭山台（四丁目）
3 金子地区	根岸、中神、花ノ木、下谷ヶ貫、上谷ヶ貫、西三ツ木、寺竹、三ツ木台、南峯、木蓮寺、金子中央、狭山台（三丁目）
4 宮寺・二本木地区	宮寺、二本木、駒形富士山、高根、狭山台（上記以外）
5 藤沢地区	上藤沢、下藤沢、東藤沢
6 西武地区	仏子、野田、新光

(3) 子育て支援センター一覧

報告書内でふれている子育て支援センター一覧は以下の通りです。

子育て支援センターあおぞら	子育て支援センター あおいとり
ChaCha Iruma 子育て支援センター	こどものくに保育園 子育て支援センター
あけぼの保育園 子育て支援センター あけぼの	子育て家庭支援センター あいくる
子育て支援センター あん	子育て支援センター むぎ
おやこの遊びひろば（児童センター内）	
〔出張ひろば〕 藤沢地区センター／金子地区センター／武道館／東藤沢地区センター／第6区公会堂／ 白髭神社内二区公会堂／藤沢地区センター藤の台分館	

- (4) 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- (5) 百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- (6) 複数回答（2つ以上回答を選択できる設問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- (7) 回答が無かった場合、グラフ内に表記はしていない。
- (8) 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- (9) 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

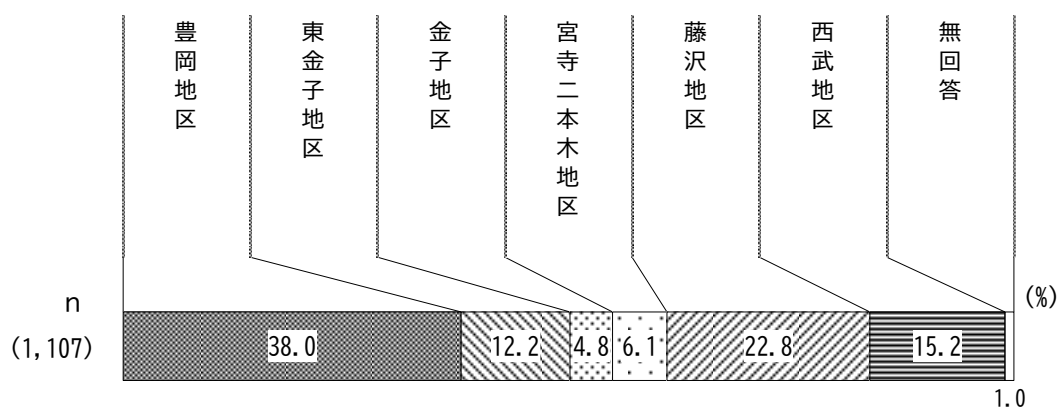
第2章 未就学児調査結果

1. 回答者および対象児童の属性

(1) 居住地域

問1 お住まいの地域の郵便番号の下2桁をご記入ください。

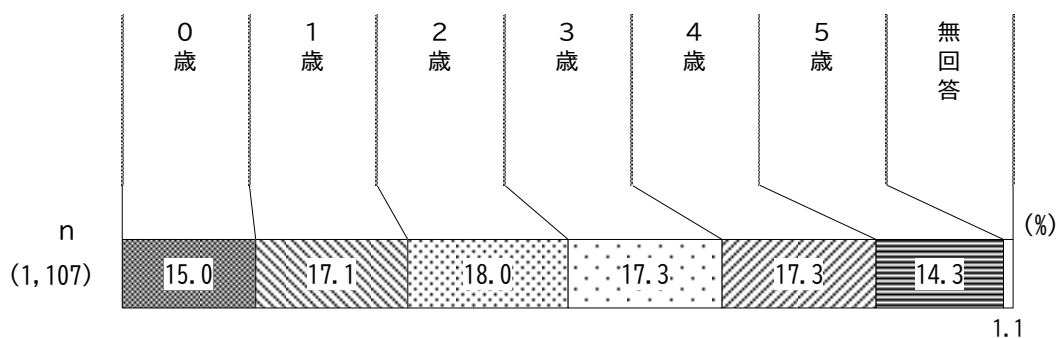
郵便番号の下2桁より判別した居住地区は、「豊岡地区」が38.0%と最も高く、次いで「藤沢地区」22.8%、「西武地区」15.2%などとなっている。



(2) 対象児童の年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

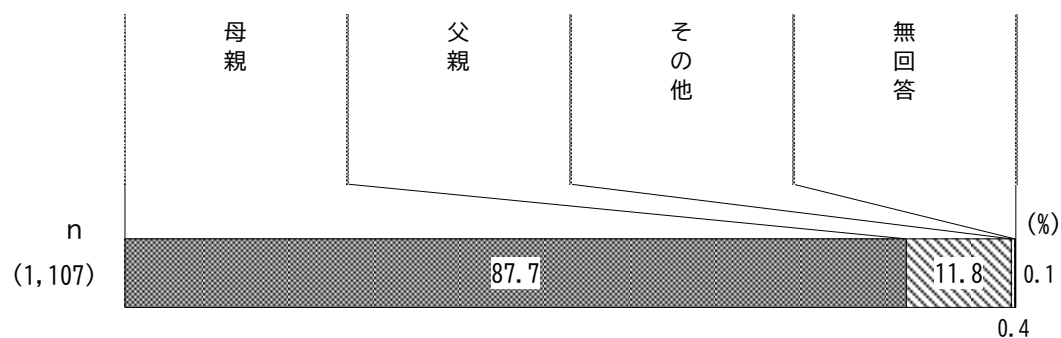
生年月より判別した令和5年4月1日時点のこどもの年齢は、「2歳」が18.0%と最も高く、次いで「3歳」と「4歳」17.3%、「1歳」17.1%などとなっている。



(3) 調査票の回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

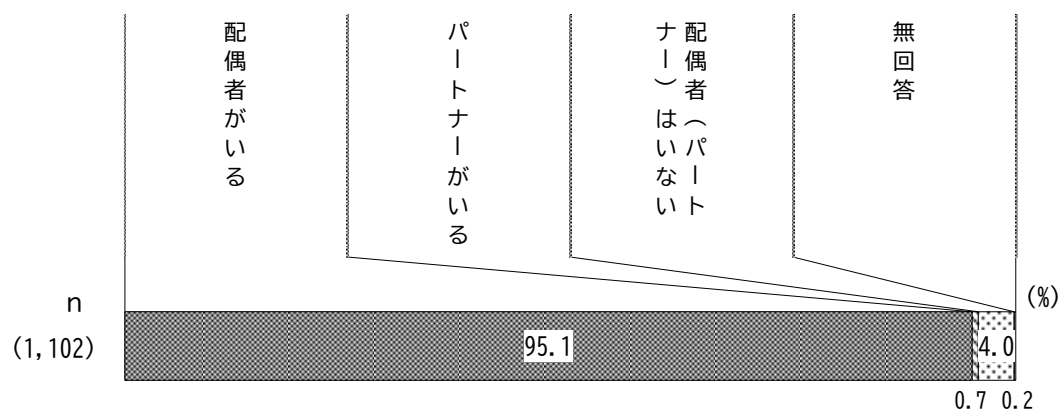
調査票の回答者は、「母親」87.7%、「父親」11.8%となっている。



(4) 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問3で「その他」と回答した方は回答不要)

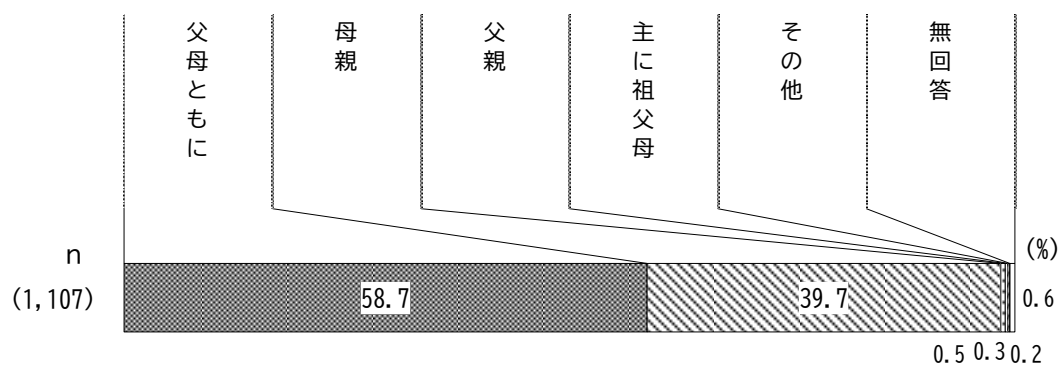
回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」95.1%、「配偶者（パートナー）はいない」4.0%となっている。



(5) 子育てを主に行っている人

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を、家族の中で主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が58.7%、次いで「母親」39.7%などとなっている。

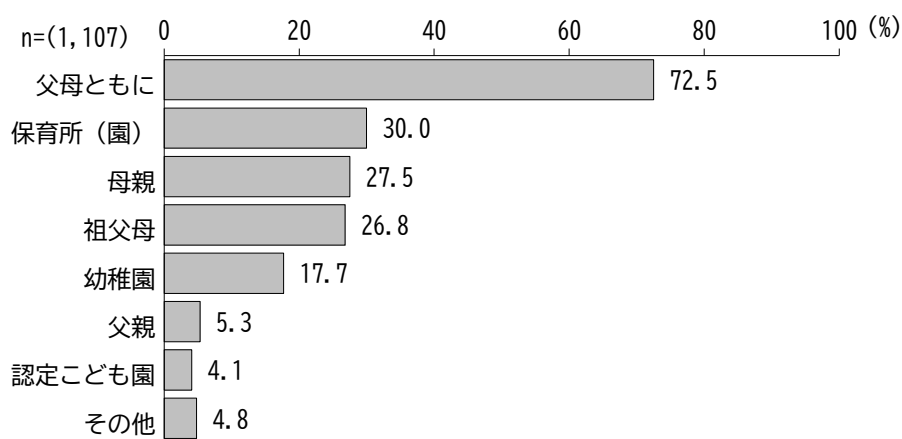


2. こどもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的にかかわっている人（施設）

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

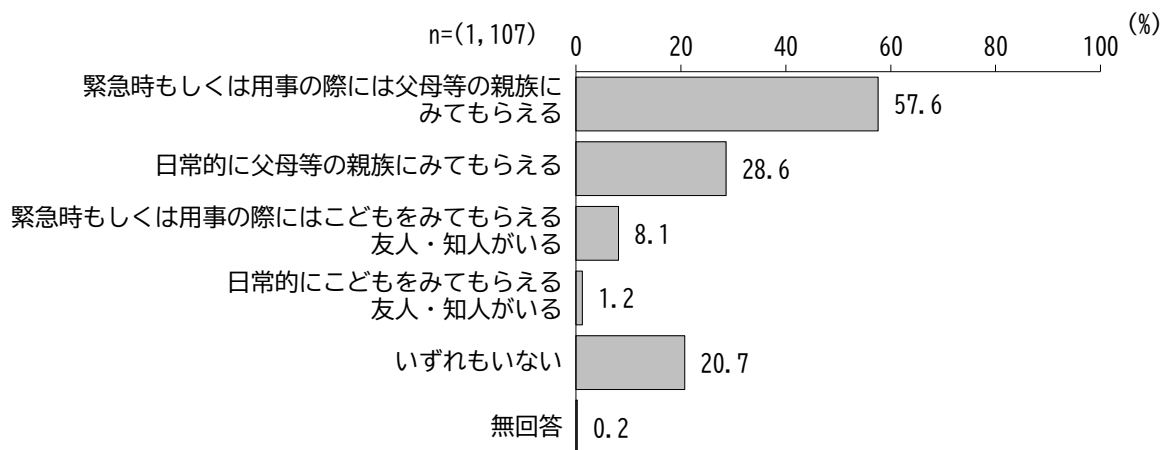
子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が72.5%と最も高く、次いで「保育所（園）」30.0%、「母親」27.5%などとなっている。



(2) 日頃、こどもをみてもらえる親戚や友人・知人の状況

問7 日頃、宛名のお子さんの看病や世話などをみてもらえる親戚・知人はいますか。ご記入いただいている方からみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

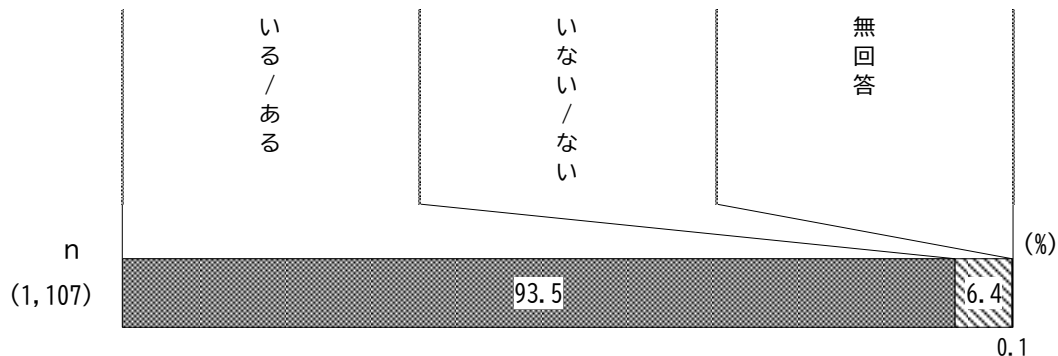
日頃、こどもをみてもらえる親戚・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には父母等の親族にみてもらえる」が57.6%と最も高く、次いで「日常的に父母等の親族にみてもらえる」28.6%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」8.1%などとなっている。



(3) 子育てを気軽に相談できる人の有無

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。もしくは、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる/ある」93.5%、「いない/ない」6.4%となっている。

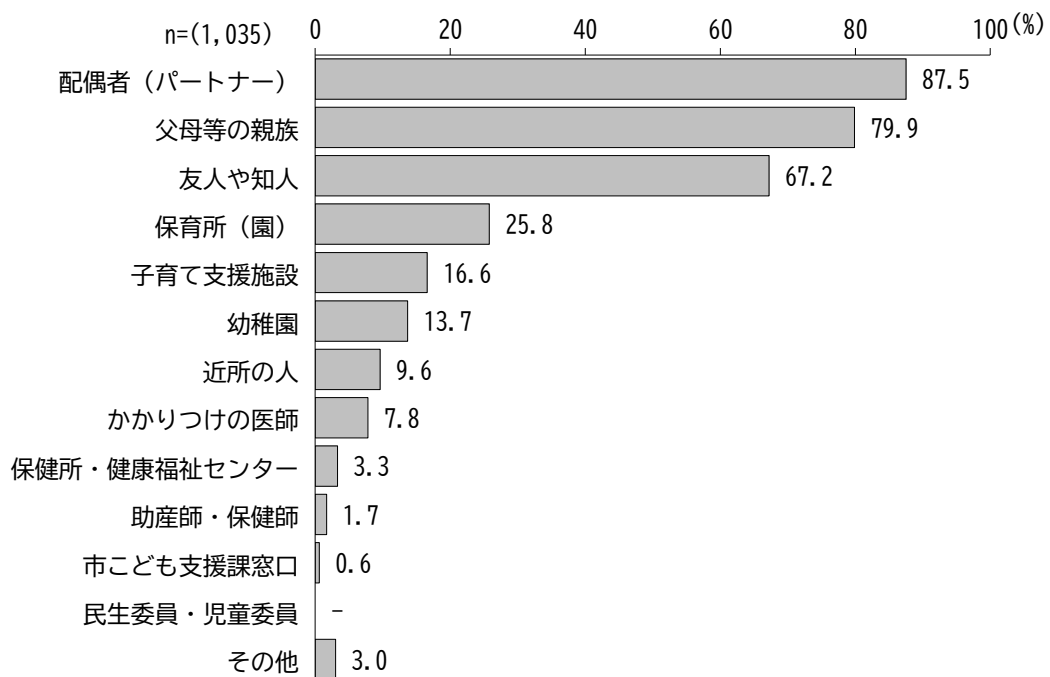


(4) 子育てを気軽に相談できる人・施設

【問8で「いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。】

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。ご記入いただいている方からみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てについて気軽に相談できる人・施設は、「配偶者（パートナー）」が87.5%と最も高く、次いで「父母等の親族」79.9%、「友人や知人」67.2%などとなっている。



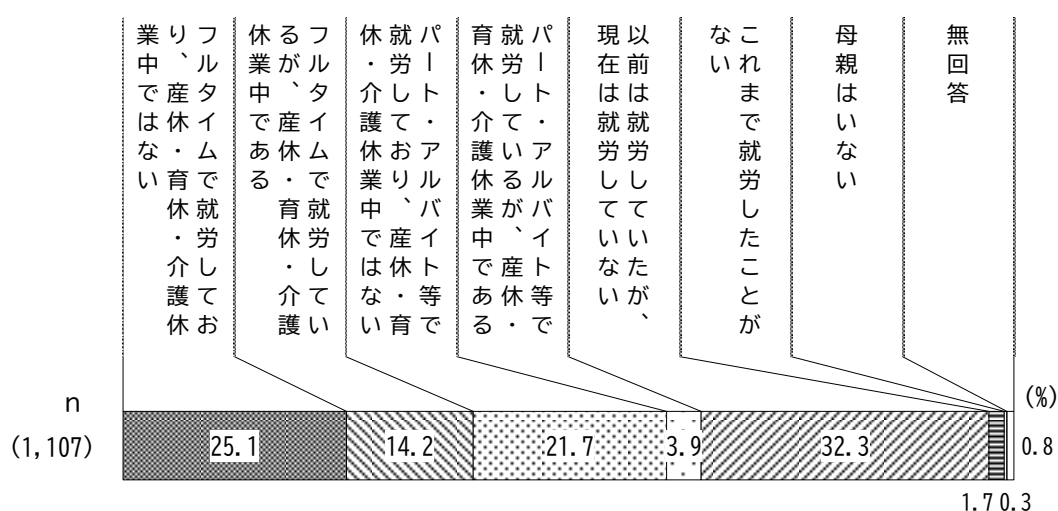
3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の現在の就労状況

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

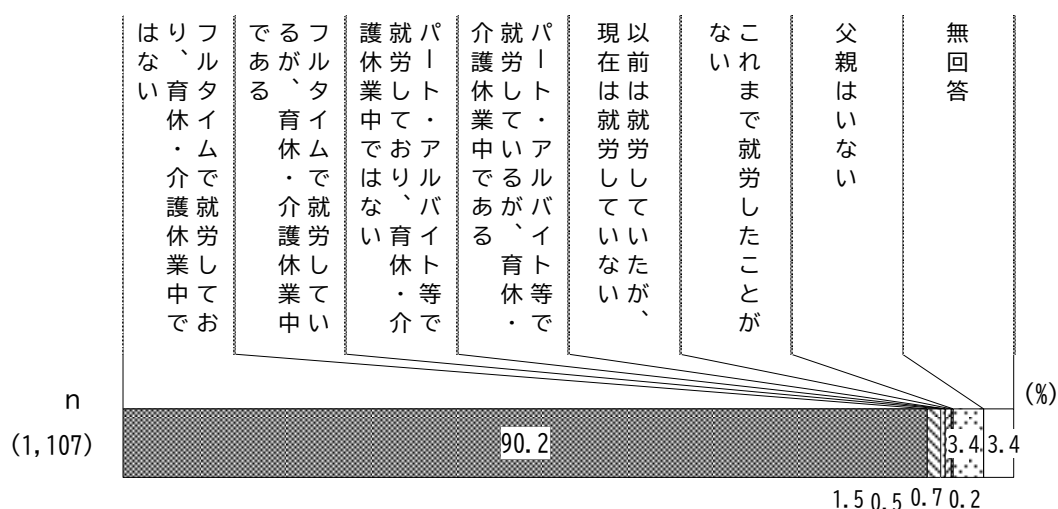
母親

母親の現在の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が32.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.1%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」21.7%などとなっている。



父親

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」1.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」0.7%などとなっている。



(2) 一週間の就労状況

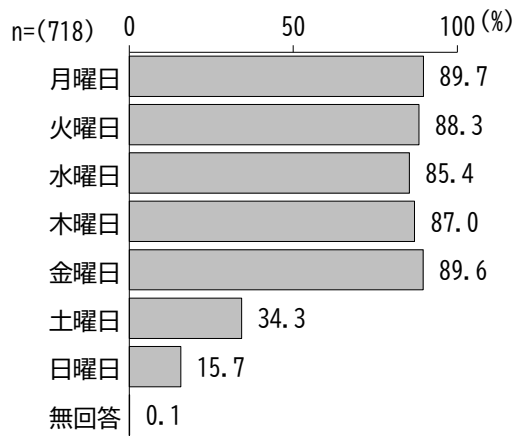
【問9でフルタイム、パート・アルバイトで就労（休業中含む）に○をつけた方にうかがいます。】

問9-1 一週間の就労状況及び祝日の勤務状況についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、就労する曜日が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

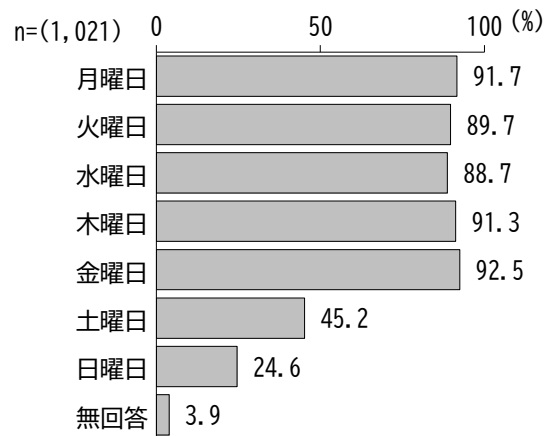
◆勤務曜日

母親の一週間の就労状況は、「月曜日」から「金曜日」の平日が9割弱、父親の一週間の就労状況は、「月曜日」から「金曜日」の平日が約9割となっている。

母親

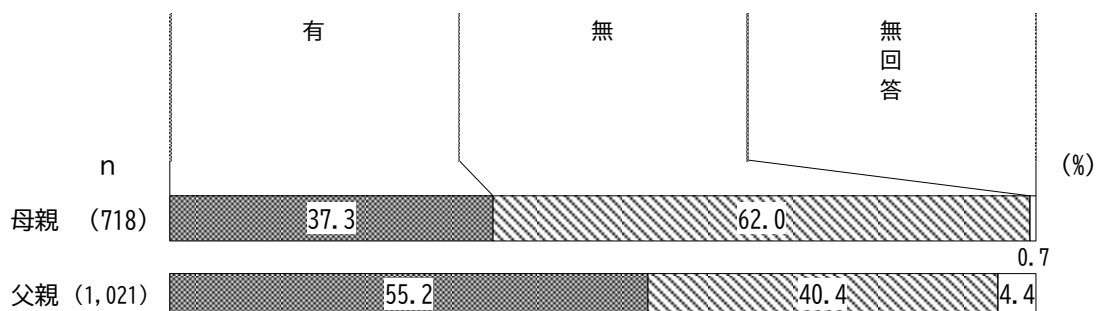


父親



◆祝日の勤務

祝日の勤務「有」は、母親37.3%、父親55.2%となっている。



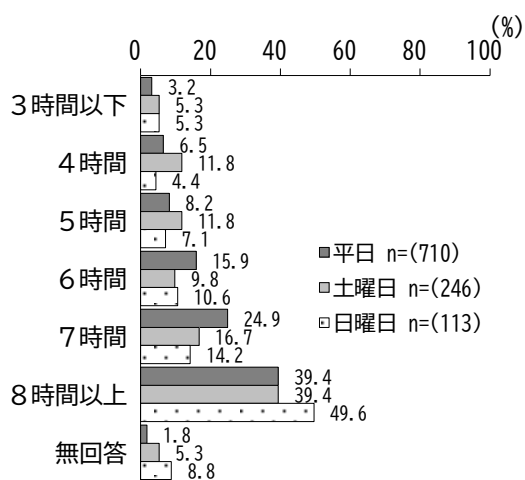
(3) 1日あたりの就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻

【問9でフルタイム、パート・アルバイトで就労（休業中含む）に○をつけた方にうかがいます。】

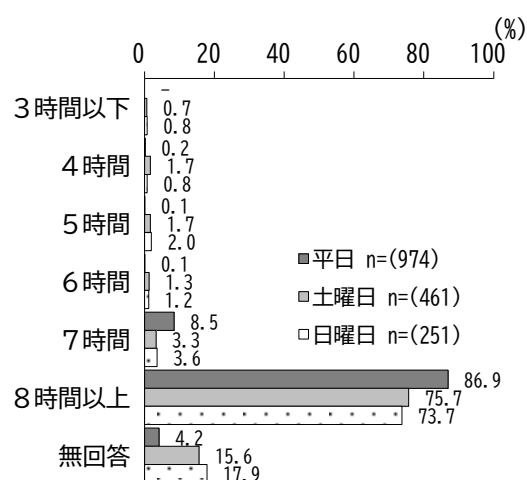
問9-2 1日あたりの「就労時間（残業時間含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」を□内に具体的な数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

◆ 1日の就労時間

母親

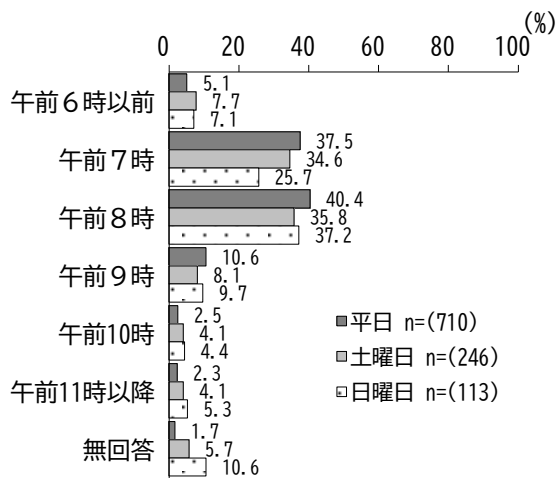


父親

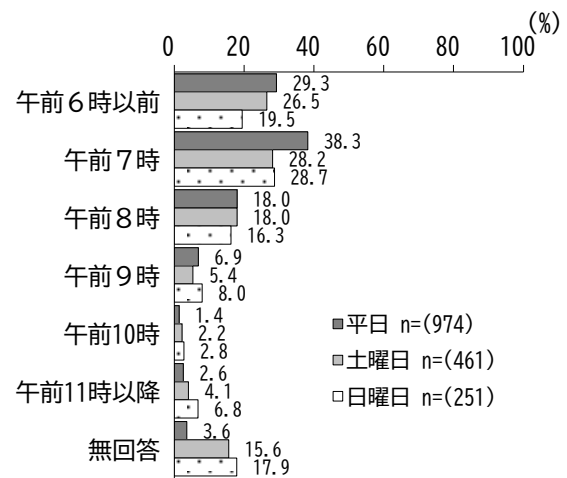


◆家を出る時刻（自宅勤務の場合は始業時刻）

母親

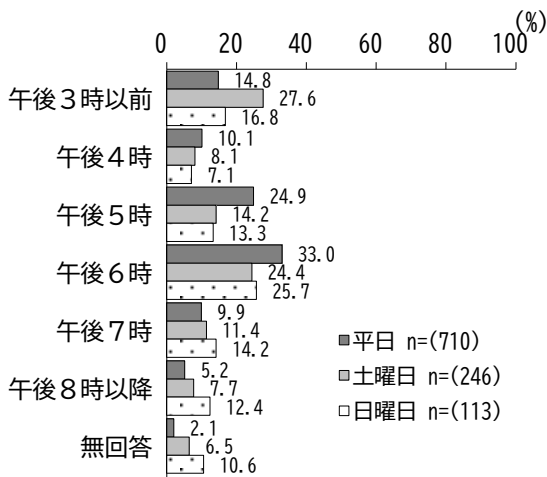


父親

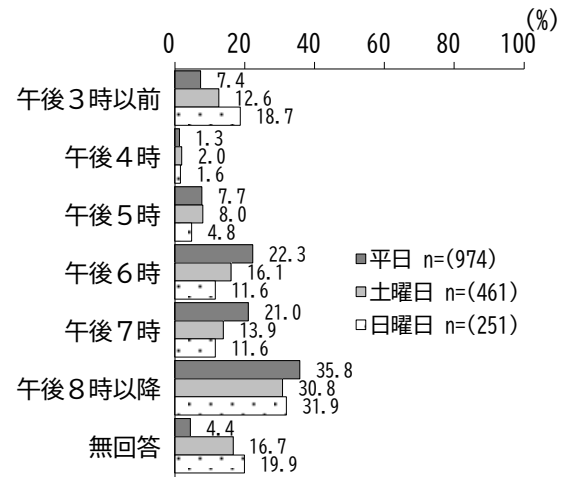


◆帰宅時刻（自宅勤務の場合は終業時刻）

母親



父親

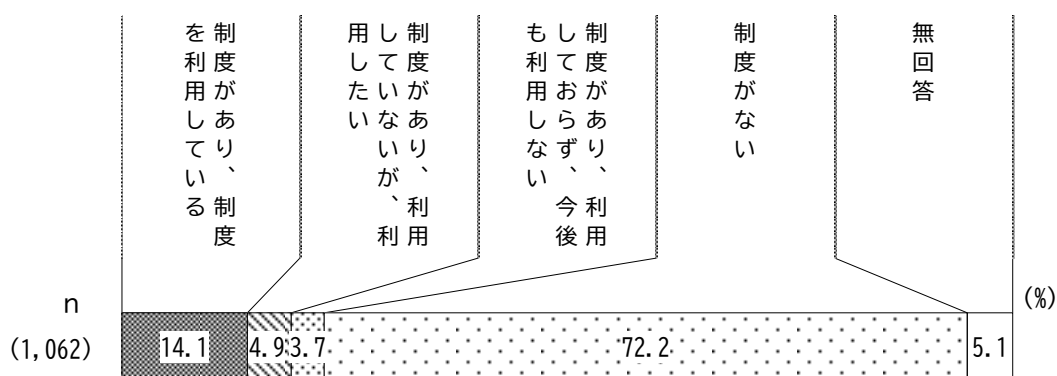


(4) テレワークの状況

【問9でフルタイム、パート・アルバイトで就労（休業中含む）に○をつけた方にうかがいます。】

問10 宛名のお子さんの保護者の現在のテレワーク状況をうかがいます。テレワーク（在宅）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

テレワークの状況は、「制度がない」が72.2%と最も高く、次いで「制度があり、制度を利用している」14.1%、「制度があり、利用していないが、利用したい」4.9%などとなっている。

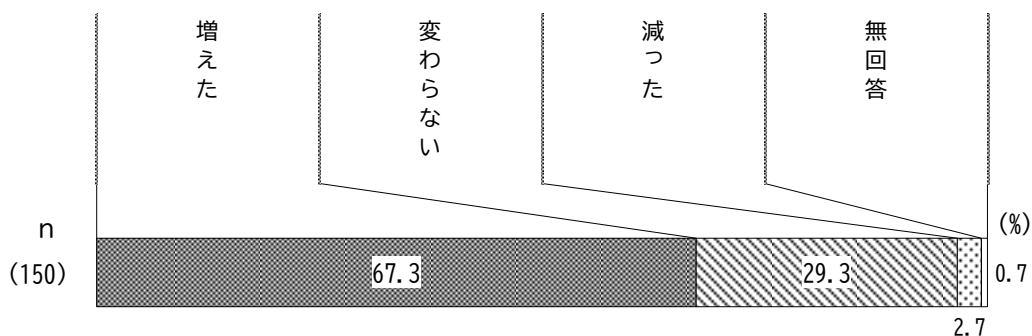


(5) テレワーク期間中のこどもとの過ごし方の変化

【問10で「制度があり、制度を利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問10-1 テレワーク（在宅）期間中、こどもと過ごす時間は変わりましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

テレワーク（在宅）期間中こどもと過ごす時間の変化は、「増えた」が67.3%と最も高く、次いで「変わらない」29.3%、「減った」2.7%などとなっている。

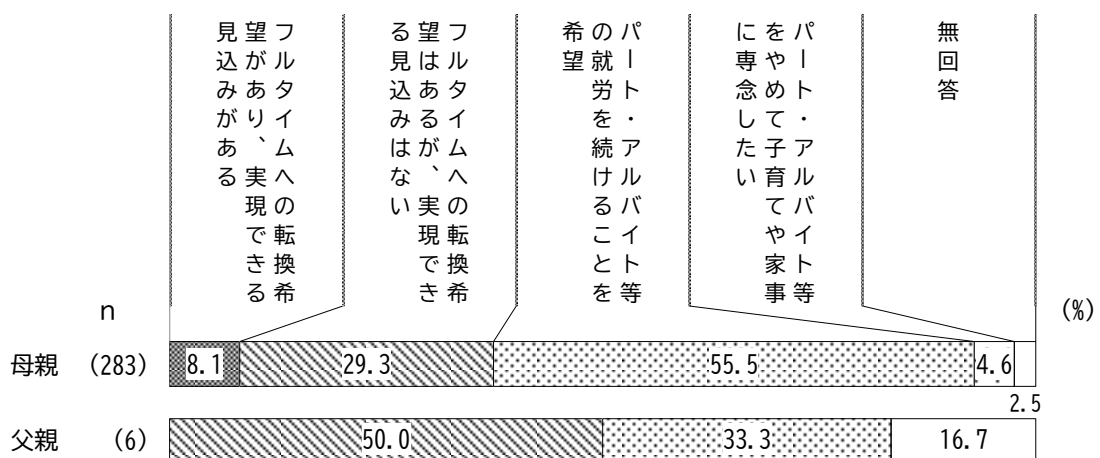


(6) 就労状況に対する転換希望

【問9の(1)または(2)でパート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労(休業中含む)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。】

問11 就労状況に対する転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が55.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」29.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」8.1%などとなっている。



(7) パート・アルバイト等で就労している保護者のフルタイムへの転換希望

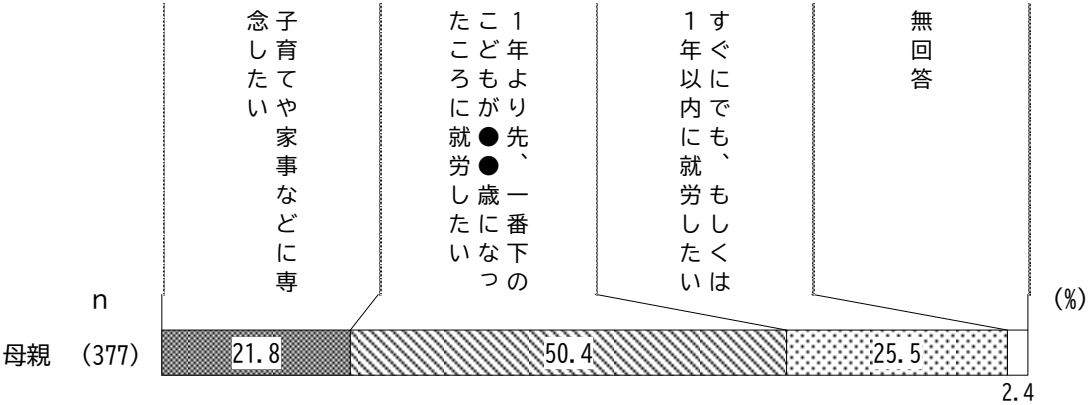
【問9の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。】

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

母親

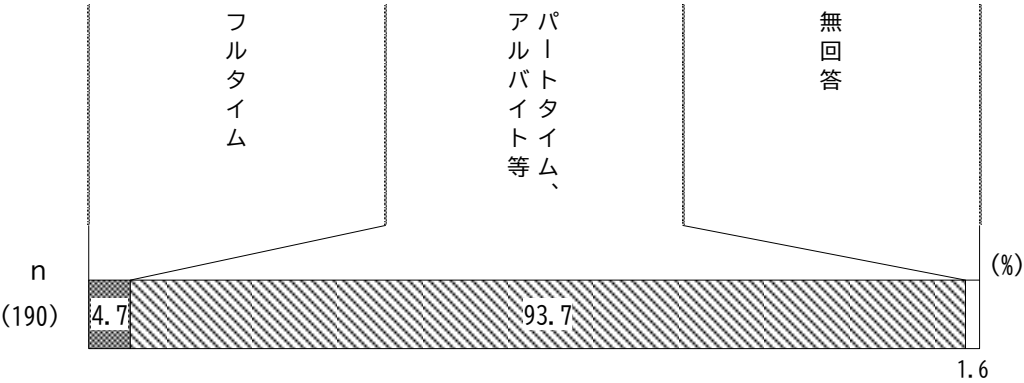
◆就労希望

親の就労希望は、「1年より先、一番下のこどもが●●歳になったところに就労したい」が50.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」25.5%、「子育てや家事などに専念したい」21.8%となっている。



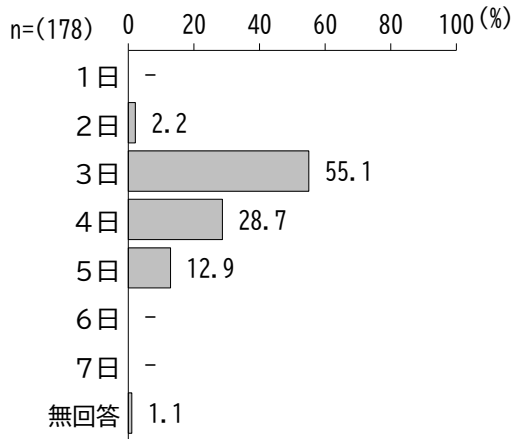
◆1年より先に就労したい人が希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」93.7%、「フルタイム」4.7%となっている。



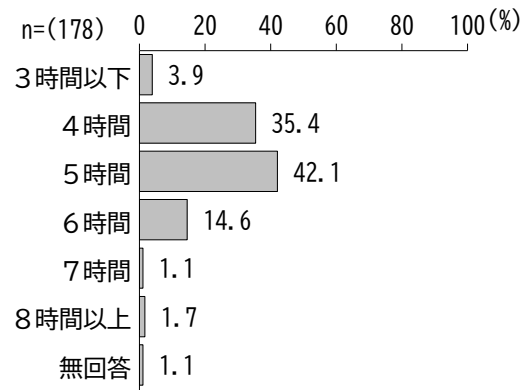
◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

母親の1週あたりの希望就労日数は、「3日」が55.1%と最も高く、次いで「4日」28.7%、「5日」12.9%などとなっている。



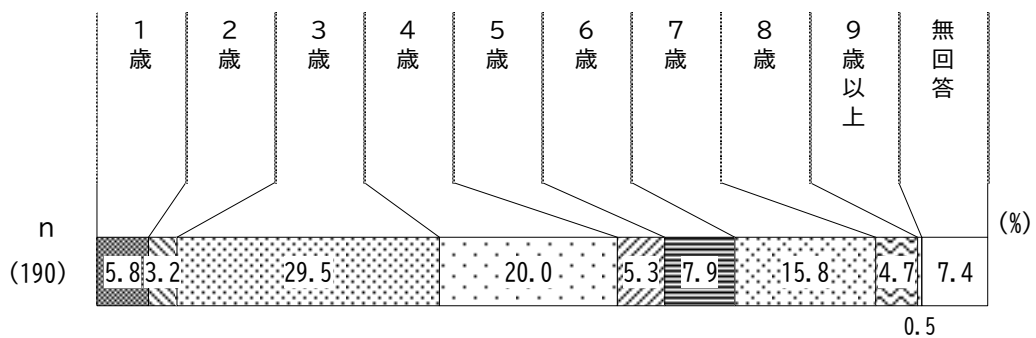
◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

母親の1日あたりの希望就労時間は、「5時間」が42.1%と最も高く、次いで「4時間」35.4%、「6時間」14.6%などとなっている。



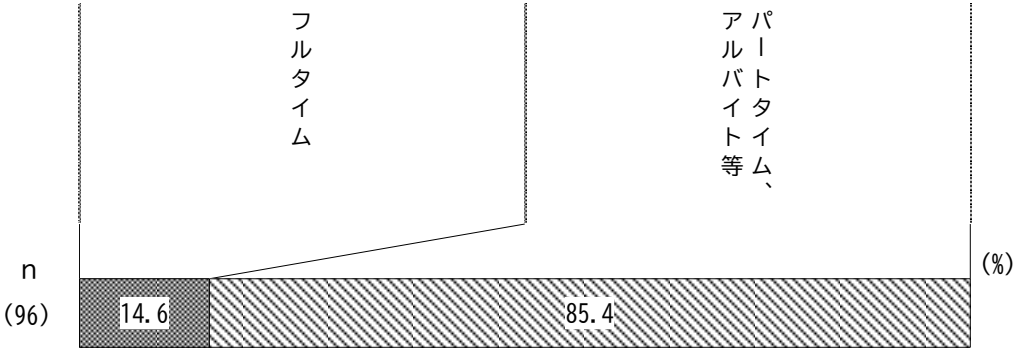
◆一番下の子どもが何歳になったら就労したいか

母親の末子の年齢による就労意向は、「3歳」が29.5%と最も高く、次いで「4歳」20.0%、「7歳」15.8%などとなっている。



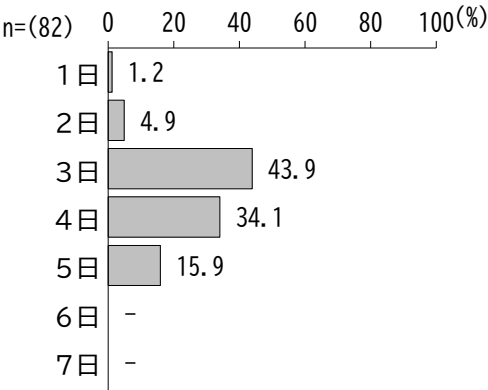
◆すぐにでも、1年以内に就労したい人が希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」85.4%、「フルタイム」14.6%となっている。



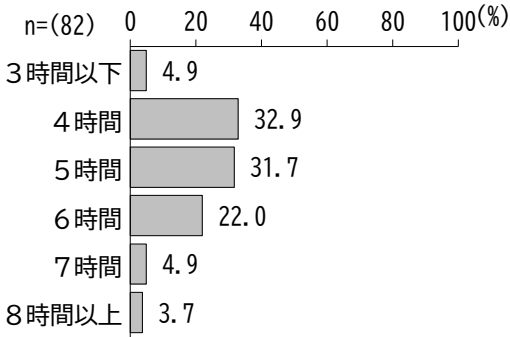
◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

母親の1週あたりの希望就労日数は、「3日」が43.9%と最も高く、次いで「4日」34.1%、「5日」15.9%などとなっている。



◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

母親の1日あたりの希望就労時間は、「4時間」が32.9%と最も高く、次いで「5時間」31.7%、「6時間」22.0%などとなっている。



父親

◆就労希望

父親の就労希望は、10人中「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4人、「子育てや家事などに専念したい」が3人、「1年より先、一番下のこどもが●●歳になったころに就労したい」が2人となっている。

◆1年より先に就労したい人が希望する就労形態

父親の希望する就労形態は、2人中「フルタイム」が1人、「パートタイム、アルバイト等」が1人となっている。

◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

父親の1週あたりの希望就労日数は、1人中「5日」が1人となっている。

◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

父親の1週あたりの希望就労時間は、1人中「6時間」が1人となっている。

◆一番下のこどもが何歳になったら就労したいか

父親の末子の年齢による就労意向は、2人中「1歳」が1人となっている。

◆すぐにでも、1年以内に就労したい人が希望する就労形態

父親の希望する就労形態は、4人中「フルタイム」が4人となっている。

◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

※回答者なし

◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

※回答者なし

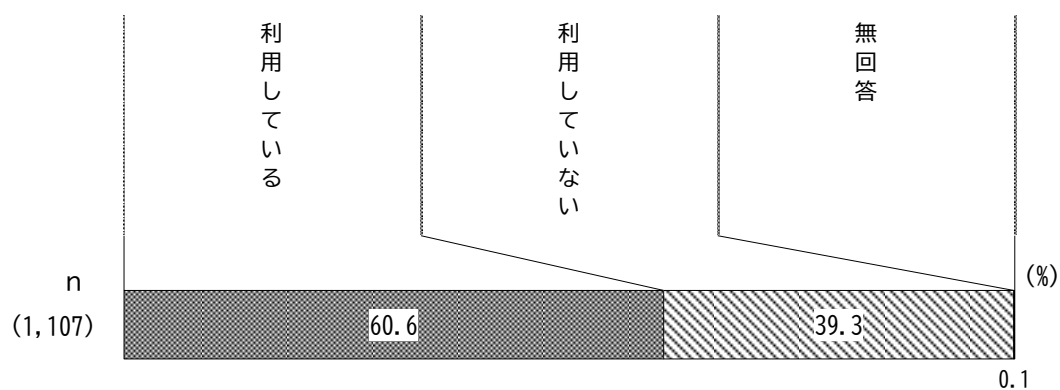
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問13-1に示した事業が含まれます。

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」60.6%、「利用していない」39.3%となっている。



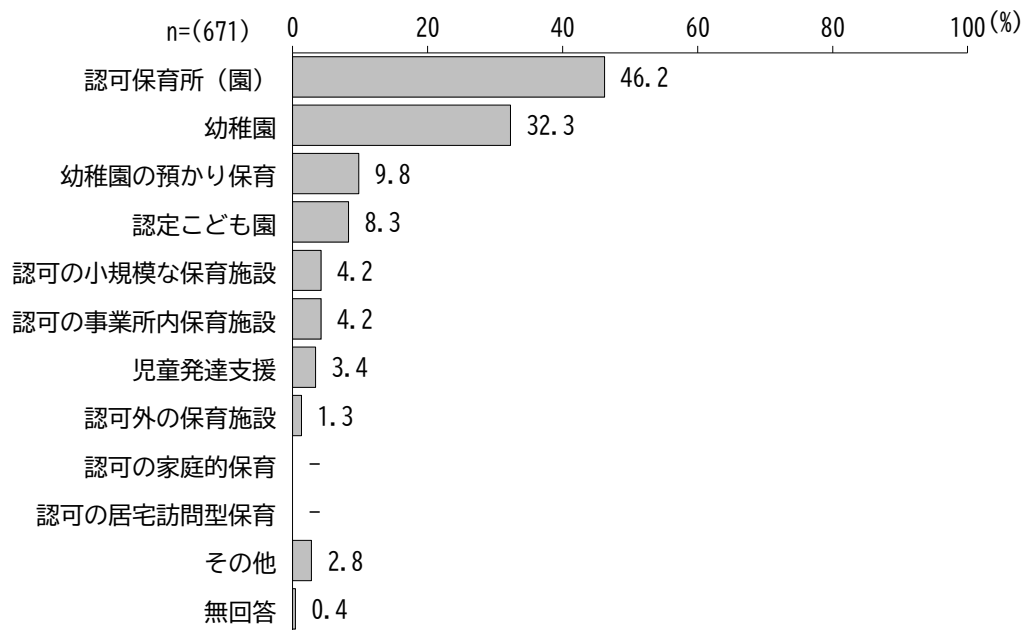
(2) 平日、定期的に利用している教育・保育事業

【問13で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※他の市区町村で利用されている場合はお答えください。

平日、定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所（園）」が46.2%と最も高く、次いで「幼稚園」32.3%、「幼稚園の預かり保育」9.8%などとなっている。



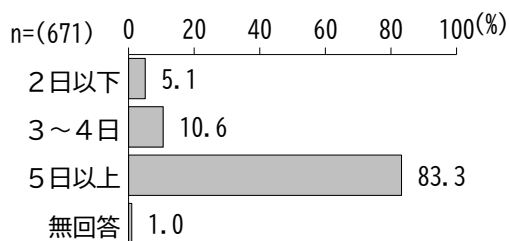
(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

【問13で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

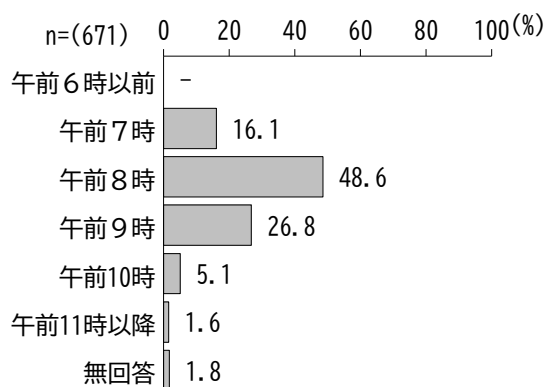
1週あたりの利用日数



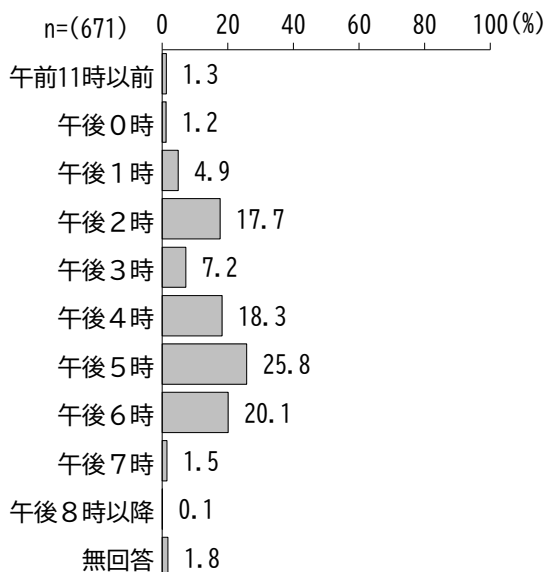
1日あたりの利用時間



利用開始時刻

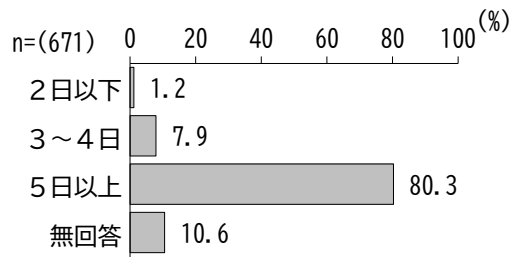


利用終了時刻

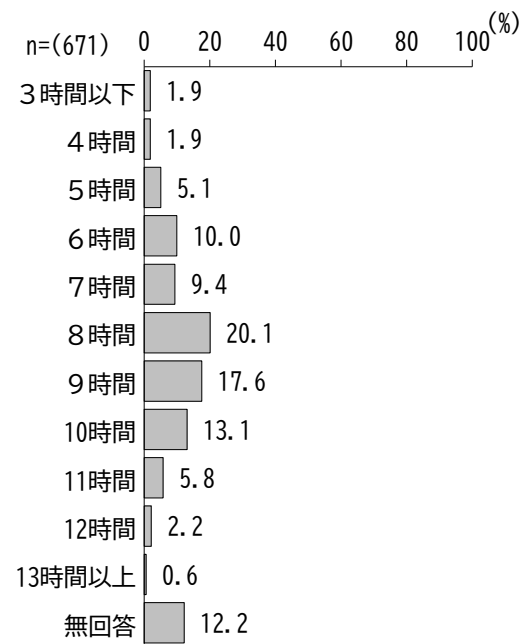


(2) 希望

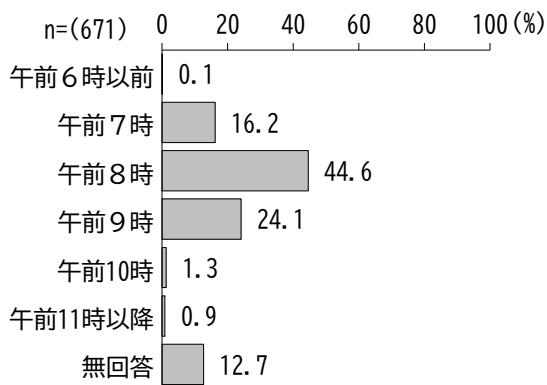
1週あたりの利用日数



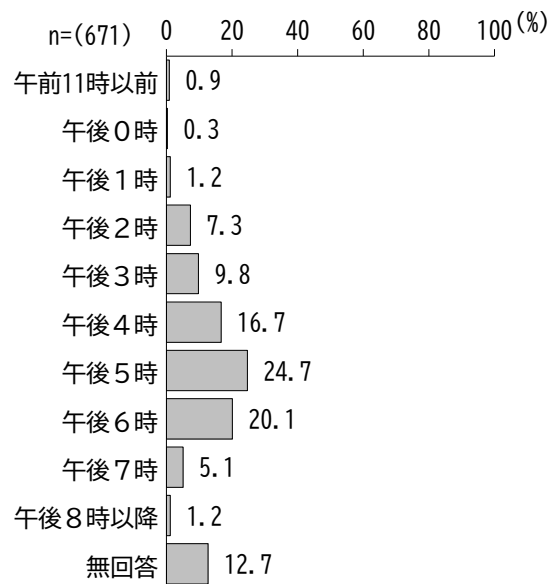
1日あたりの利用時間



利用開始時刻



利用終了時刻

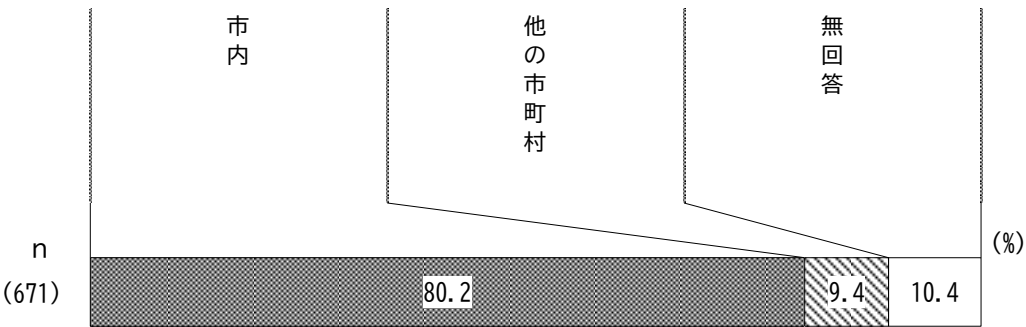


(4) 教育・保育事業の実施場所

【問13で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

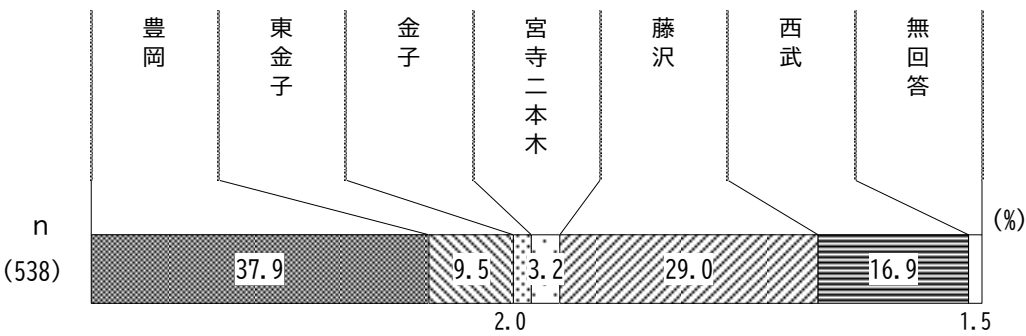
問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「市内」を選んだ場合は、実施場所の地区に○をつけてください。「他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

教育・保育事業の実施場所は、「市内」80.2%、「他の市町村」9.4%となっている。



実施場所の市町村

教育・保育事業の実施場所/市内は、「豊岡」が37.9%と最も高く、次いで「藤沢」29.0%、「西武」16.9%などとなっている。

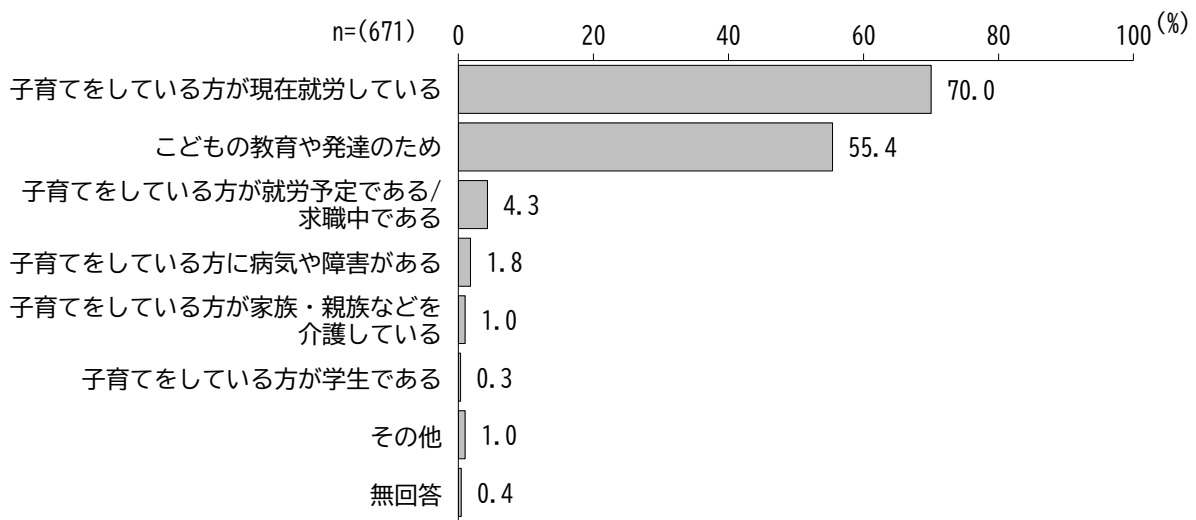


(5) 平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由

【問13で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問13-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が70.0%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達のため」55.4%、「子育てをしている方が就労予定である/求職中である」4.3%などとなっている。



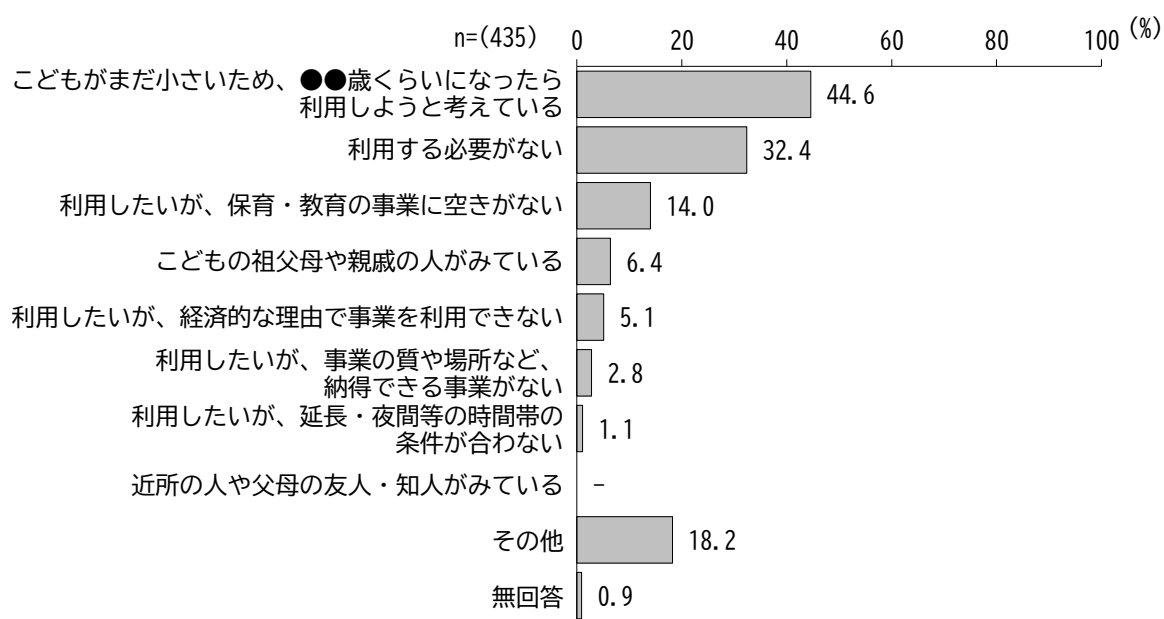
(6) 平日、定期的に教育・保育事業を利用していない理由

問13で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問13-5 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

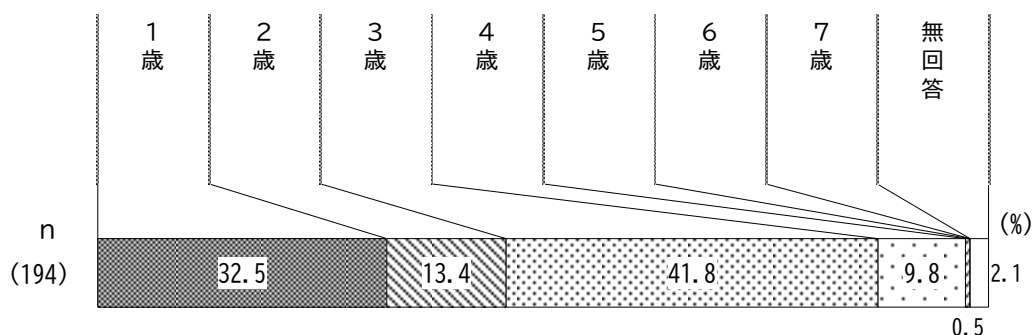
◆教育・保育事業を利用していない理由

平日、定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「こどもがまだ小さいため、●●歳くらいになったら利用しようと考えている」が44.6%と最も高く、次いで「利用する必要がない」32.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」14.0%などとなっている。



◆定期的な教育・保育事業の利用開始年齢

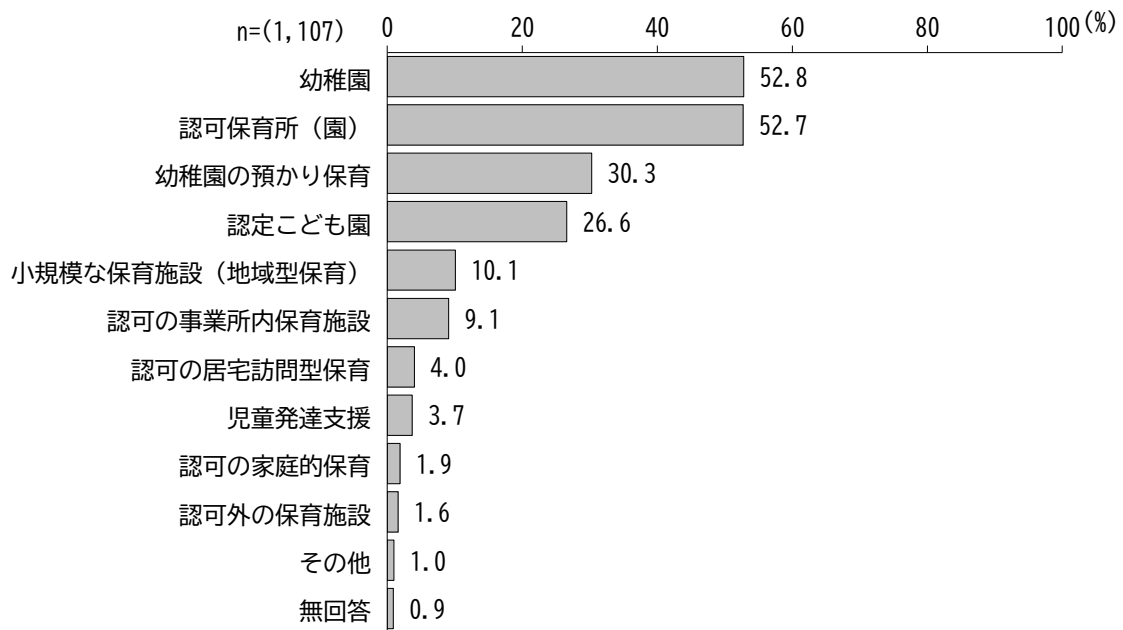
定期的な教育・保育事業の利用開始年齢は、「3歳」が41.8%と最も高く、次いで「1歳」32.5%、「2歳」13.4%などとなっている。



(7) 平日の教育・保育事業で定期的にご利用したい事業

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

平日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「幼稚園」が52.8%と最も高く、次いで「認可保育所（園）」52.7%、「幼稚園の預かり保育」30.3%などとなっている。

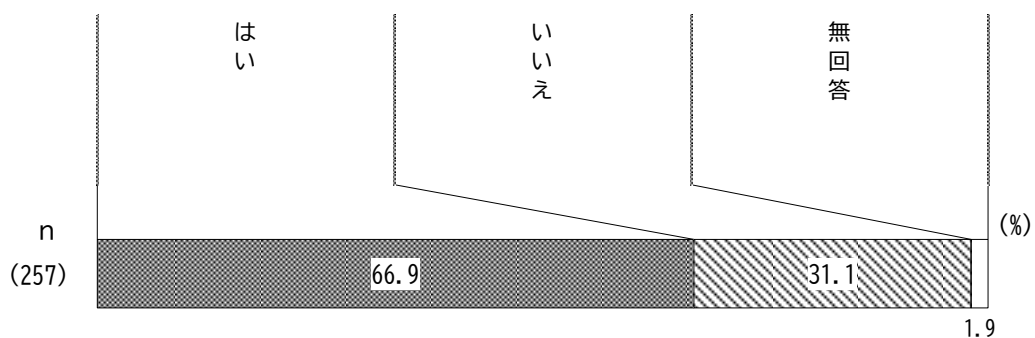


(8) 幼稚園の利用希望

【「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所（園）／認定こども園／認可の小規模な保育施設（地域型保育）／認可の事業所内保育施設／認可の家庭的保育」／認可の居宅訪問型保育／認可外の保育施設／児童発達支援（のいずれか）」にも○をつけた方にうかがいます。】

問14-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

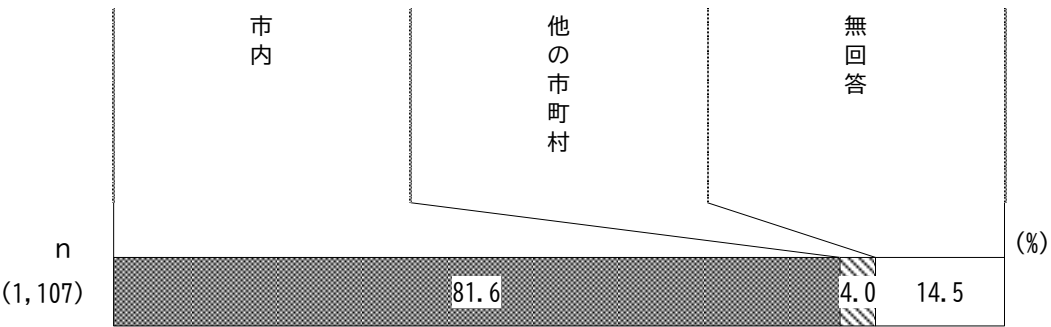
幼稚園の利用希望は、「はい」66.9%、「いいえ」31.1%となっている。



(9) 教育・保育事業の利用を希望する場所

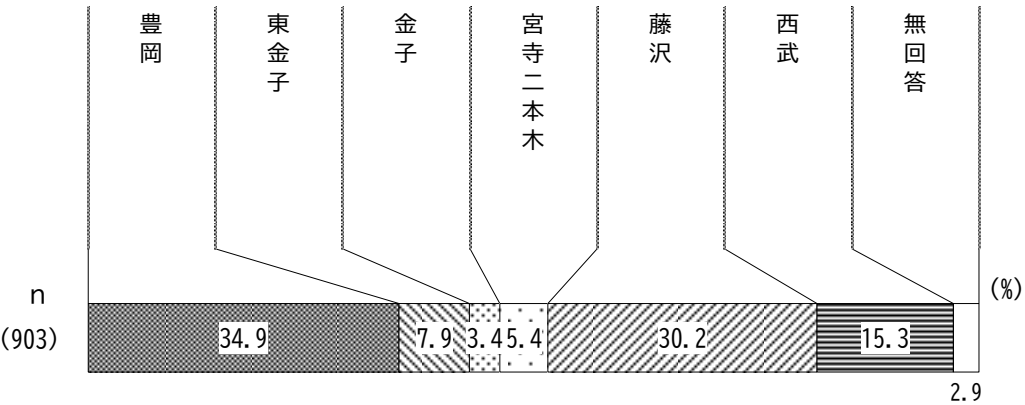
問14-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「市内」を選んだ場合は、実施場所の地区に○をつけてください。「他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

教育・保育事業の利用を希望する場所は、「市内」81.6%、「他の市町村」4.0%となっている。



実施場所の市町村名

教育・保育事業の利用を希望する場所は、「豊岡」が34.9%と最も高く、次いで「藤沢」30.2%、「西武」15.3%などとなっている。



5. 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

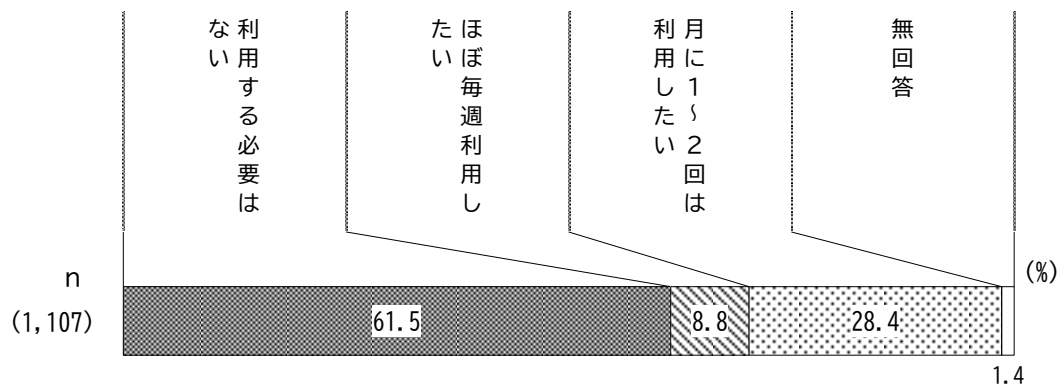
問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

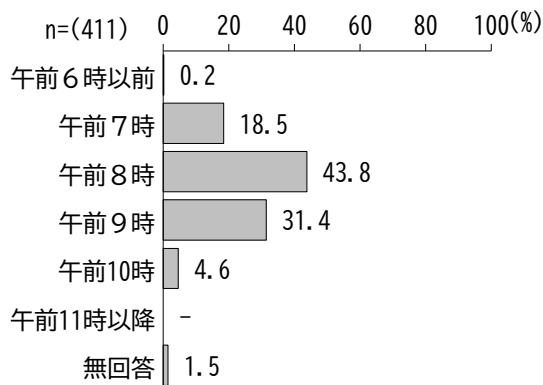
◆利用希望

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が61.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」28.4%、「ほぼ毎週利用したい」8.8%となっている。



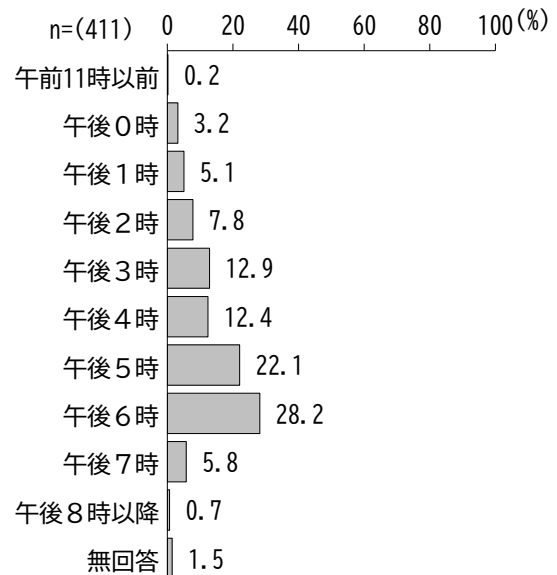
◆希望利用開始時刻

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻は、「午前8時」が43.8%と最も高い。



◆希望利用終了時刻

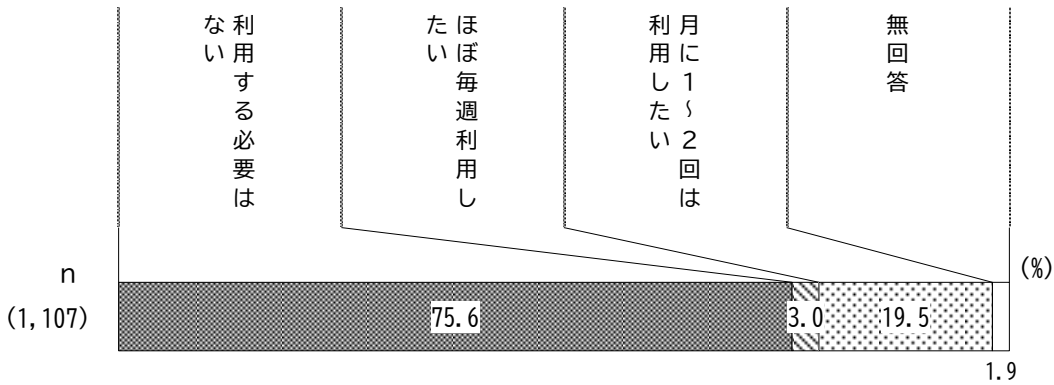
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻は、「午後6時」が28.2%と最も高い。



(2) 日曜日・祝日

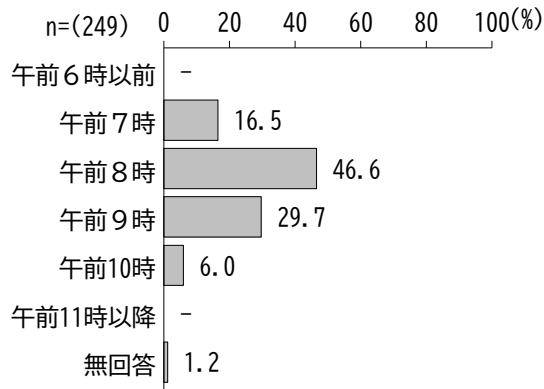
◆利用希望

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が75.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」19.5%、「ほぼ毎週利用したい」3.0%となっている。



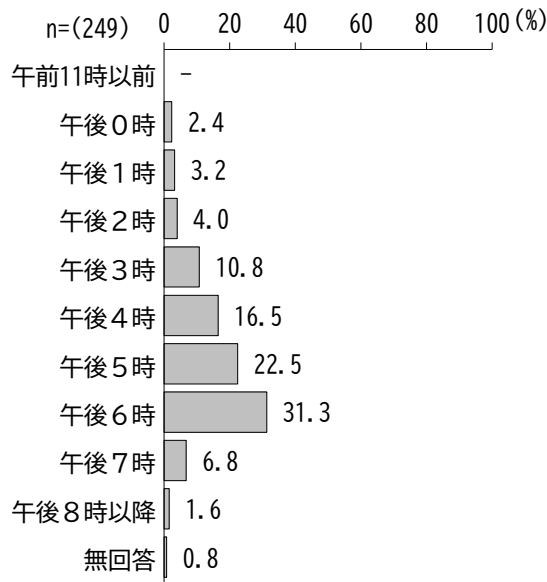
◆希望利用開始時刻

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の希望利用開始時刻は、「午前8時」が46.6%と最も高い。



◆希望利用終了時刻

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の希望利用終了時刻は、「午後6時」が31.3%と最も高い。

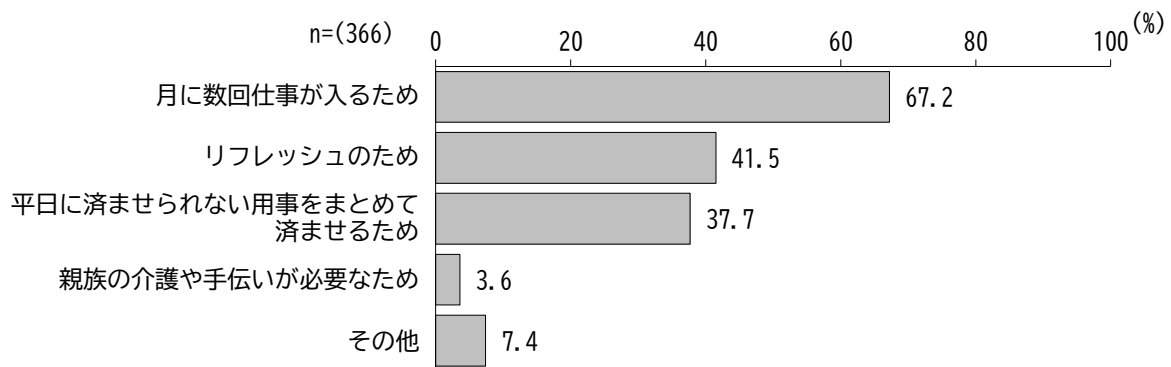


(2) たまに利用したい理由

【問15で「月に1～2回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問15-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が67.2%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」41.5%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」37.7%となっている。



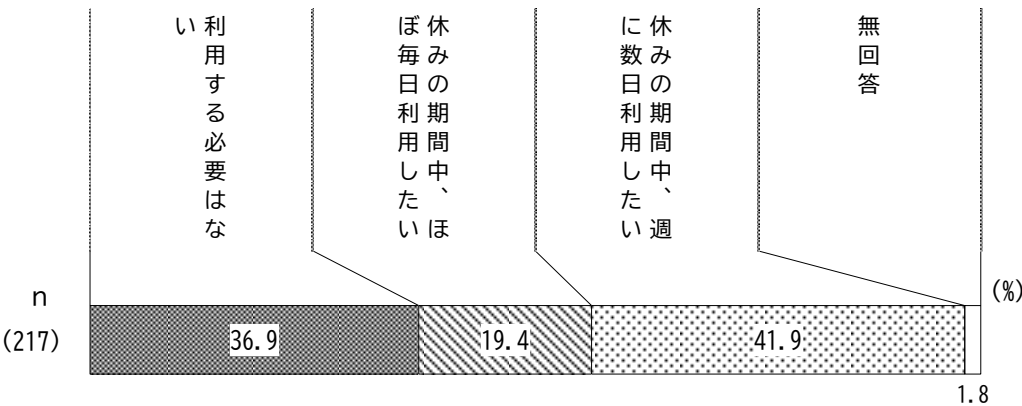
(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】

問16 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

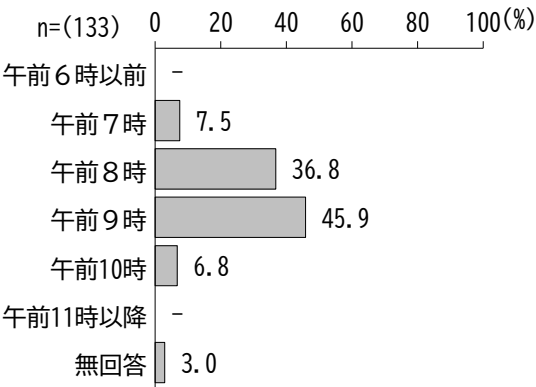
◆利用希望

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が41.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」36.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」19.4%となっている。



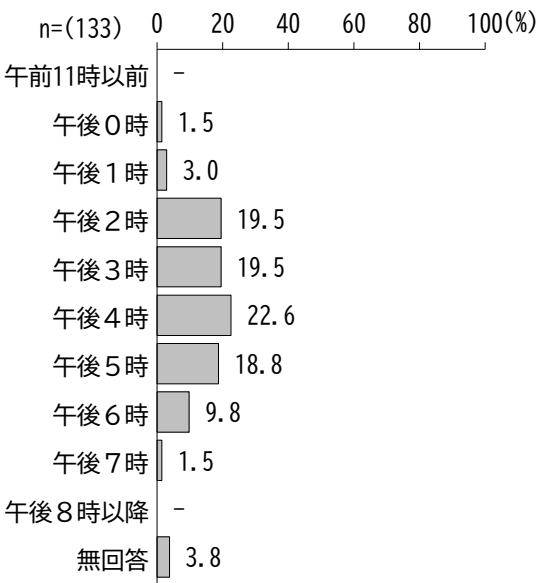
◆希望利用開始時刻

長期休暇期間中の教育・保育事業の希望利用開始時刻は、「午前9時」が45.9%と最も高い。



◆希望利用終了時刻

長期休暇期間中の教育・保育事業の希望利用終了時刻は、「午後4時」が22.6%と最も高い。

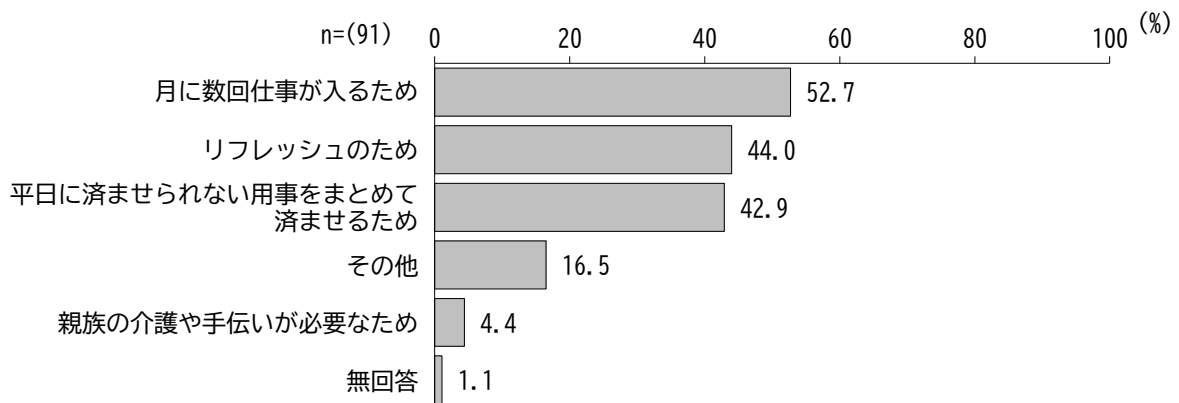


(4) たまに利用したい理由

【問16で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問16-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が52.7%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」44.0%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」42.9%などとなっている。



6. 子育て支援センター・子育て支援事業等の利用状況について

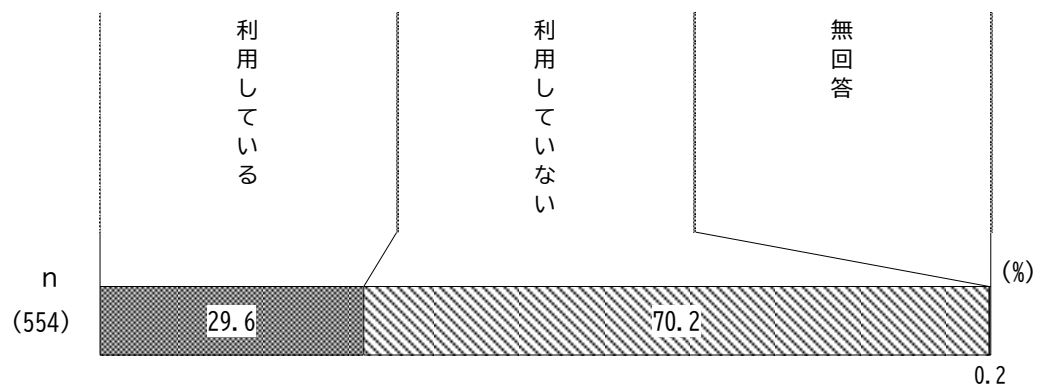
(1) 子育て支援センターの利用状況

【宛名のお子さんが、0～2歳の方にかがいます。】

問17 現在、子育て支援センターを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

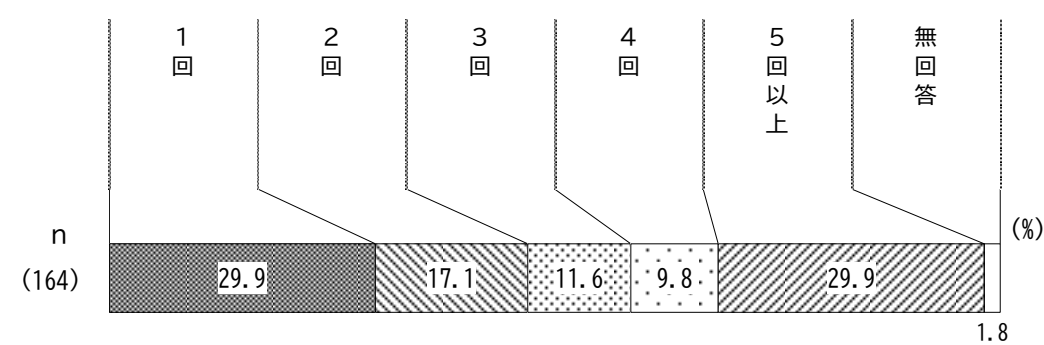
◆利用状況

子育て支援センターの利用状況は、「利用していない」70.2%、「利用している」29.6%となっている。



◆利用回数/1ヶ月あたり

子育てセンターの利用者の利用頻度/1ヶ月あたり回数は、「1回」と「5回以上」が29.9%と最も高く、次いで「2回」17.1%などとなっている。



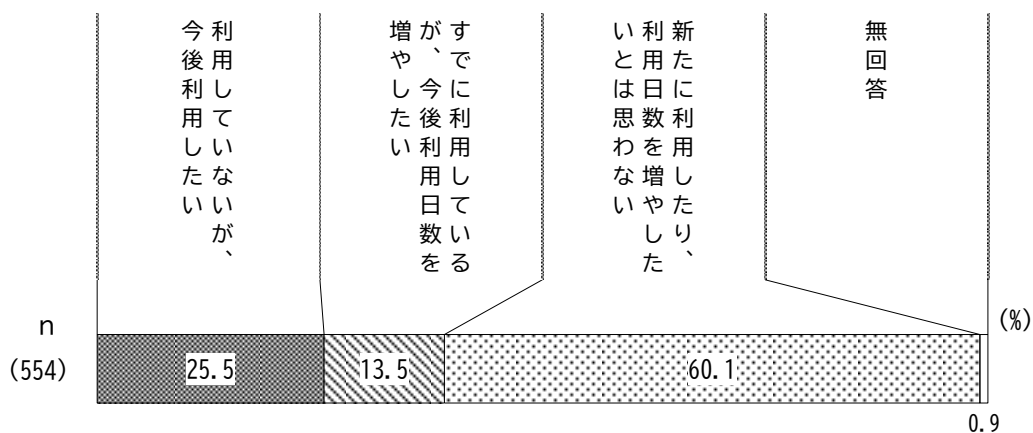
(2) 子育て支援センターの今後の利用希望

【宛名のお子さんが、0～2歳の方にうかがいます。】

問18 子育て支援センターの今後の利用希望について、当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

◆今後の利用意向

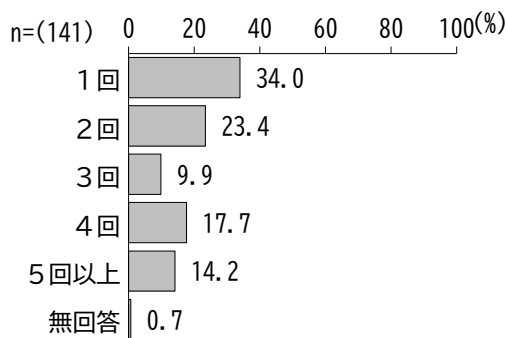
子育て支援センターの今後の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」25.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」13.5%となっている。



◆未利用の方の今後利用したい回数

(1ヶ月あたり)

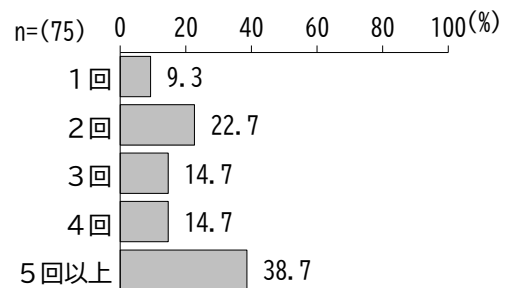
未使用の方の今後の利用意向/1ヶ月あたり回数/数は、「1回」が34.0%と高くなっている。



◆利用中の方の、今後利用日数を

増やしたい回数（1ヶ月あたり）

利用中の方の今後の利用日数を増やしたい1ヶ月あたり回数は「5回以上」が38.7%と高くなっている。

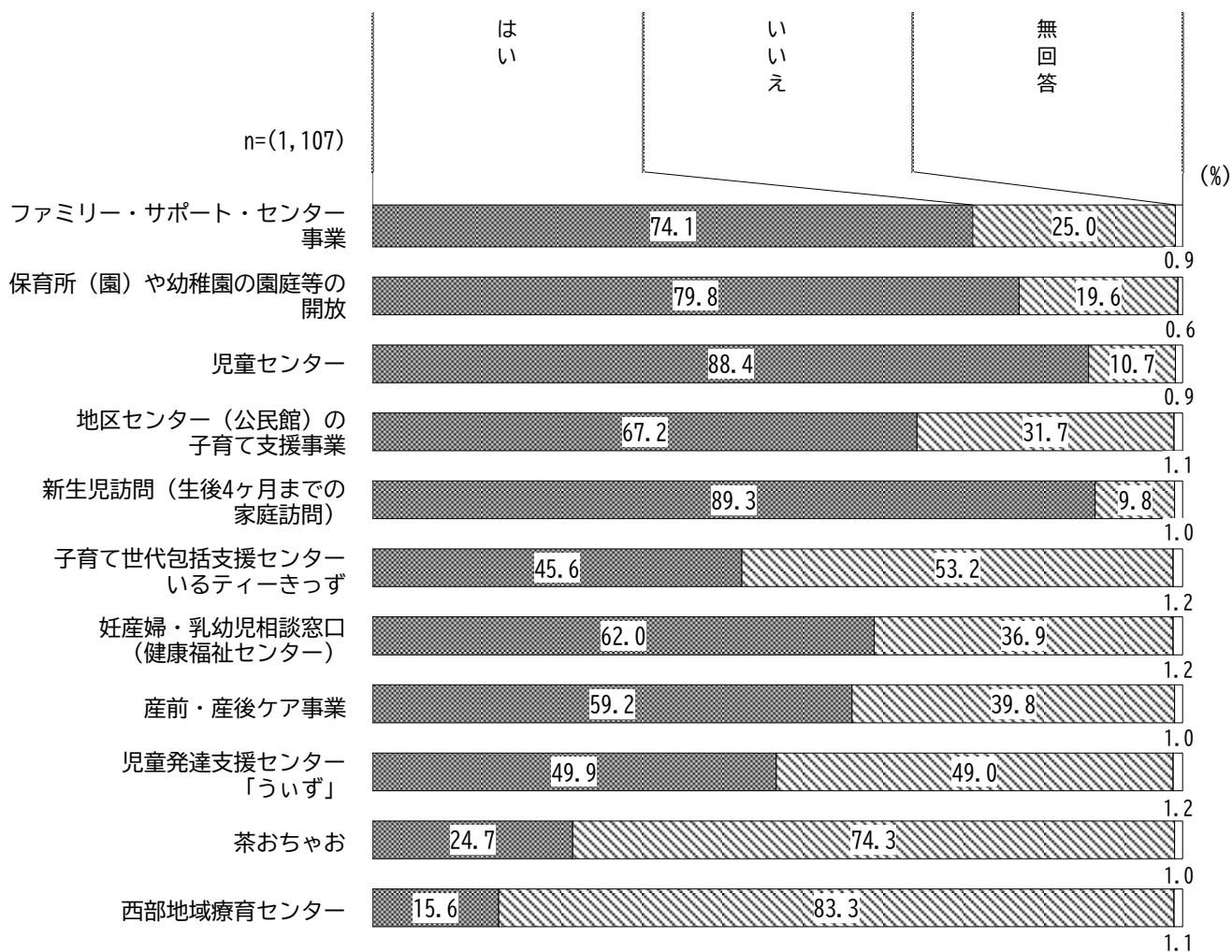


(3) 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用意向

問19 下記の事業・施設で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業それぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

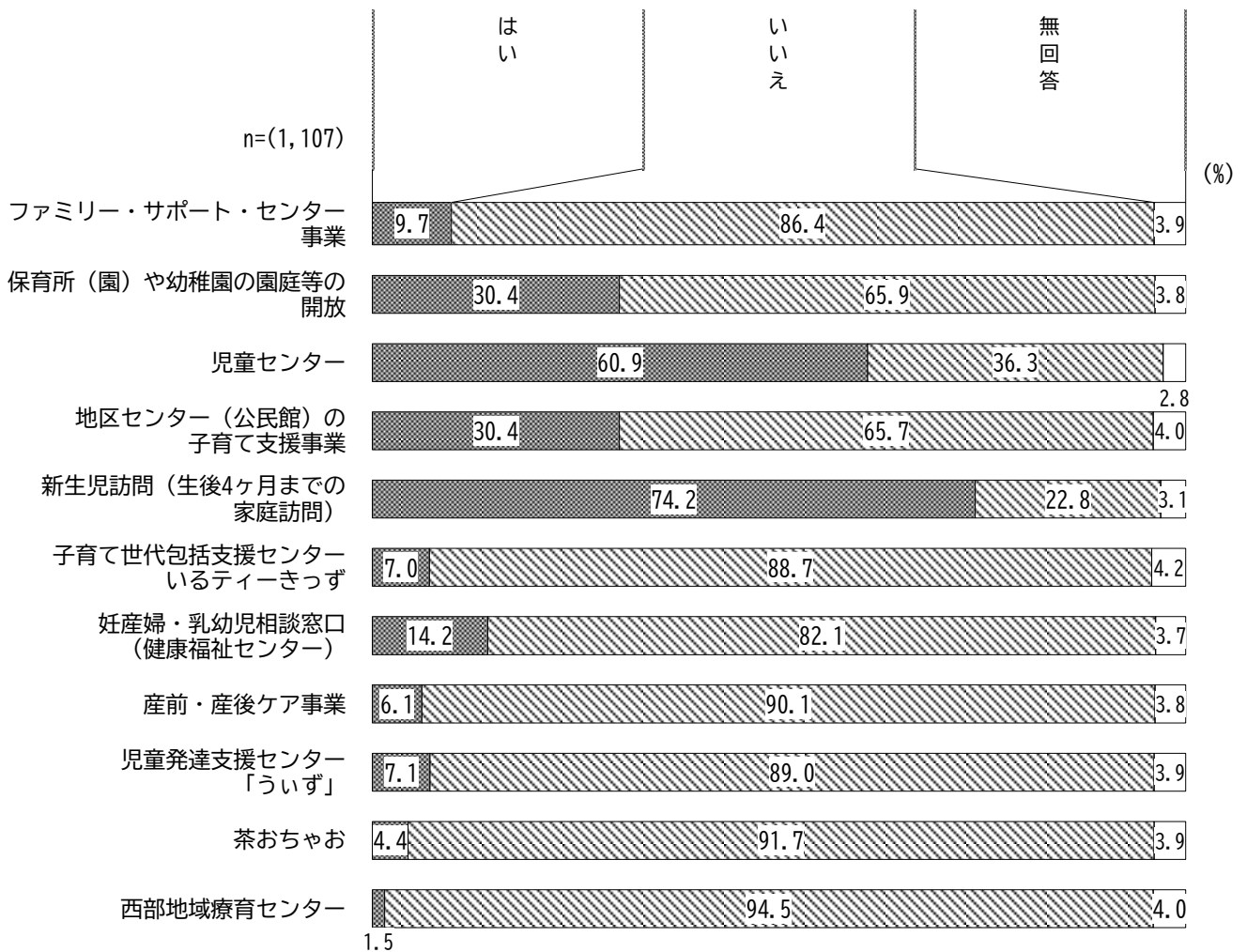
A 子育て支援事業の認知度

子育て支援事業の認知度は、「新生児訪問（生後4ヶ月までの家庭訪問）」が89.3%と最も高く、次いで「児童センター」88.4%、「保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放」79.8%などとなっている。



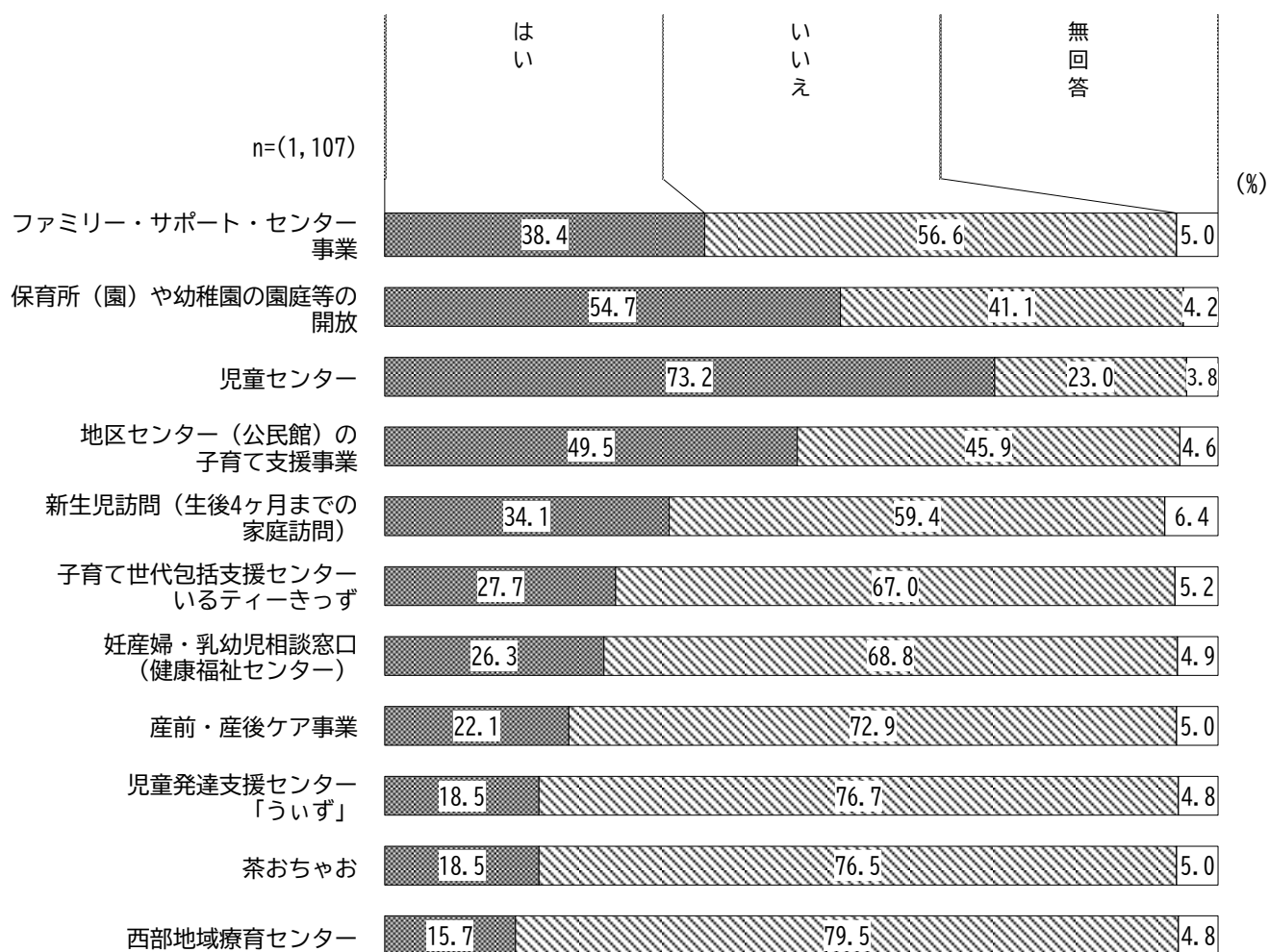
B 子育て支援事業の利用経験

子育て支援事業の利用経験は、「新生児訪問（生後4ヶ月までの家庭訪問）」が74.2%と最も高く、次いで「児童センター」60.9%、「保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放」と「地区センター（公民館）の子育て支援事業」がいずれも30.4%などとなっている。



C 子育て支援事業の今後の利用希望

子育て支援事業の今後の利用希望は、「児童センター」が73.2%と最も高く、次いで「保育所（園）や幼稚園の園庭などの開放」54.7%、「地区センター（公民館）の子育て支援事業」49.5%などとなっている。



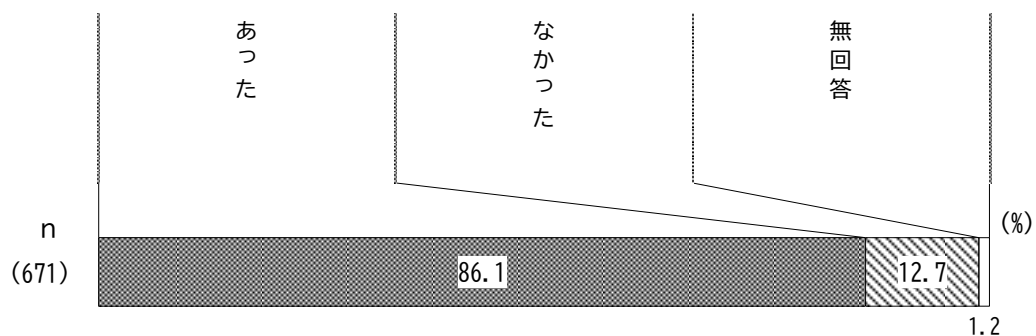
7. 病気の際の対応について

(1) 病気やケガで普段の教育・保育事業が利用できなかったことの有無

【平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問13で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問21にお進みください。】

問20 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで、平日の利用ができなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

病気やケガで平日の利用ができなかったことの有無は、「あった」86.1%、「なかった」12.7%となっている。

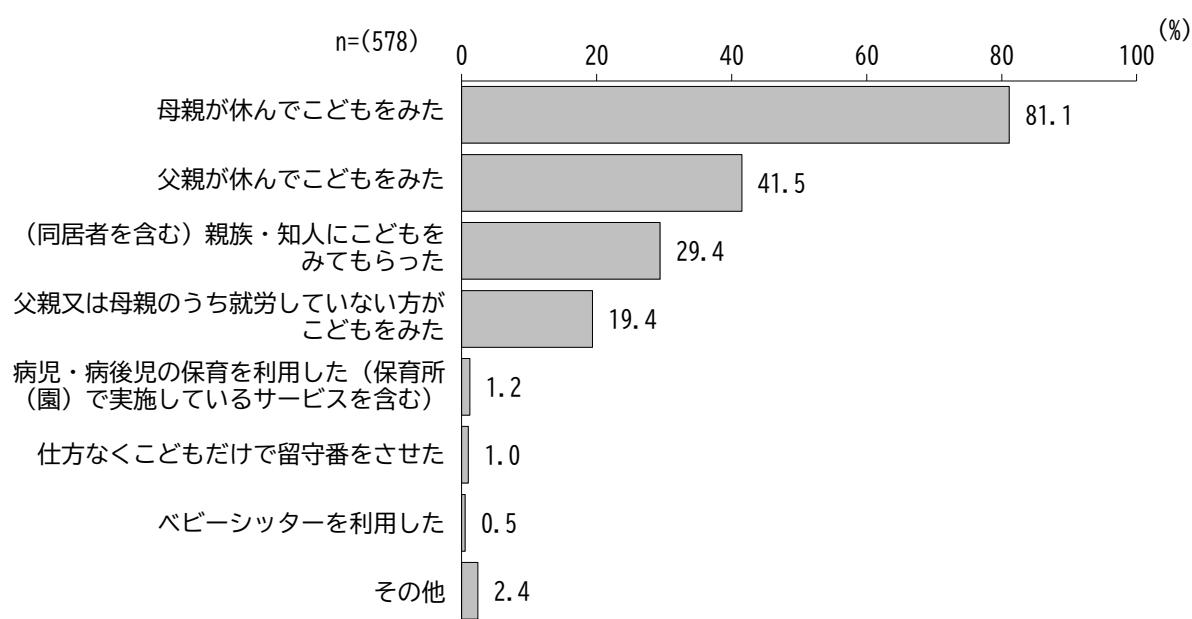


(2) 普段の教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法

問20-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった時に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

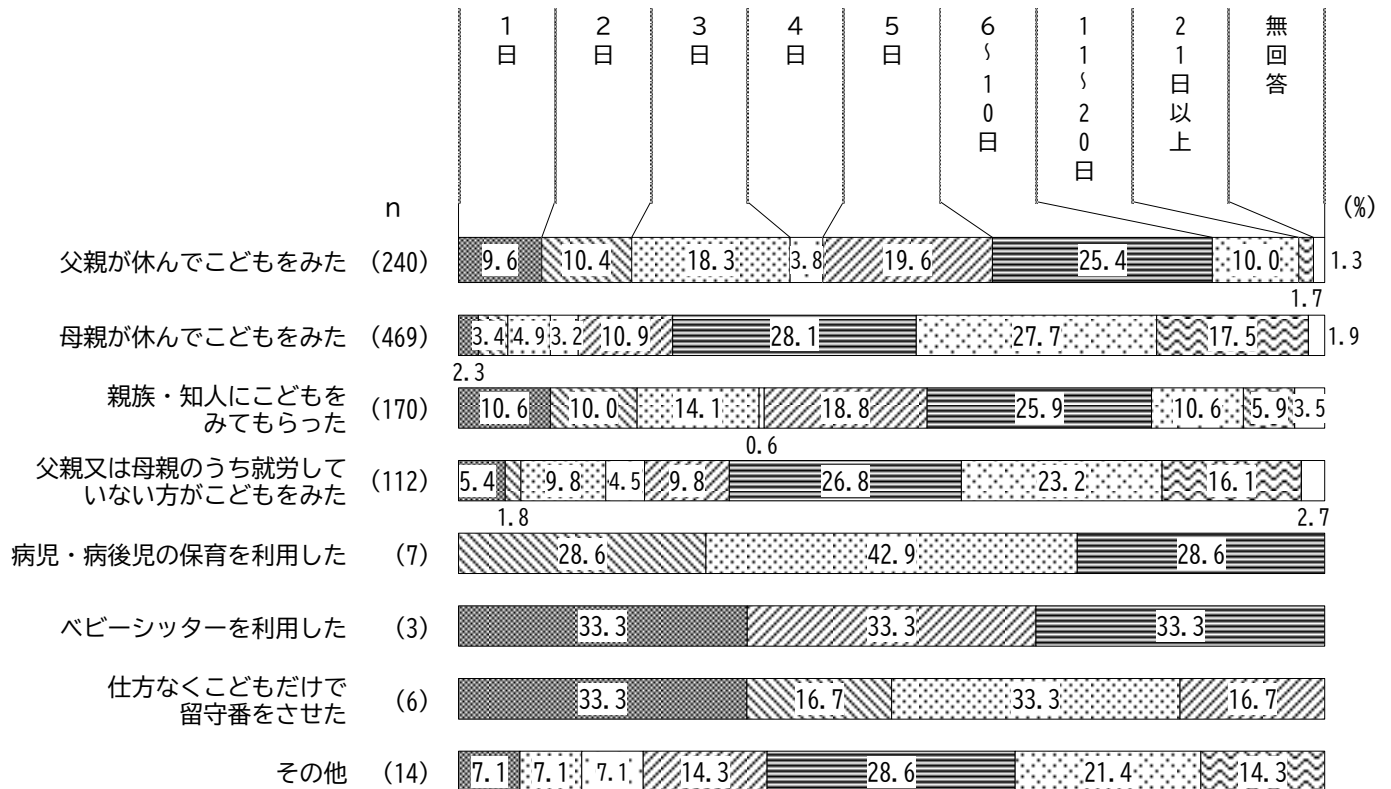
◆1年間の対処方法

病気やけがで教育・保育事業が利用できなかった時の対処法は、「母親が休んでこどもをみた」が81.1%と最も高く、次いで「父親が休んでこどもをみた」41.5%、「(同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった」29.4%などとなっている。



◆対処日数

対処法ごとの対処日数は、6～10日が「母親が休んでこどもをみた」で28.1%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」26.8%、「親族・知人にこどもをみてもらった」25.9%などとなっている。



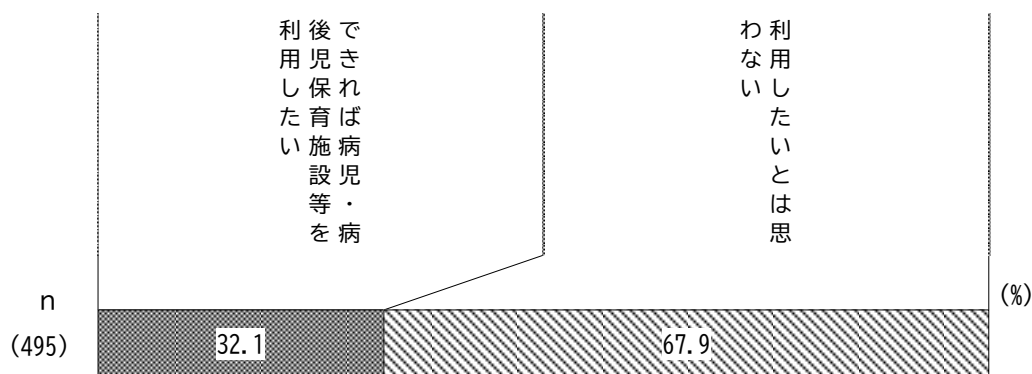
(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

【問20-1で「父親が休んで、こどもをみた」「母親が休んで、こどもをみた」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。】

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

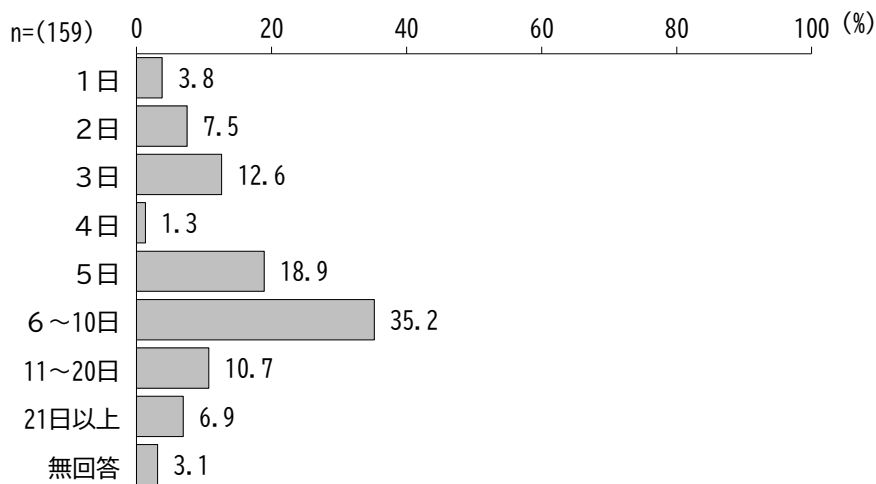
◆利用希望

病児・病後児のための保育施設等の利用の希望は、「利用したいとは思わない」67.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」32.1%となっている。



◆利用希望日数

病児・病後児のための保育施設等の利用希望日数は、「6～10日」が35.2%と最も高く、次いで「5日」18.9%、「3日」12.6%などとなっている。

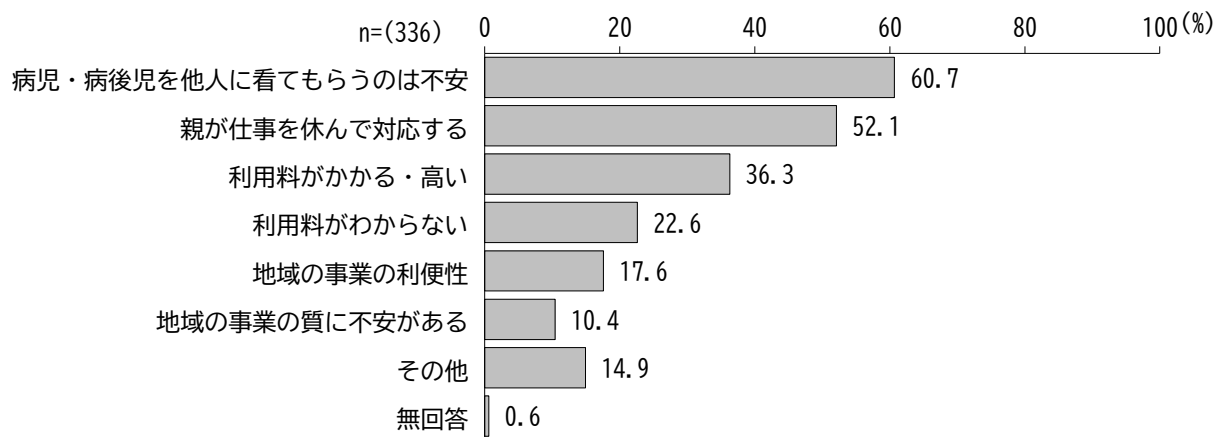


(4) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

【問20-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。】

問20-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用希望しない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が60.7%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」52.1%、「利用料がかかる・高い」36.3%などとなっている。



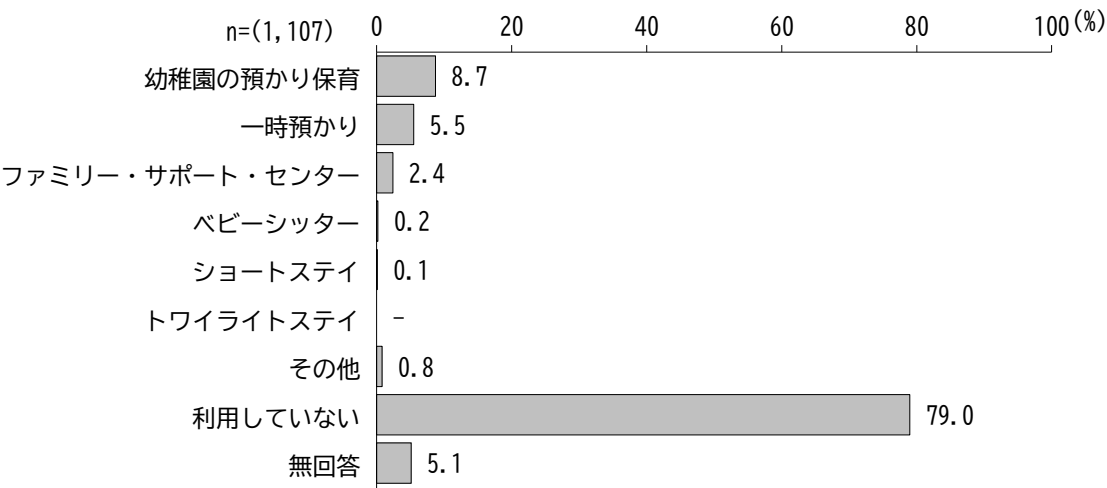
8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について

(1) 保護者の私用等で不定期的に利用している事業

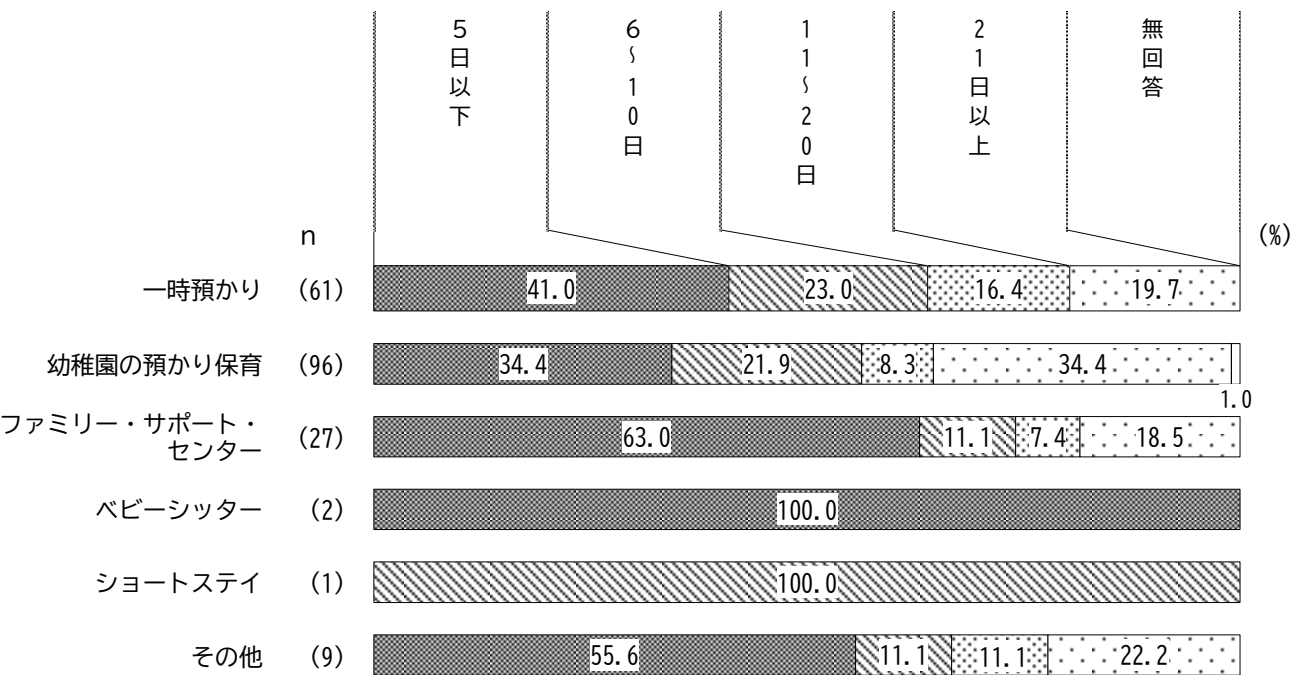
問21 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で、不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

◆利用希望

不定期的に利用している教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等は、「幼稚園の預かり保育」が8.7%と最も高く、次いで「一時預かり」5.5%、「ファミリー・サポート・センター」2.4%などとなっている。



◆利用日数

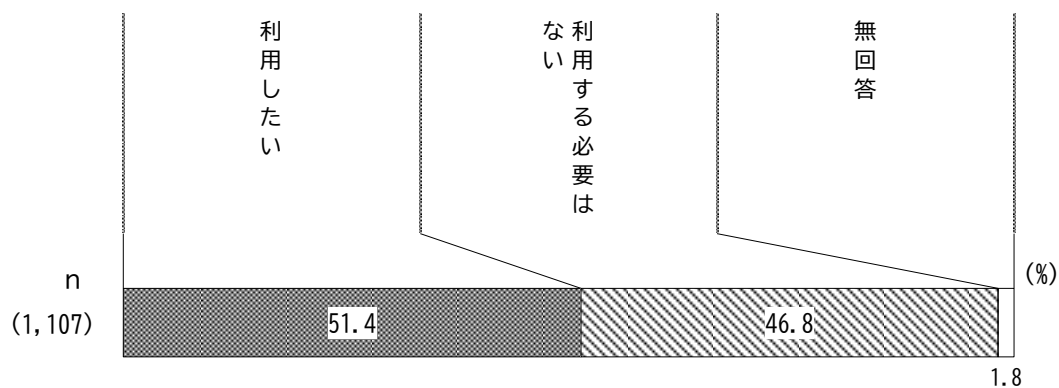


(2) 不定期の教育・保育事業の利用意向

問22 宛名のお子さんについて、保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

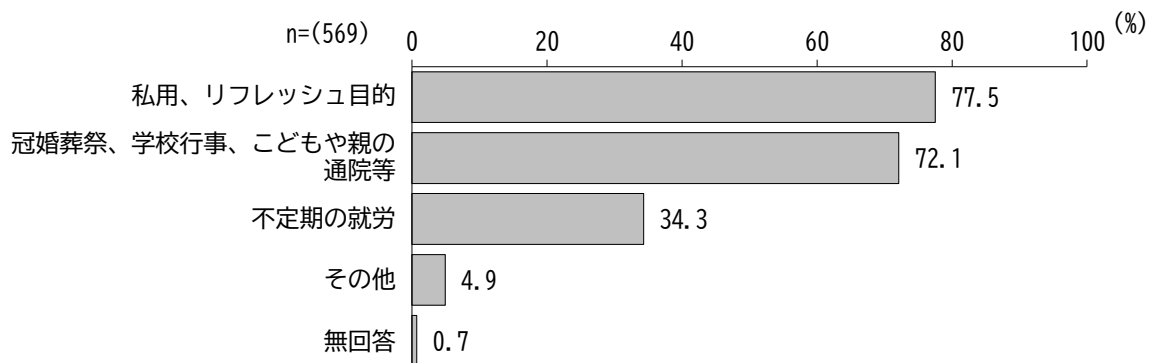
◆利用希望

不定期の教育・保育事業の利用意向は、「利用したい」51.4%、「利用する必要はない」46.8%となっている。



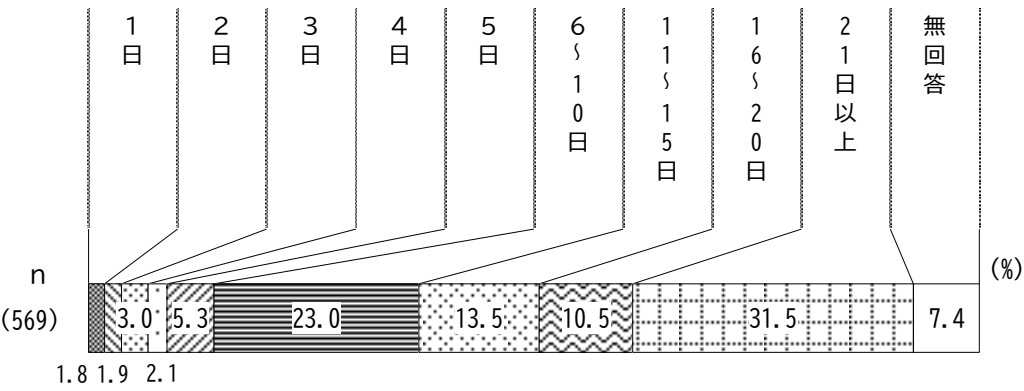
◆利用希望理由

不定期の教育・保育事業の利用希望の理由は、「私用、リフレッシュ目的」が77.5%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」72.1%、「不定期の就労」34.3%などとなっている。



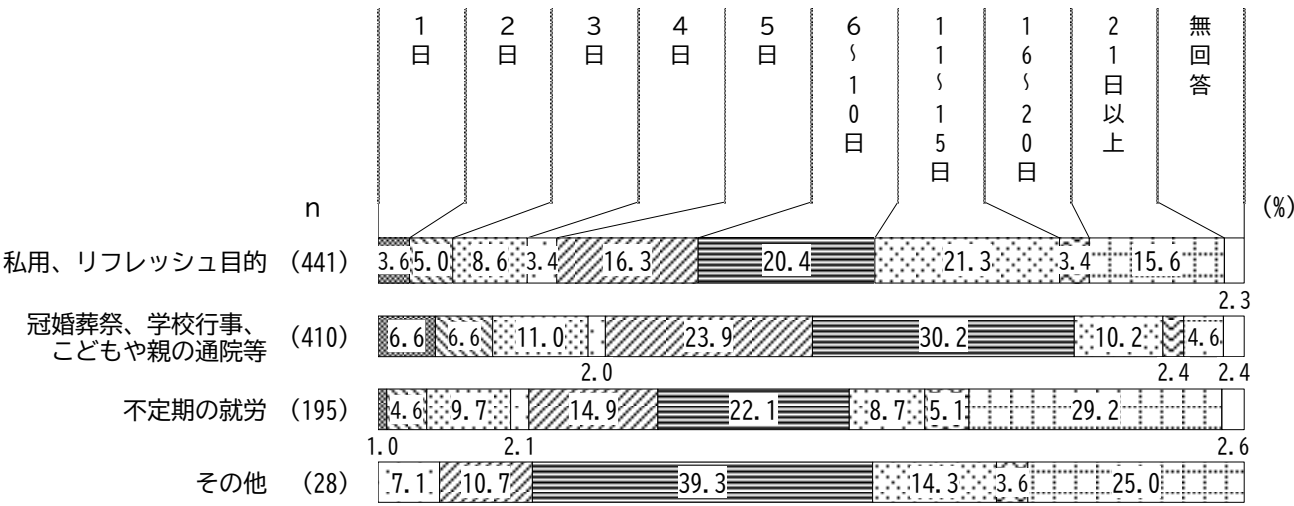
◆希望利用日数合計

不定期の教育・保育事業の希望利用日数の合計は、「21日以上」が31.5%と最も高く、次いで「6～10日」23.0%、「11～15日」13.5%などとなっている。



◆理由ごとの日数

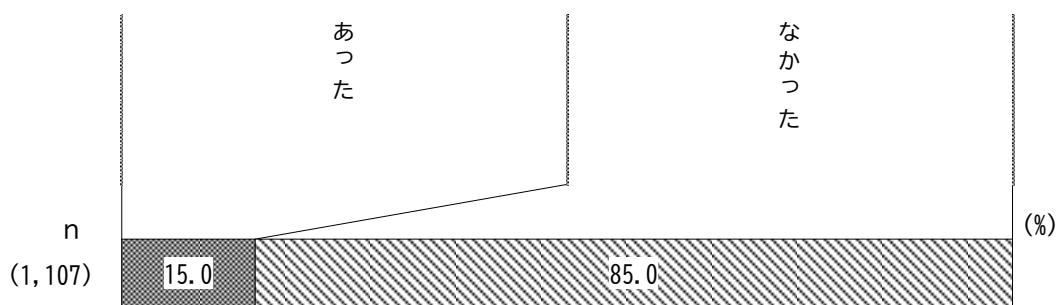
理由ごとの日数は、6～10日が「私用、リフレッシュ目的」で20.4%、「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」30.2%と高くなっている。



(3) こどもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験

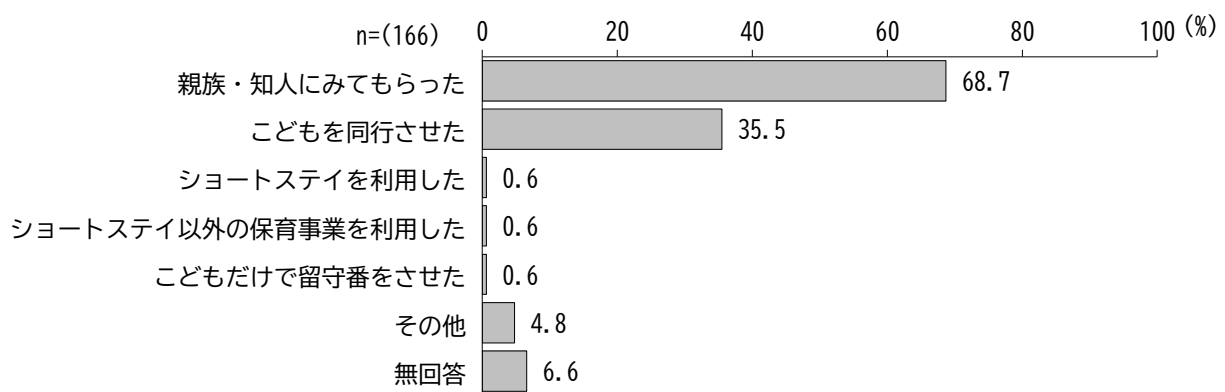
問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

こどもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった事の有無は、「なかった」85.0%、「あった」15.0%となっている。



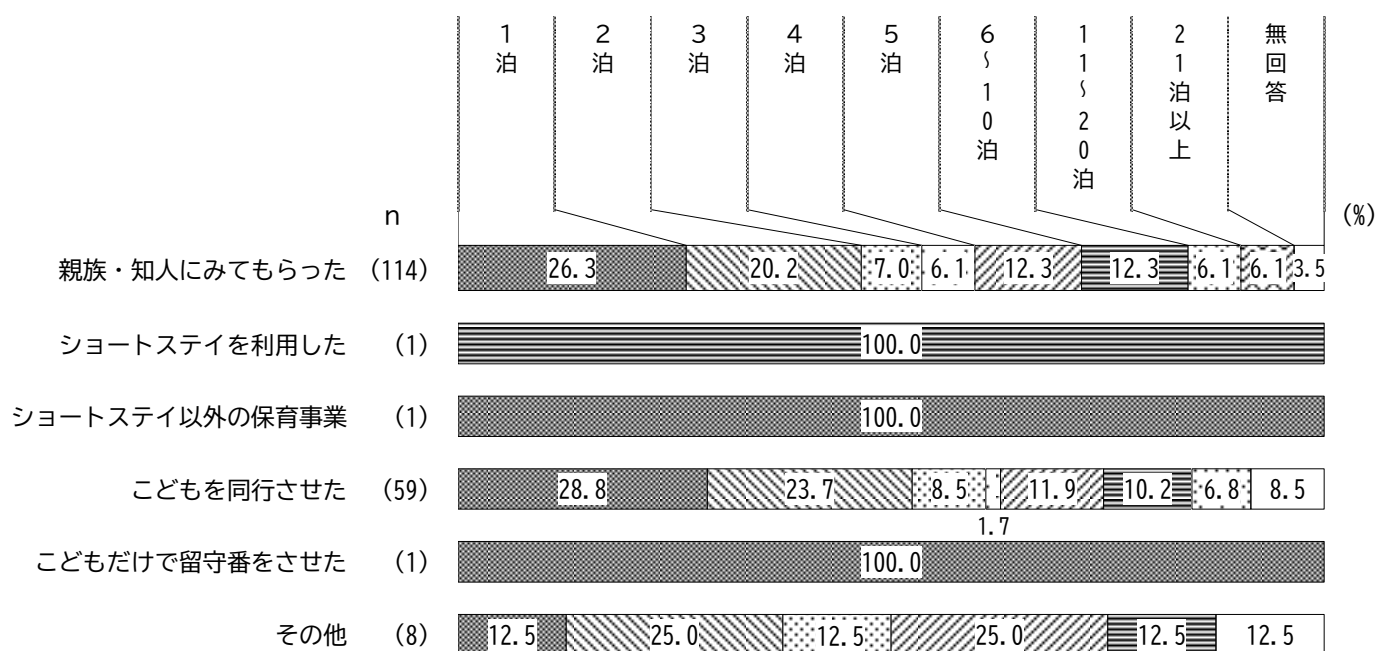
◆対処方法

「あった」と回答した人の対処法は、「親族・知人にみてもらった」が68.7%と最も高く、次いで「こどもを同行させた」35.5%などとなっている。



◆対処した日数

対処した日数は、1泊が「こどもを同行させた」で28.8%と高くなっている。



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方、居場所について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方

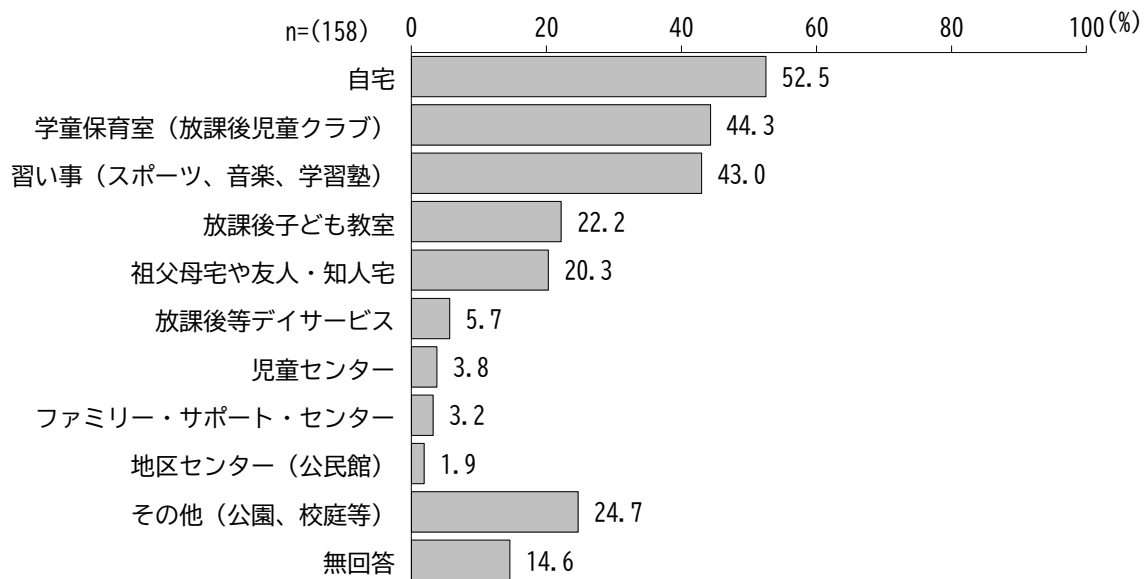
【宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。5歳未満の方は、問26へ】

問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）・高学年（4～6年）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」「放課後子ども教室」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず24時間制でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）時

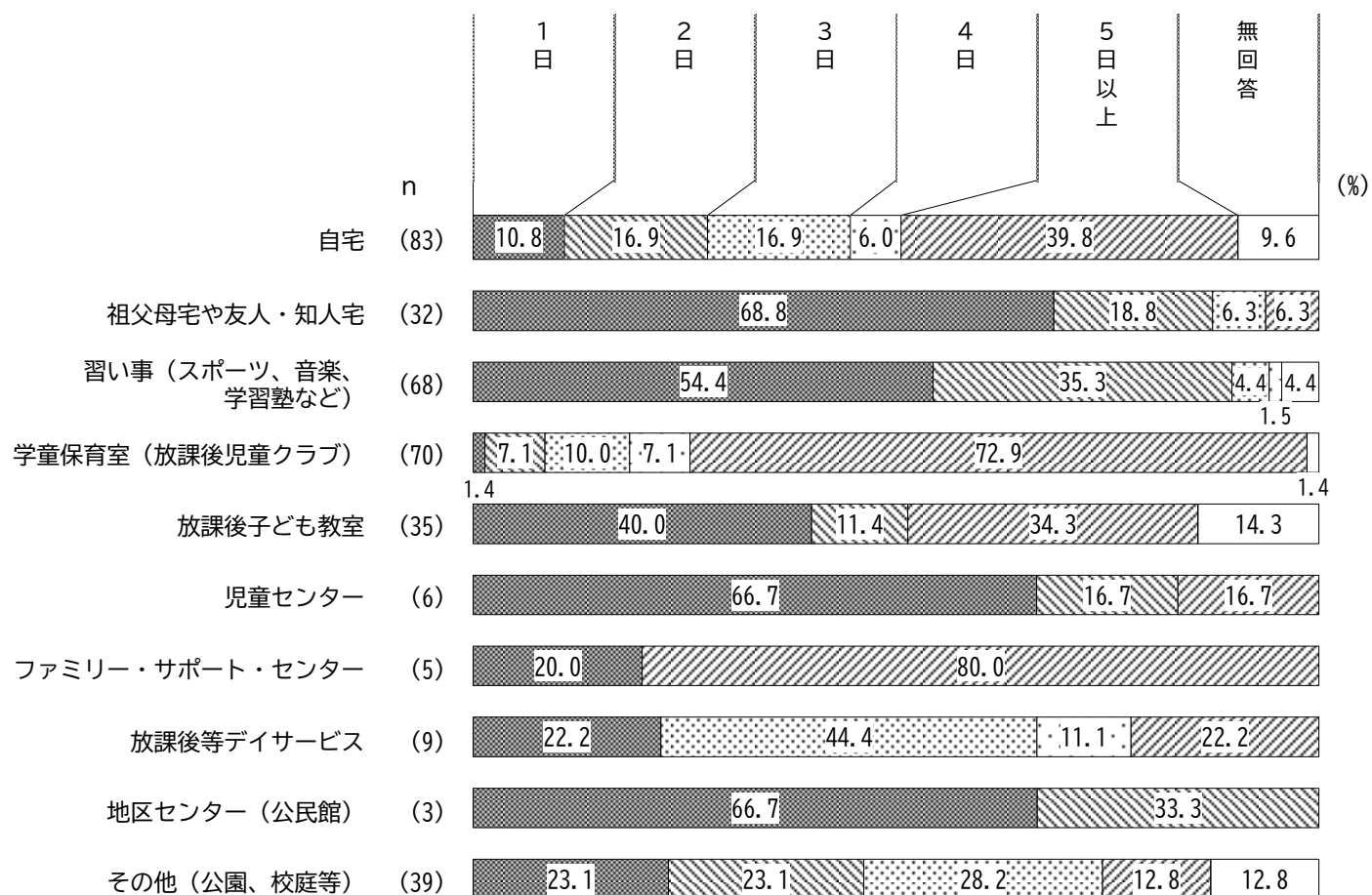
◆過ごさせたい場所

低学年の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が52.5%と最も高く、次いで「学童保育室（放課後児童クラブ）」44.3%、「習い事」43.0%などとなっている。



◆過ごさせたい日数/週

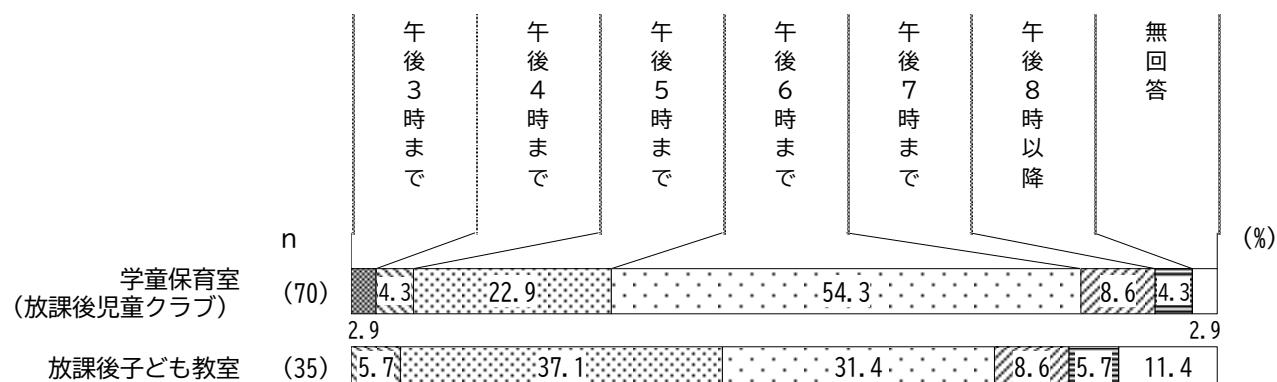
過ごさせたい日数/週は、「5日以上」が学童保育室（放課後児童クラブ）で72.9%、「自宅」で39.8%と高くなっている。



◆学童保育室（放課後児童クラブ）・放課後子ども教室の希望利用時間

学童保育室（放課後児童クラブ）の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後6時まで」54.3%、「午後5時まで」22.9%となっている。

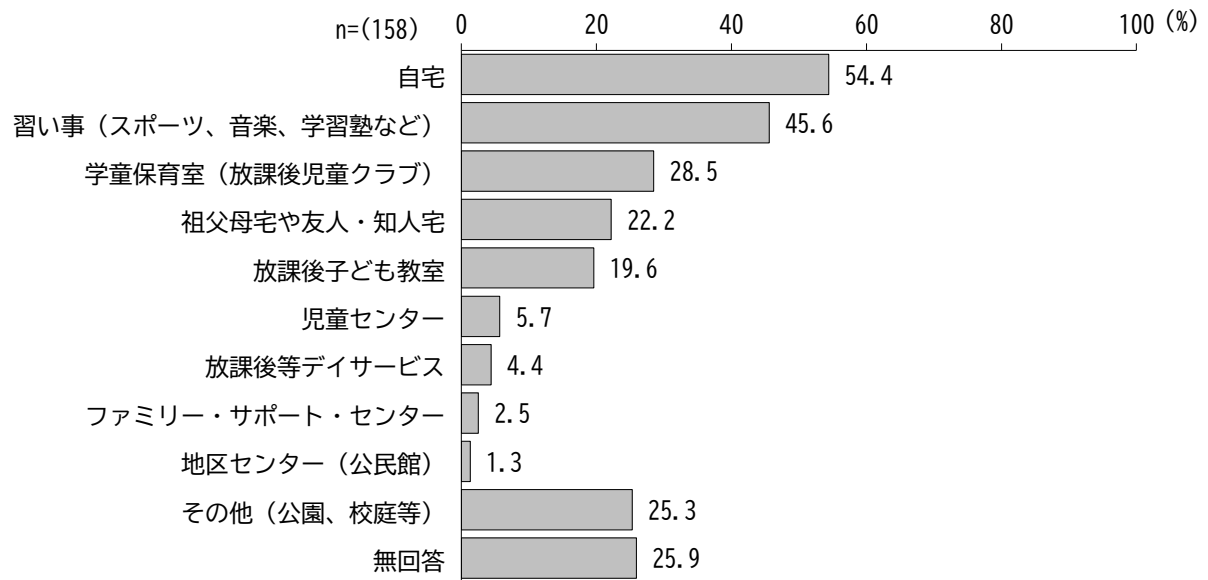
放課後子ども教室の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後5時まで」37.1%、「午後6時まで」31.4%となっている。



小学校高学年（4～6年生）時

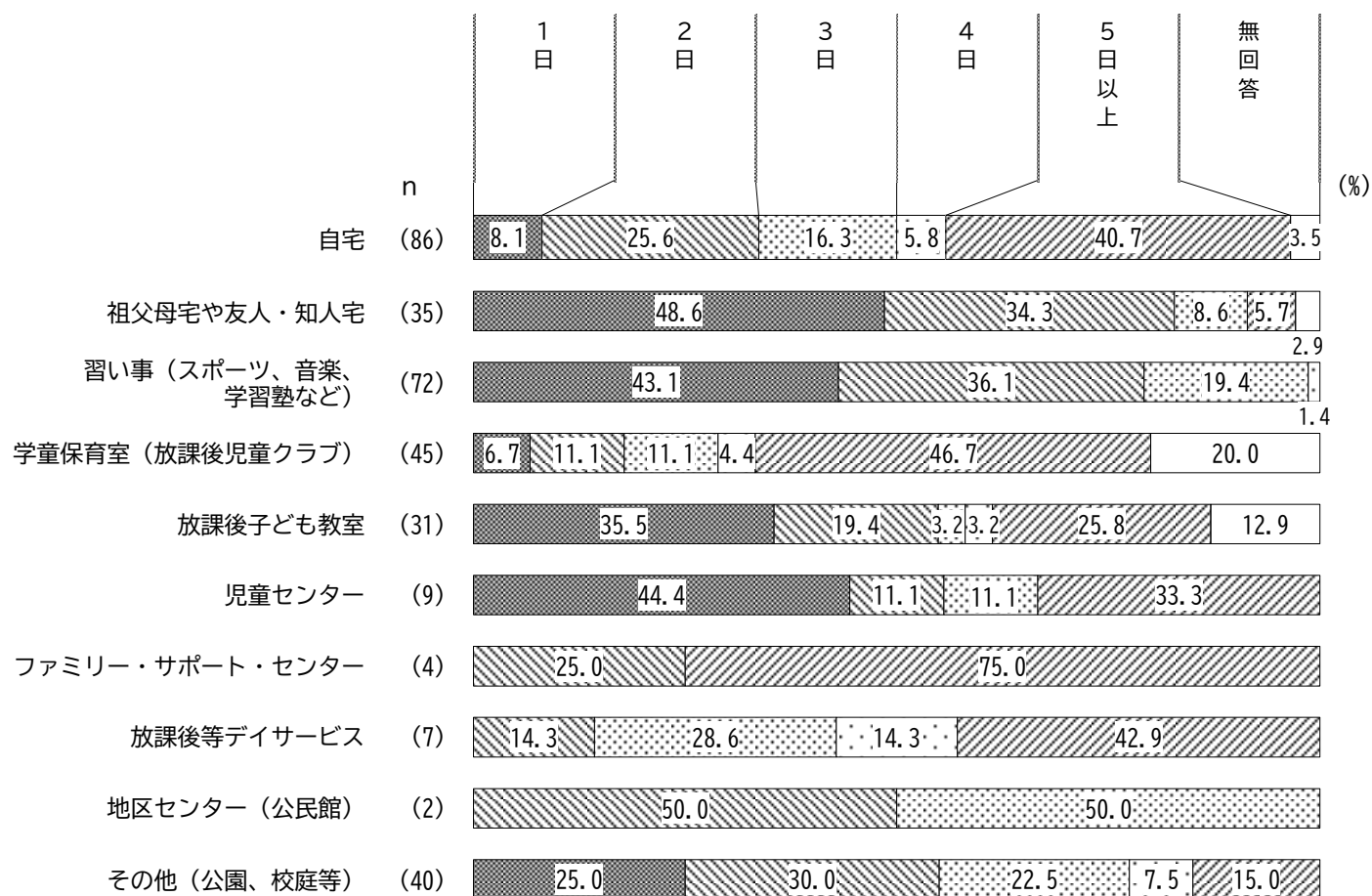
◆過ごさせたい場所

高学年の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が54.4%と最も高く、次いで「習い事（スポーツ、音楽、学習塾など）」45.6%、「学童保育室（放課後児童クラブ）」28.5%などとなっている。



◆過ごさせたい日数/週

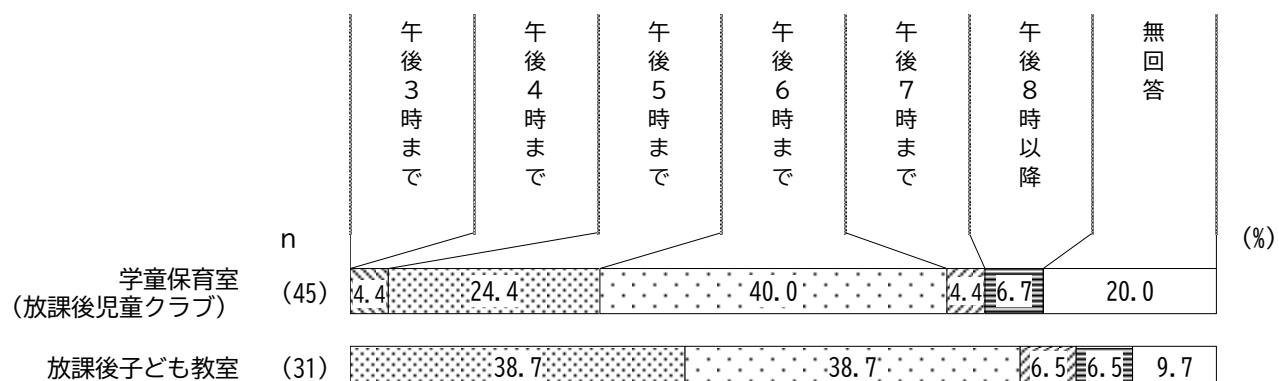
過ごさせたい日数/週は、1日が「祖父母宅や友人・知人宅」で48.6%、「習い事」で43.1%と高くなっている。



◆学童保育室(放課後児童クラブ)・放課後子ども教室の希望利用時間

学童保育室(放課後児童クラブ)の希望利用終了時刻は、(下校時間から)「午後6時まで」40.0%、「午後5時まで」24.4%となっている。

放課後子ども教室の希望利用終了時刻は、(下校時間から)「午後5時まで」と「午後6時まで」が38.7%となっている。

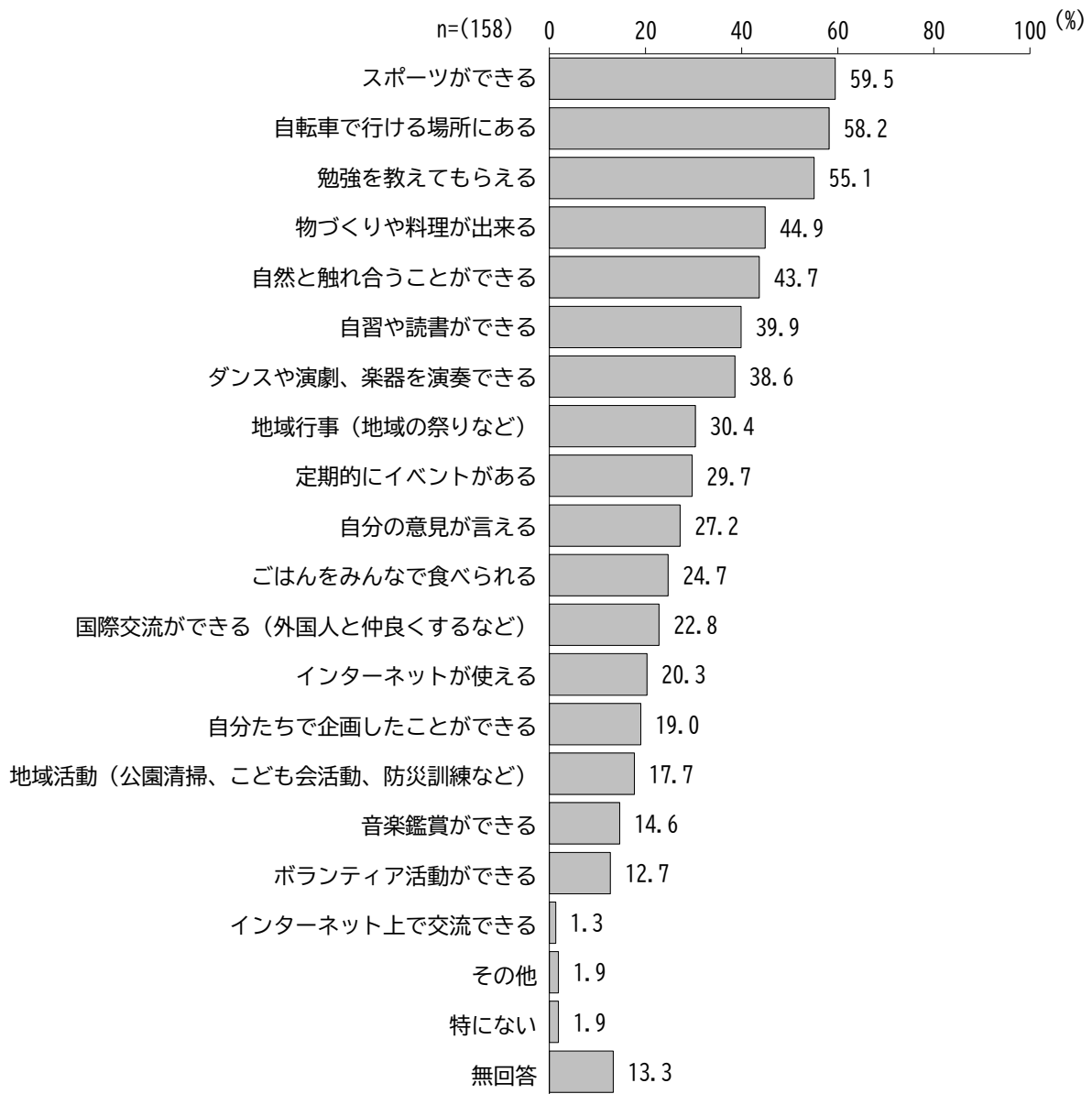


(2) こどもが過ごしたいと思うような場所

【宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。5歳未満の方は、問26へ】

問25 こどもが過ごす場所として、どのような場所であればこどもは利用すると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

こどもが利用すると思う場所は、「スポーツができる」が59.5%と最も高く、次いで「自転車でいける場所にある」58.2%、「勉強を教えてもらえる」55.1%などとなっている。



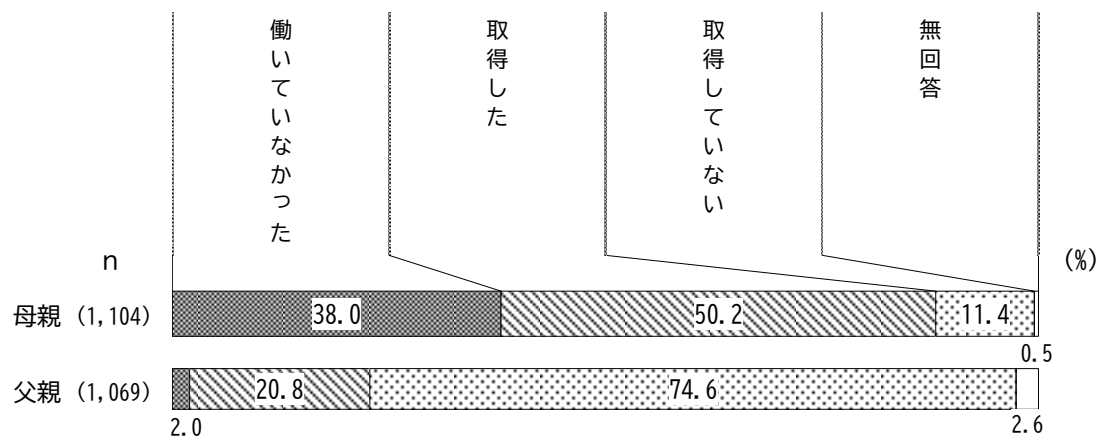
10. 育児休業の取得について

(1) 育児休業の取得状況

問26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、該当する理由に○をつけてください。

◆育児休業の取得状況

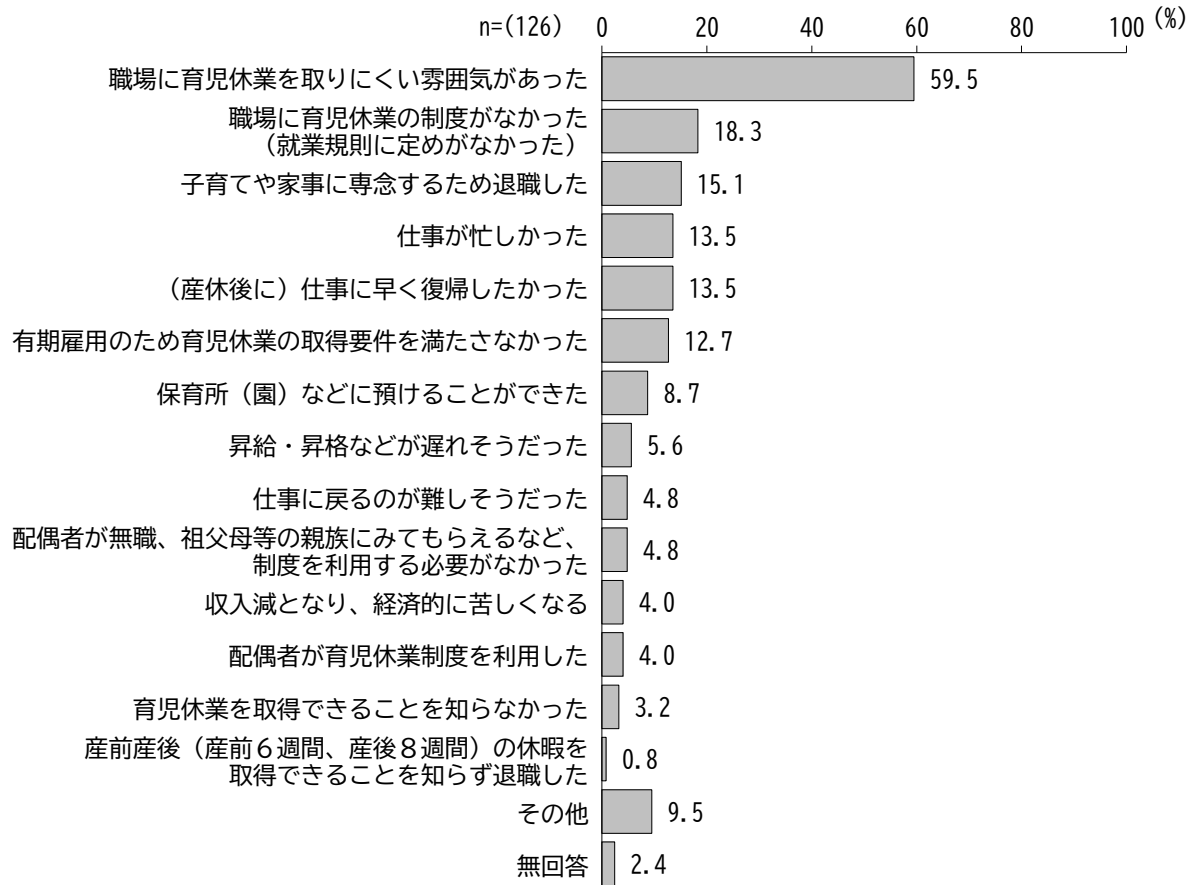
母親の育児休業取得の状況は、「取得した」50.2%、「働いていなかった」38.0%となっている。
父親の育児休業取得の状況は「取得していない」74.6%、「取得した（取得中である）」20.8%となっている。



◆取得していない理由

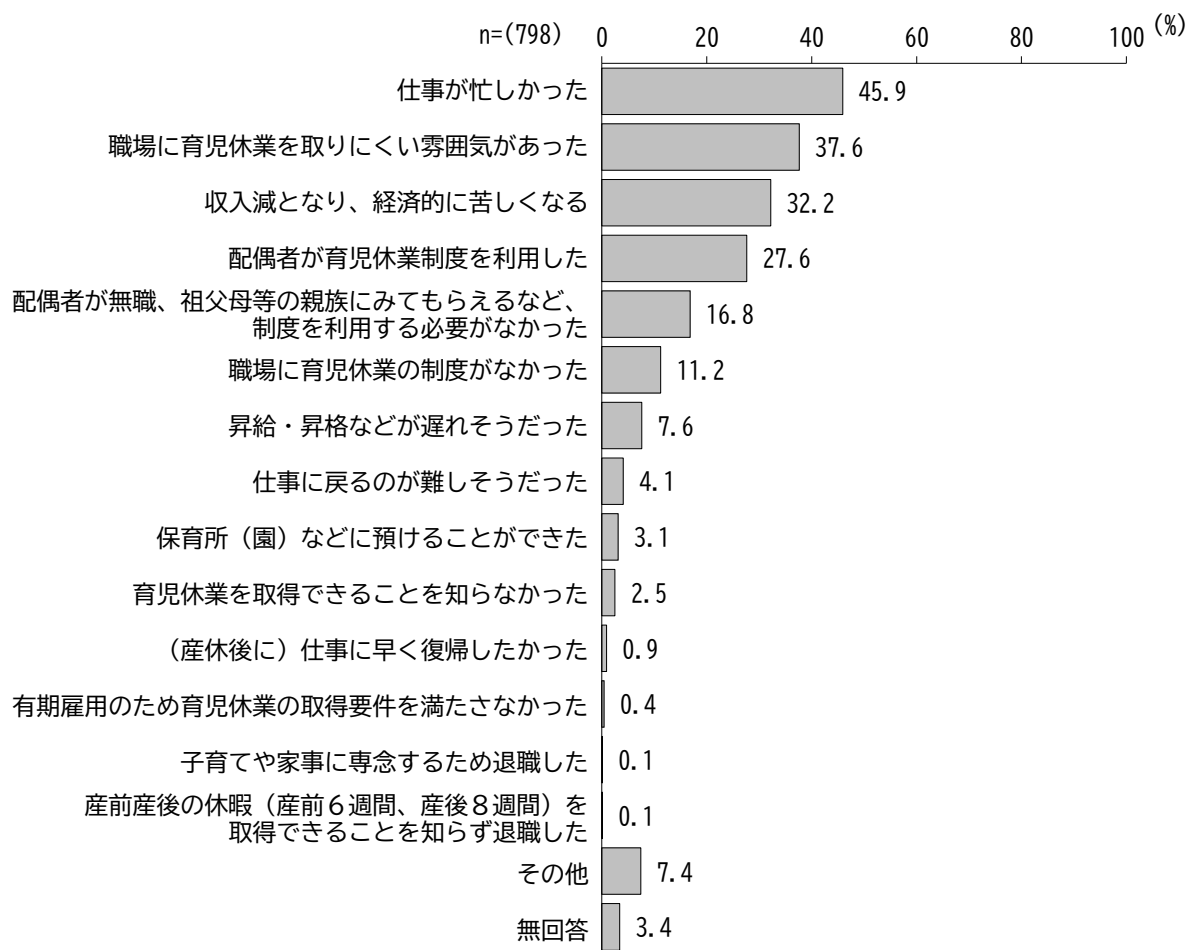
母親

母親の取得していない理由は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が59.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」18.3%、「子育てや家事に専念するため退職した」15.1%などとなっている。



父親

父親の取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が45.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」37.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」32.2%などとなっている。



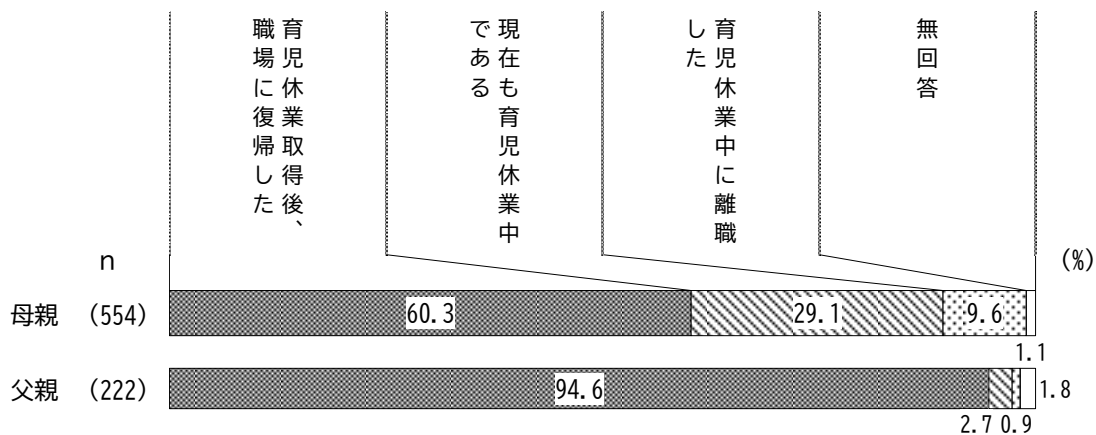
(2) 育児休業取得後の状況

【問26で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は問25へお進みください。】

問26-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の育児休業取得後の復帰の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」60.3%、「現在も育児休業中である」29.1%となっている。

父親の育児休業取得後の復帰の状況は「育児休業取得後、職場に復帰した」94.6%、「現在も育児休業中である」2.7%となっている。



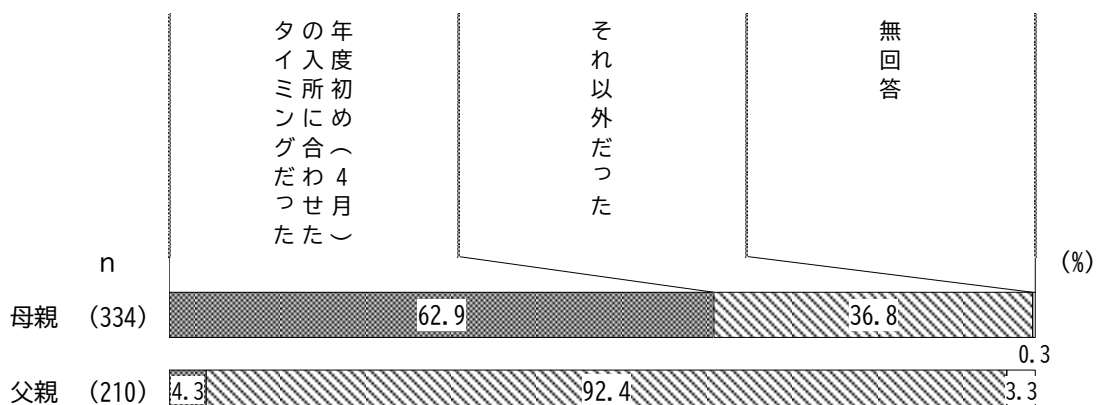
(3) 職場復帰のタイミング

【問26-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。】

問26-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め（4月）の保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の復帰のタイミングは、「年度初め(4月)の入所に合わせたタイミングだった」62.9%、「それ以外だった」36.8%となっている。

父親の復帰のタイミングは「それ以外だった」92.4%、「年度初め(4月)の入所に合わせたタイミングだった」4.3%となっている。

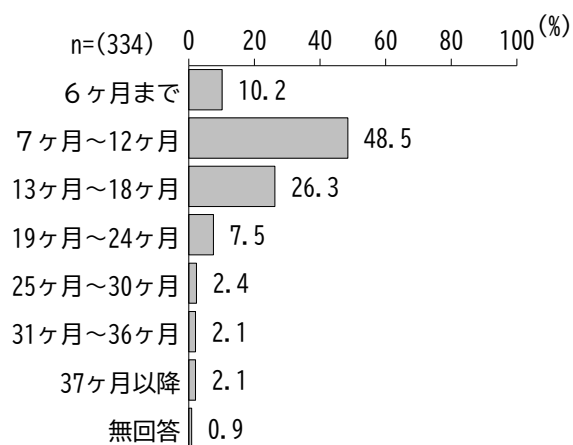


(4) 育児休業からの復帰時期

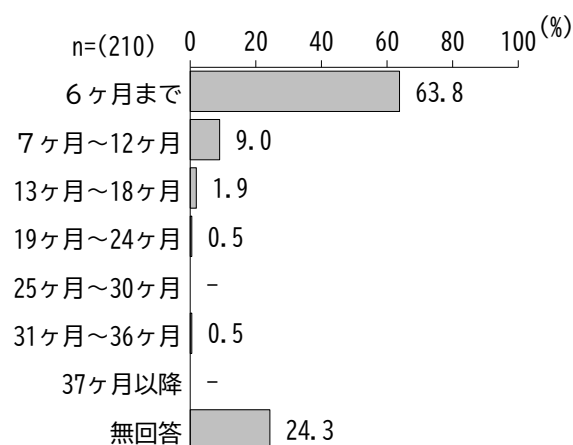
問26-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月の時まで取りたかったですか。
□内に数字でご記入ください。

◆実際

母親

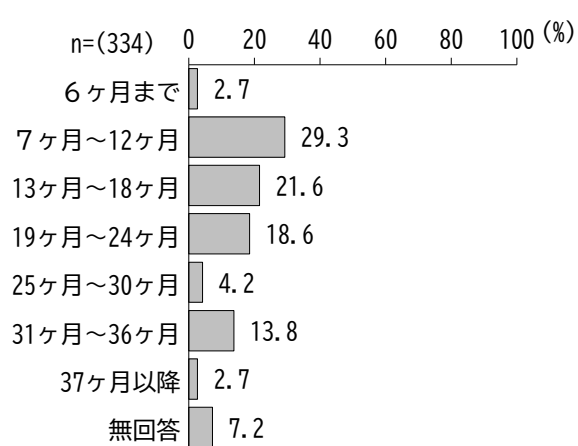


父親

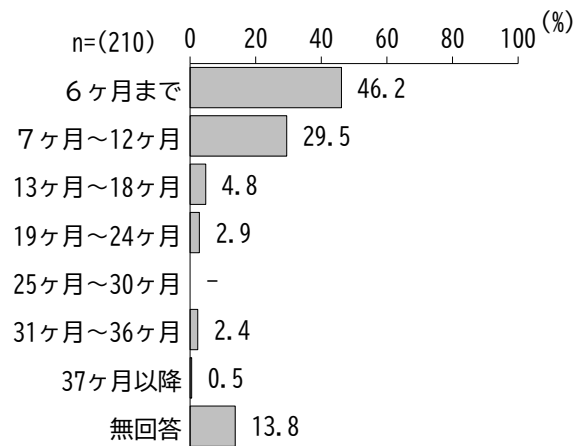


◆希望

母親



父親



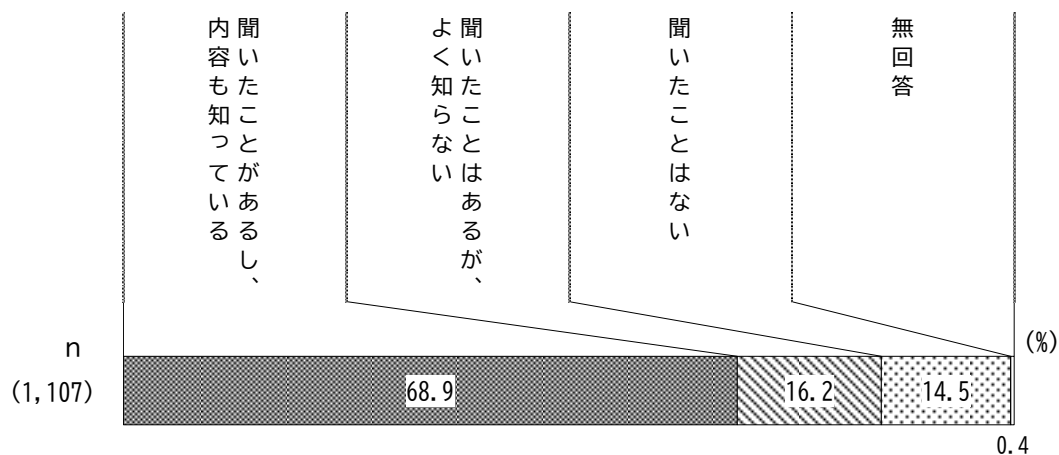
11. 「ヤングケアラー」の認知度について

(1) ヤングケアラーという言葉を知った経験

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。当てはまる番号1つに○を付けて下さい。

※本来ならば大人が担うと想定されているような家事や家族の世話、介護を日常的に行っているこどものこと

「ヤングケアラー」の認知は、「聞いたことがあるし、内容も知っている」が68.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」16.2%、「聞いたことはない」14.5%となっている。

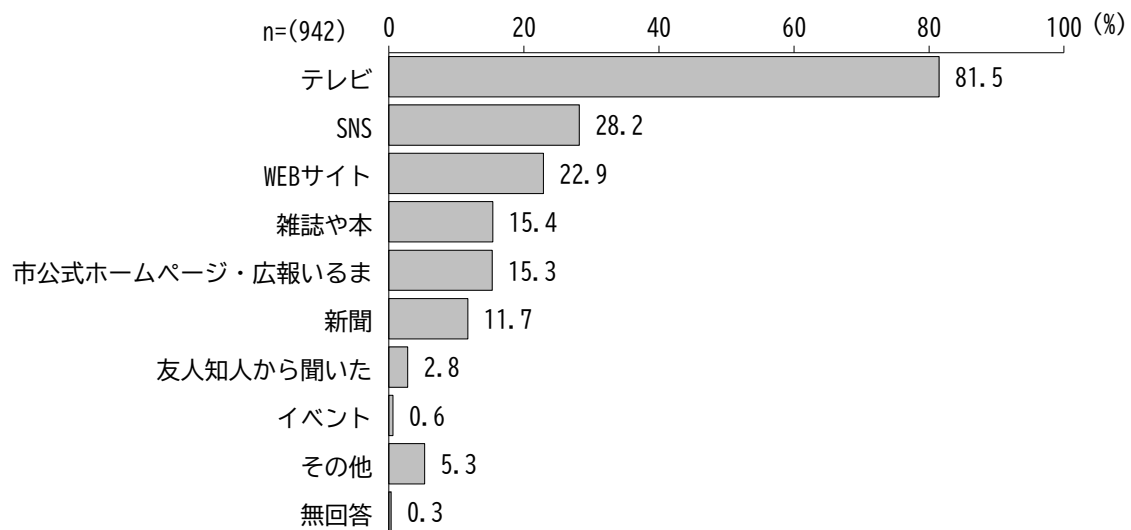


(2) ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ

【前問で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。】

問27-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ヤングケアラー」を知ったきっかけは、「テレビ」が81.5%と最も高く、次いで「SNS」28.2%、「WEBサイト」22.9%などとなっている。

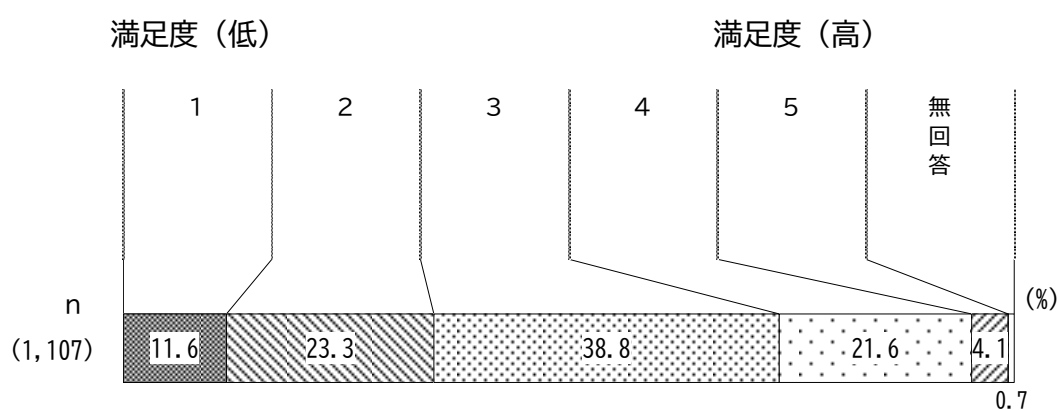


12. 子育ての環境や支援について

(1) 地域の子育て環境や支援への満足度

問28 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度は、「3」が38.8%と最も高く、次いで「2」23.3%、「4」21.6%などとなっている。



(2) 子育ての環境や支援に関する自由記述

問29 教育・保育事業の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、今後の参考とさせていただきますので、ご自由にご記入ください。

教育保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してたずねたところ、594人から805件の記述があった。内容を分類すると次のとおりとなる。2つ以上の内容を記述している場合、重複カウントのため、件数は延べ件数となる。

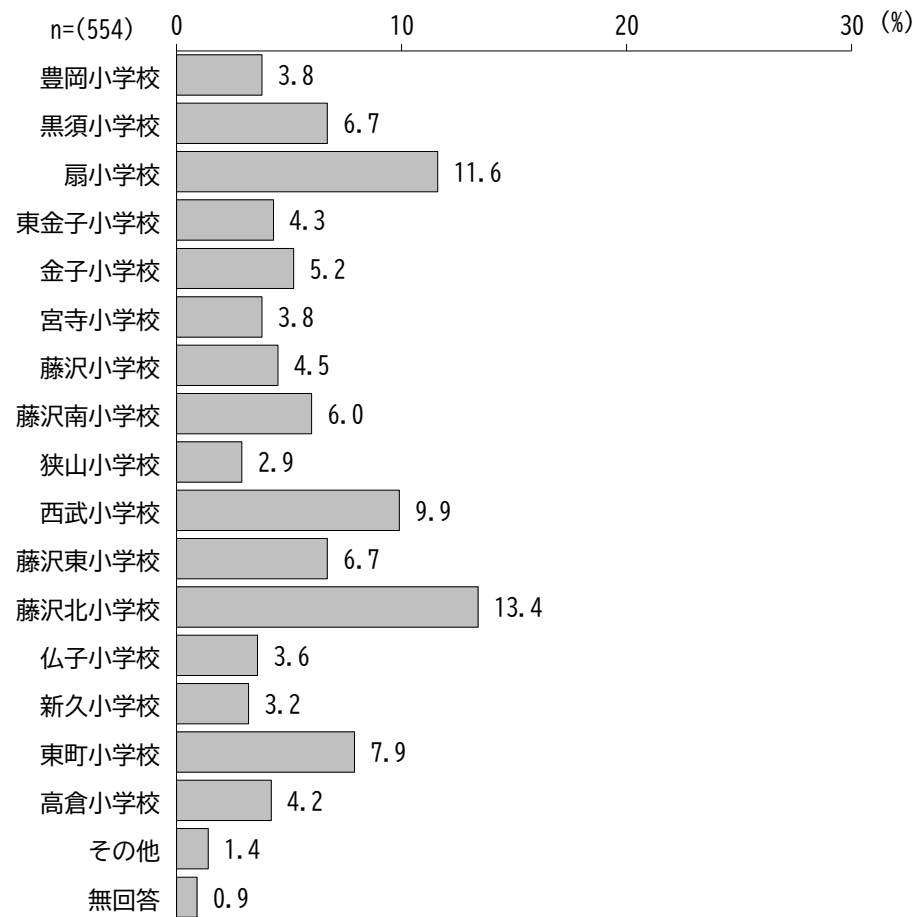
内容	件数
子育ての環境や支援について	224
保育園や保育所等の教育・保育事業について	176
医療・病気の際の対応について	81
保護者の就労と子育てについて	56
行政の手続きや対応、制度等について	49
小学校就学後の過ごし方、学童について	40
子育てに関する情報について	35
不定期の一時預かり等の利用について	35
子育て支援センターについて	26
育児休業について	6
その他	77
計	805

第3章 就学児調査結果

1. 回答者および対象児童の属性

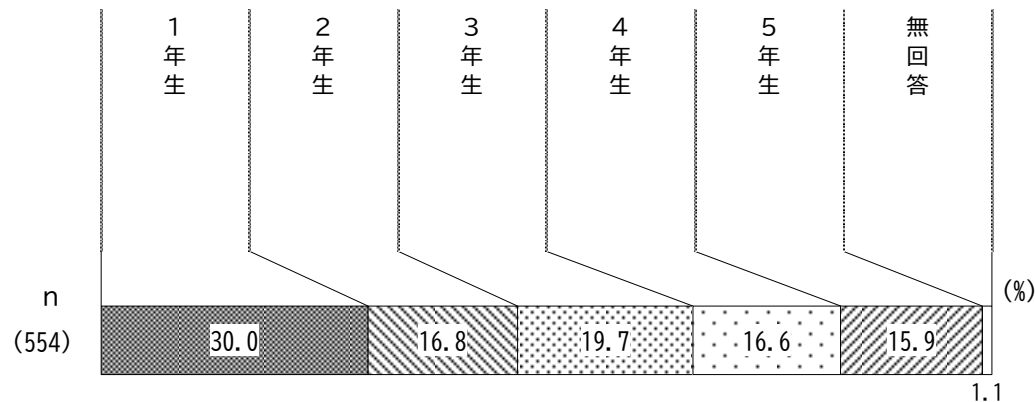
(1) こどもの学年

問1 お子さんが通われている小学校名、学年をご記入ください。



◆学年

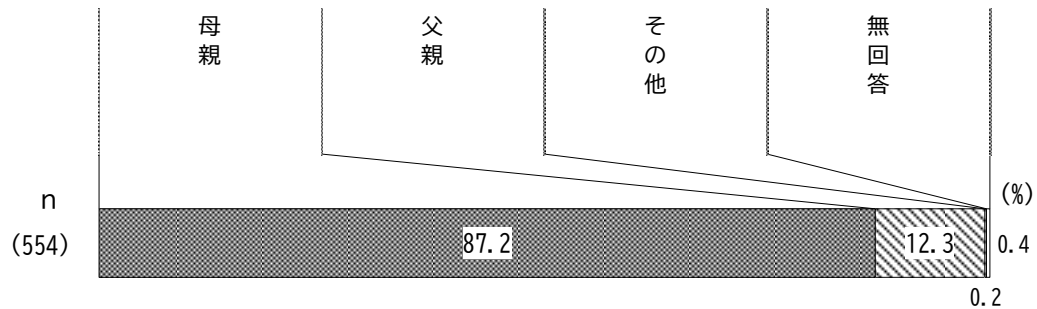
こどもの学年は、「1年生」30.0%、「2年生」16.8%、「3年生」19.7%、「4年生」16.6%、「5年生」15.9%となっている。



(2) 調査票の回答者

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

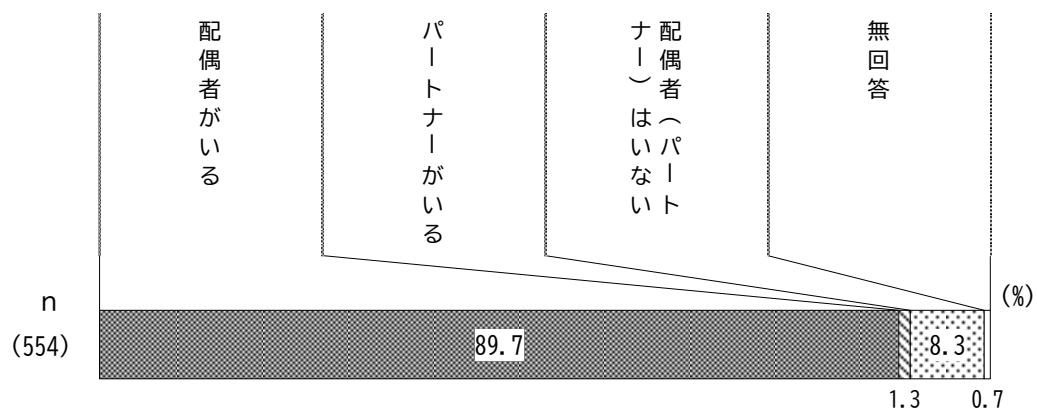
調査票の回答者は、「母親」87.2%、「父親」12.3%となっている。



(3) 回答者の配偶関係

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問2で「その他」と回答した方は回答不要です)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」89.7%、「配偶者（パートナー）はいない」8.3%などとなっている。

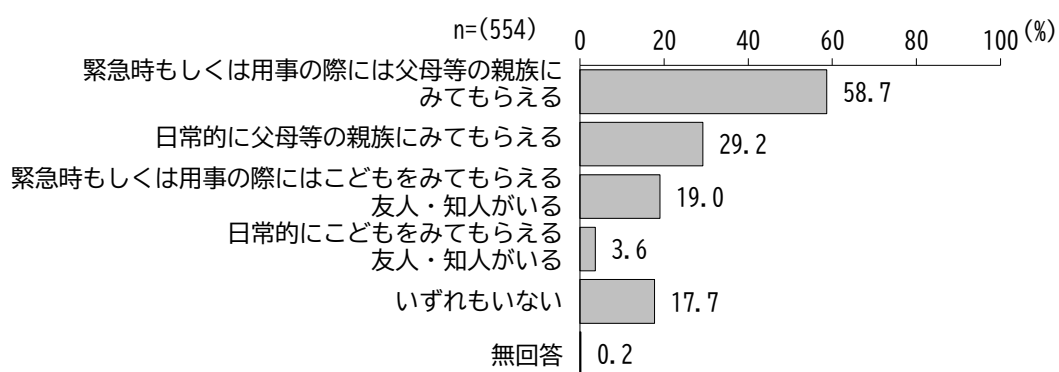


2. こどもの育ちをめぐる環境について

(1) 日頃、こどもをみてもらえる親族・知人

問4 日頃、宛名のお子さんの看病や世話などをみてもらえる親族・知人はいますか。ご記入いただいている方から見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

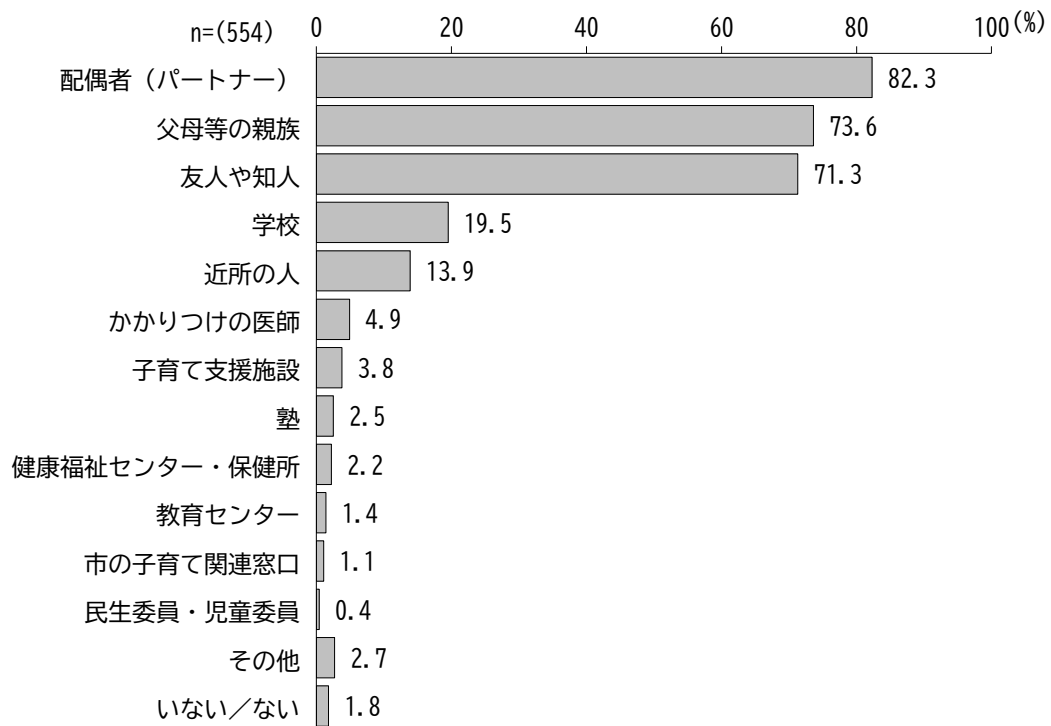
日頃、こどもの看病や世話などをみてもらえる親族・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には父母等の親族にみてもらえる」が 58.7%と最も高く、次いで「日常的に父母等の親族にみてもらえる」29.2%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」19.0%などとなっている。



(2) 子育てを気軽に相談できる人・施設

問5 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。ご記入いただいている方からみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して気軽に相談できる人・施設は、「配偶者（パートナー）」が 82.3%と最も高く、次いで「父母等の親族」73.6%、「友人や知人」71.3%などとなっている。



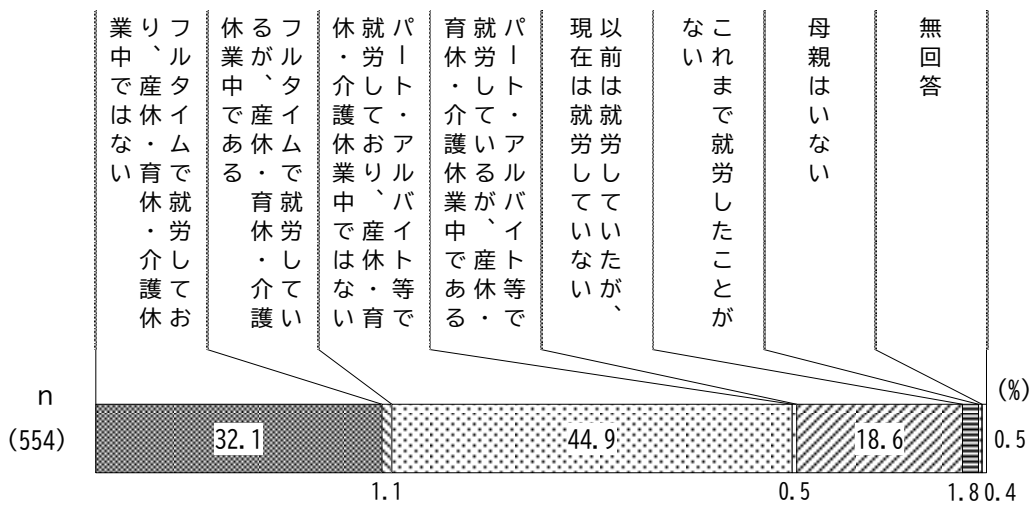
3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の現在の就労状況

問6 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

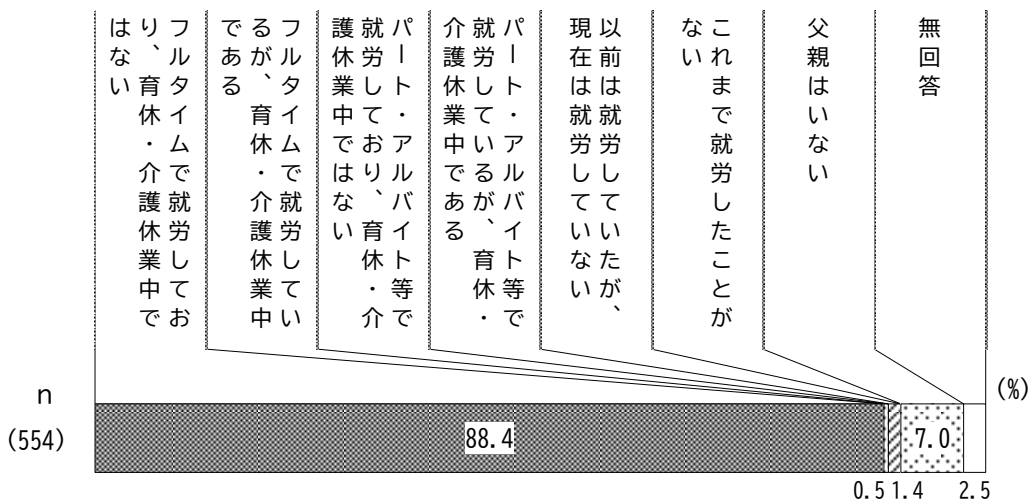
母親

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 44.9%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」32.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」18.6%などとなっている。



父親

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 88.4%と最も高くなっている。



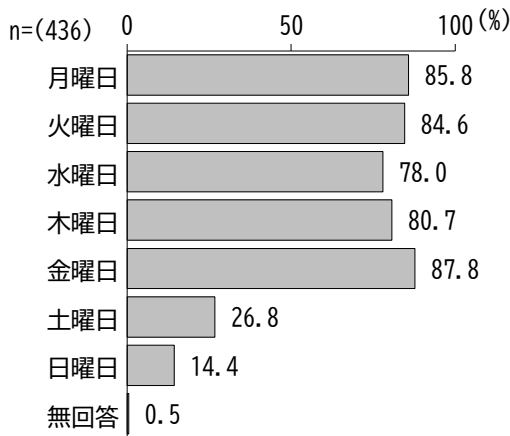
(2) 一週間の就労状況

問6-1 一週間の就労状況についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、就労する曜日が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

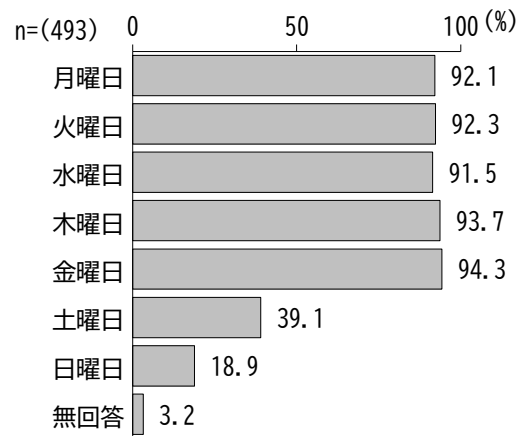
◆勤務曜日

母親の一週間の就労状況は、「月曜日」から「金曜日」の平日が9割弱、父親の一週間の就労状況は、「月曜日」から「金曜日」の平日が約9割となっている。

母親

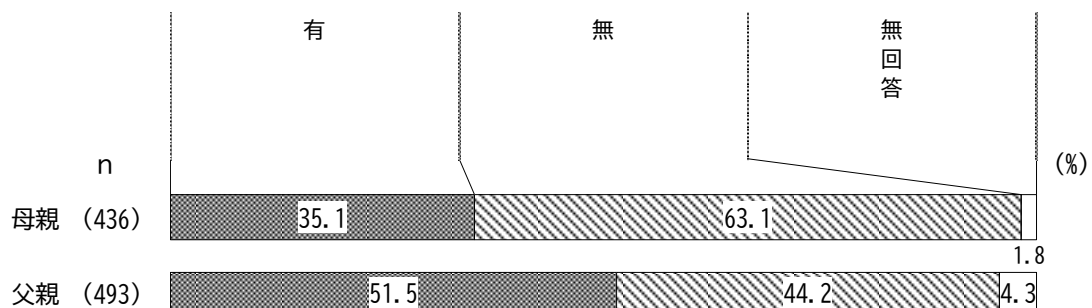


父親



◆祝日の勤務

祝日の勤務「有」は、母親35.1%、父親51.5%となっている。

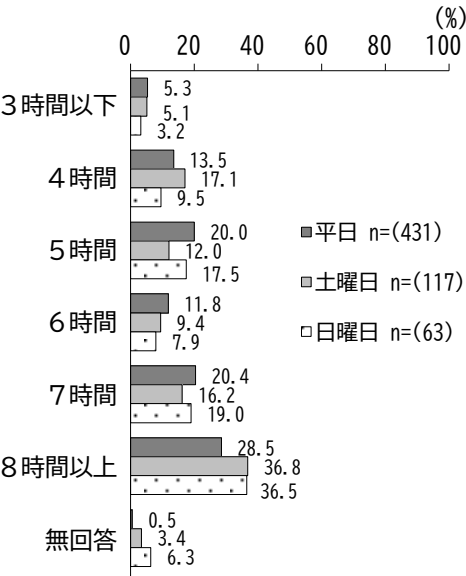


(3) 1日あたりの就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻

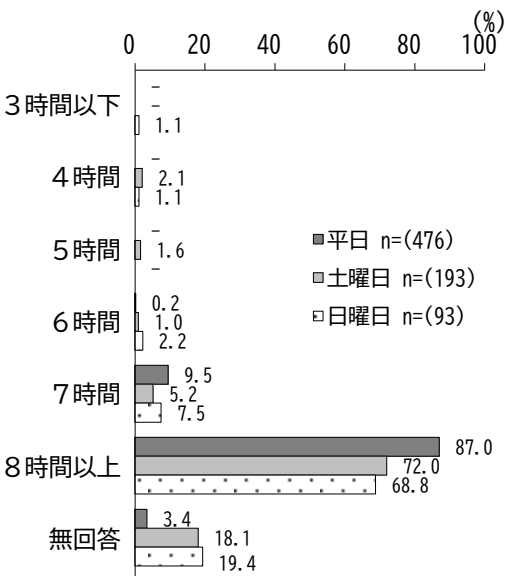
問6-2 1日あたりの「就労時間（残業時間含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」を□内に具体的な数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず24時間制でご記入ください。

◆ 1日の就労時間

母親

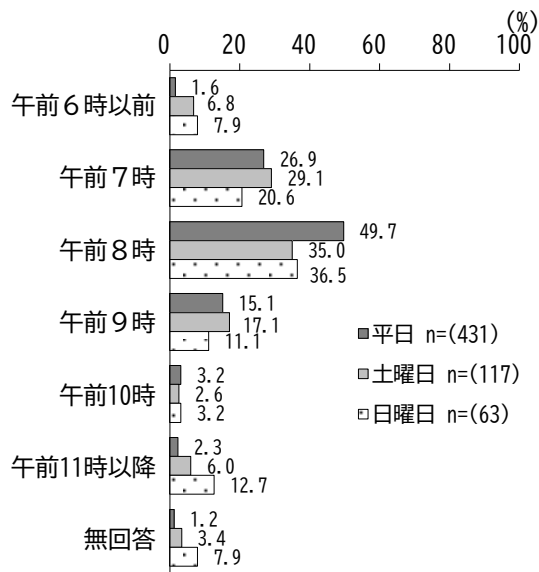


父親

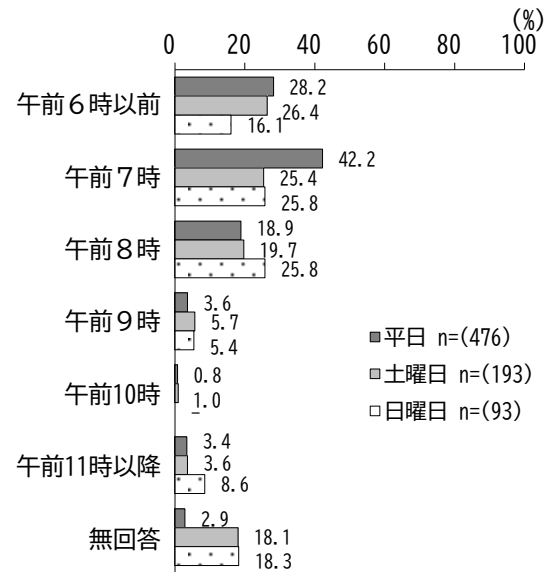


◆家を出る時刻（自宅勤務の場合は開始時刻）

母親

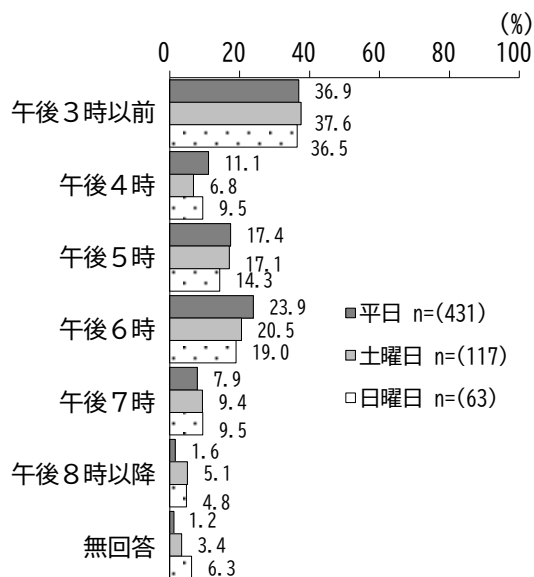


父親

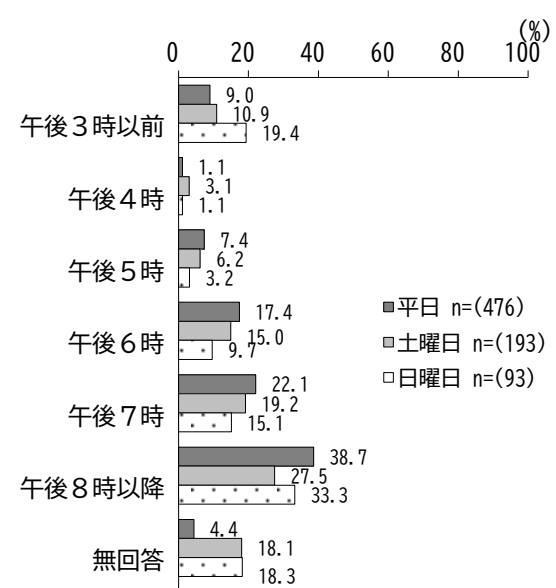


◆帰宅時刻（自宅勤務の場合は終業時刻）

母親



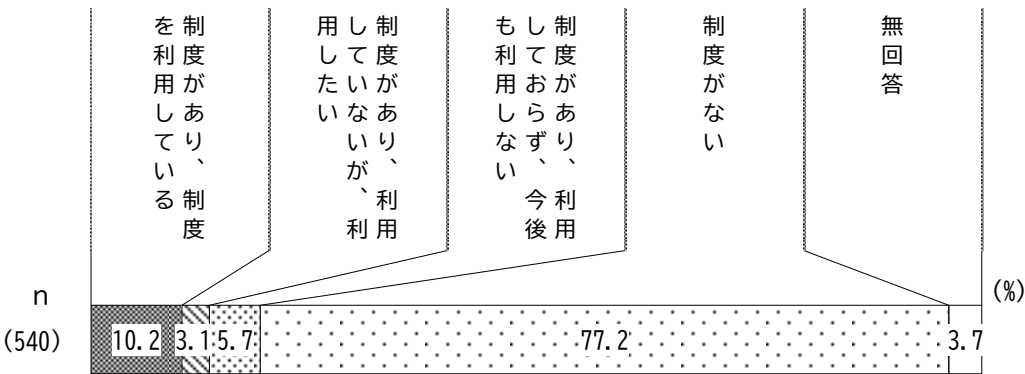
父親



(4) テレワークの状況

問7 宛名のお子さんの保護者の現在のテレワーク状況をうかがいます。テレワーク（在宅）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

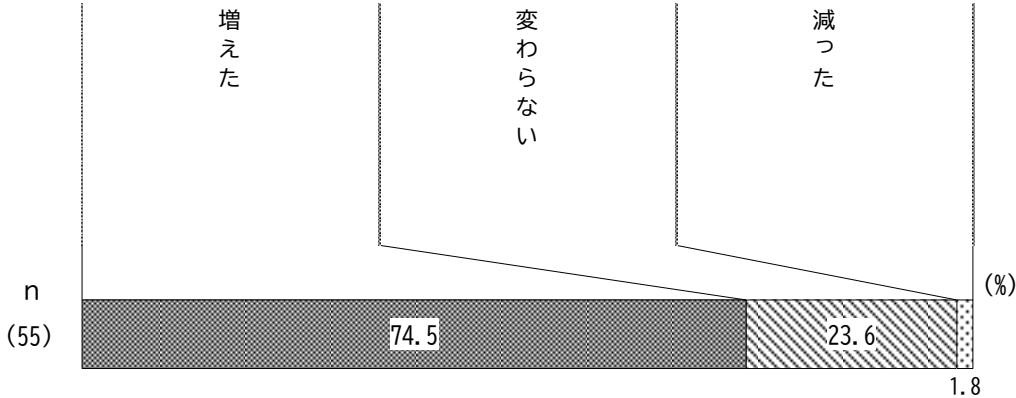
テレワークの利用状況は、「制度がない」が77.2%と最も高く、次いで「制度があり、制度を利用している」10.2%などとなっている。



(5) テレワーク期間中、こどもと過ごす時間の変化

【問7で「制度があり、制度を利用している」に○をつけた方にうかがいます。】
問7-1 テレワーク（在宅）期間中、こどもと過ごす時間は変わりましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

テレワーク（在宅）期間中のこどもと過ごす時間の変化は、「増えた」74.5%、「変わらない」23.6%となっている。



(6) 未就労の保護者の就労意向

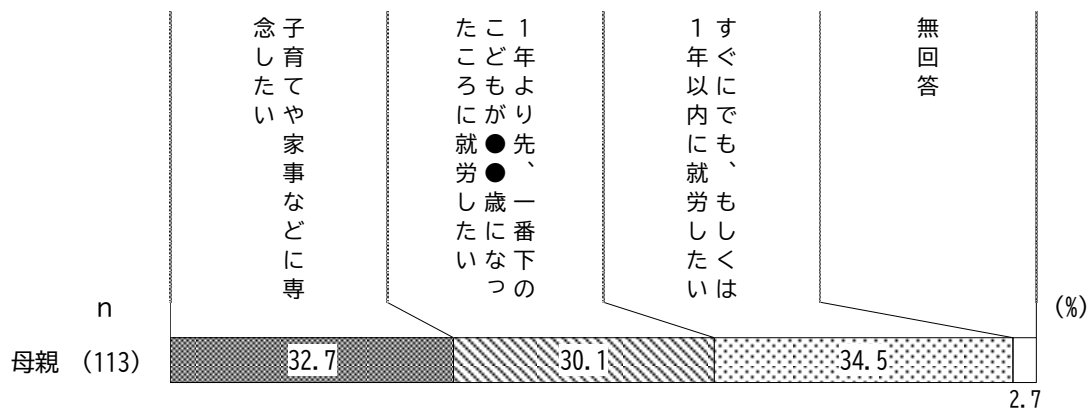
【問6の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問9へお進みください。】

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

母親

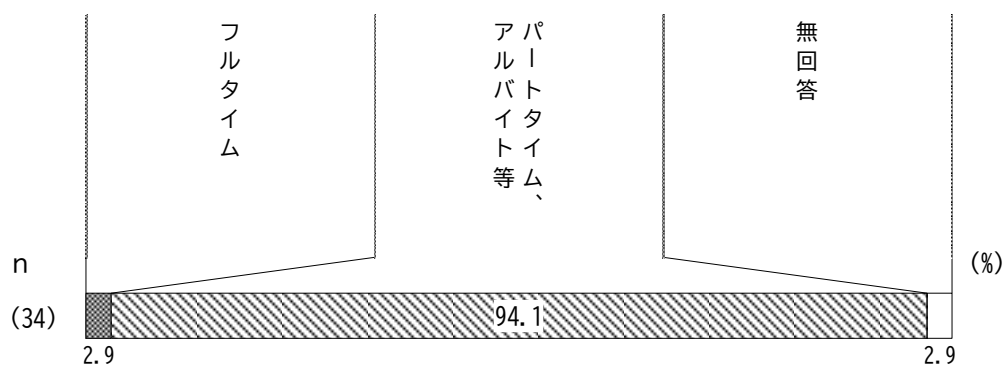
◆就労希望

母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が34.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい」32.7%、「1年より先、一番下のこどもが●●歳になったころに就労したい」30.1%となっている。



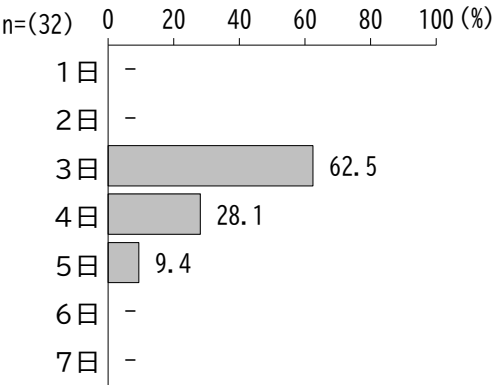
◆1年より先に就労したい人が希望する就労形態

1年より先に就労したい母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」94.1%、「フルタイム」2.9%となっている。



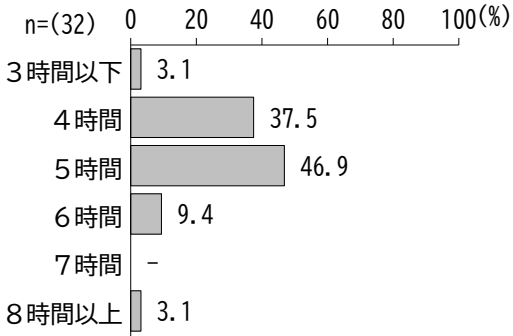
◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

母親の1週あたりの希望就労日数は、「3日」が62.5%と最も高く、次いで「4日」28.1%、「5日」9.4%となっている。



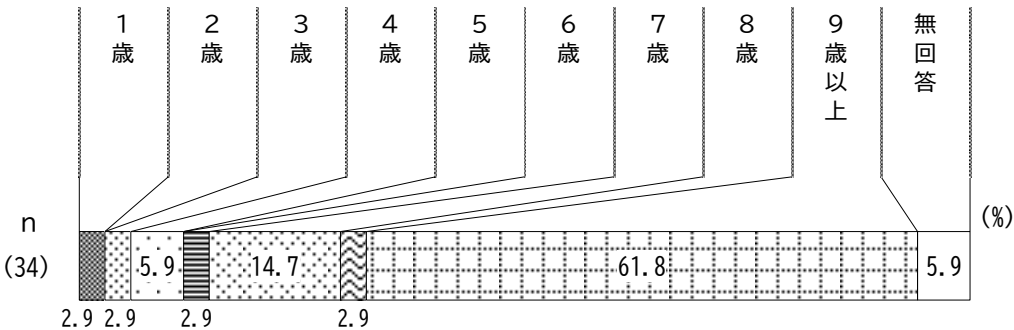
◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

母親の1日あたりの希望就労時間は、「5時間」が46.9%と最も高く、次いで「4時間」37.5%、「6時間」9.4%などとなっている。



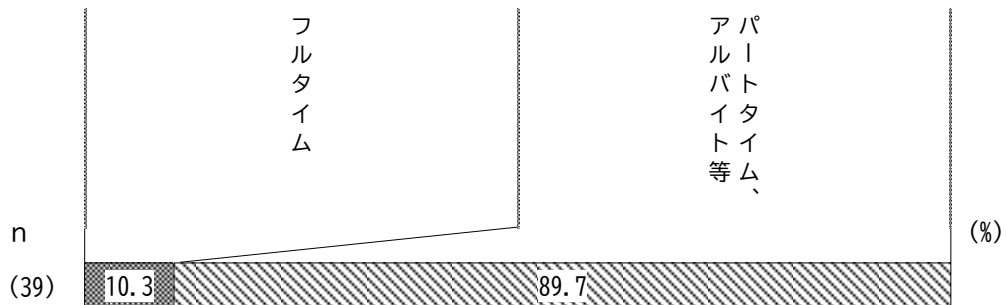
◆一番下のこどもが何歳になったら就労したいか

母親の就労希望・こどもの年齢は、「9歳以上」が61.8%と最も高く、次いで「7歳」14.7%、「4歳」5.9%などとなっている。



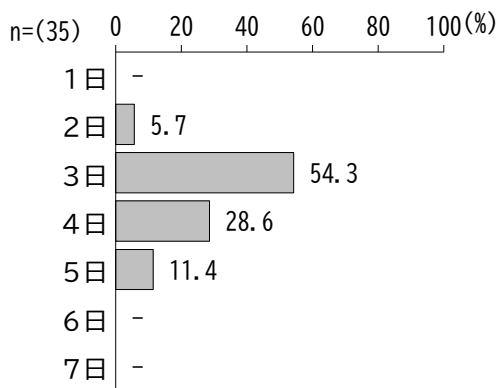
◆すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人が希望する就労形態

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が89.7%と最も高く、「フルタイム」10.3%となっている。



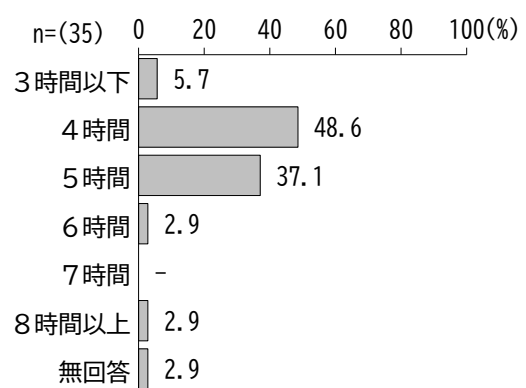
◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

母親の1週あたりの希望就労日数は、「3日」が54.3%と最も高く、次いで「4日」28.6%、「5日」11.4%などとなっている。



◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

母親の1日あたりの希望就労時間は、「4時間」が48.6%と最も高く、次いで「5時間」37.1%、「3時間以下」5.7%などとなっている。



父親

◆就労希望

父親の就労希望は、8人中「子育てや家事などに専念したい」が3人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3人となっている。

◆1年より先に就労したい人が希望する就労形態

※回答者なし

◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

※回答者なし

◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

※回答者なし

◆一番下のこどもが何歳になったら就労したいか

※回答者なし

◆1年以内に就労したい人の就労形態

父親の希望する就労形態は、3人中「フルタイム」が2人、「パートタイム、アルバイト等」が1人となっている。

◆希望するパート・アルバイトの就労日数/週

父親の1週あたりの希望就労日数は、1人中「3日」が1人となっている。

◆希望するパート・アルバイトの就労時間/日

父親の1週あたりの希望就労時間は、1人中「4時間」が1人となっている。

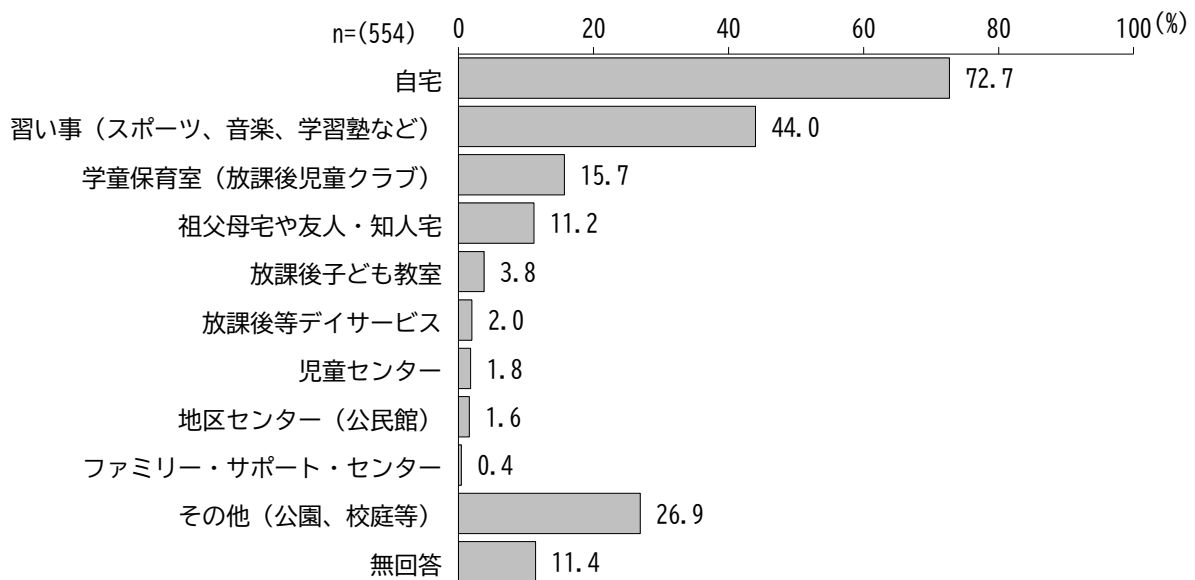
4. こどもの放課後の過ごし方、居場所について

(1) 放課後の過ごし方

問9 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」及び「放課後子ども教室」の場合は、利用している時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず24時間制でご記入ください。

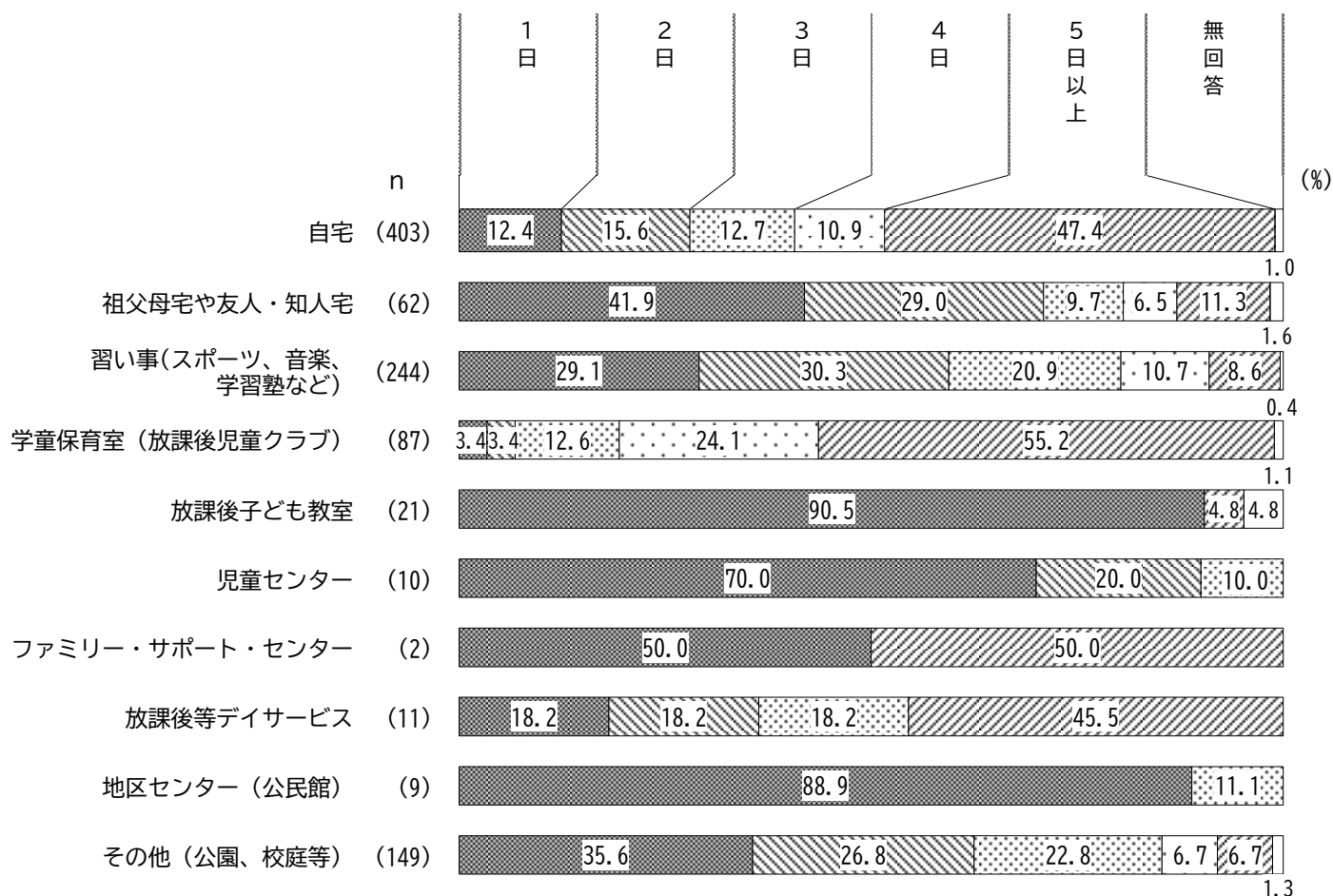
◆過ごしている場所（現在）

放課後の過ごし方は、「自宅」が72.7%と最も高く、次いで「習い事」44.0%、「学童保育室（放課後児童クラブ）」15.7%などとなっている。



◆過ごしている日数/週

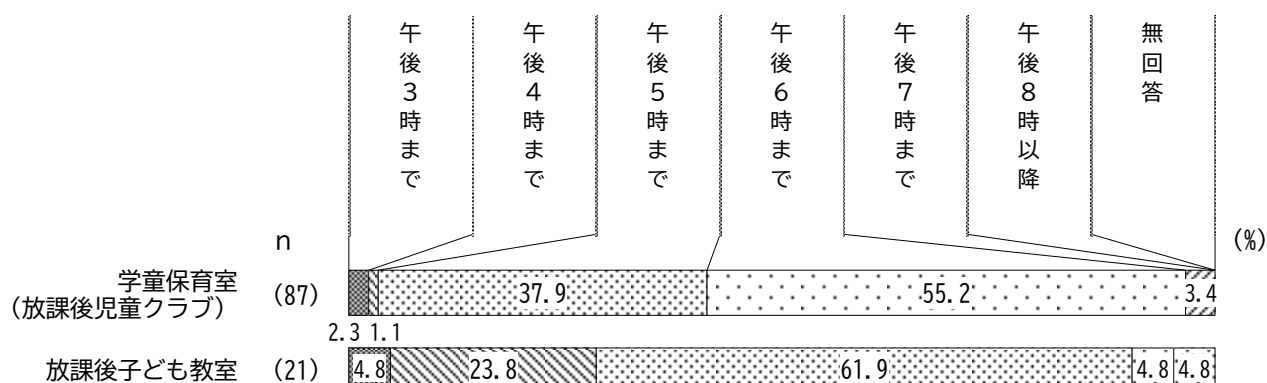
過ごしている日数/週は、1日が「放課後子ども教室」で90.5%と最も高くなっている。



◆学童保育室(放課後児童クラブ)・放課後子ども教室の希望利用時間

学童保育室(放課後児童クラブ)の希望利用終了時刻は、(下校時間から)「午後6時まで」55.2%「午後5時まで」37.9%となっている。

放課後子ども教室の希望利用終了時刻は、(下校時間から)「午後5時まで」61.9%、「午後4時まで」23.8%となっている。

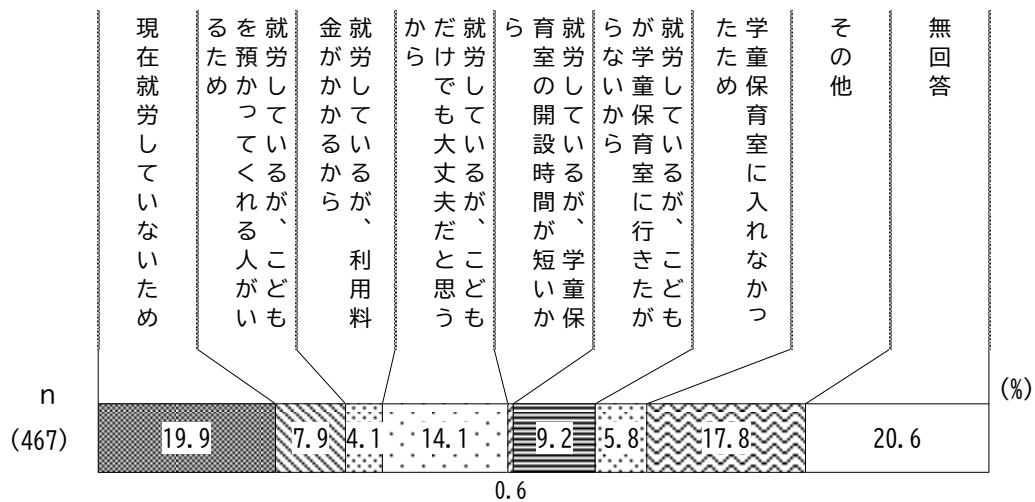


(2) 学童保育室を利用していない理由

【問9で「学童保育室」に○をつけなかった方にうかがいます。】

問10 利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○につけてください。

学童保育室を利用していない理由は、「現在就労していないため」が19.9%と最も高く、次いで「就労しているが、こどもだけでも大丈夫だと思うから」14.1%、「就労しているが、こどもが学童保育室に行きたがらないから」9.2%などとなっている。



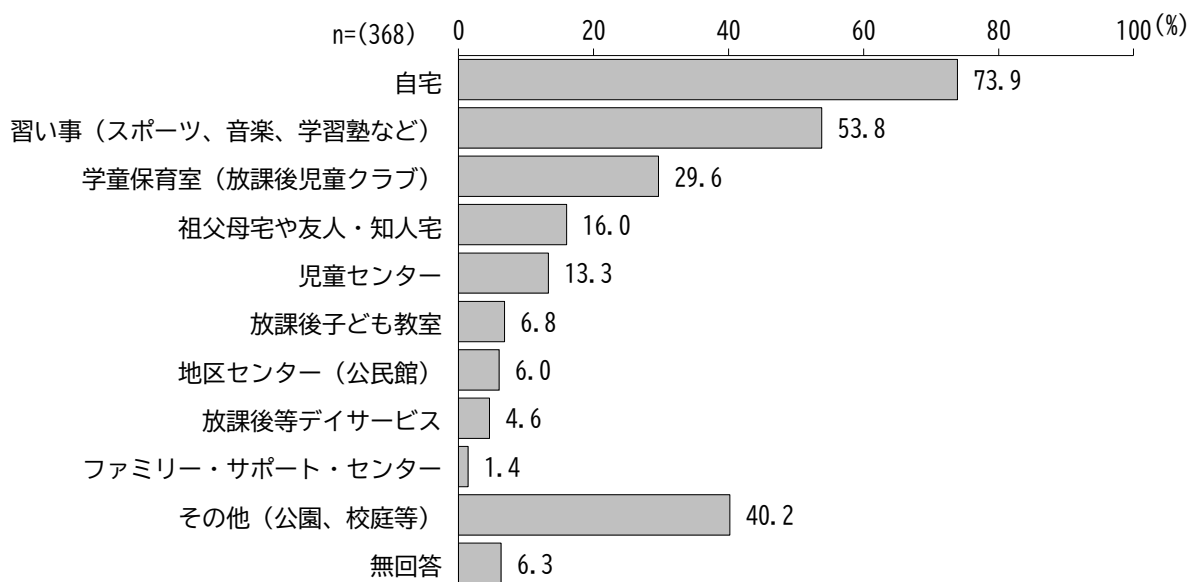
(3) こどもの放課後の過ごし方の希望

問11 放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）になった場合について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。また「学童保育室」及び「放課後子ども教室」の場合は、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）時

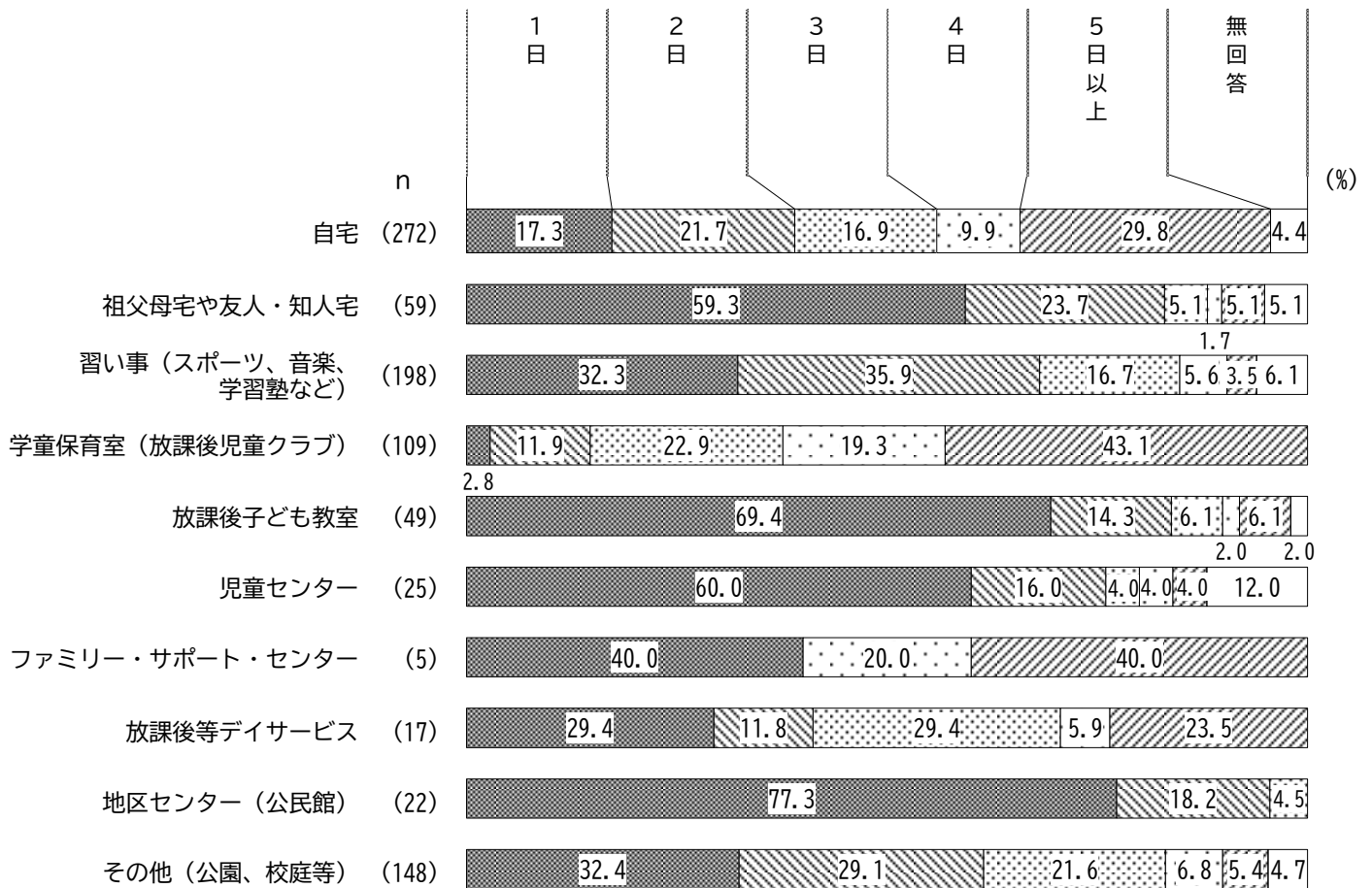
◆過ごさせたい場所（希望）

放課後過ごさせたい場所は、「自宅」が73.9%と最も高く、次いで「習い事」53.8%、「学童保育室（放課後児童クラブ）」29.6%などとなっている。



◆過ごさせたい日数/週（希望）

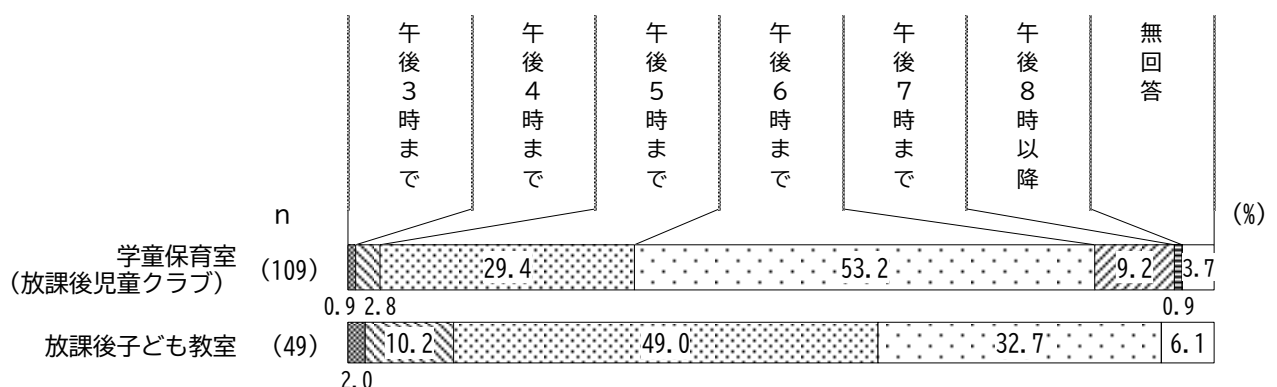
過ごさせたい日数/週は1日が「地区センター」で77.3%と最も高く、次いで「放課後子ども教室」69.4%、「児童センター」60.0%となっている。



◆学童保育室（放課後児童クラブ）・放課後子ども教室の希望利用時間

学童保育室（放課後児童クラブ）の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後6時まで」53.2%、「午後5時まで」29.4%となっている。

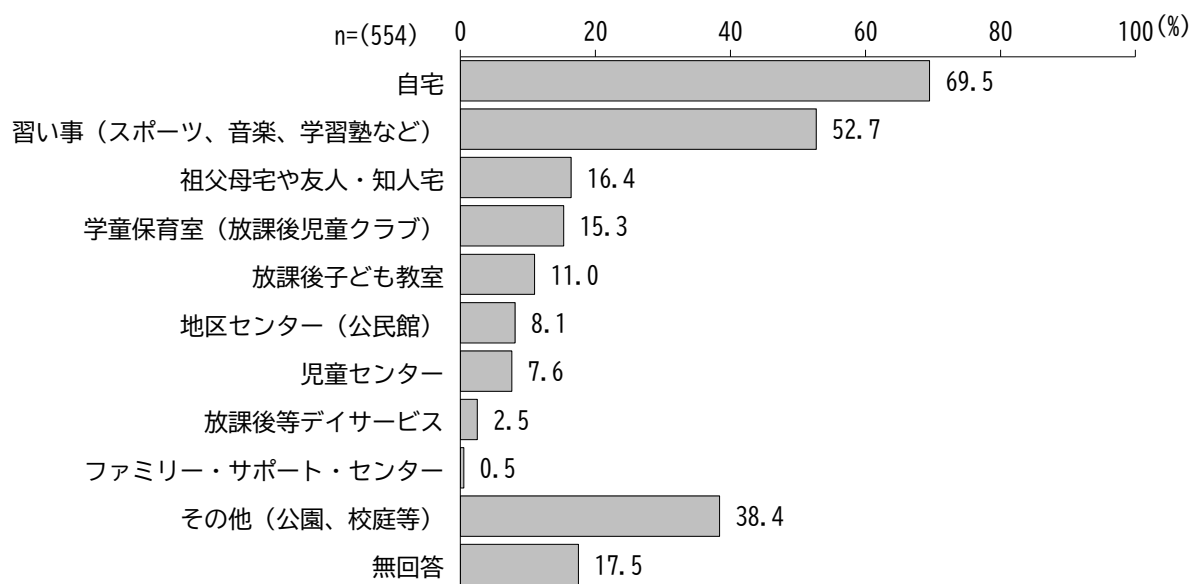
放課後子ども教室の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後5時まで」49.0%、「午後6時まで」32.7%となっている。



小学校高学年（4～6年生）時

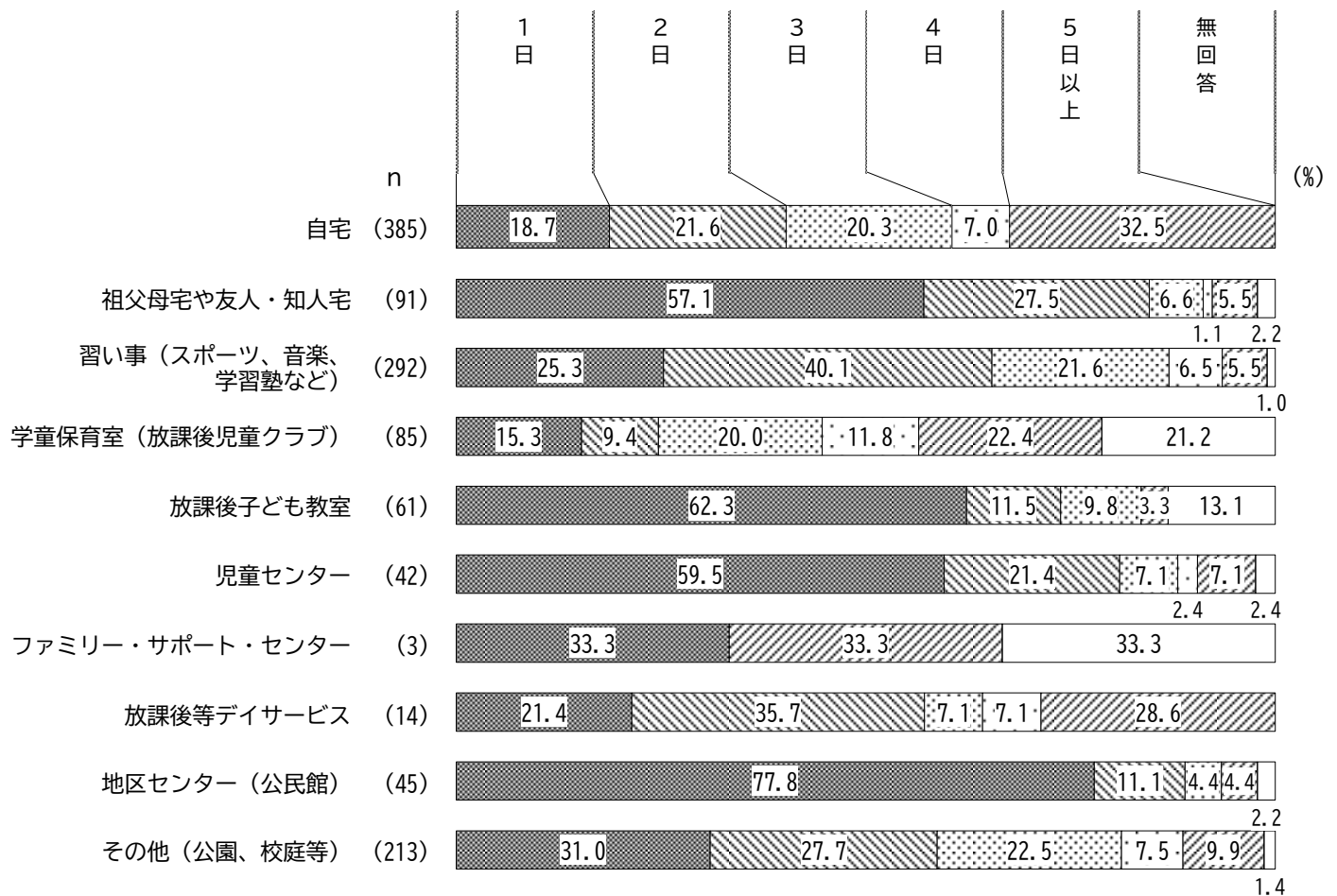
◆過ごさせたい場所（希望）

放課後過ごさせたい場所は、「自宅」が69.5%と最も高く、次いで「習い事（スポーツ、音楽、学習塾など）」52.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」16.4%などとなっている。



◆過ごさせたい日数（希望）

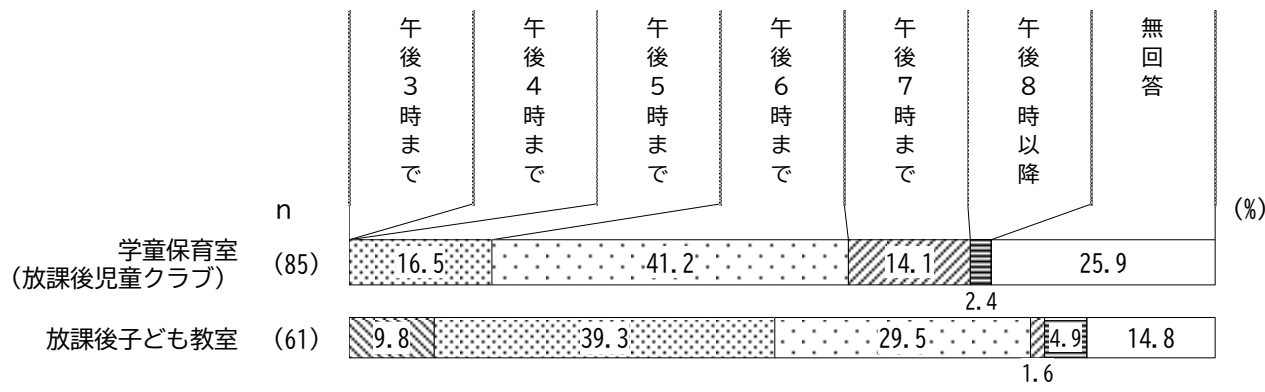
過ごさせたい日数は、1日が「地区センター」で77.8%と最も高く、次いで「放課後子ども教室」62.3%、「児童センター」59.5%となっている。



◆学童保育室（放課後児童クラブ）・放課後子ども教室の希望利用時間

学童保育室（放課後児童クラブ）の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後6時まで」41.2%、「午後5時まで」16.5%となっている。

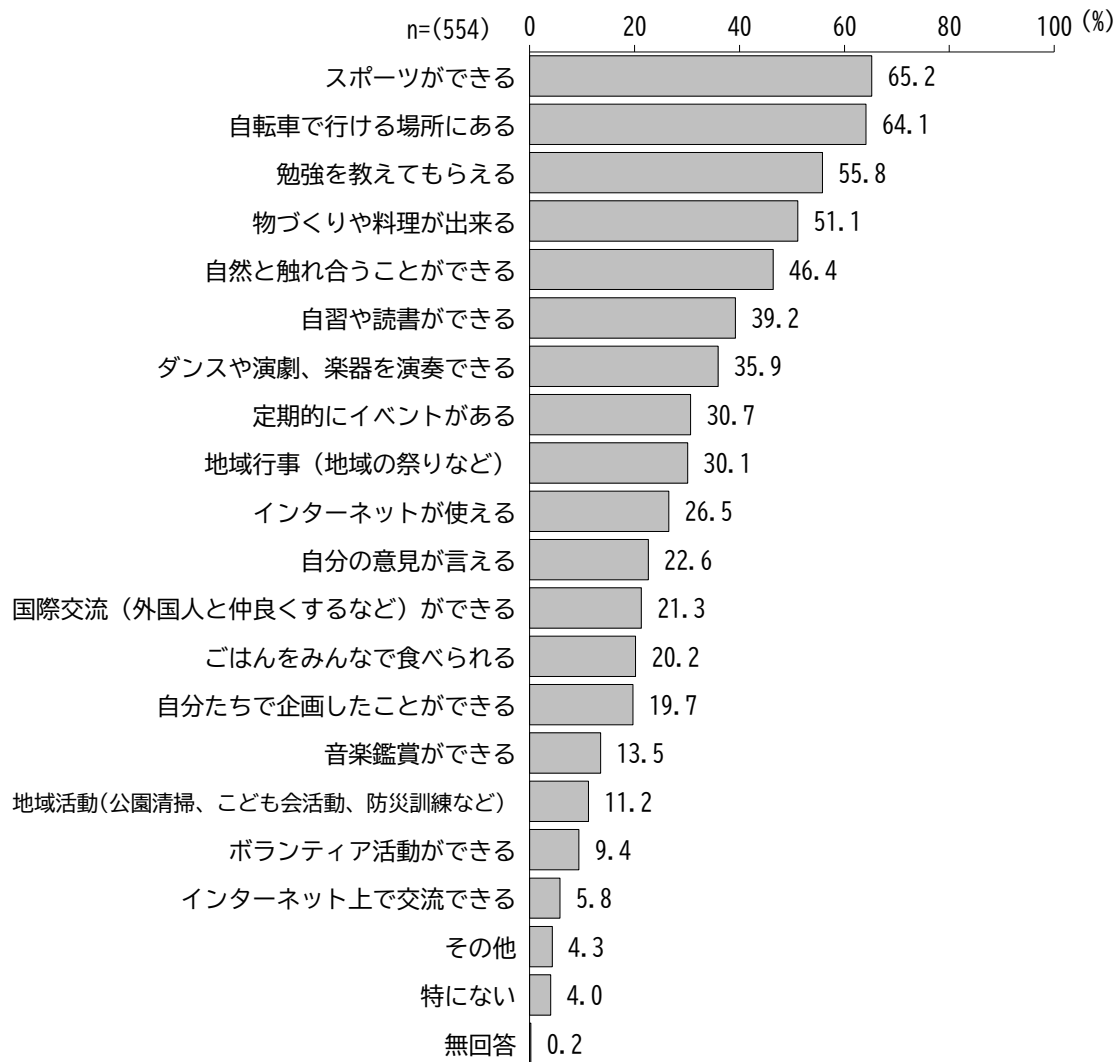
放課後子ども教室の希望利用終了時刻は、（下校時間から）「午後5時まで」39.3%、「午後6時まで」29.5%となっている。



(4) こどもが過ごしたいと思う場所

問12 こどもが過ごす場所として、どのような場所であればこどもは利用すると思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

こどもが過ごしたいと思う場所は、「スポーツができる」が65.2%と最も高く、次いで「自転車で行ける場所にある」64.1%、「勉強を教えてもらえる」55.8%などとなっている。

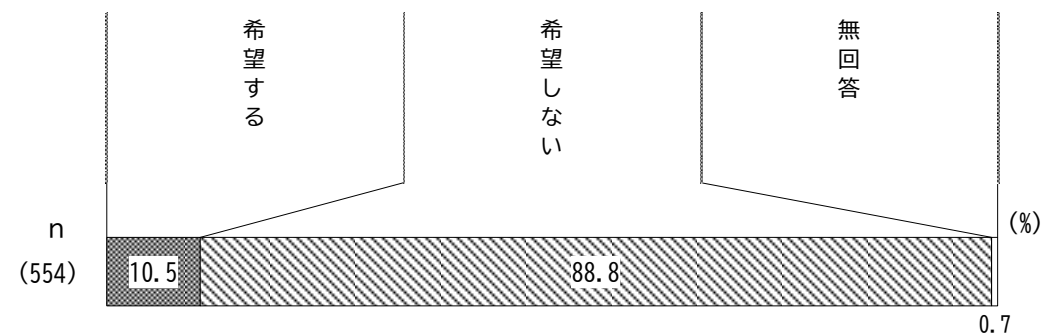


(5) 土曜日の学童保育室利用希望

問13 宛名のお子さんについて、土曜日に、学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「希望する」に○をつけた方は、希望の時間を数字で記入してください。

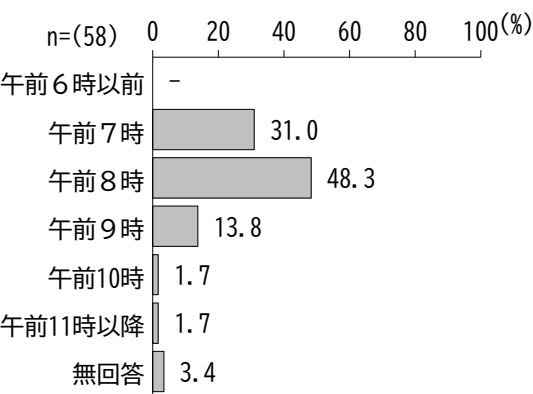
◆利用希望

土曜日の学童保育室の利用希望は、「希望しない」88.8%、「希望する」10.5%となっている。



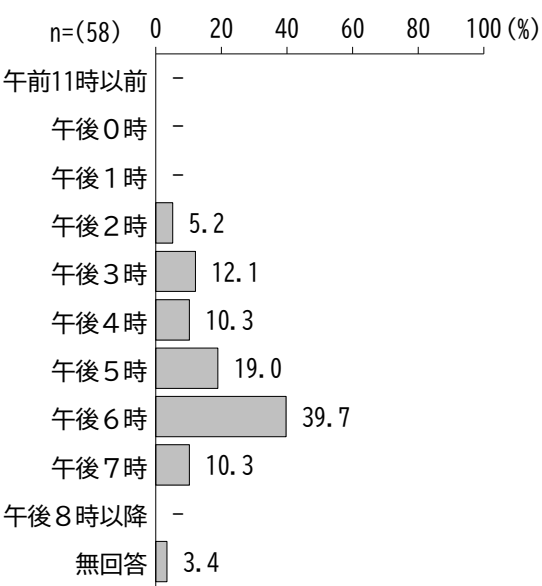
◆希望利用開始時刻

土曜日の学童保育室の希望利用開始時刻は、「午前8時」が48.3%と、最も高い。



◆希望利用終了時刻

土曜日の学童保育室の希望利用終了時刻は、「午後6時」が39.7%と、最も高い。

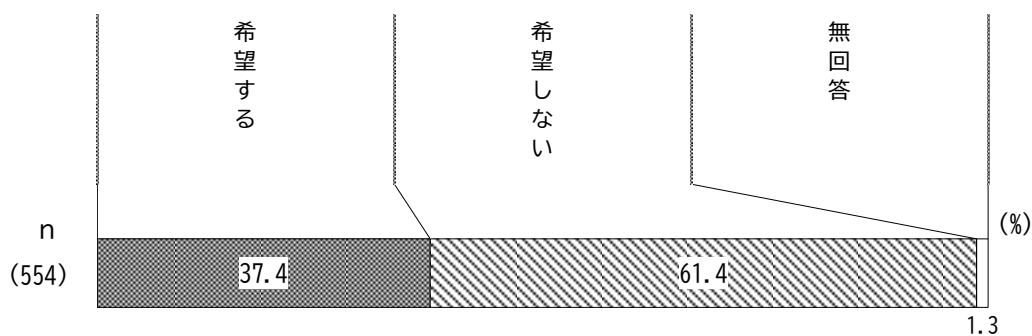


(6) 長期休暇中の学童保育室利用希望

問14 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「希望する」に○をつけた方は、希望の時間を数字で記入してください。

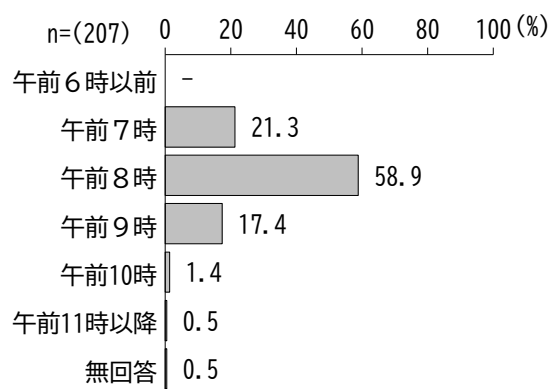
◆利用希望

長期休暇期間中の学童保育室の利用希望は、「希望しない」61.4%、「希望する」37.4%となっている。



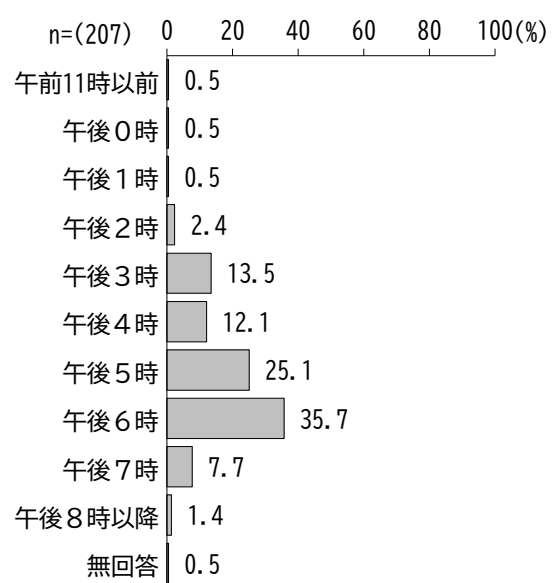
◆希望利用開始時刻

長期休暇期間中の学童保育室の希望利用開始時刻は、「午前8時」が58.9%と、最も高い。



◆希望利用終了時刻

長期休暇期間中の学童保育室の希望利用終了時刻は、「午後6時」が35.7%と、最も高い。



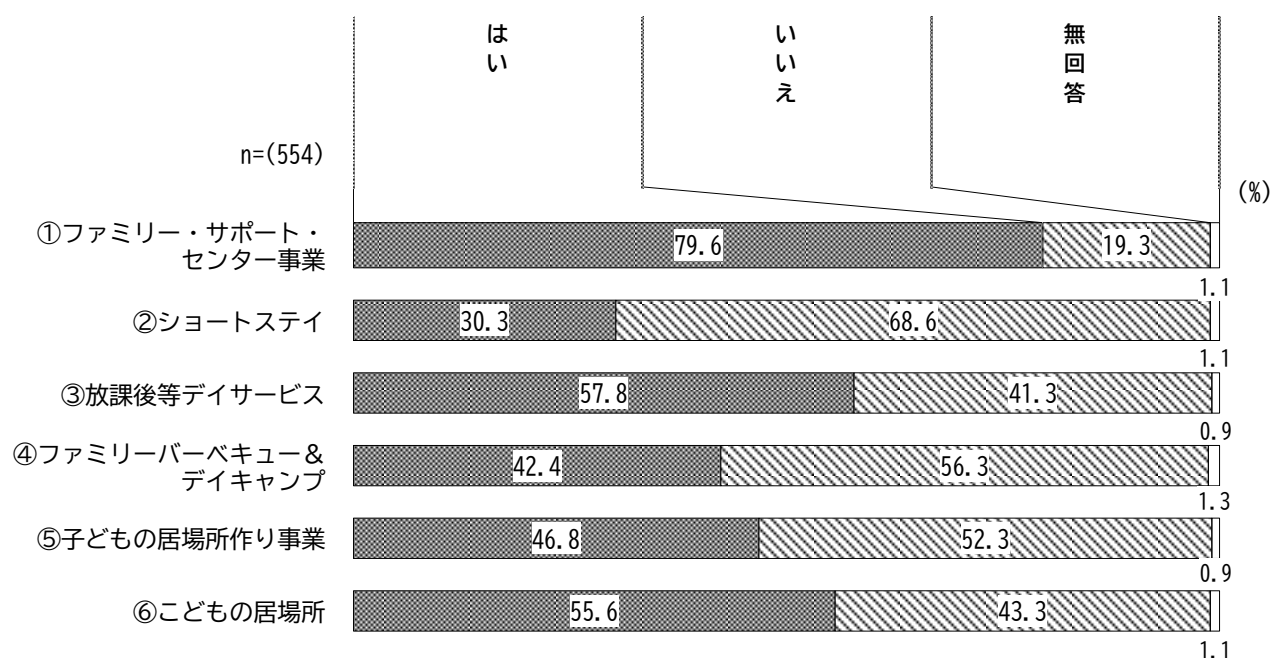
5. 子育て支援事業の認知・利用度

(1) 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用意向

問15 次の事業で、知っているものや利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

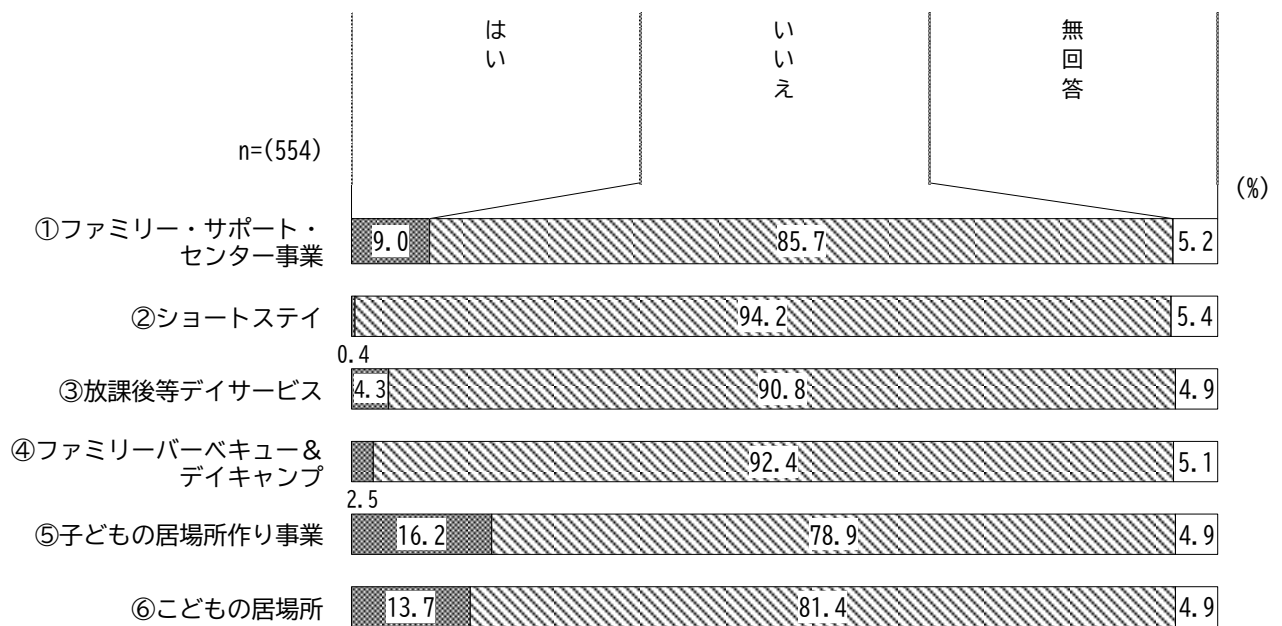
A 子育て支援事業の認知度

子育て支援事業の認知度は、「ファミリー・サポート・センター事業」が79.6%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」57.8%、「こどもの居場所」55.6%などとなっている。



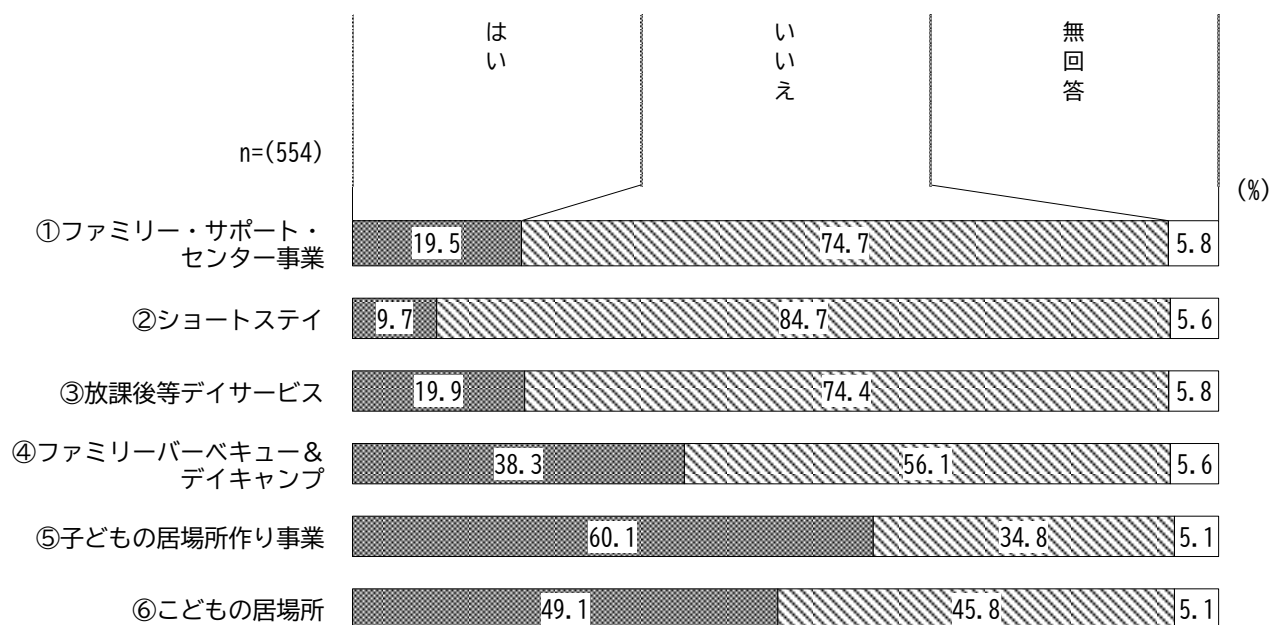
B 子育て支援事業の利用経験

子育て支援事業の利用経験は、「子どもの居場所作り事業」が16.2%と最も高く、次いで「こどもの居場所」13.7%、「ファミリー・サポート・センター事業」9.0%などとなっている。



C 子育て支援事業の利用意向

子育て支援事業の利用意向は、「子どもの居場所作り事業」が60.1%と最も高く、次いで「こどもの居場所」49.1%、「ファミリーバーベキュー&デイキャンプ」38.3%などとなっている。



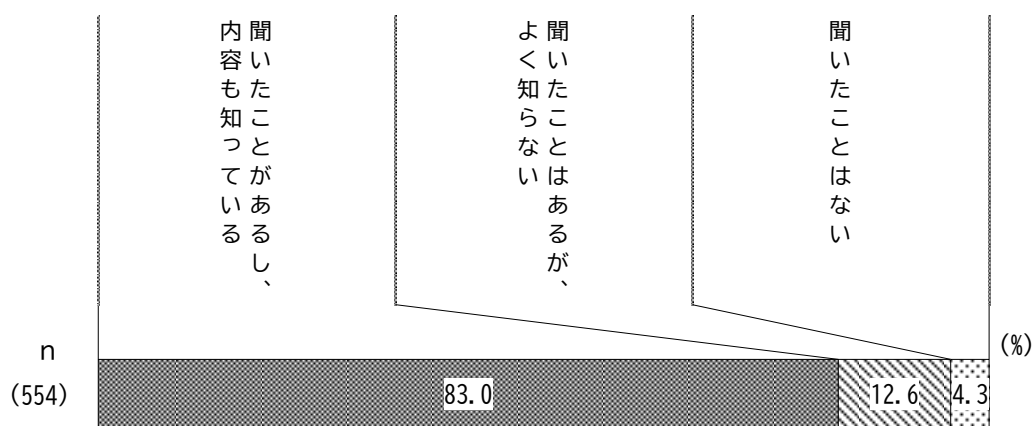
6. 「ヤングケアラー」の認知度について

(1) ヤングケアラーという言葉を知った経験

問16 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※本来ならば大人が担うと想定されているような家事や家族の世話、介護を日常的に行っているこどものこと

「ヤングケアラー」の認知は、「聞いたことがあるし、内容も知っている」が 83.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」12.6%、「聞いたことはない」4.3%となっている。

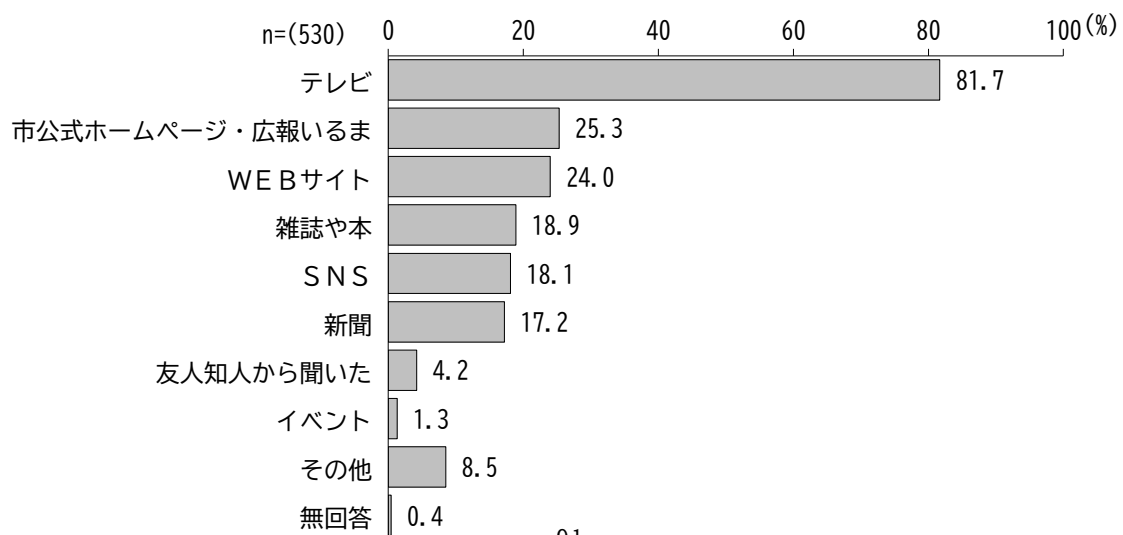


(2) ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ

【前問で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。】

問16-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ヤングケアラー」を知ったきっかけは、「テレビ」が 81.7%と最も高く、次いで「市公式ホームページ・広報いるま」25.3%、「WEB サイト」24.0%などとなっている。

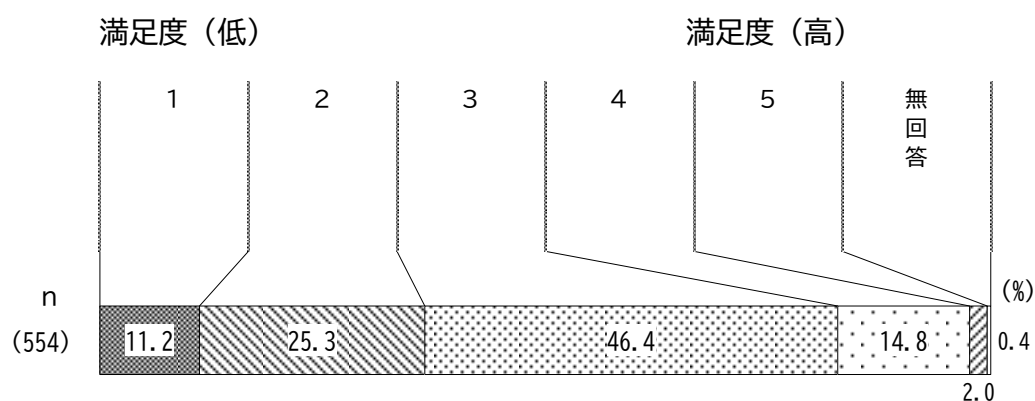


7. 子育ての環境や支援について

(1) 地域の子育て環境や支援への満足度

問17 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてどのように感じていますか。当てはまる番号に1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度は、「3」が46.4%と最も高く、次いで「2」25.3%、「4」14.8%などとなっている。



(2) 子育ての環境や支援に関する自由記述

問18 教育・保育事業の充実など子育て環境や支援に関して意見がございましたら、今後の参考とさせていただきますので、ご自由にご記入ください。

教育保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してたずねたところ、262人から353件の記述があった。内容を分類すると次のとおりとなる。2つ以上の内容を記述している場合、重複カウントのため、件数は延べ件数となる。

内容	件数
放課後や長期休暇中等の過ごし方、学童等について	95
子育ての環境について	66
子育て支援について	42
学校や教員について	38
医療・病気の際の対応について	30
保護者の就労と子育てについて	23
子育てに関する情報について	14
保育園や保育所等の教育・保育事業について	7
行政の手続きや対応、制度等について	6
その他	32
計	353

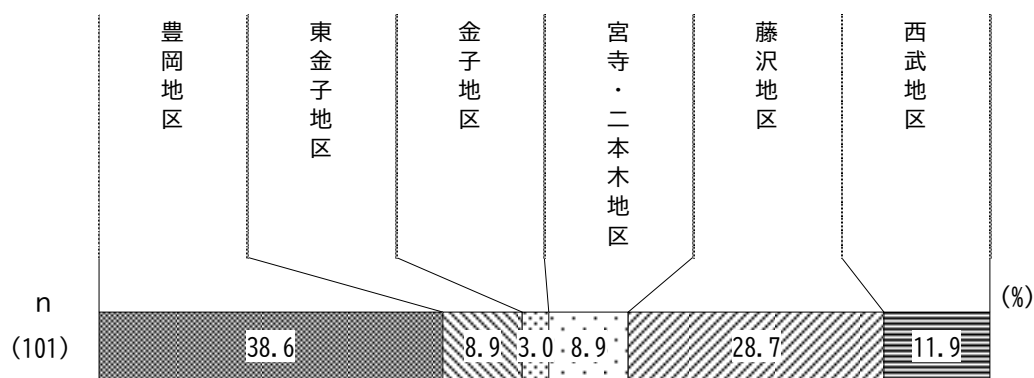
第4章 妊婦調査結果

1. 回答者の属性

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどこですか。該当する番号に○をつけてください。

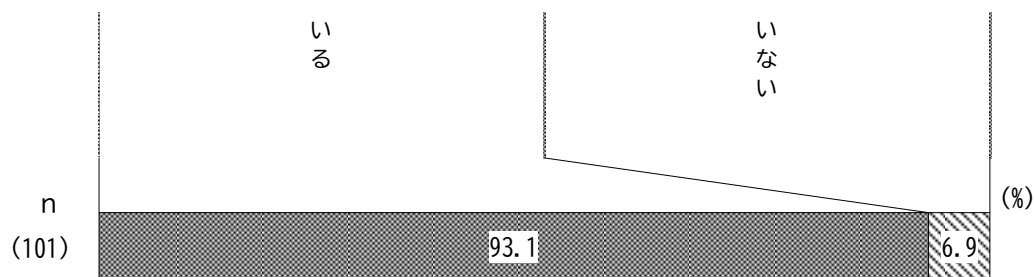
居住地区は、「豊岡地区」38.6%、「藤沢地区」28.7%、「西武地区」11.9%、「東金子地区」「宮寺・二本木地区」8.9%、「金子地区」3.0%となっている。



(2) 回答者の配偶関係

問2 配偶者（予定）についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

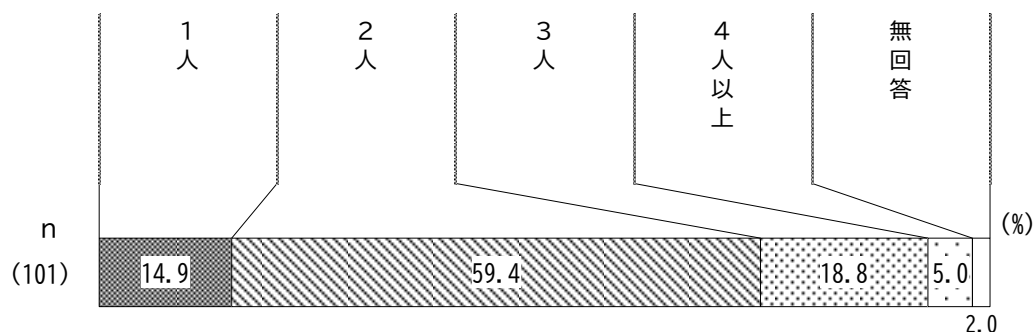
回答者の配偶関係は、「いる」93.1%、「いない」6.9%となっている。



(3) 希望するこどもの数

問3 希望するこどもの数について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望するこどもの数は、「2人」が59.4%と最も高く、次いで「3人」18.8%、「1人」14.9%、「4人以上」5.0%となっている。

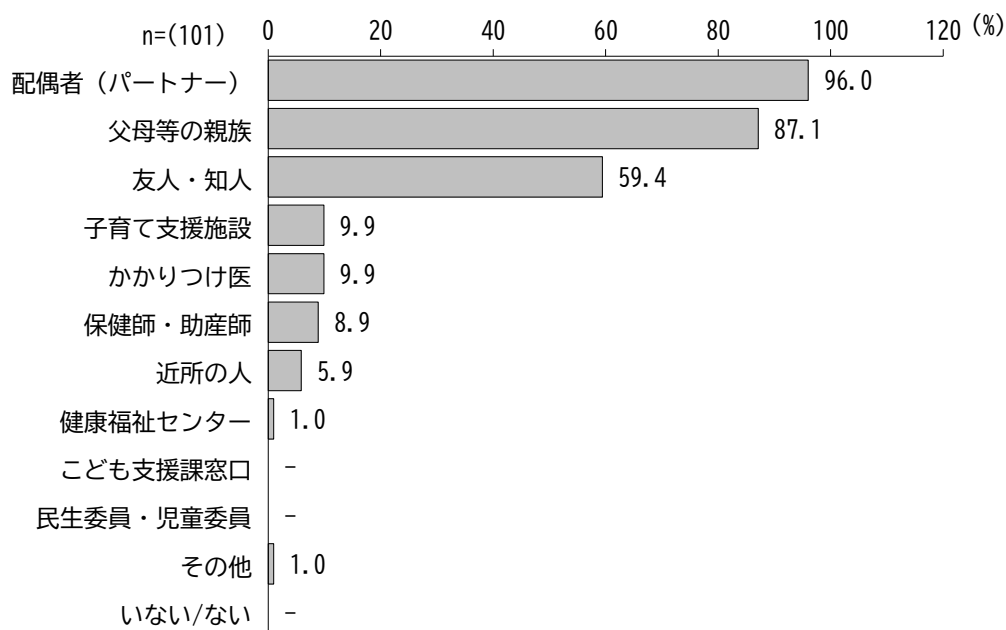


2. 子育て環境や支援について

(1) 妊娠・出産・子育てをする上での相談先

問4 妊娠・出産・子育てするうえで、相談できる人もしくは相談先はどこですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠・出産・子育てをする上での相談先は、「配偶者（パートナー）」が96.0%と最も高く、次いで「父母等の親族」87.1%、「友人・知人」59.4%などとなっている。



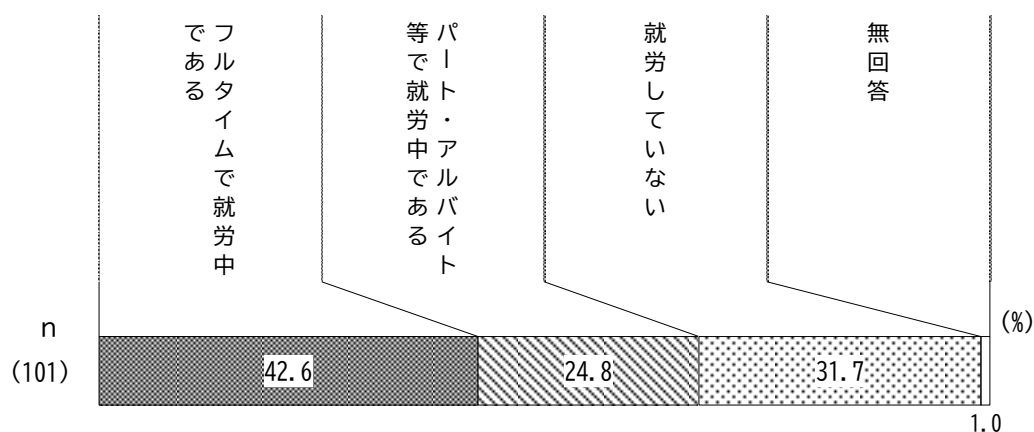
3. 就労状況について

(1) 現在の就労状況

問5 現在の就労状況について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

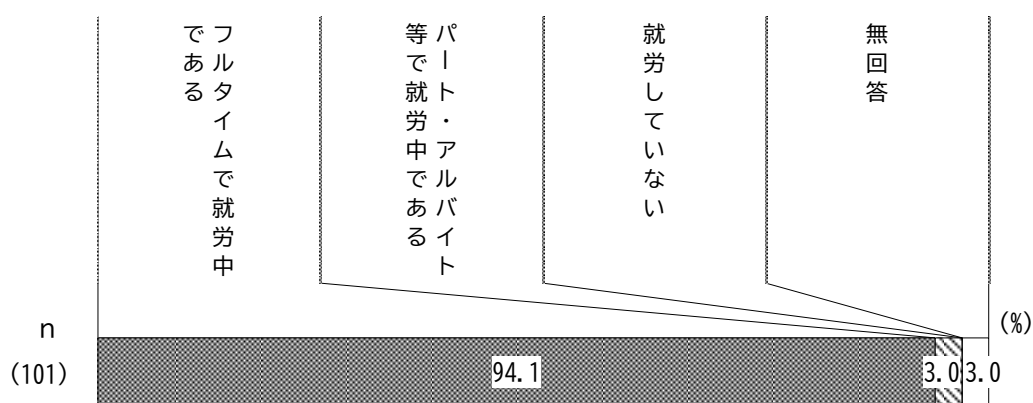
回答者

回答者の現在の就労状況は、「フルタイムで就労中である」が42.6%と最も高く、次いで「就労していない」31.7%、「パート・アルバイト等で就労中である」24.8%となっている。



配偶者（パートナー）

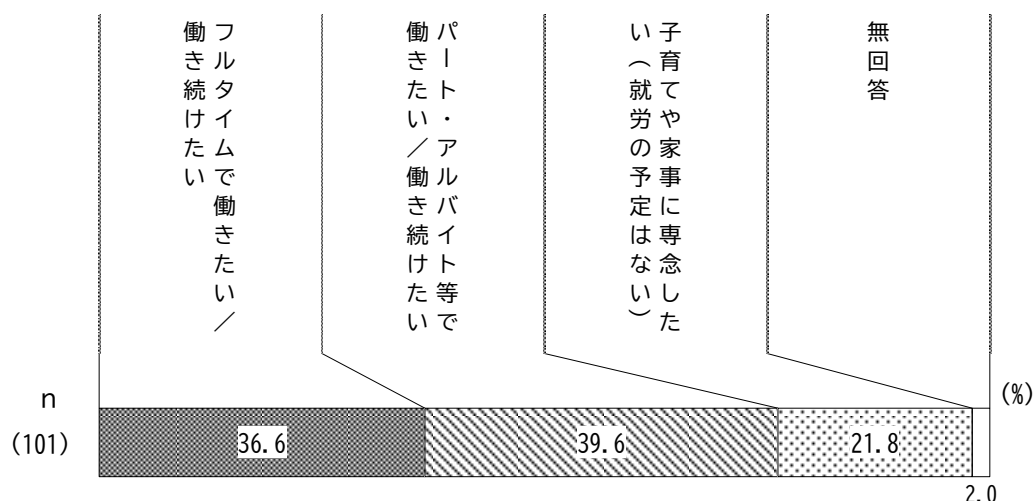
配偶者（パートナー）の現在の就労状況は、「フルタイムで就労中である」94.1%、「パート・アルバイト等で就労中である」3.0%となっている。



(2) 出産後の就労希望

問6 出産後の就労希望について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

出産後の就労希望は、「パート・アルバイト等で働きたい/働きたい」が39.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働きたい/働きたい」36.6%、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」21.8%となっている。

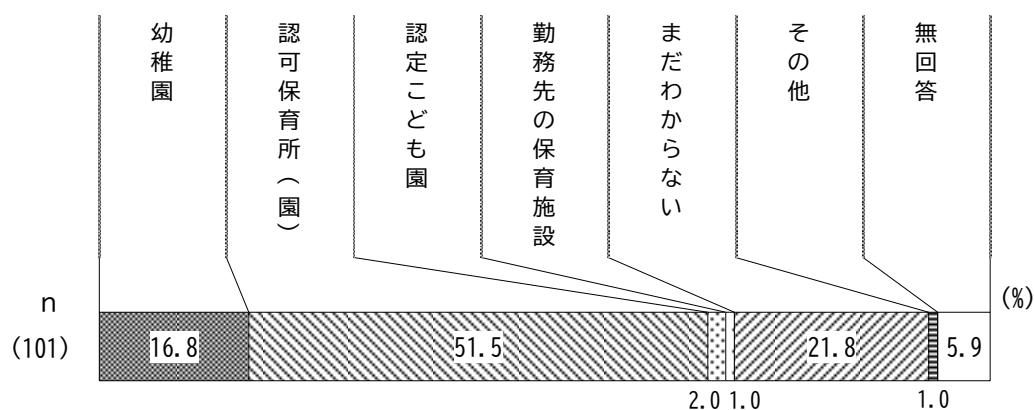


4. 教育・保育事業・子育て支援事業等の利用について

(1) 出産後に利用したい保育施設等

問7 出産後に利用したい保育施設等についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

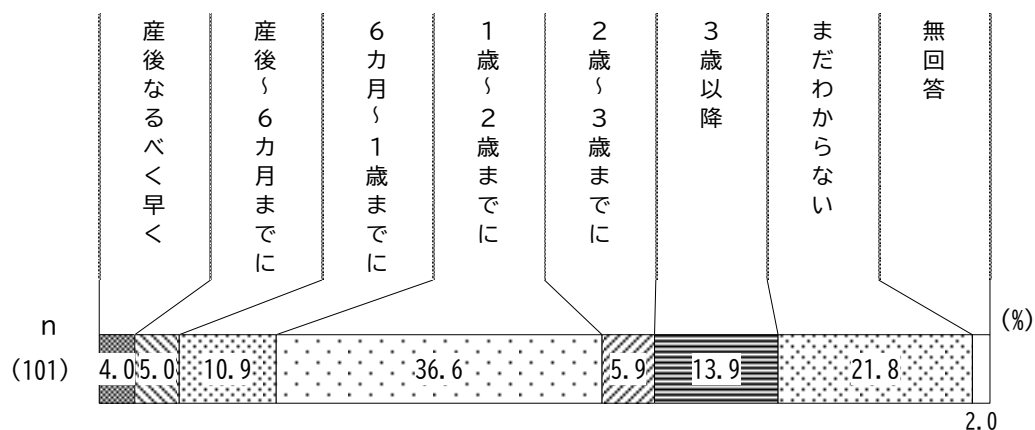
出産後に利用したい保育施設等は、「認可保育所（園）」が51.5%と最も高く、次いで「まだわからない」21.8%、「幼稚園」16.8%などとなっている。



(2) 保育施設等の利用を希望するこどもの年齢

問8 いつ頃から保育施設等を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

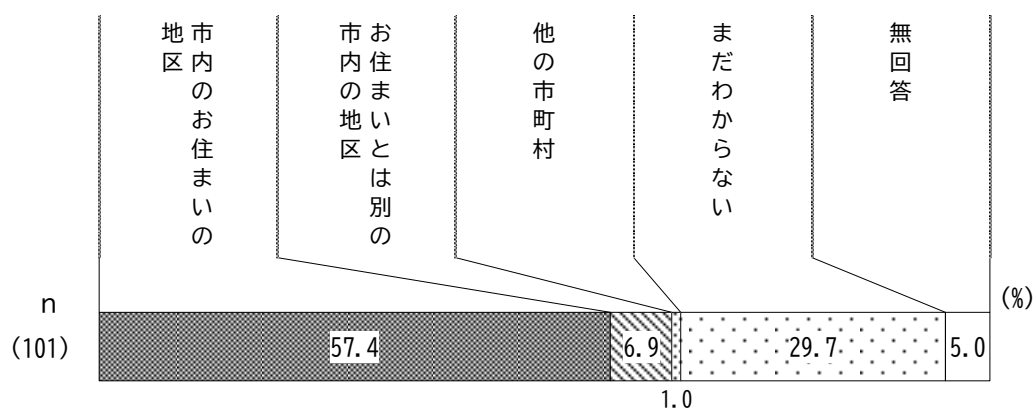
保育施設等の利用を希望するこどもの年齢は、「1歳～2歳までに」が36.6%と最も高く、次いで「まだわからない」21.8%、「3歳以降」13.9%などとなっている。



(3) 希望する教育・保育事業の実施場所

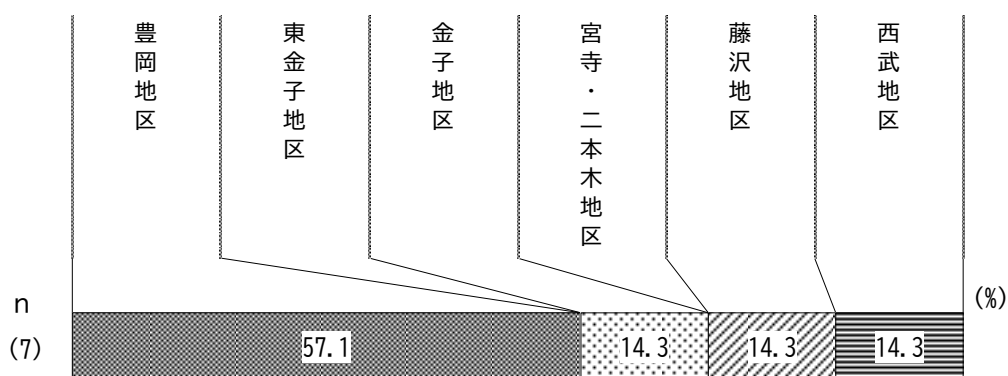
問9 どの地区に所在する保育施設等を利用したいですか。当てはまる番号・記号1つに○をつけてください。

希望する教育・保育事業の実施場所は、「市内のお住まいの地区」が57.4%と最も高く、次いで「まだわからない」29.7%、「お住まいとは別の市内の地区」6.9%などとなっている。



別の市内の地区

※該当者が少ないため、グラフは参考とする。

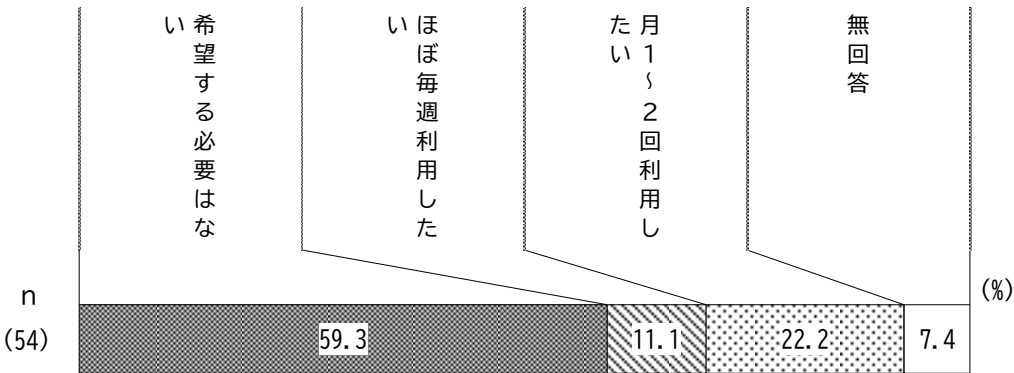


(4) 土曜・日曜の認可保育所（園）の利用希望

【問7で、「認可保育所（園）」または「認定こども園」と答えた方に伺います。】
問10 出産後、勤務のため、土曜、日曜・祝日に認可保育所（園）の利用希望はありますか。
当てはまる番号・記号1つに○をつけ、□内に時間を記入してください。

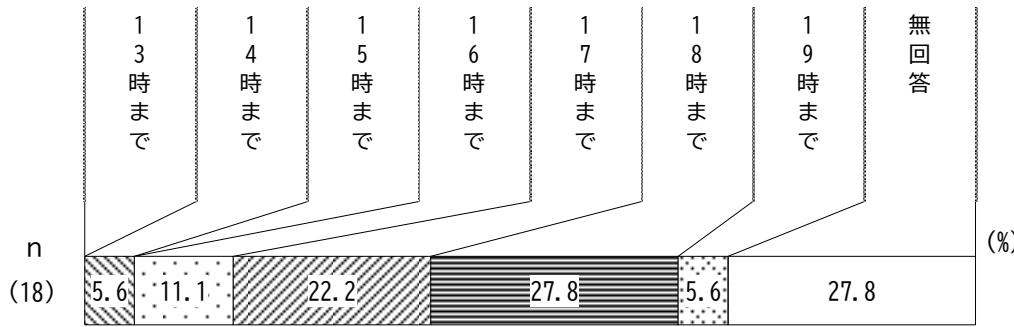
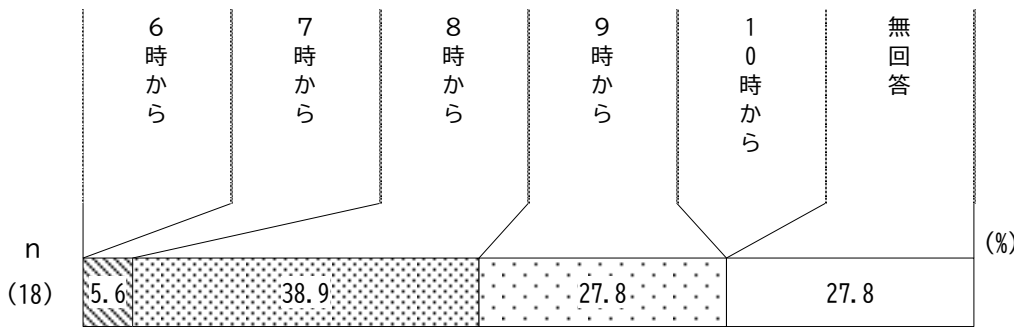
土曜日

土曜の認可保育所（園）の利用希望は、「希望する必要はない」が59.3%と最も高く、次いで「月1～2回利用したい」22.2%、「ほぼ毎週利用したい」11.1%となっている。



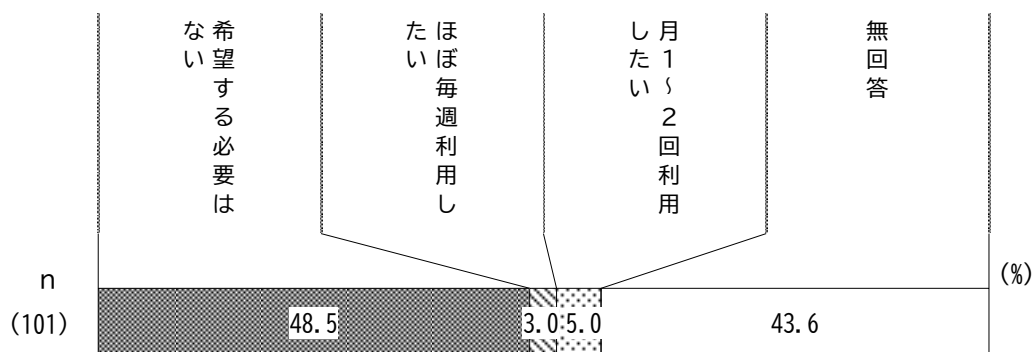
利用したい時間帯

※該当者が少ないため、グラフは参考とする。

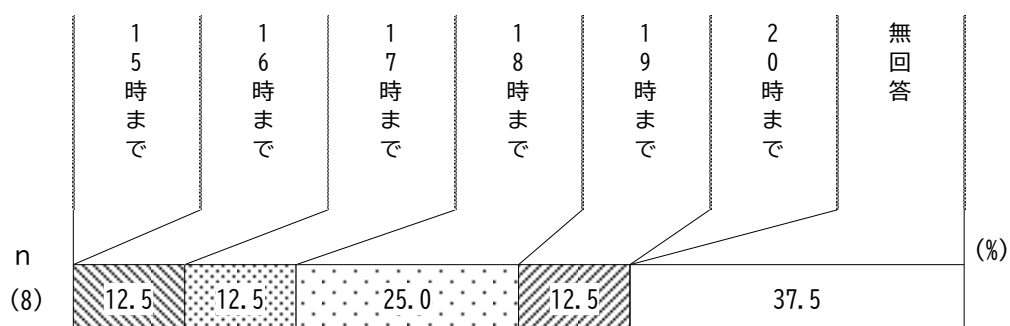
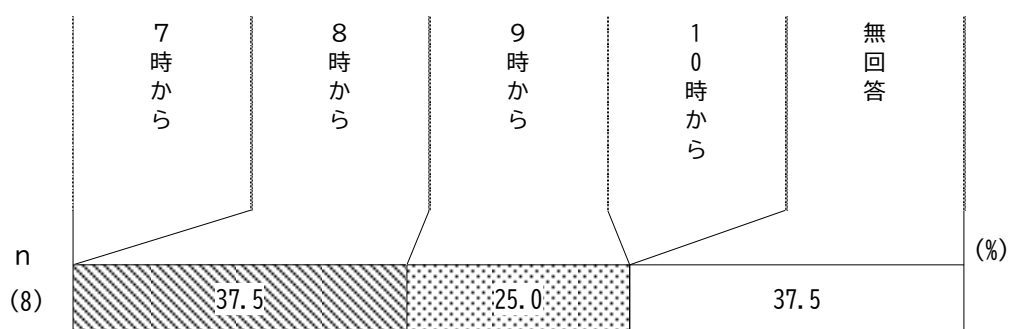


日曜・祝日

日曜・祝日の認可保育所（園）の利用希望は、「希望する必要はない」が48.5%と最も高く、次いで「月1～2回利用したい」5.0%、「ほぼ毎週利用したい」3.0%となっている。

**利用したい時間帯**

※該当者が少ないため、グラフは参考とする。

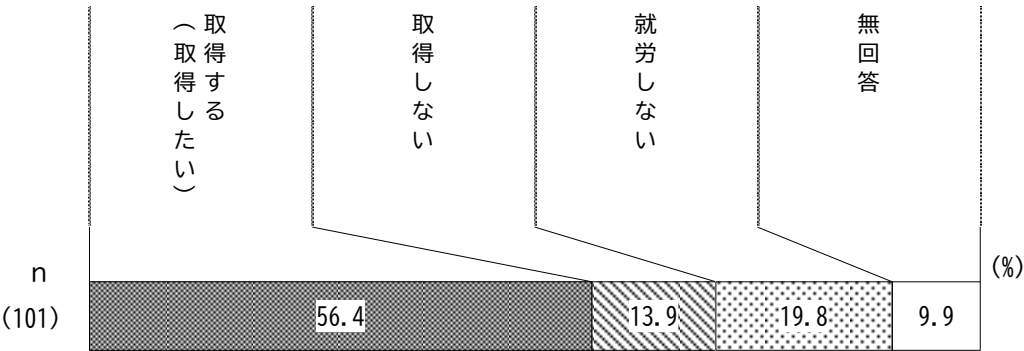


(5) 育児休業の取得予定

問11 育児休業の利用希望について伺います。育児休業を取得する予定がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得する場合は、お子さんが何歳まで取得したいか□に数字で記入してください。

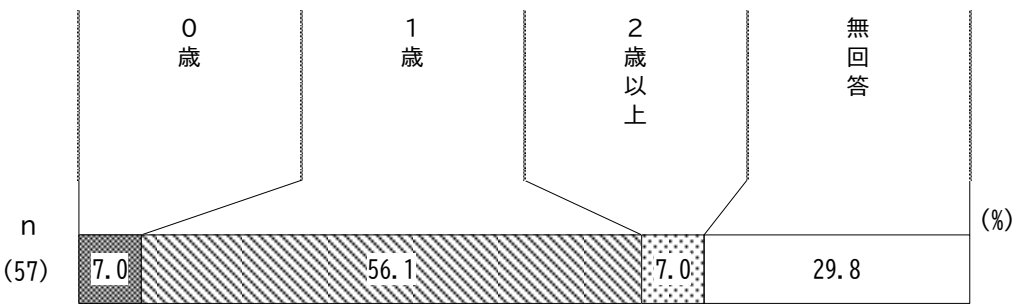
母親

母親の育児休業の取得予定は、「取得する（取得したい）」が56.4%と最も高く、次いで「就労しない」19.8%、「取得しない」13.9%となっている。



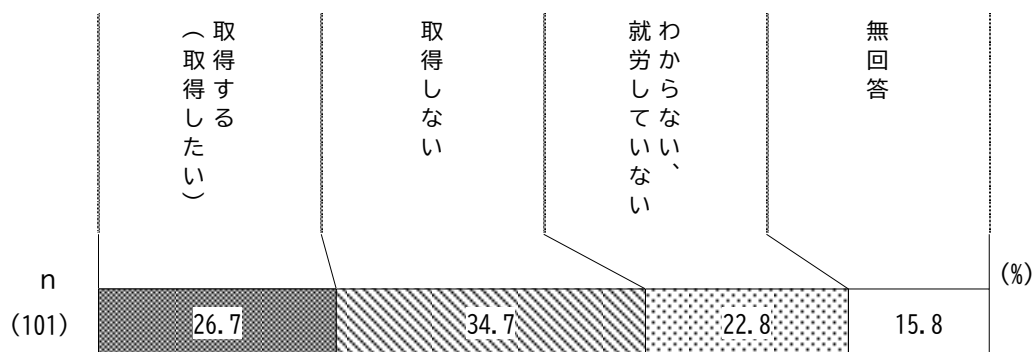
取得希望 子の年齢

取得希望 子の年齢は、「1歳」が56.1%と最も高く、次いで「0歳」と「2歳以上」が7.0%となっている。



父親

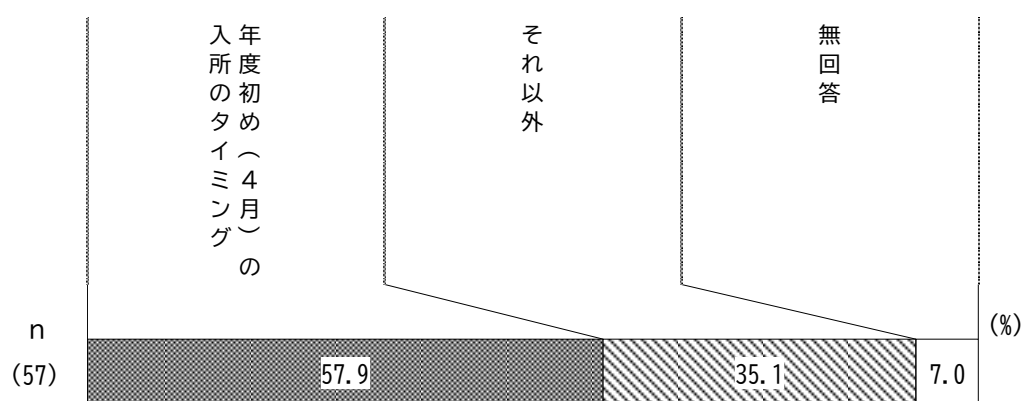
父親の育児休業の取得予定は、「取得しない」が34.7%と最も高く、次いで「取得する（取得したい）」26.7%、「わからない、就労していない」22.8%となっている。

**（6）職場復帰のタイミング**

【問11（1）で、「取得する（取得したい）」と答えた方に伺います。】

問12 あなたの仕事復帰のタイミングは、いつにしたいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

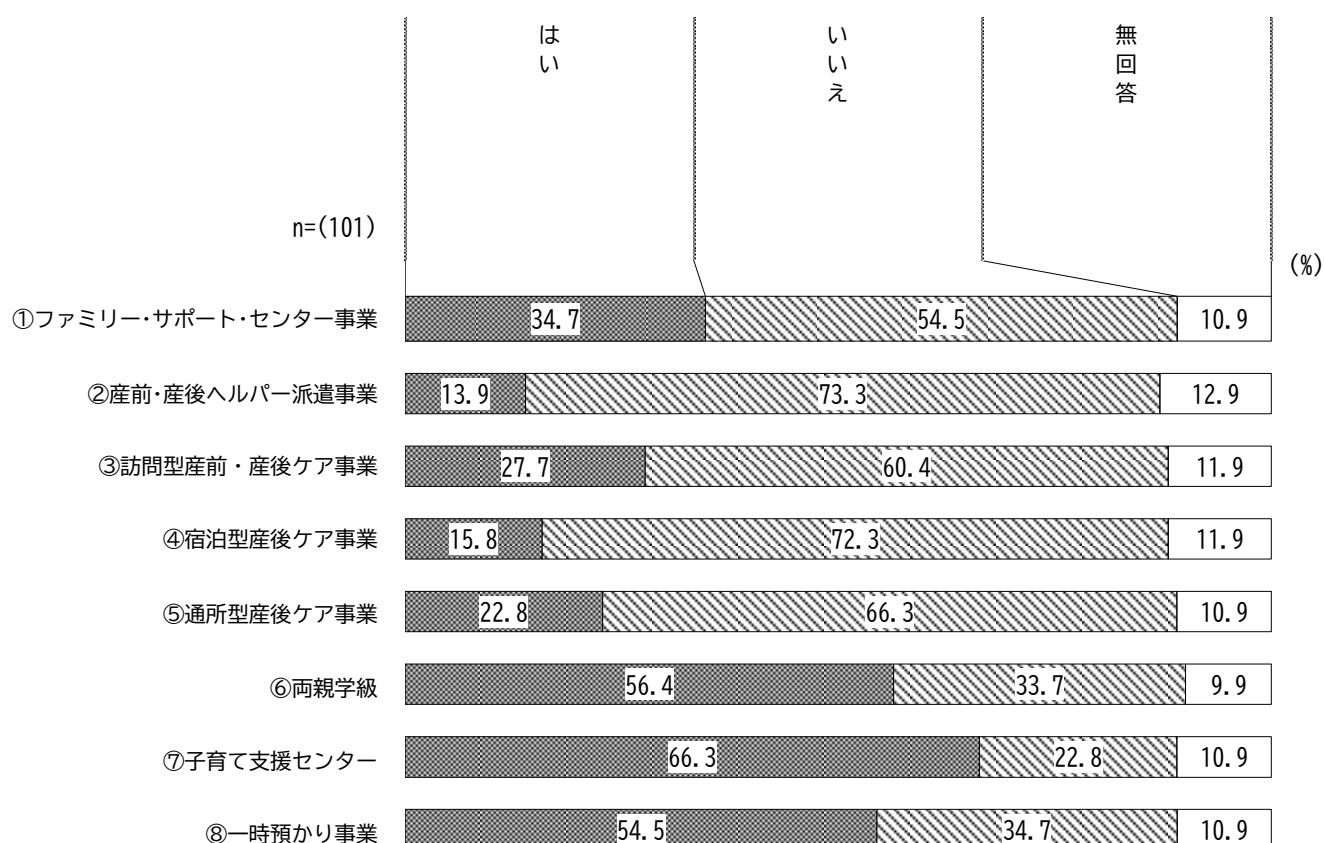
回答者の職場復帰のタイミングは、「年度初め（4月）の入所のタイミング」57.9%、「それ以外」35.1%となっている。



(7) 子育て支援事業等の利用意向

問13 次の事業で、今後利用したいと思うものをお答えください。事業それぞれについて「はい」「いいえ」の当てはまる番号に○をつけてください。

子育て支援事業等の利用意向は、「子育て支援センター」が66.3%と最も高く、次いで「両親学級」が56.4%、「一時預かり事業」が54.5%となっている。



(8) 子育ての環境や支援に関する自由記述

問14 出産・子育て支援等に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

出産・子育て支援などに関して意見をたずねたところ、次の通り、3件の回答があった。

- ・保育所に希望するタイミングで入れると助かります。
- ・保育園が決まらないのを恐れている。
- ・現在、夫婦別姓を希望し、子供がうまれてからも籍をいれません。扶養控除をうけるため、市、国としての制度の確立を希望します。

第2部 こどもの意識・生活に関する調査

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、今後の市の計画策定に向けて、こども及びその保護者の生活習慣や居場所、心理的な状態等に対する意識を把握し、こどもの貧困やこども及びその保護者の意識・生活に関する基礎資料を得るために実施した。

2. 調査方法と回収結果

調査方法：Webアンケートにアクセスするための2次元コード付き案内を各学校より配布、

Web回答による回収

調査手法：Webアンケート調査

調査期間：令和6年2月5日（月）～2月29日（木）

<回収結果>

調査名	対象者数	回収数	回収率	有効回答数 (児童・生徒、保護者ともに回答)	有効回答率
小学5年生	1,153人	524票	45.4%	406票	35.2%
小学5年生保護者	1,153人	587票	50.9%		
中学2年生	1,102人	544票	49.4%	328票	29.8%
中学2年生保護者	1,102人	446票	40.5%		
合 計	4,510人	2,101票	46.6%	734票	32.5%

3. 主な調査項目

小学5年生／中学2年生	小学5年生保護者／中学2年生保護者
学習の状況	保護者と世帯の概要
進学希望	保護者の就労状況
人との関わり	こどもとの関わり方
部活動等への参加状況	学校との関わり方
日常的な生活の状況	進学期待・展望
居場所	経済的な状況、暮らしの状況
「ヤングケアラー」の認知度	「ヤングケアラー」の認知度・居場所
こどもの心理的な状態	保護者の心理的な状態
現在の生活の満足度	頼れる人の有無・相手
	現在の生活の満足度

4. 貧困線と等価世帯収入の算出について

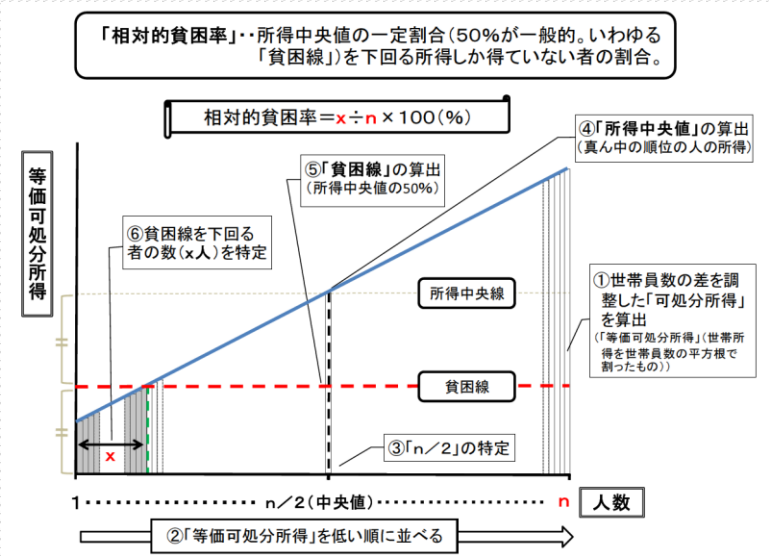
貧困の代表的な定義には、所得額が、人間が生きるために必要な最低限の生活水準を維持するのに満たない状態を示す「絶対的貧困」と、所得額が一定の国や地域における平均的な生活水準に満たない状態を示す「相対的貧困」という2つの種類がある。

本報告書では、令和3年に内閣府の行った「子供の生活状況調査」と同様の方法により、本調査における貧困線と等価世帯収入の算出を行った。本調査内では、世帯全体の令和5（2023）年の年間収入について16段階の選択式で聞いている。①年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）②世帯年間収入の値を、保護者票問2-1で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除し、等価世帯収入を算出する。③等価世帯収入の中央値を求め、その2分の1を入間市の貧困線として算出する。

等価世帯収入の中央値		貧困線（入間市）
等価世帯収入の中央値以上 (A)	中央値の2分の1以上中央値未満 (B)	中央値の2分の1未満 (C)
325万円以上	325万円未満	162.5万円未満

参考 相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員で調整した所得）の中央値の半分の額を指す。

等価世帯所得＝（世帯内のすべての世帯員の合算所得）÷√世帯人数の平方根



出典：国民生活基礎調査（貧困率）

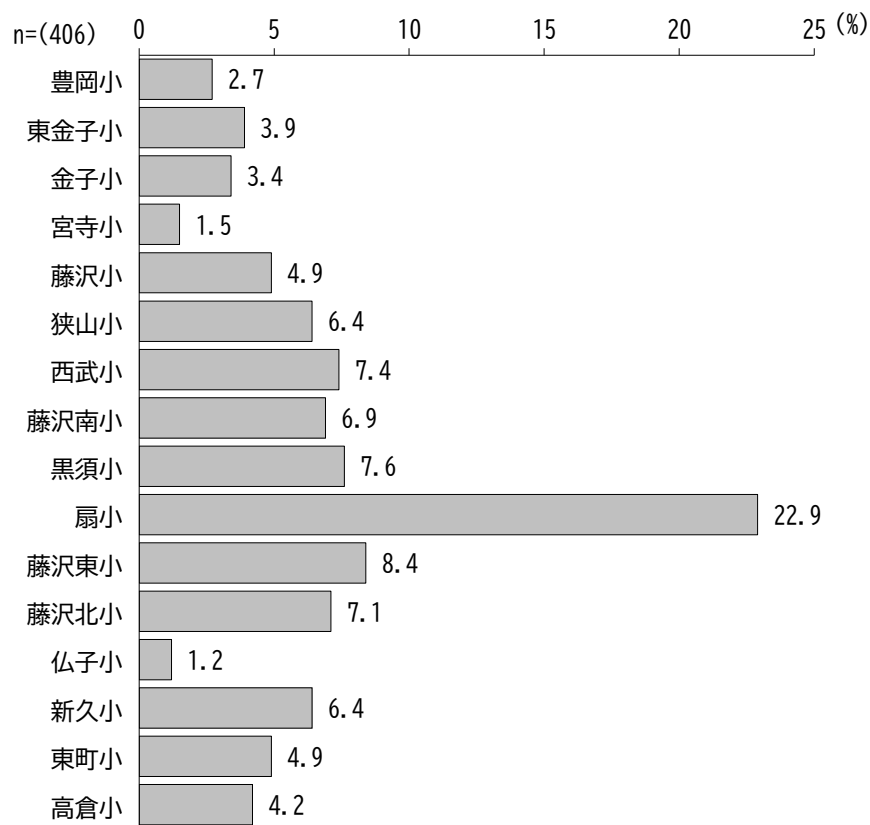
5. 調査結果を見る上での注意事項

- (1) 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- (2) 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答(2つ以上回答を選択できる設問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- (5) 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- (6) 本報告書では、分析を行う際に、「生活状況別」という表現を用いている。

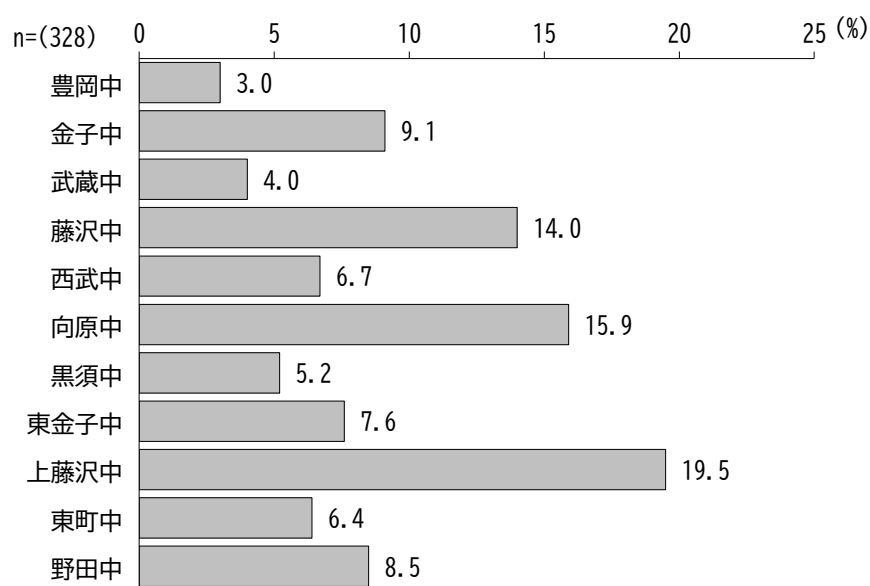
6. 回答者の属性

(1) 学校区分

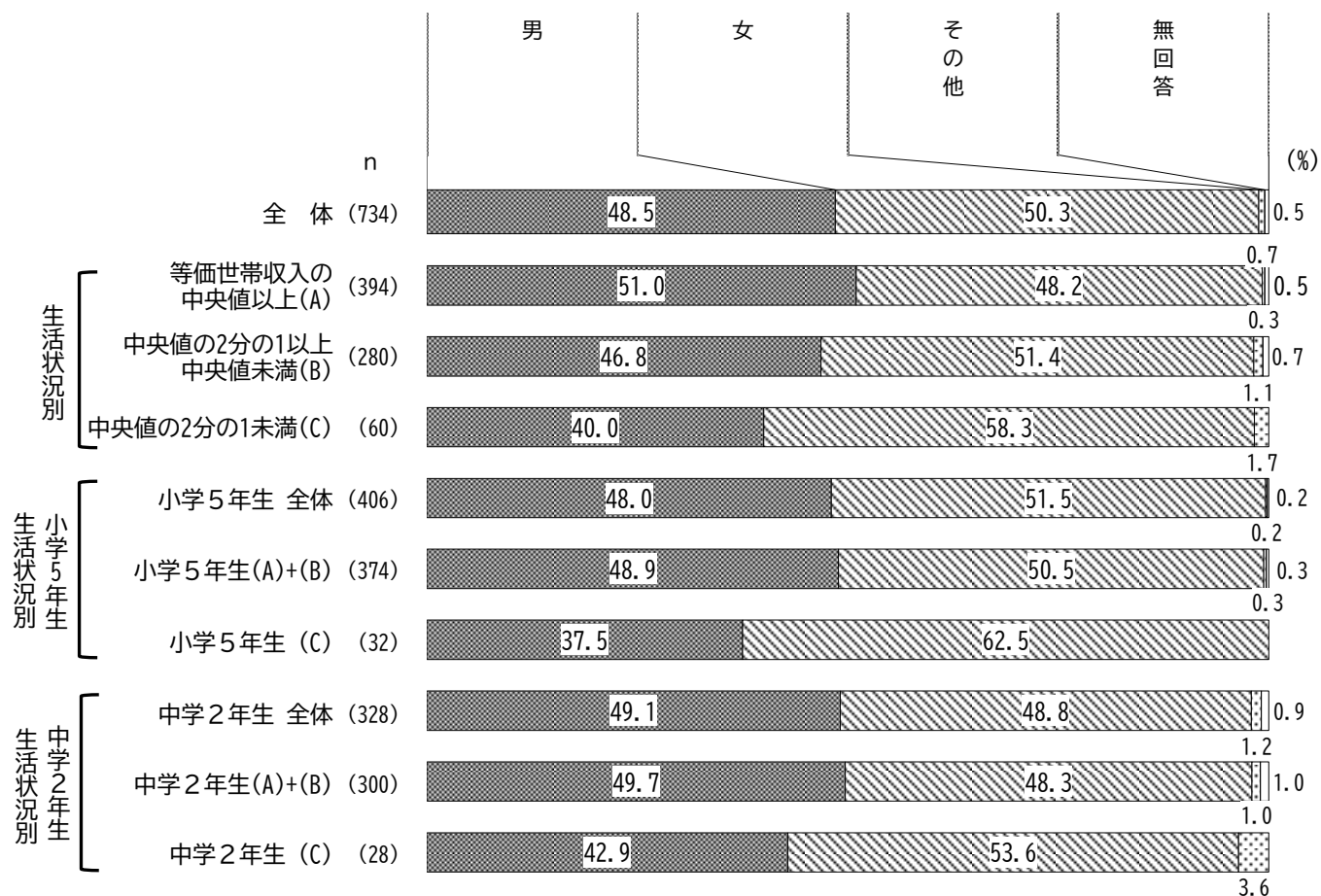
小学校



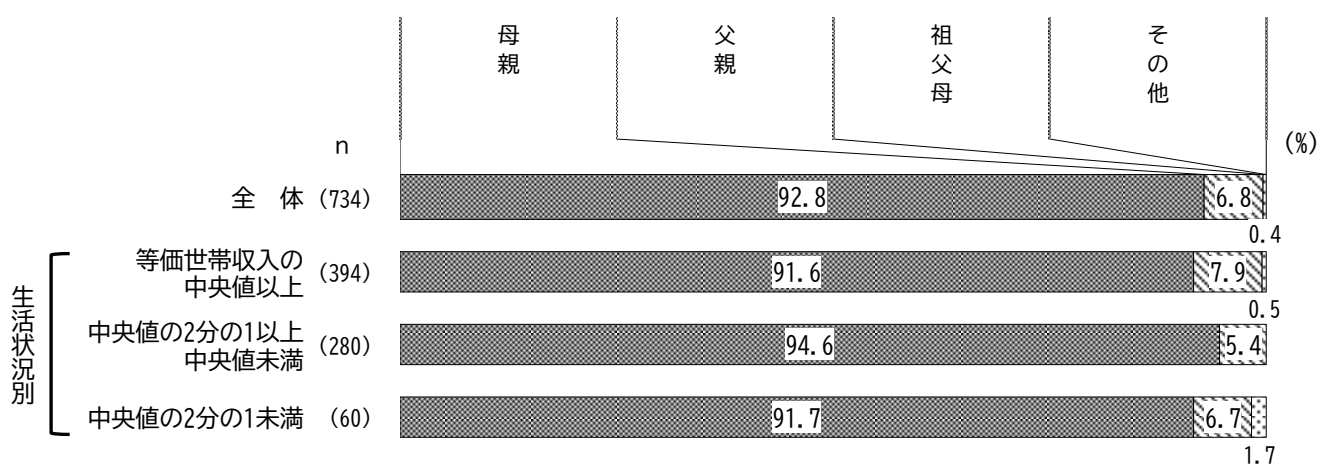
中学校



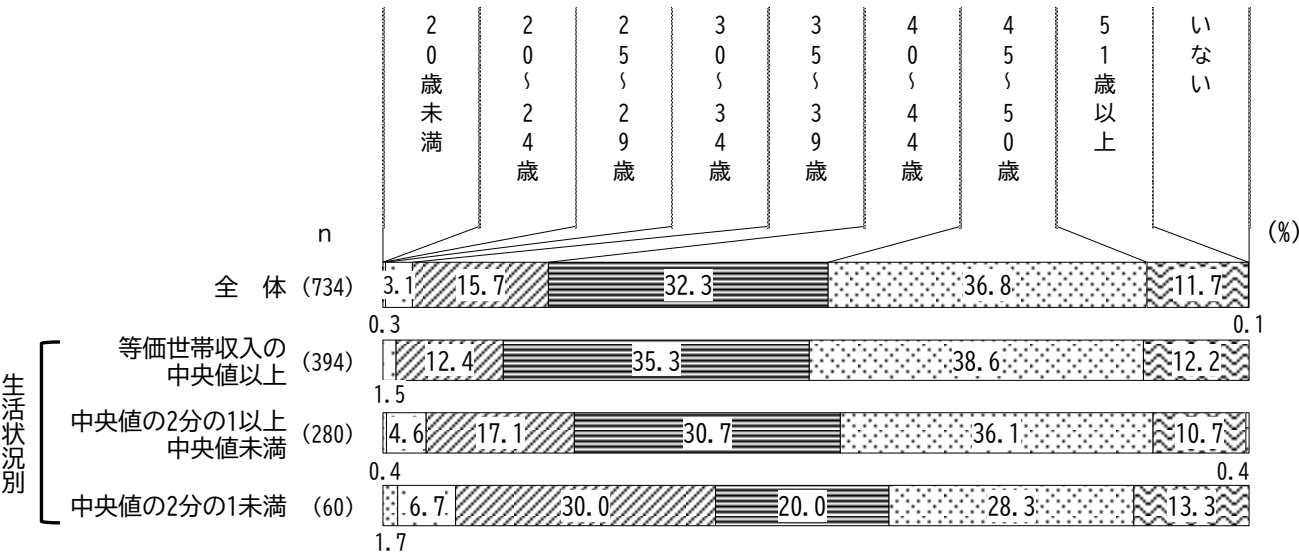
(2) こどもの性別



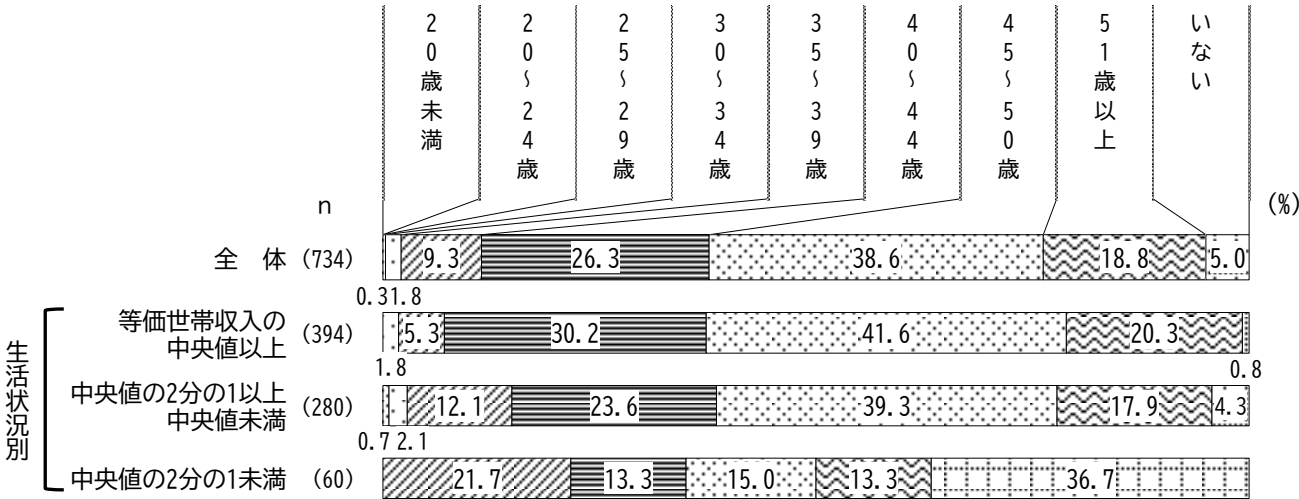
(3) 回答者とこどもの関係



(4) こどもの母親の年齢



(5) こどもの父親の年齢



(6) 等価世帯収入別世帯

(単位 上段：件数、下段、%)

	調査数	等価世帯収入の中央値以上	中央値の2分の1以上中央値未満	中央値の2分の1未満
全体	734	394	280	60
		53.7	38.1	8.2
小学5年生調査	406	217	157	32
		53.4	38.7	7.9
中学2年生調査	328	177	123	28
		54	37.5	8.5

第2章 小学校5年生／中学校2年生調査結果

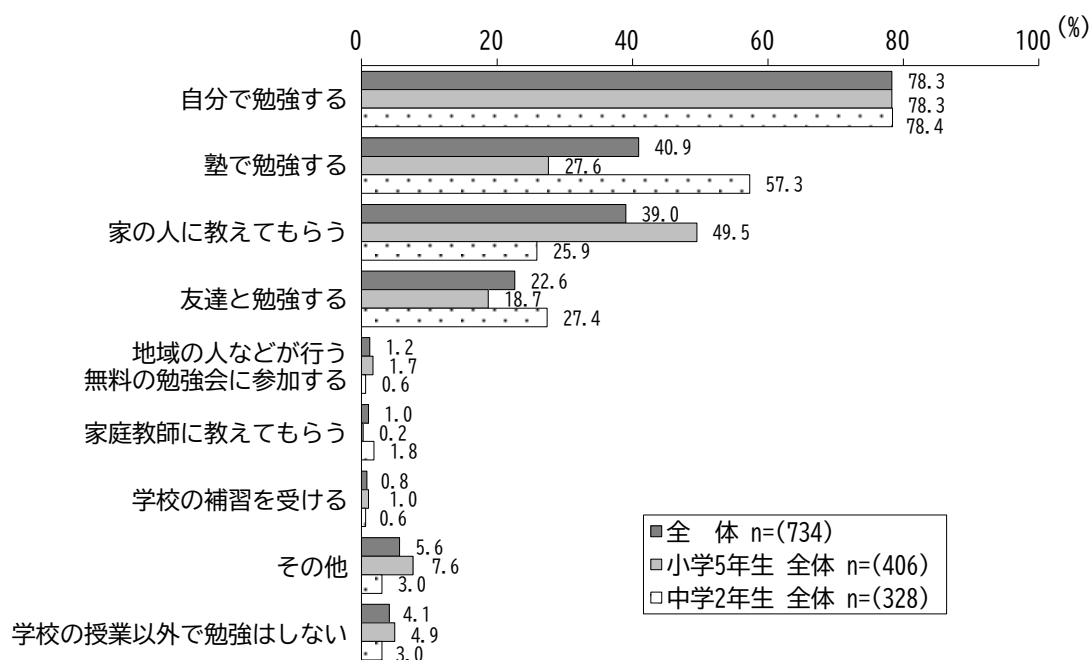
1. 学習の状況

(1) ふだんの勉強の仕方

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてにチェック)

ふだんの勉強の仕方は、全体で「自分で勉強する」が78.3%と最も高く、次いで「塾で勉強する」40.9%、「家の人に教えてもらう」39.0%などとなっている。

学年別にみると、「塾で勉強する」は中学2年生が小学5年生より29.7ポイント、「家の人に教えてもらう」は小学5年生が中学2年生より23.6ポイント高くなっている。



(2) 1日あたりの勉強時間

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(以下それぞれについて、あてはまるもの1つにチェック)

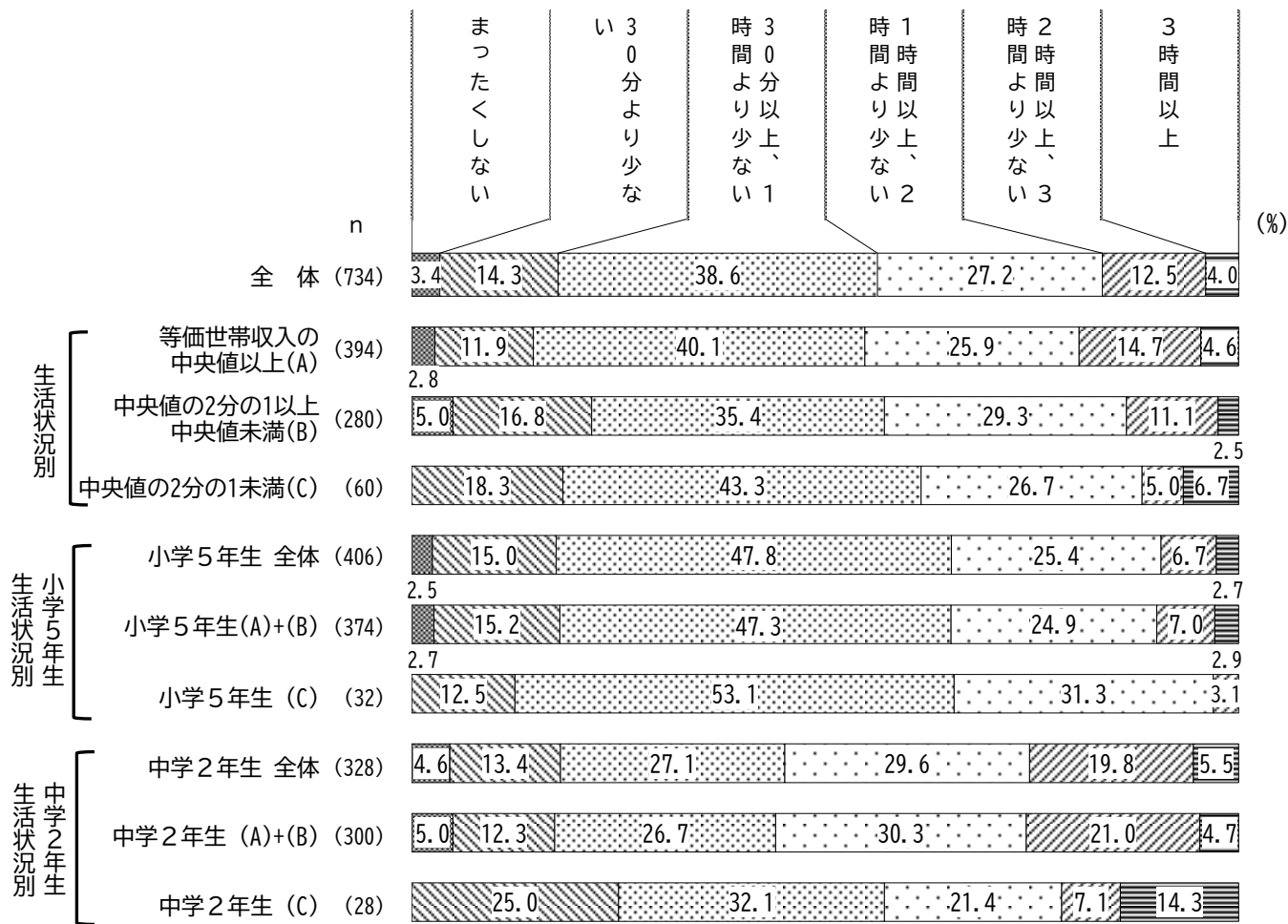
a) 学校がある日

学校の授業以外の1日あたりの勉強時間(学校がある日)は、全体で「30分以上、1時間より少ない」が38.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」27.2%、「30分より少ない」14.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「30分以上、1時間より少ない」は中央値の2分の1未満(C)が43.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「30分以上、1時間より少ない」は小学5年生が中学2年生より20.7ポイント高く、「2時間以上、3時間より少ない」は中学2年生が小学5年生より13.1ポイント高くなっている。

小学5年生より中学2年生は、2時間以上の勉強時間が高くなる傾向がある。



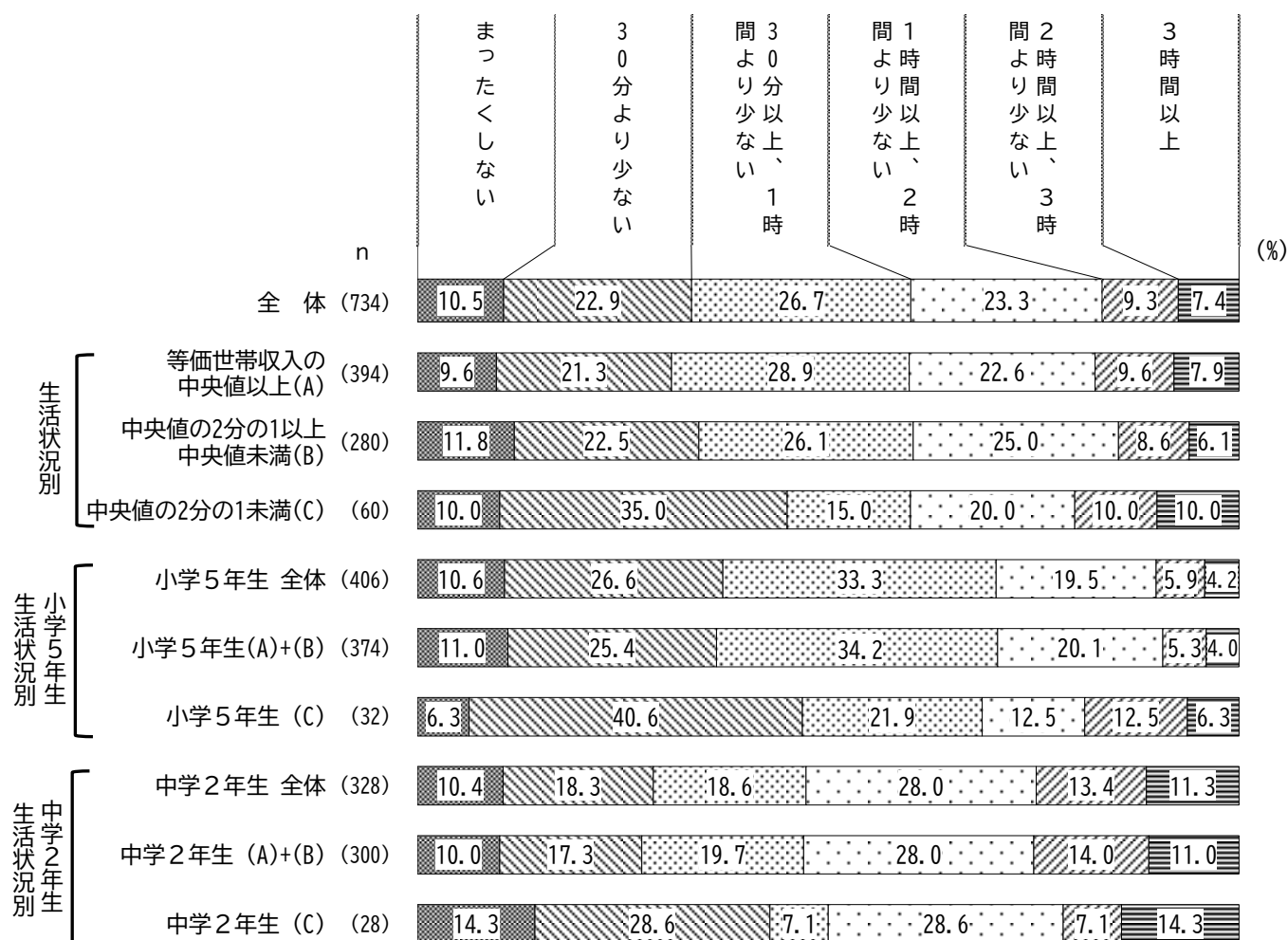
b) 学校がない日

学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）は、全体で「30分以上、1時間より少ない」が26.7%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」23.3%、「30分より少ない」22.9%などとなっている。

生活状況別にみると、「30分より少ない」は中央値の2分の1未満（C）が35.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「30分以上、1時間より少ない」は小学5年生が中学2年生より14.7ポイント高く、「1時間以上、2時間より少ない」は中学2年生が小学5年生より8.5ポイント高くなっている。

小学5年生より中学2年生は、2時間以上の勉強時間が高くなる傾向がある。



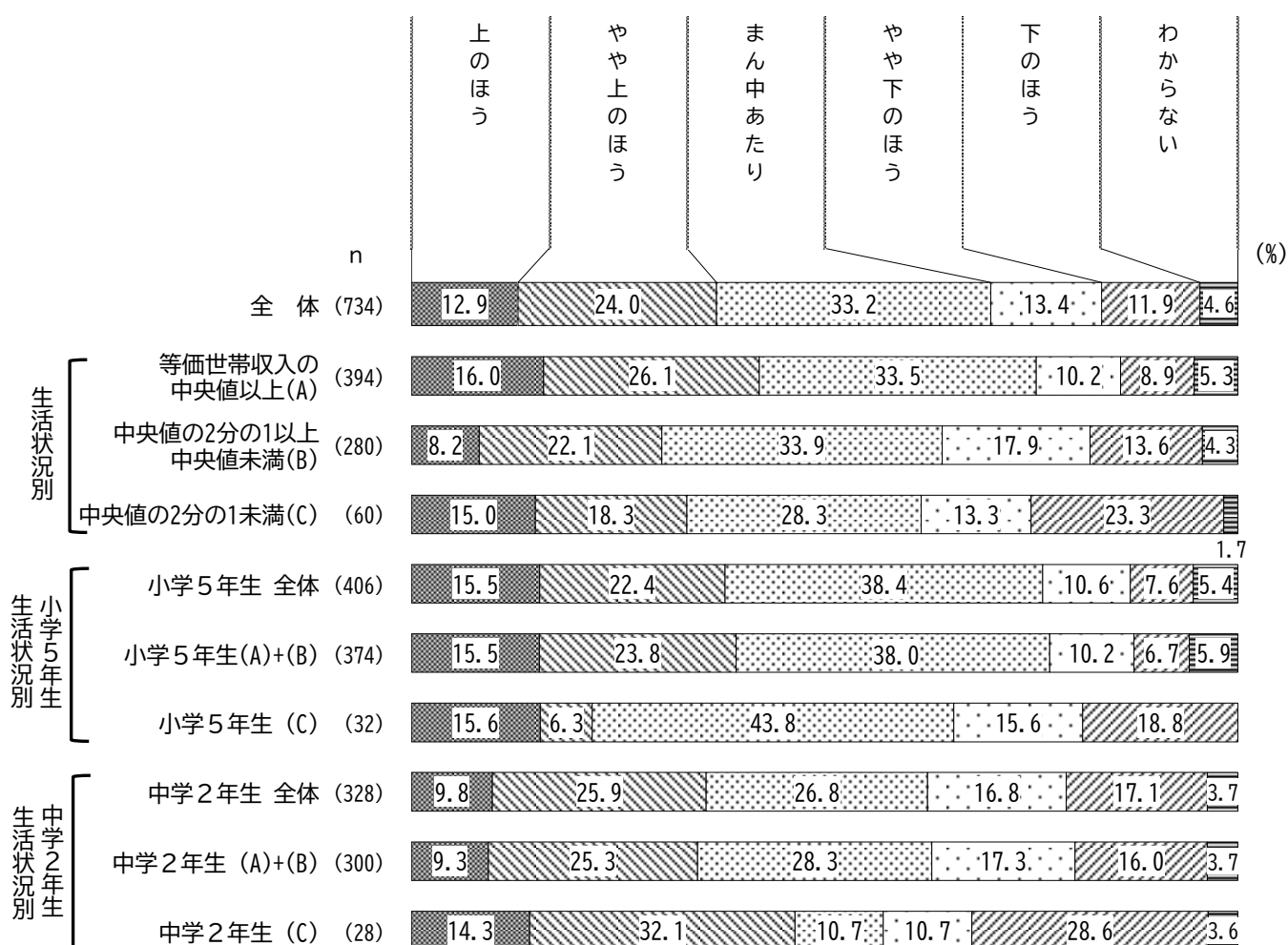
(3) クラスの中での成績

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

クラスの中での成績は、全体で「まん中あたり」が33.2%と最も高く、次いで「やや上のほう」24.0%、「やや下のほう」13.4%などとなっている。

生活状況別にみると、「下のほう」は中央値の2分の1未満(C)が23.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「まん中あたり」は小学5年生が中学2年生より11.6ポイント高く、「下のほう」は中学2年生が小学5年生より9.5ポイント高くなっている。



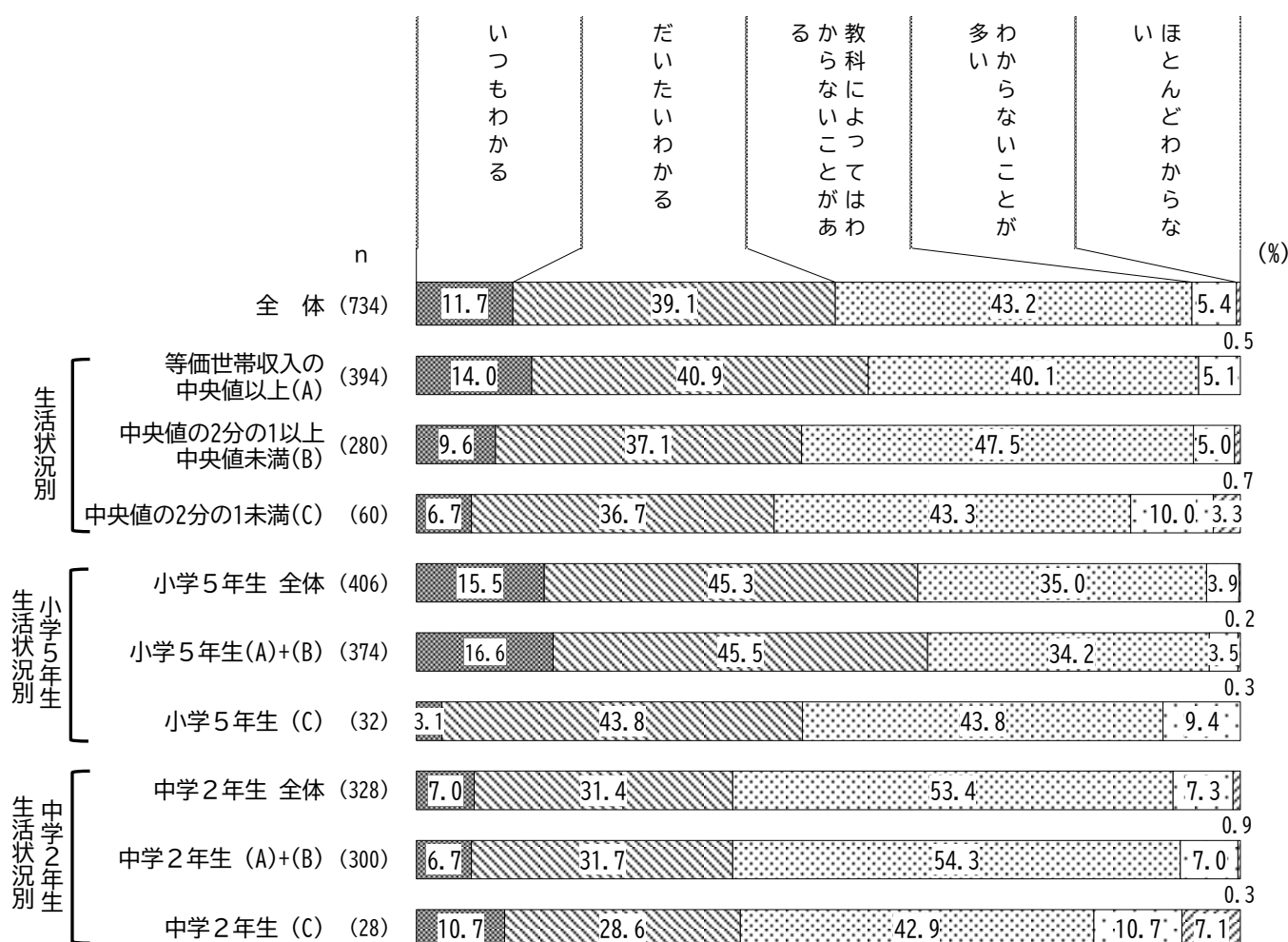
(4) 授業の理解状況

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

授業の理解状況は、全体で「教科によってはわからないことがある」が43.2%と最も高く、次いで「だいたいわかる」39.1%、「いつもわかる」11.7%などとなっている。

生活状況別にみると、「わからないことが多い」は中央値の2分の1未満(C)が10.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「教科によってはわからないことがある」は中学2年生が小学5年生より18.4ポイント高く、「だいたいわかる」は小学5年生が中学2年生より13.9ポイント高くなっている。



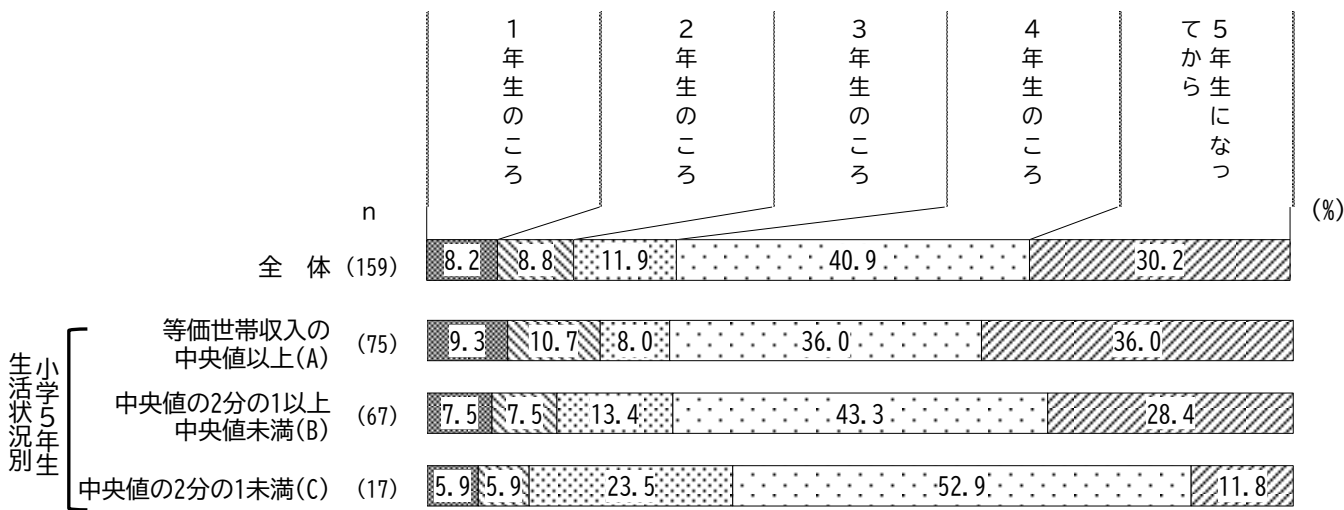
(5) 授業がわからなくなった時期

【問5で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」のいずれかを選択した方のみ】

問6 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
(あてはまるもの1つにチェック)

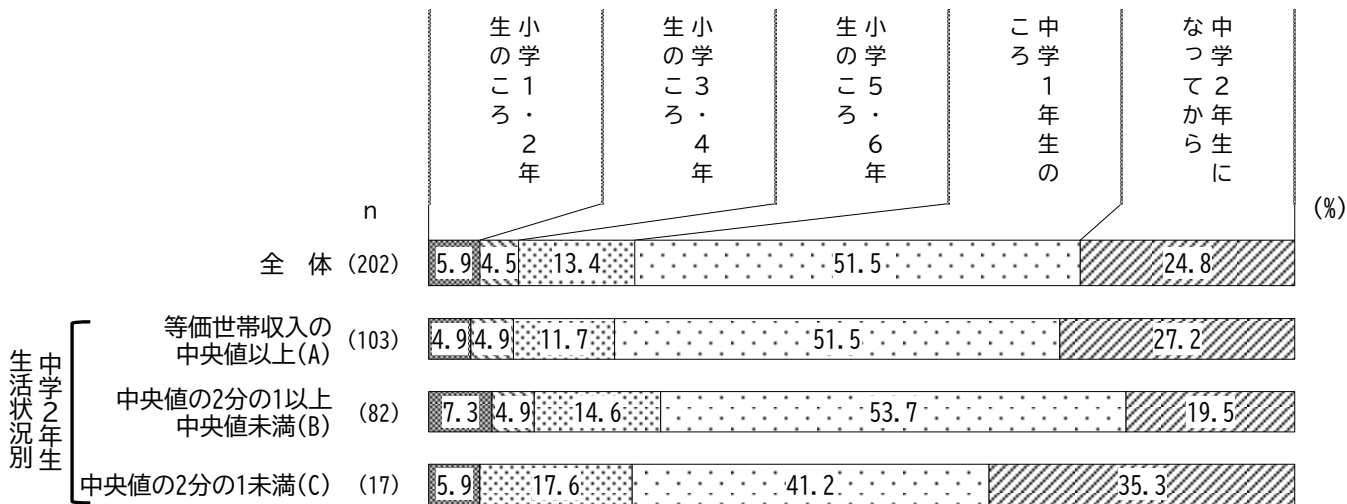
小学5年生

小学5年生の授業がわからなくなった時期は、全体で「4年生のころ」が40.9%と最も高く、次いで「5年生になってから」30.2%、「3年生のころ」11.9%などとなっている。



中学2年生

中学2年生の授業がわからなくなった時期は、全体で「中学1年生のころ」が51.5%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」24.8%、「小学5・6年生のころ」13.4%などとなっている。

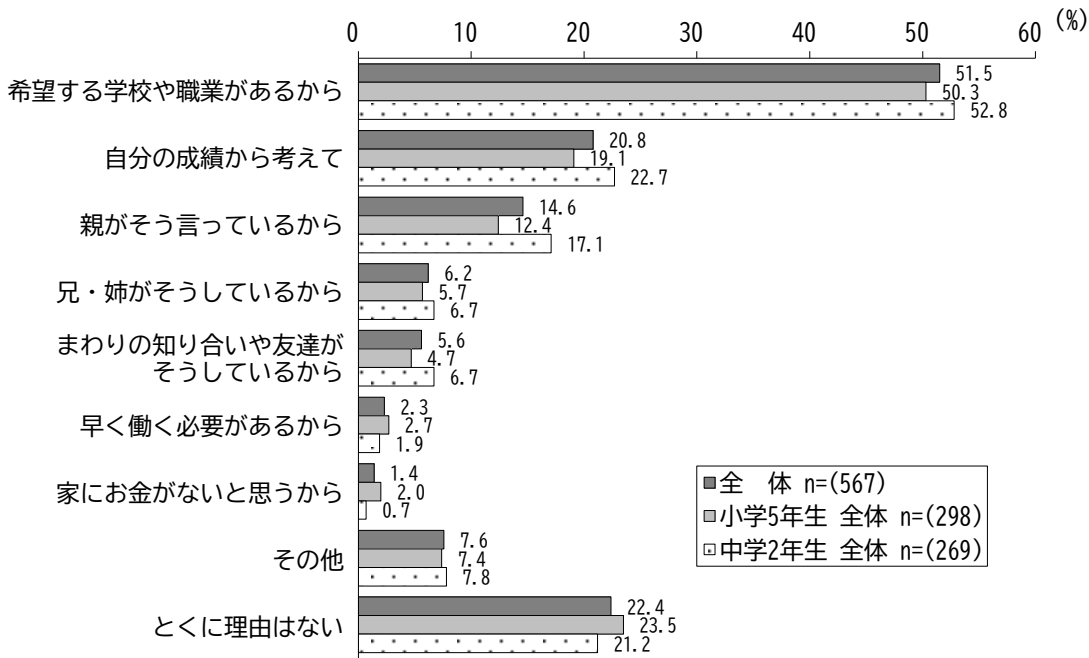


(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

【問7で「中学まで」「高校」「高校、専門学校」「5年生の高等専門学校」「高校、短大」「高校、大学」「高校、大学、大学院」「その他」のいずれかを選択した方のみ】
問8 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてにチェック)

進学希望の教育段階についてそう考える理由は、全体で「希望する学校や職業があるから」が51.5%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」20.8%、「親がそう言っているから」14.6%などとなっている。

学年別にみると、「親がそう言っているから」は中学2年生が小学5年生より4.7ポイント、「自分の成績から考えて」は3.6ポイント高くなっている。



3. 人との関わり

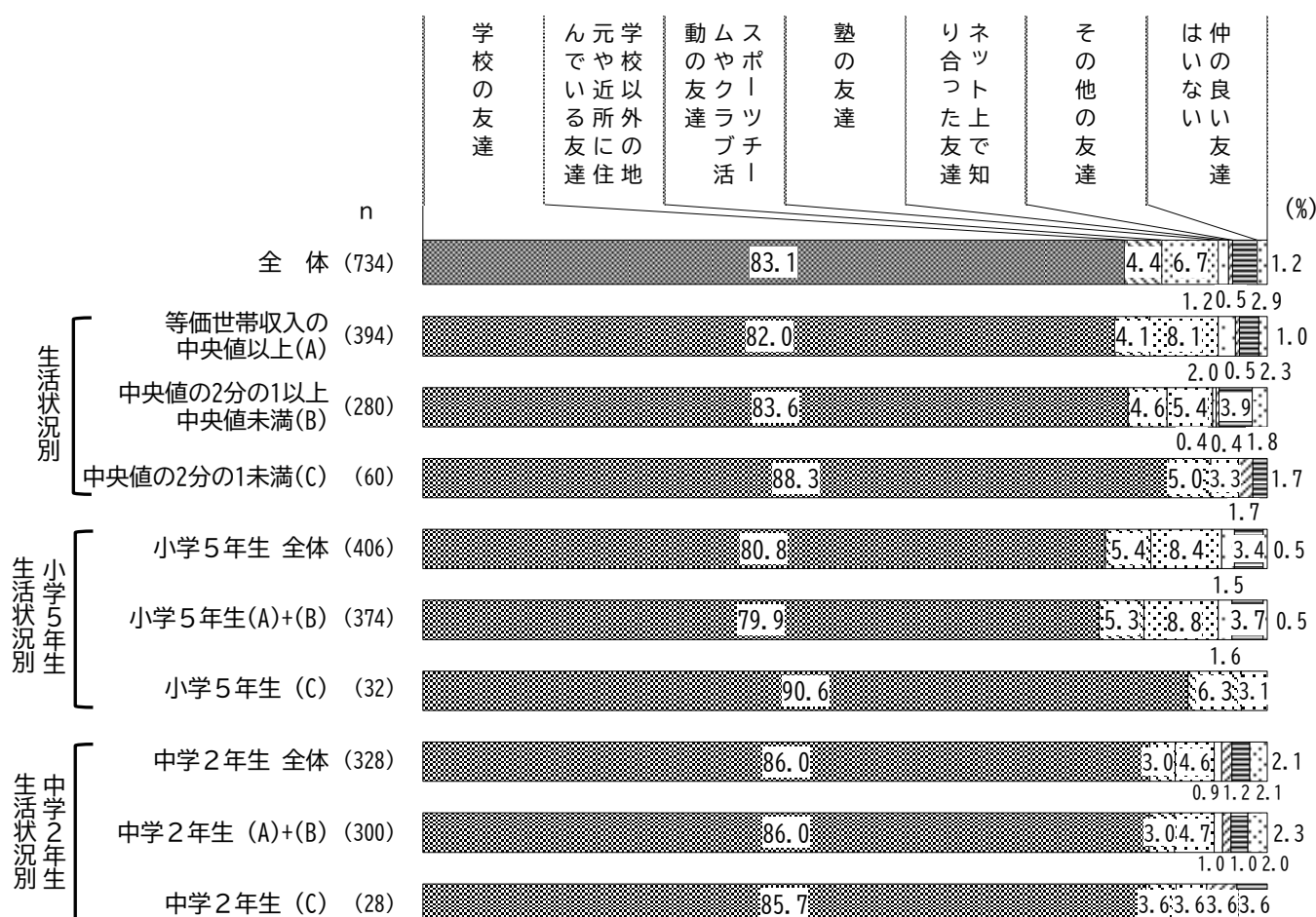
(1) 一番仲の良い友達

問9 あなたの一番仲の良い友達は、どのような友達ですか。(あてはまるもの1つにチェック)

一番仲の良い友達は、全体で「学校の友達」が83.1%と最も高く、次いで「スポーツチームやクラブ活動の友達」6.7%、「学校以外の地元や近所に住んでいる友達」4.4%などとなっている。

生活状況別にみると、「学校の友達」は中央値の2分の1未満(C)が88.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「学校の友達」は中学2年生が小学5年生より5.2ポイント高く、「スポーツチームやクラブ活動の友達」は小学5年生が中学2年生より3.8ポイント高くなっている。



(2) 人とのかかわり

問10 人とのかわりについて、ふだんどのように思っていますか。

(以下それぞれについて、あなたの気持ちに近いものをひとつ選んでください。)

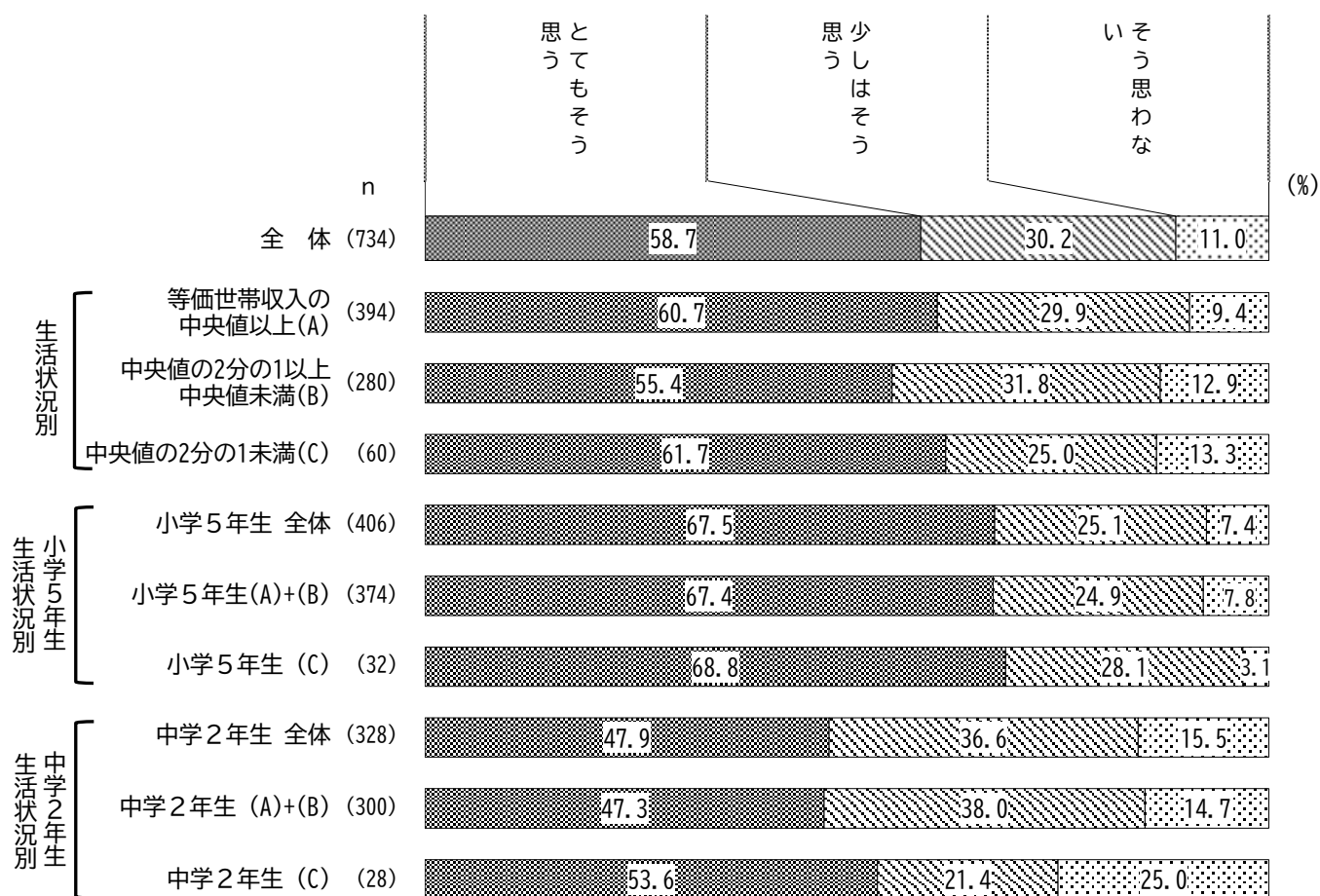
① 友達と一緒にたくさん遊んでいる

友達と一緒にたくさん遊んでいるかどうかは、全体で「とてもそう思う」が58.7%と最も高く、次いで「少しはそう思う」30.2%、「そう思わない」11.0%となっている。

生活状況別にみると、「とてもそう思う」は中央値の2分の1未満（C）が61.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「とてもそう思う」は小学5年生が中学2年生より19.6ポイント高く、「少しはそう思う」は中学2年生が小学5年生より11.5ポイント高くなっている。

小学5年生より中学2年生は、友達と遊んでいると思わないが高くなる傾向がある。

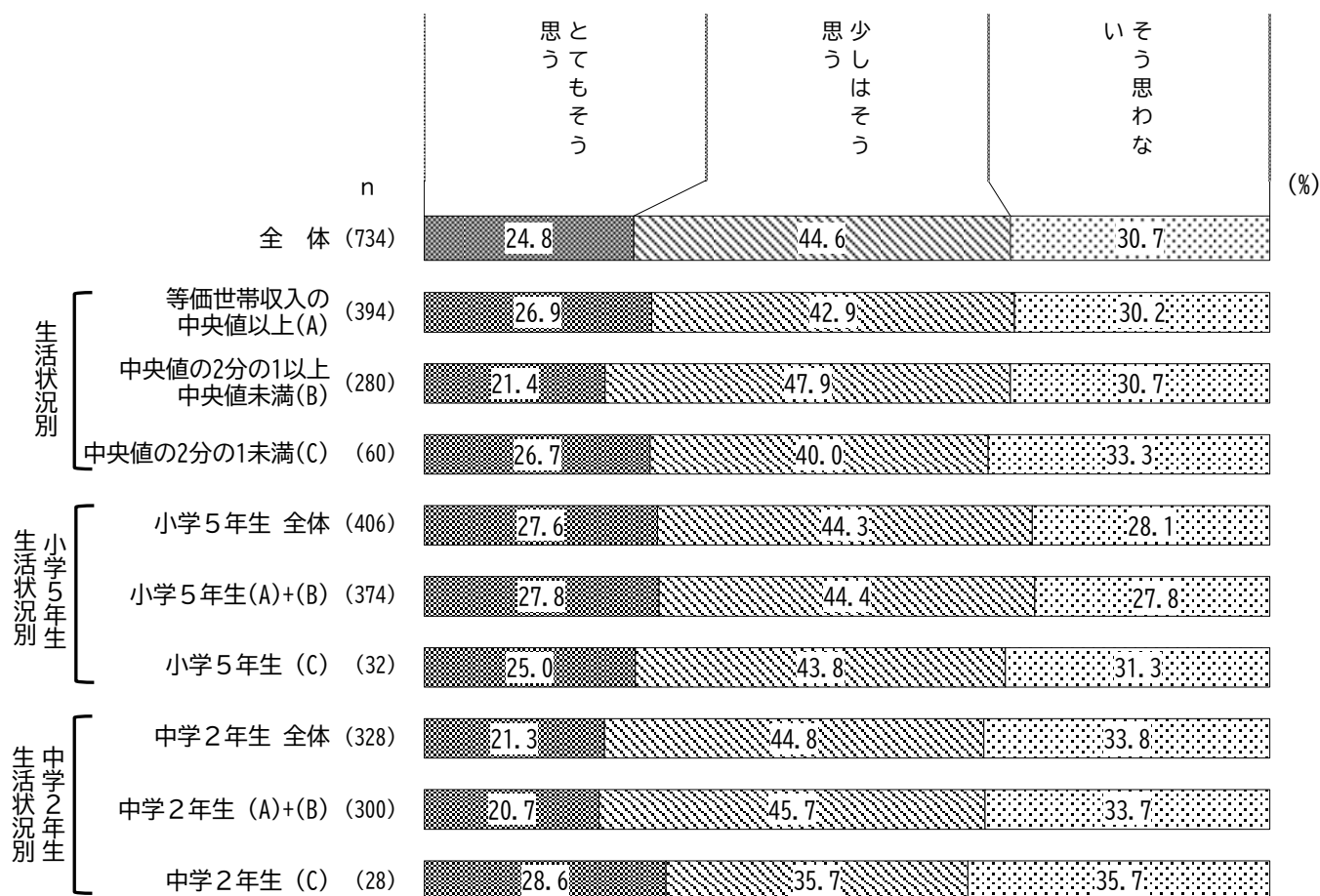


② 違う世代の人と仲良くしている

違う世代の人と仲良くしているかどうかは、全体で「少しはそう思う」が44.6%と最も高く、次いで「そう思わない」30.7%、「とてもそう思う」24.8%となっている。

生活状況別にみると、「少しはそう思う」は中央値の2分の1以上中央値未満（B）が47.9%と最も高くなっている。

学年別にみると、「とてもそう思う」は小学5年生が中学2年生より6.3ポイント高く、「そう思わない」は中学2年生が小学5年生より5.7ポイント高くなっている。

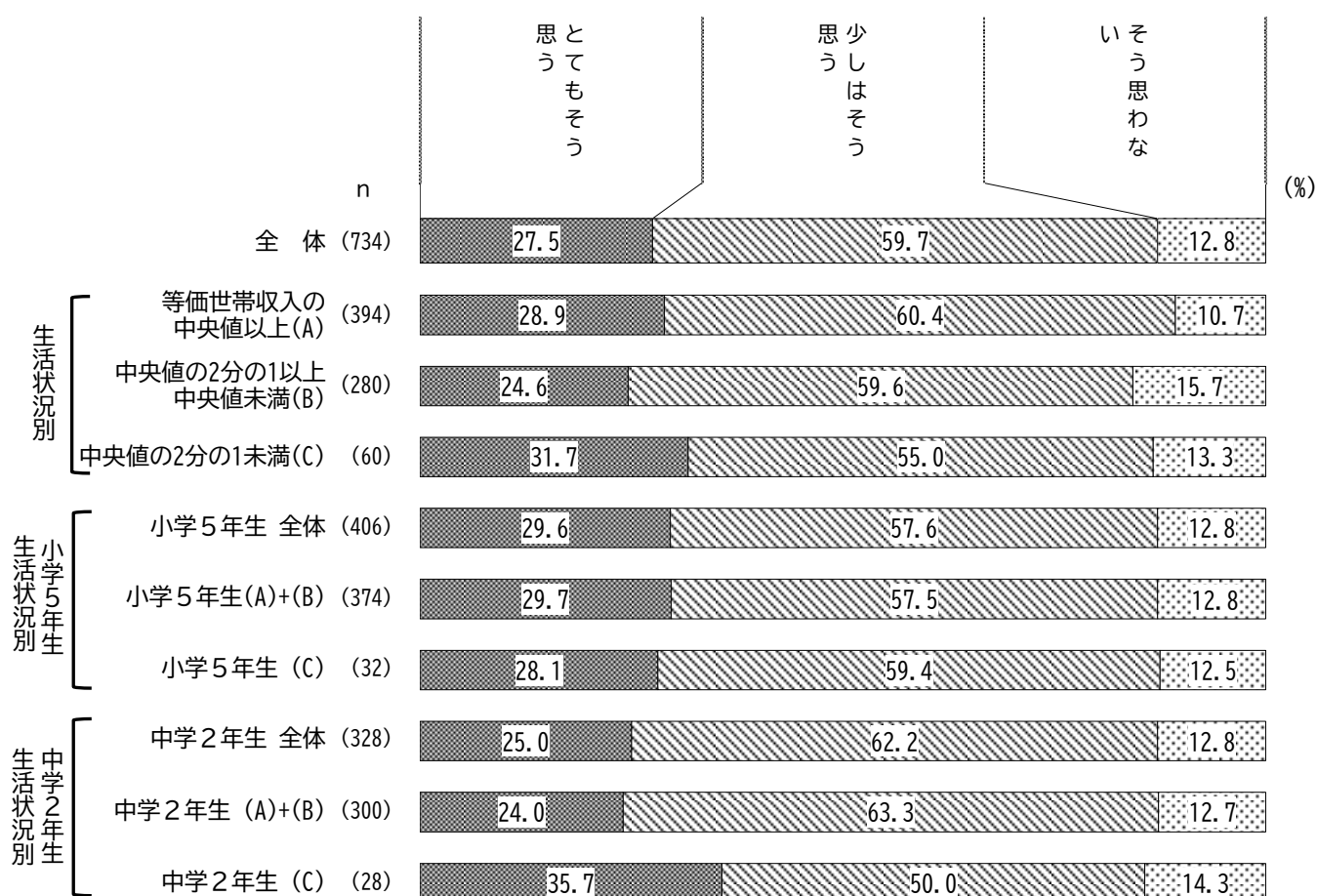


③ 友達に好かれている

友達に好かれているかどうかは、全体で「少しはそう思う」が59.7%と最も高く、次いで「とてもそう思う」27.5%、「そう思わない」12.8%となっている。

生活状況別にみると、「とてもそう思う」は中央値の2分の1未満（C）が31.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「とてもそう思う」は小学5年生が中学2年生より4.6ポイント高く、「少しはそう思う」は中学2年生が小学5年生より4.6ポイント高くなっている。

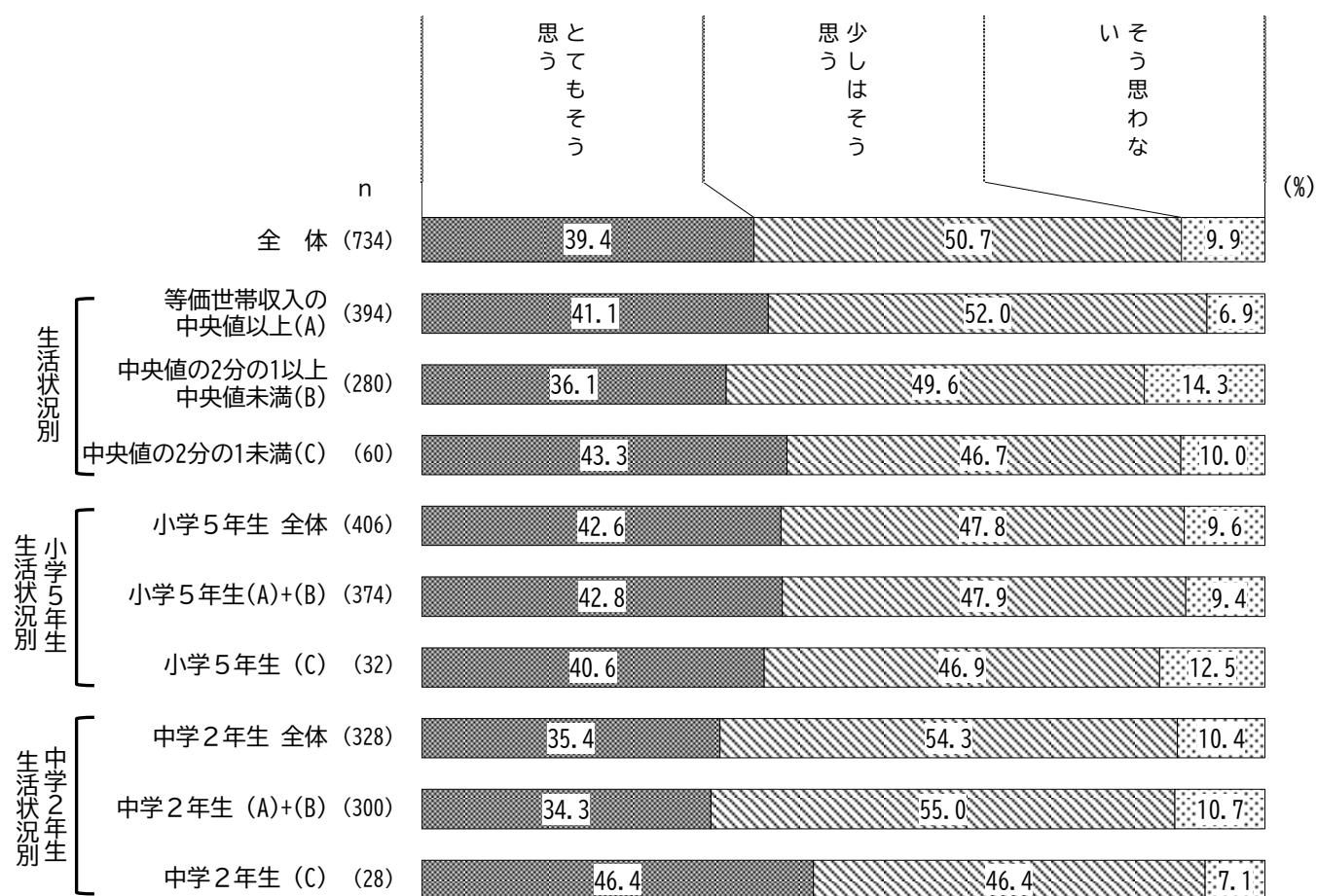


④ 学校の先生からよいところを認められている

学校の先生からよいところを認められているかどうかは、全体で「少しはそう思う」が50.7%と最も高く、次いで「とてもそう思う」39.4%、「そう思わない」9.9%となっている。

生活状況別にみると、「そう思わない」は中央値の2分の1以上中央値未満（B）が14.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「とてもそう思う」は小学5年生が中学2年生より7.2ポイント高く、「少しはそう思う」は中学2年生が小学5年生より6.5ポイント高くなっている。

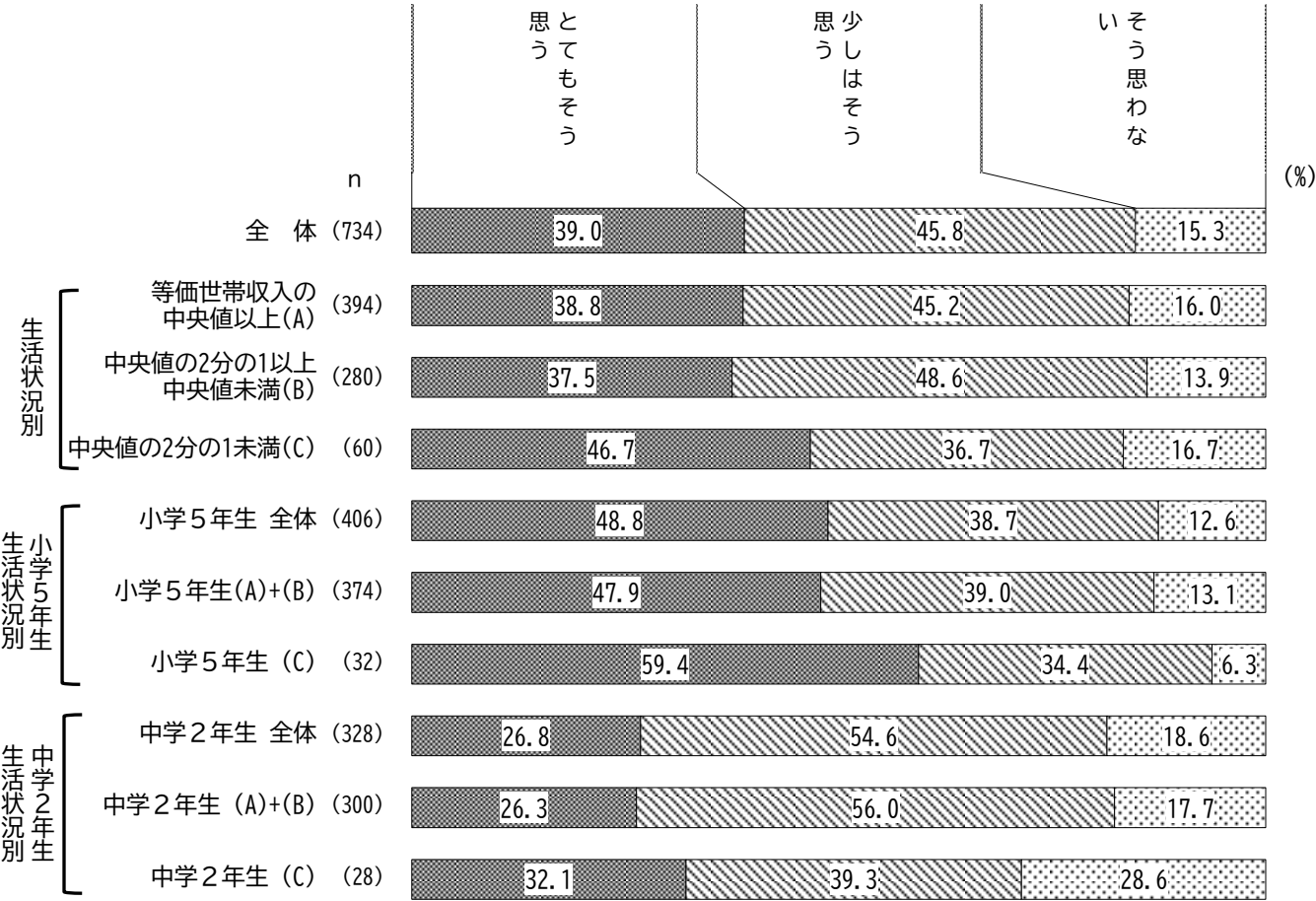


⑤ 学校の先生と話すのは嬉しい

学校の先生と話すのが嬉しいかどうかは、全体で「少しはそう思う」が45.8%と最も高く、次いで「とてもそう思う」39.0%、「そう思わない」15.3%となっている。

生活状況別にみると、「とてもそう思う」は中央値の2分の1未満（C）が46.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「とてもそう思う」は小学5年生が中学2年生より22.0ポイント高く、「少しはそう思う」は中学2年生が小学5年生より15.9ポイント高くなっている。

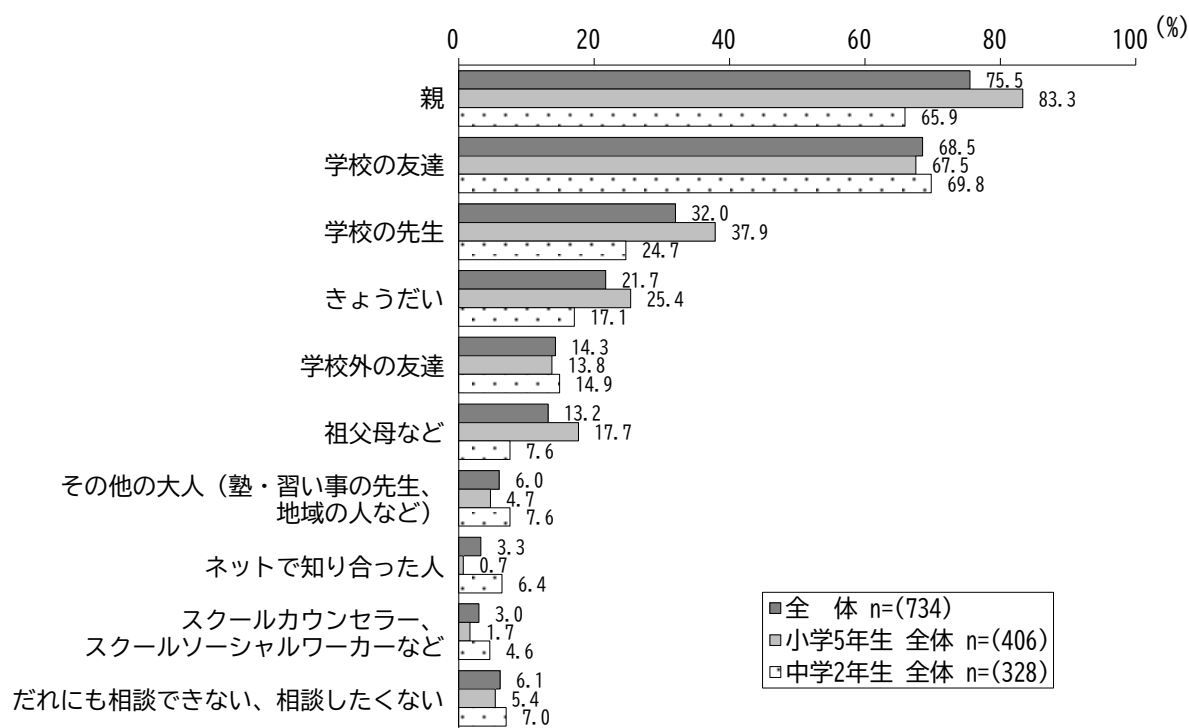


(3) 相談できると思う相手

問11 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてにチェック)

相談できると思う相手は、全体で「親」が75.5%と最も高く、次いで「学校の友達」68.5%、「学校の先生」32.0%などとなっている。

学年別にみると、「親」は小学5年生が中学2年生より17.4ポイント、「学校の先生」は13.2ポイント高くなっている。



4. 部活動等への参加状況

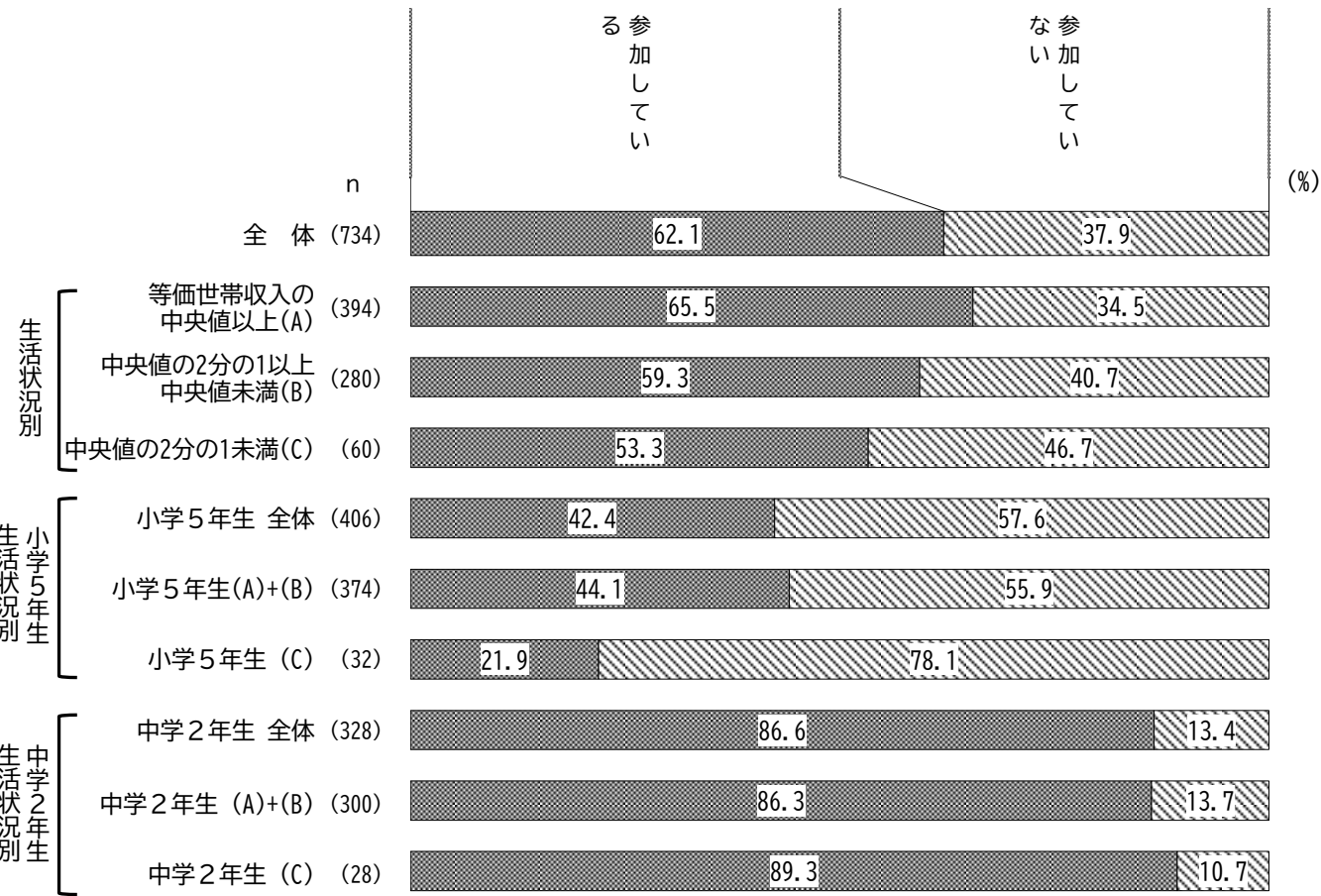
(1) 部活動等への参加状況

問12 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ（※中2のみ学校の部活動）に参加していますか。（あてはまるもの1つにチェック）

部活動等への参加状況は、全体で「参加している」が62.1%と最も高く、「参加していない」37.9%となっている。

生活状況別にみると、「参加していない」は中央値の2分の1未満（C）が46.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「参加している」は中学2年生が小学5年生より44.2ポイント高く、「参加していない」は小学5年生が中学2年生より44.2ポイント高くなっている。



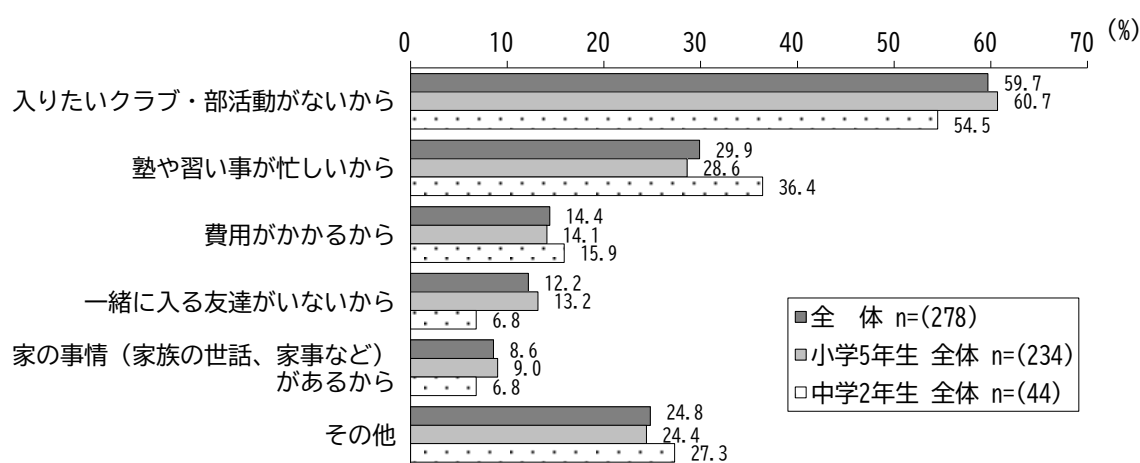
(2) 部活動等に参加していない理由

【問12で「参加していない」を選択した方のみ】

問13 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてにチェック)

部活動等に参加していない理由は、全体で「入りたいクラブ・部活動がないから」が59.7%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」29.9%、「費用がかかるから」14.4%などとなっている。

学年別にみると、「塾や習い事が忙しいから」は中学2年生が小学5年生より7.8ポイント高く、「一緒に入る友達がいらないから」は小学5年生が中学2年生より6.4ポイント高くなっている。



5. 日常的な生活の状況

(1) 食事の状況

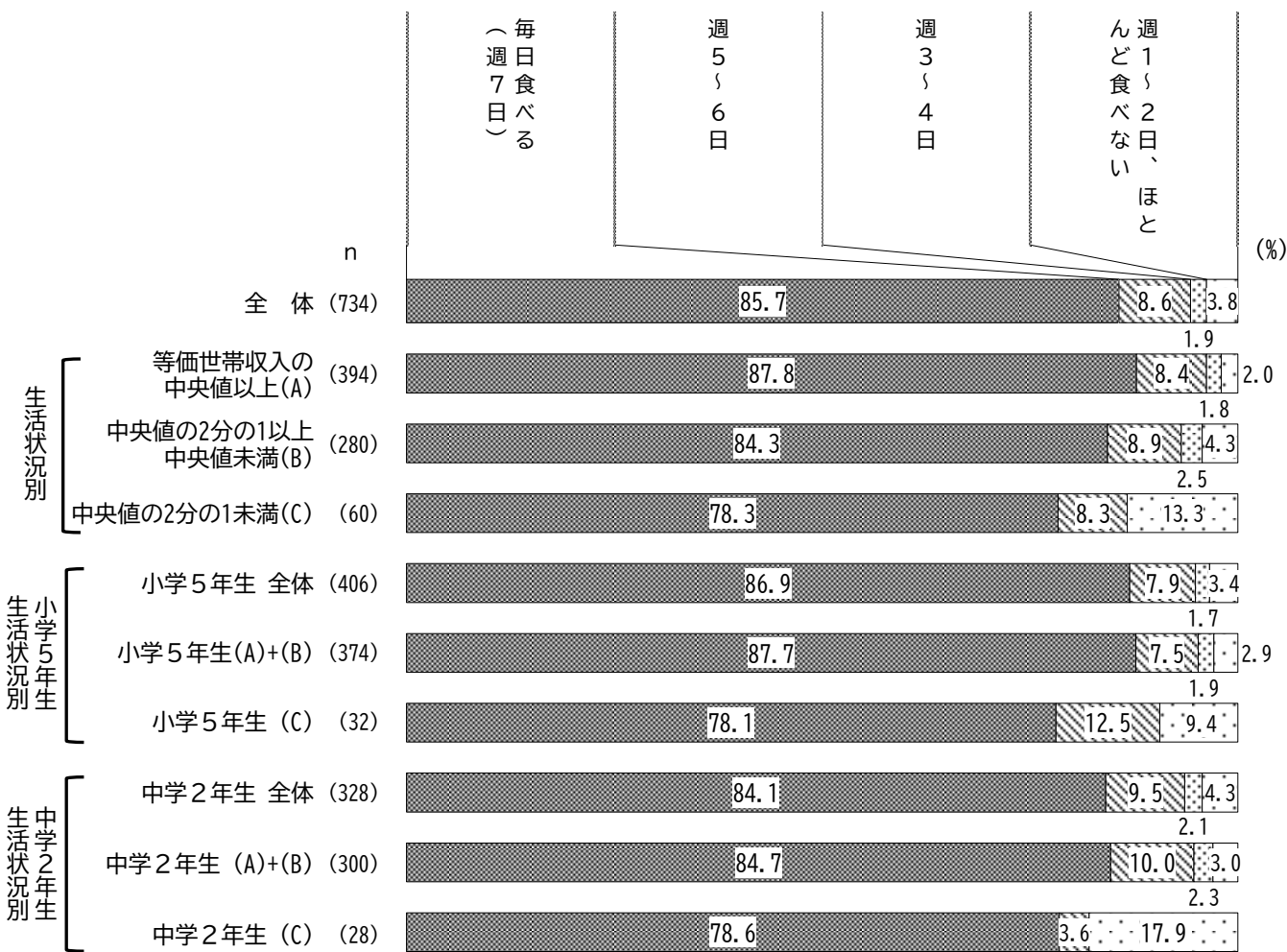
問14 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(それぞれについて、あてはまるもの1つにチェック)

a) 朝食

食事の状況（朝食）は、全体で「毎日食べる（週7日）」が85.7%と最も高く、次いで「週5～6日」8.6%、「週1～2日、ほとんど食べない」3.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「週1～2日、ほとんど食べない」は中央値の2分の1未満（C）が13.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「毎日食べる（週7日）」は小学5年生が中学2年生より2.8ポイント高く、「週5～6日」は中学2年生が小学5年生より1.6ポイント高くなっている。

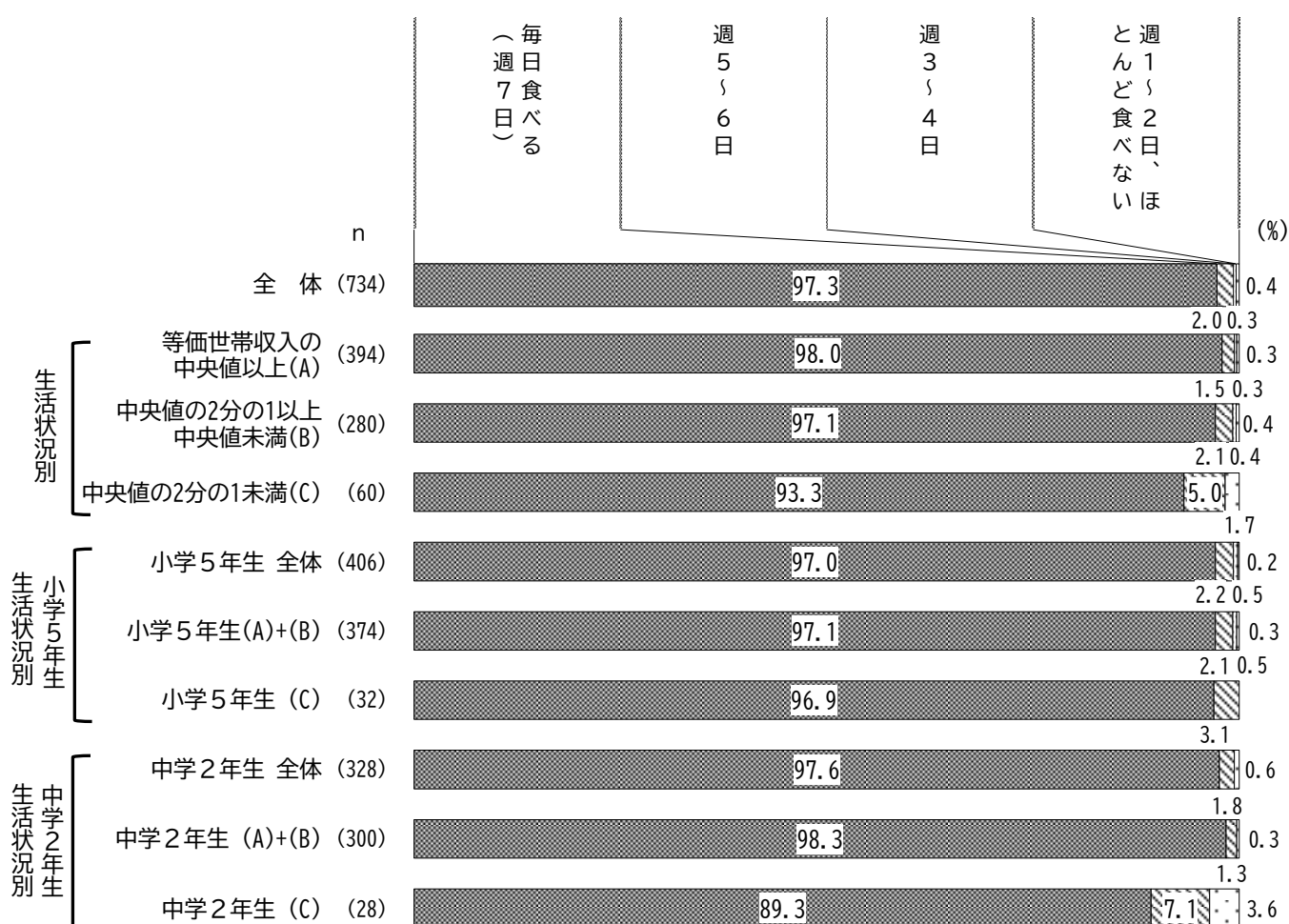


b) 夕食

食事の状況（夕食）は、全体で「毎日食べる（週7日）」が97.3%と最も高く、次いで「週5～6日」2.0%、「週1～2日、ほとんど食べない」0.4%などとなっている。

生活状況別にみると、「週5～6日」は中央値の2分の1未満（C）が5.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「毎日食べる（週7日）」は中学2年生が小学5年生より0.6ポイント高く、「週5～6日」は小学5年生が中学2年生より0.4ポイント、「週1～2日、ほとんど食べない」は中学2年生が小学5年生より0.4ポイント高くなっている。

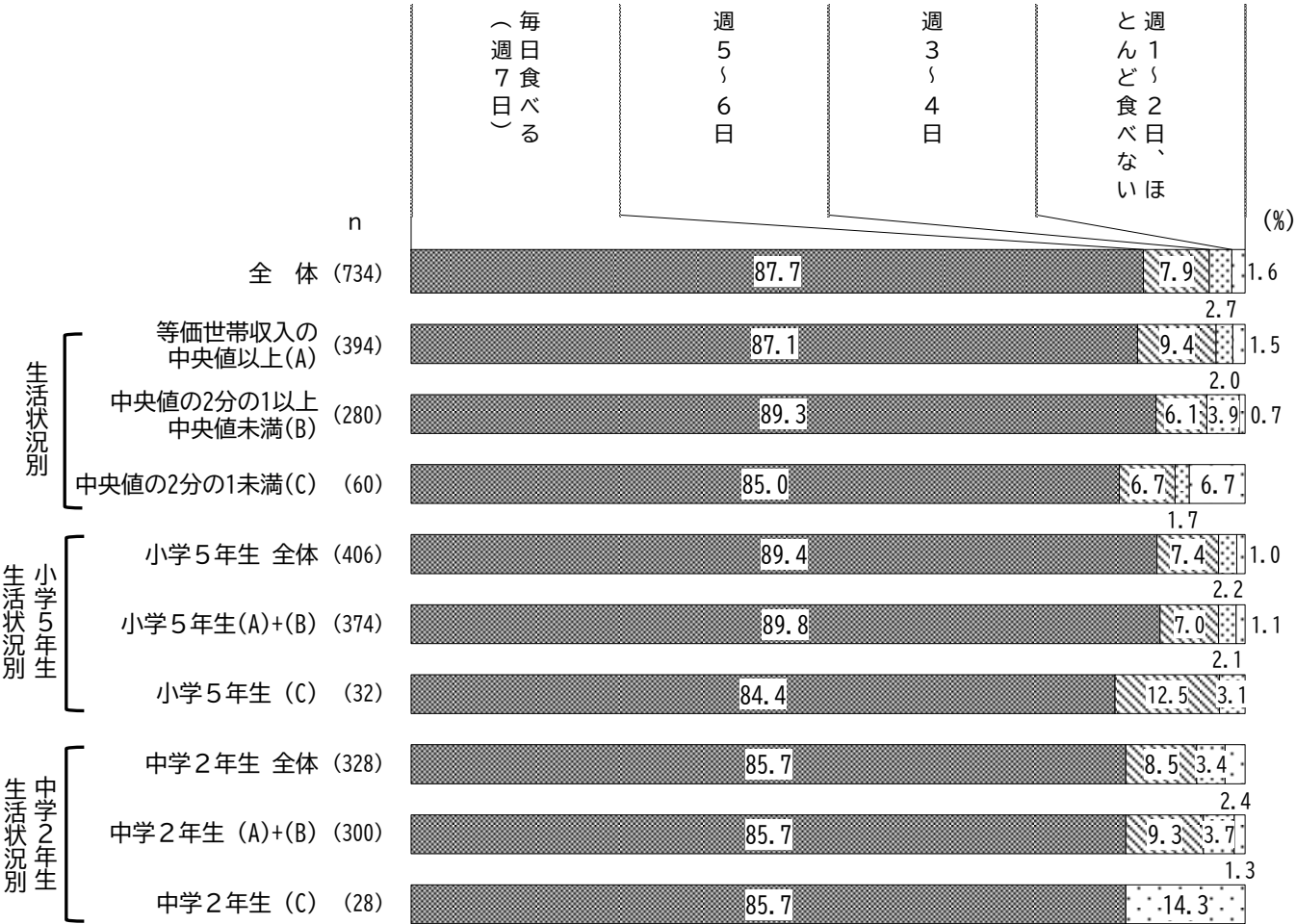


c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

食事の状況（夏休みや冬休みなどの期間の昼食）は、全体で「毎日食べる（週7日）」が87.7%と最も高く、次いで「週5～6日」7.9%、「週3～4日」2.7%などとなっている。

生活状況別にみると、「週1～2日、ほとんど食べない」は中央値の2分の1未満（C）が6.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「毎日食べる（週7日）」は小学5年生が中学2年生より3.7ポイント高く、「週1～2日、ほとんど食べない」は中学2年生が小学5年生より1.4ポイント高くなっている。



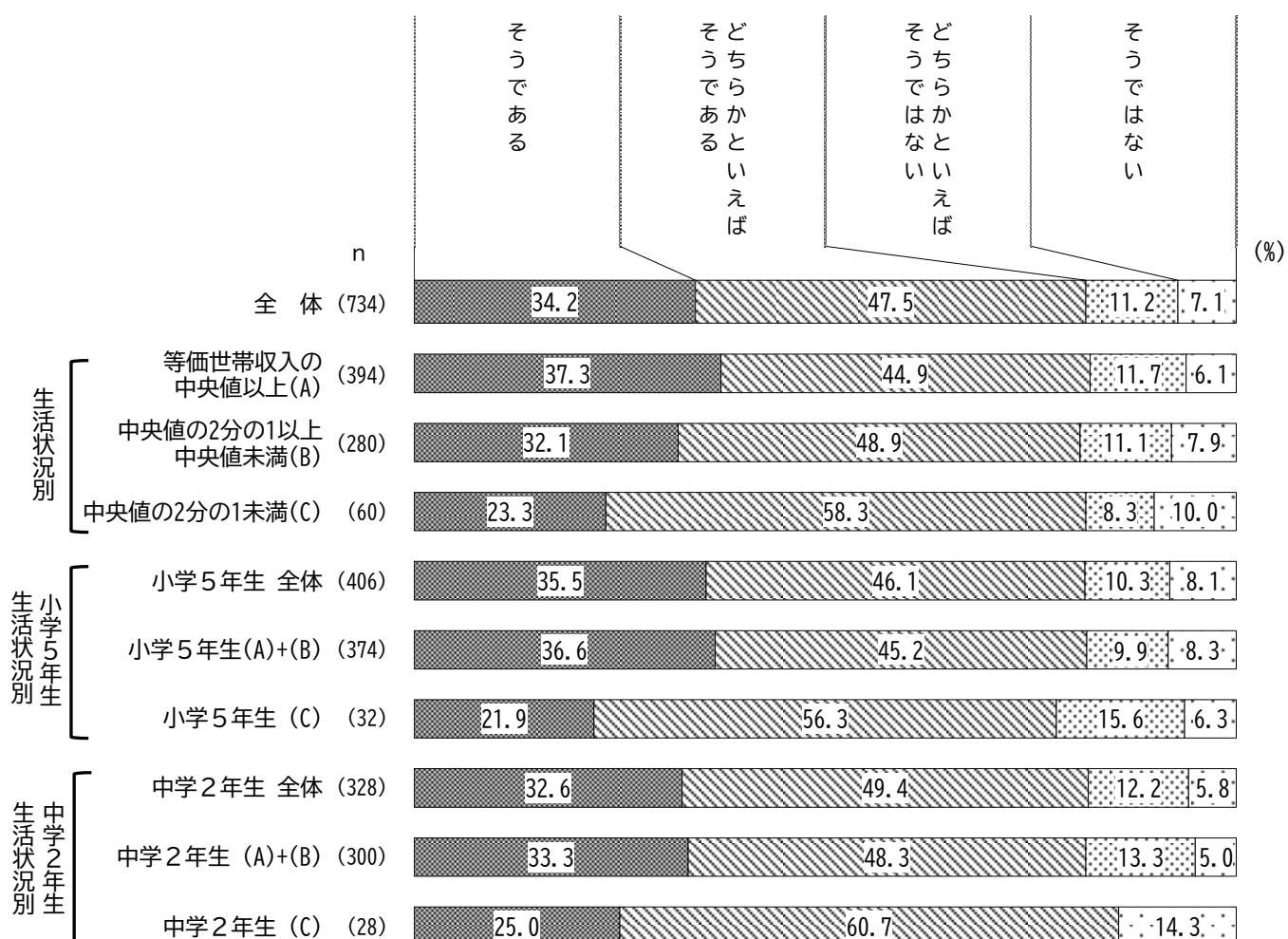
(2) ふだん、ほぼ同じ時間に寝ている

問15 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

平日ほぼ同じ時間に寝ているかどうかは、全体で「どちらかといえばそうである」が47.5%と最も高く、次いで「そうである」34.2%、「どちらかといえばそうではない」11.2%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえばそうである」は中央値の2分の1未満(C)が58.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「どちらかといえばそうである」は中学2年生が小学5年生より3.3ポイント高く、「そうである」は小学5年生が中学2年生より2.9ポイント高くなっている。

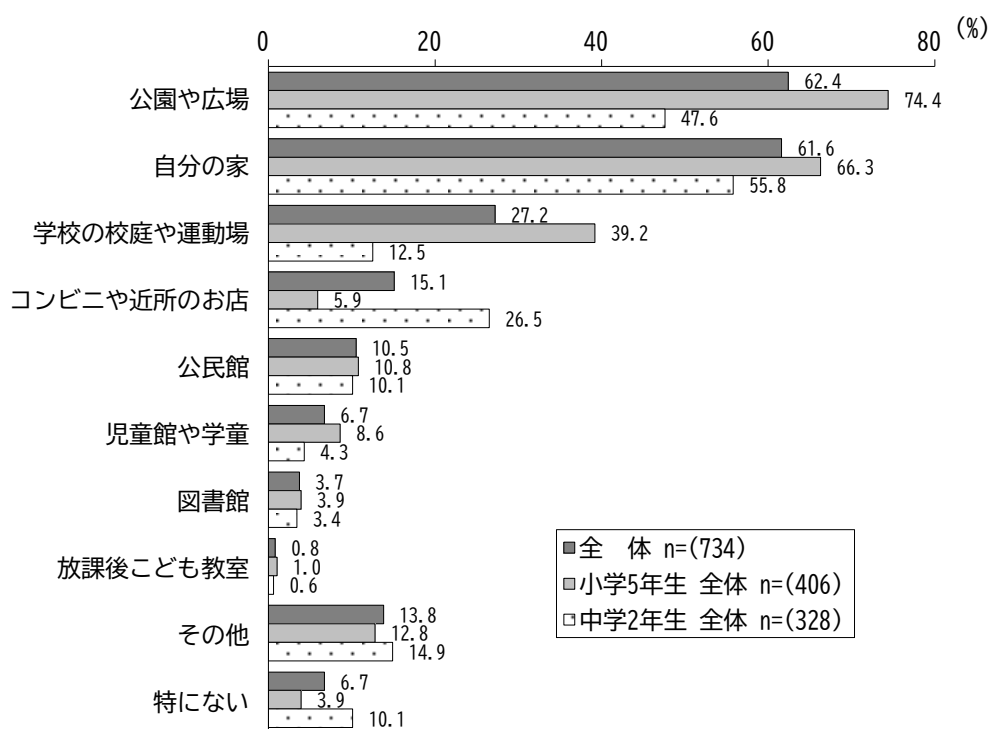


(3) 近くで遊ぶ場所

問16 あなたが、いつも近くで遊ぶ場所はどこですか。(あてはまるものすべてにチェック)

近くで遊ぶ場所は、全体で「公園や広場」が62.4%と最も高く、次いで「自分の家」61.6%、「学校の校庭や運動場」27.2%などとなっている。

学年別にみると、「公園や広場」は小学5年生が中学2年生より26.8ポイント、「学校の校庭や運動場」は26.7ポイント高くなっている。



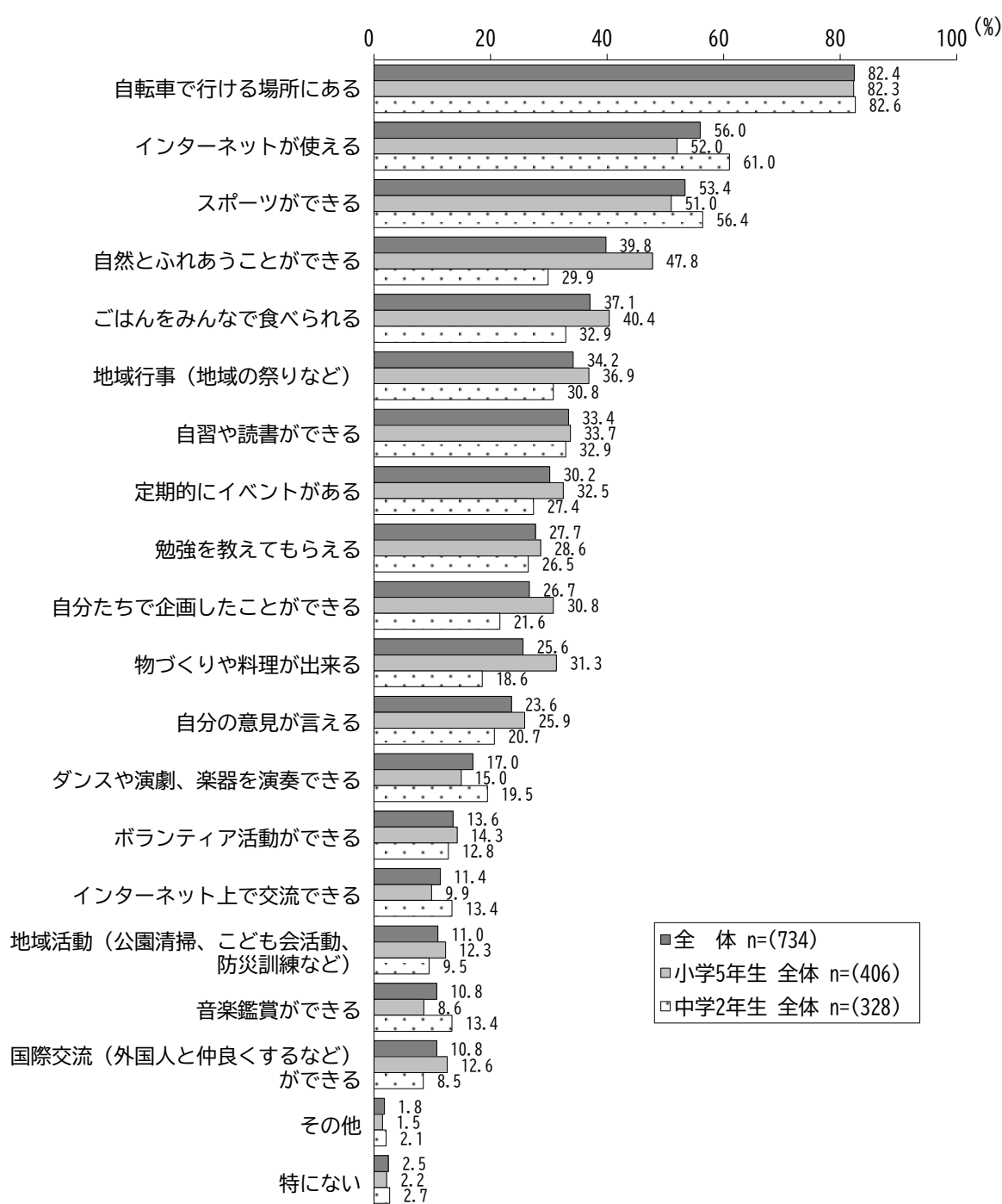
6. 居場所

(1) こどもが利用すると思う場所

問18 こどもが過ごす場所として、どのような場所であればこどもは利用すると思いますか。
(あてはまるものすべてにチェック)

こどもが利用すると思う場所は、全体で「自転車で行ける場所にある」が82.4%と最も高く、次いで「インターネットが使える」56.0%、「スポーツができる」53.4%などとなっている。

学年別にみると、「自然とふれあうことができる」は小学5年生が中学2年生より17.9ポイント、「物づくりや料理が出来る」は12.7ポイント高くなっている。

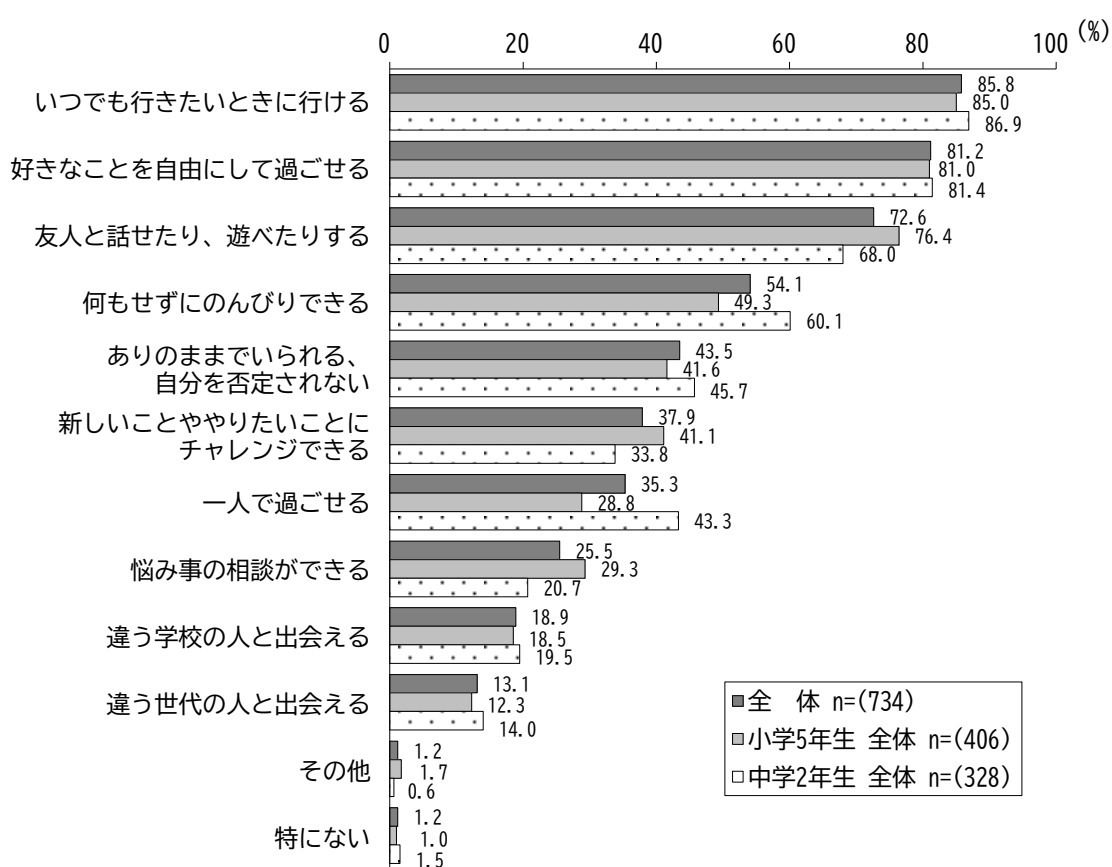


(2) 行ってみたい、行きやすい場所

問19 どのような場所であれば行ってみたい、行きやすいと思いますか。
(あてはまるものすべてにチェック)

行ってみたい、行きやすい場所は、全体で「いつでも行きたいときに行ける」が85.8%と最も高く、次いで「好きなことを自由にして過ごせる」81.2%、「友人と話せたり、遊べたりする」72.6%などとなっている。

学年別にみると、「一人で過ごせる」は中学2年生が小学5年生より14.5ポイント、「何もせずにのんびりできる」は10.8ポイント高くなっている。



(3) 各場所の利用意向

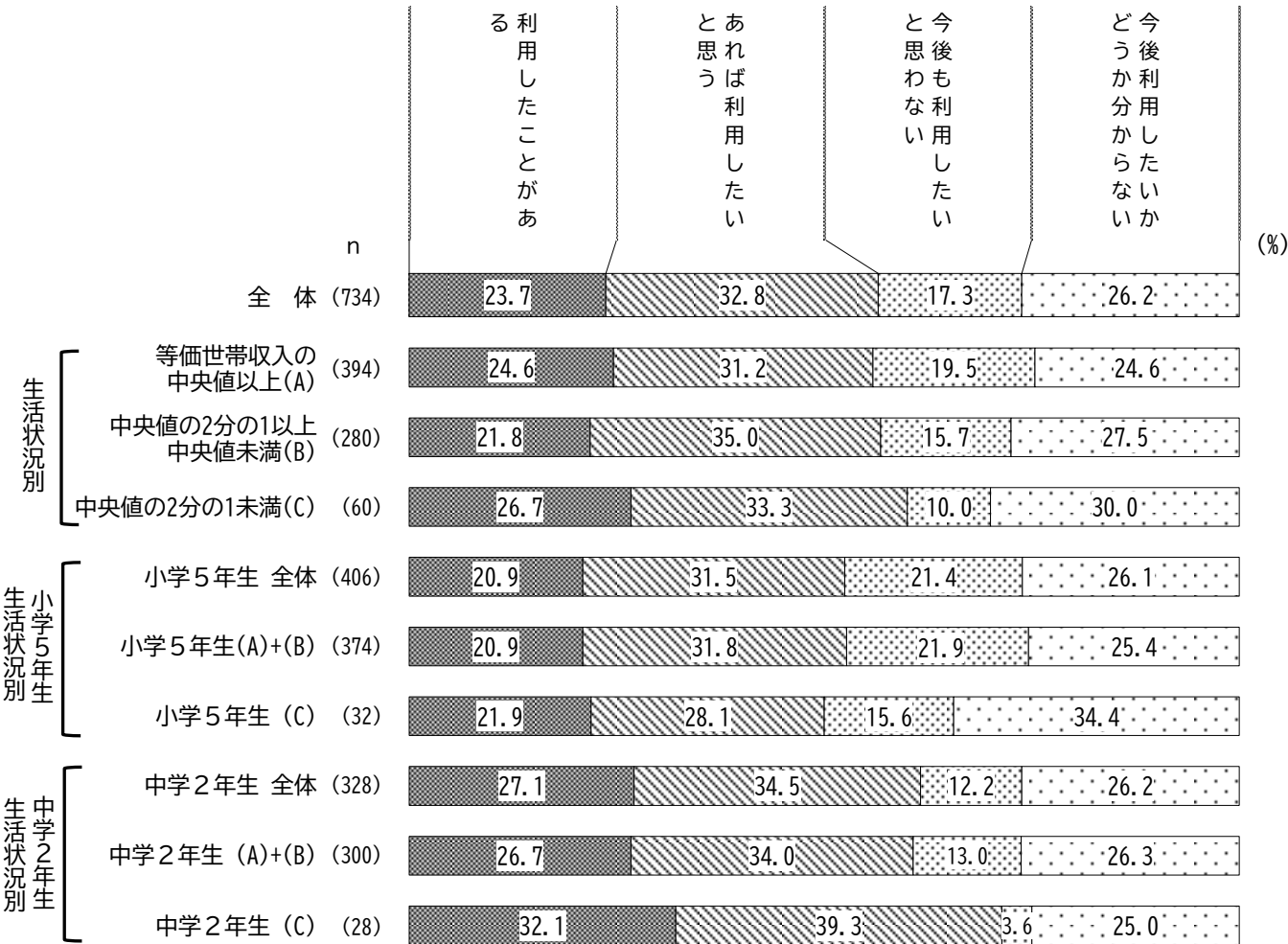
問20 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(それぞれについて、あてはまるもの1つにチェック)

a) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

平日の夜や休日を過ごすことができる場所については、全体で「あれば利用したいと思う」が32.8%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」26.2%、「利用したことがある」23.7%などとなっている。

生活状況別にみると、「今後利用したいかどうか分からない」は中央値の2分の1未満（C）が30.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「今後も利用したいと思わない」は小学5年生が中学2年生より9.2ポイント高く、「利用したことがある」は中学2年生が小学5年生より6.2ポイント高くなっている。

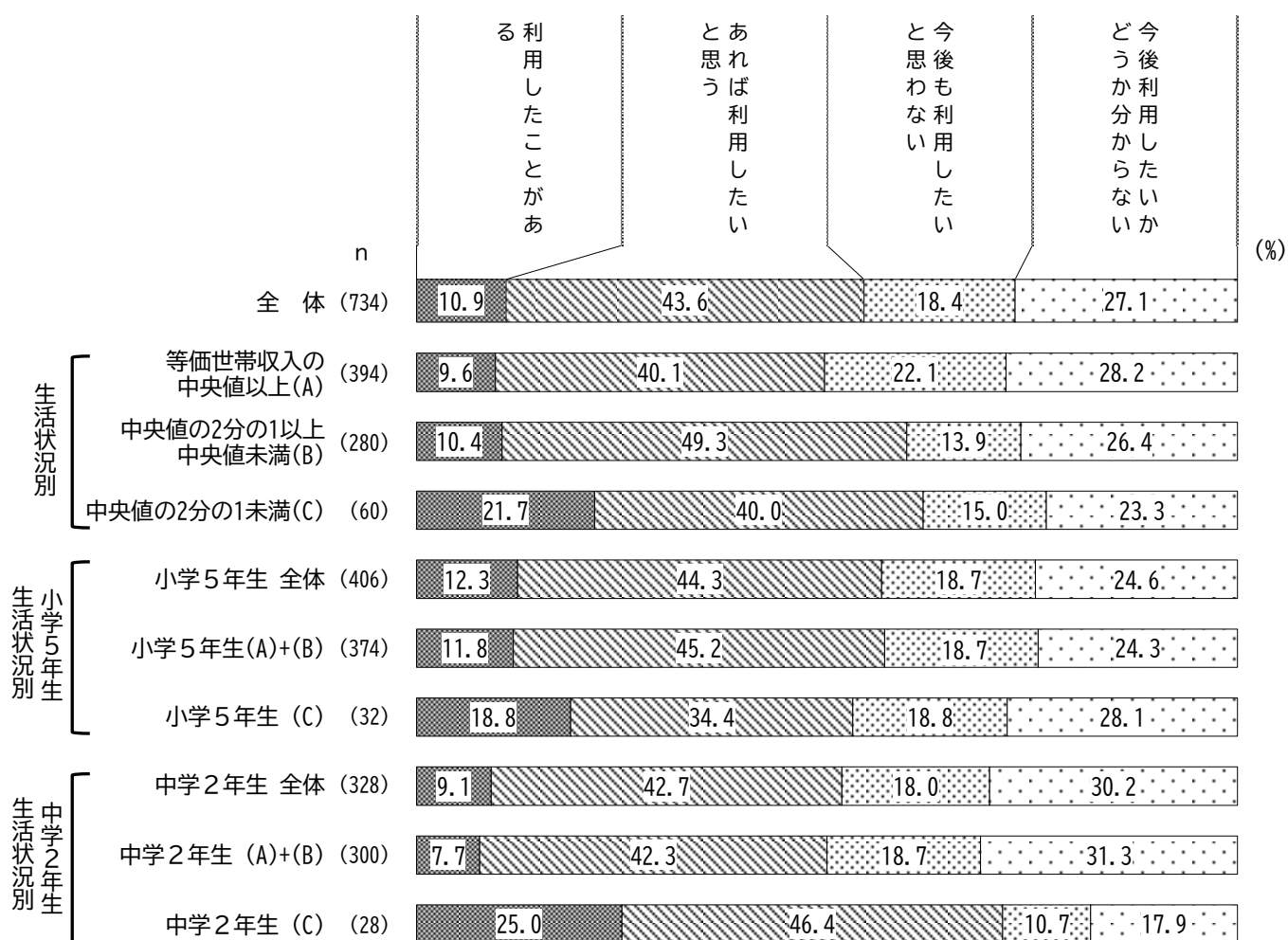


b) タごはんを無料か安く食べることができる場所

タごはんを無料か安く食べることができる場所については、全体で「あれば利用したいと思う」が43.6%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」27.1%、「今後も利用したいと思わない」18.4%などとなっている。

生活状況別にみると、「利用したことがある」は中央値の2分の1未満（C）が21.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「今後利用したいかどうか分からない」は中学2年生が小学5年生より5.6ポイント高く、「利用したことがある」は小学5年生が中学2年生より3.2ポイント高くなっている。

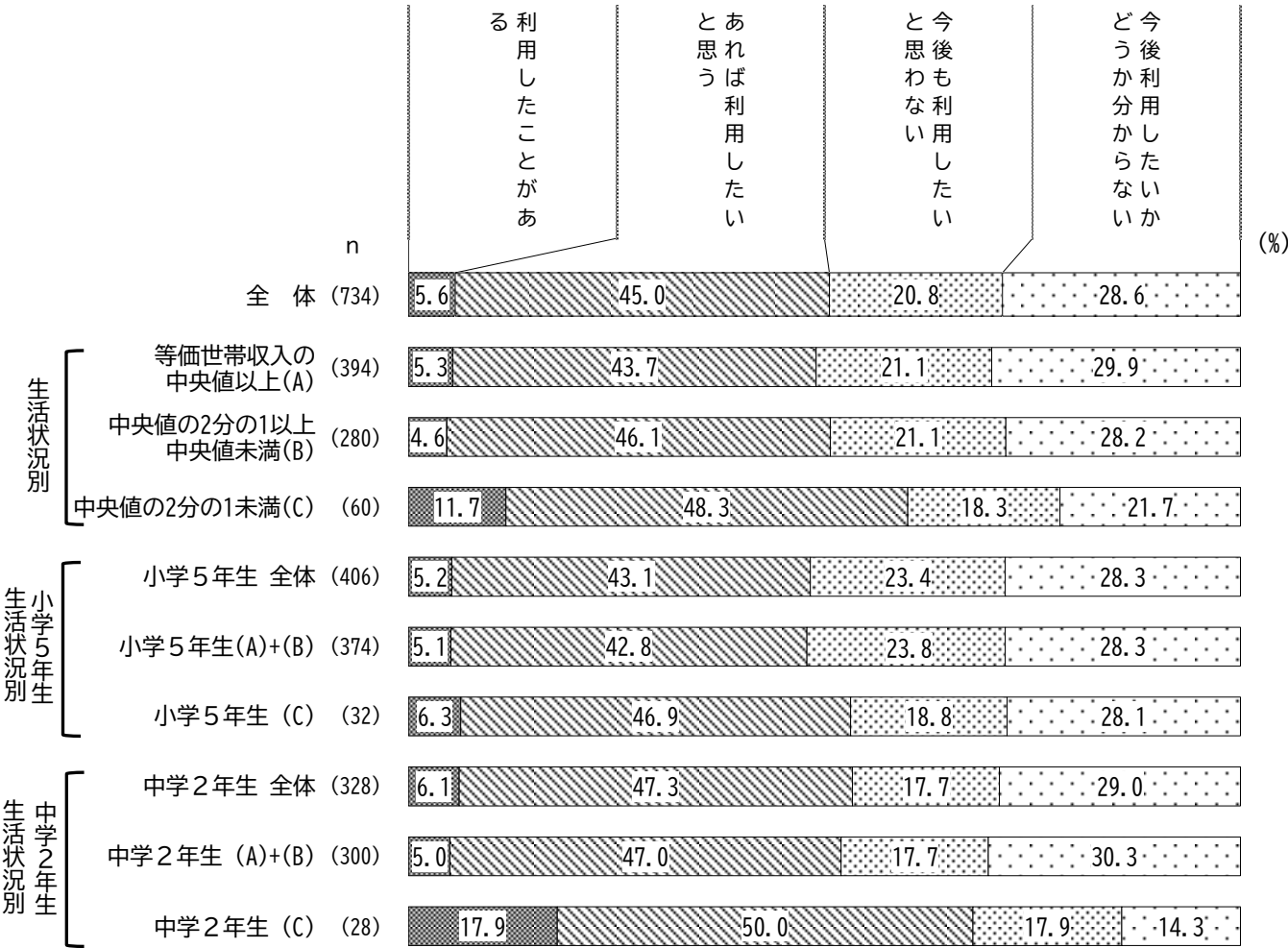


c) 勉強を無料でみてる場所

勉強を無料でみてる場所については、全体で「あれば利用したいと思う」が45.0%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」28.6%、「今後も利用したいと思わない」20.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「利用したことがある」は中央値の2分の1未満（C）が11.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「今後も利用したいと思わない」は小学5年生が中学2年生より5.7ポイント高く、「あれば利用したいと思う」は中学2年生が小学5年生より4.2ポイント高くなっている。

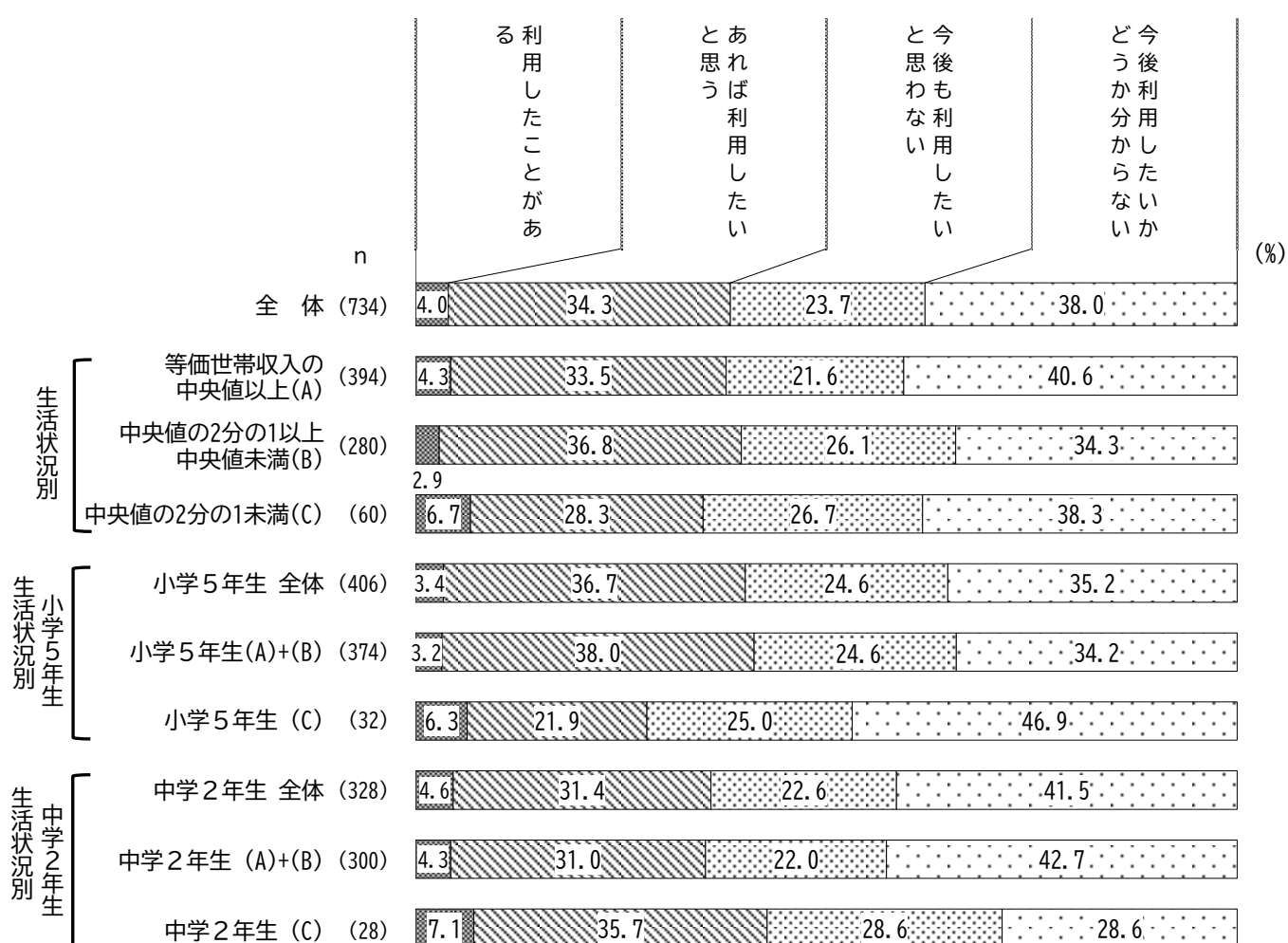


d) 何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）

何でも相談できる場所については、全体で「今後利用したいかどうか分からない」が38.0%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」34.3%、「今後も利用したいと思わない」23.7%などとなっている。

生活状況別にみると、「今後も利用したいと思わない」は中央値の2分の1未満（C）が26.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「今後利用したいかどうか分からない」は中学2年生が小学5年生より6.3ポイント高く、「あれば利用したいと思う」は小学5年生が中学2年生より5.3ポイント高くなっている。



(4) 利用したことでの変化

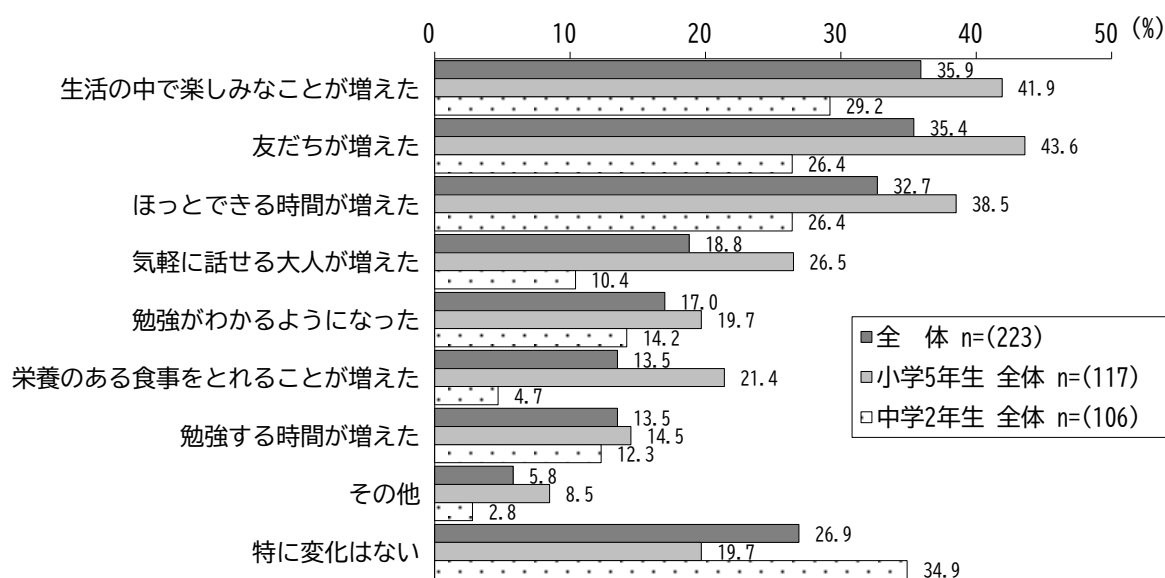
【問20で「(自分や友達の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」「(自分や友達の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (こども食堂など)」「勉強を無料でみてくれる場所」「(家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」のいずれかを選択し、かつそれを「利用したことがある」と回答した方のみ】

問21 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(あてはまるものすべてにチェック)

利用したことでの変化は、全体で「生活の中で楽しみなことが増えた」が35.9%と最も高く、次いで「友だちが増えた」35.4%、「ほっとできる時間が増えた」32.7%などとなっている。

学年別にみると、「友だちが増えた」は小学5年生が中学2年生より17.2ポイント、「栄養のある食事をとれることが増えた」は16.7ポイント高くなっている。

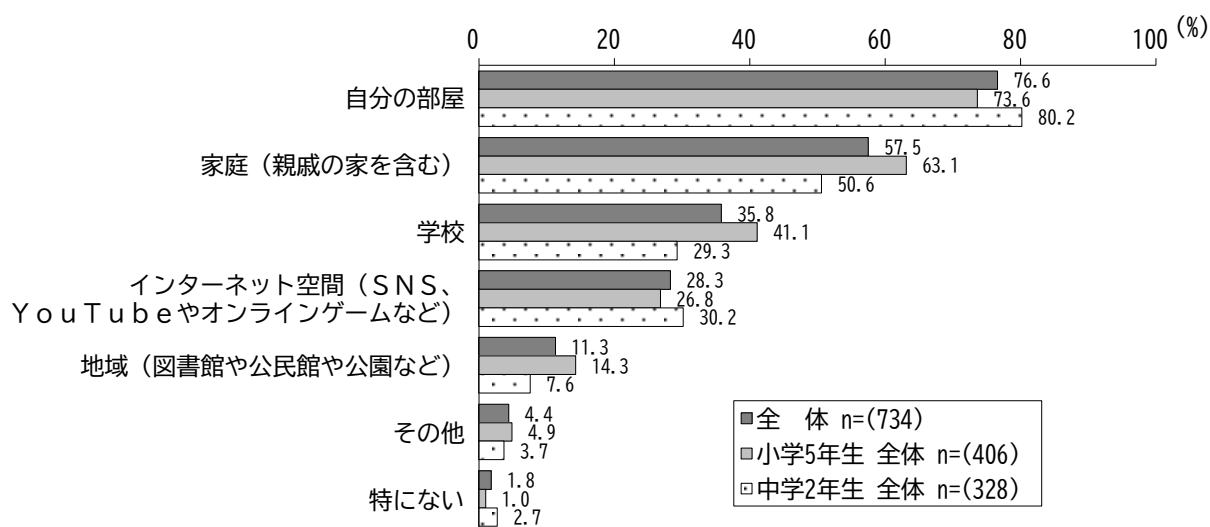


(5) 自分にとっての居場所

問22 今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうちどれですか。
（あてはまるものすべてにチェック）

回答者にとっての居場所は、全体で「自分の部屋」が76.6%と最も高く、次いで「家庭（親戚の家を含む）」57.5%、「学校」35.8%などとなっている。

学年別にみると、「家庭（親戚の家を含む）」は小学5年生が中学2年生より12.5ポイント、「学校」は11.8ポイント高くなっている。

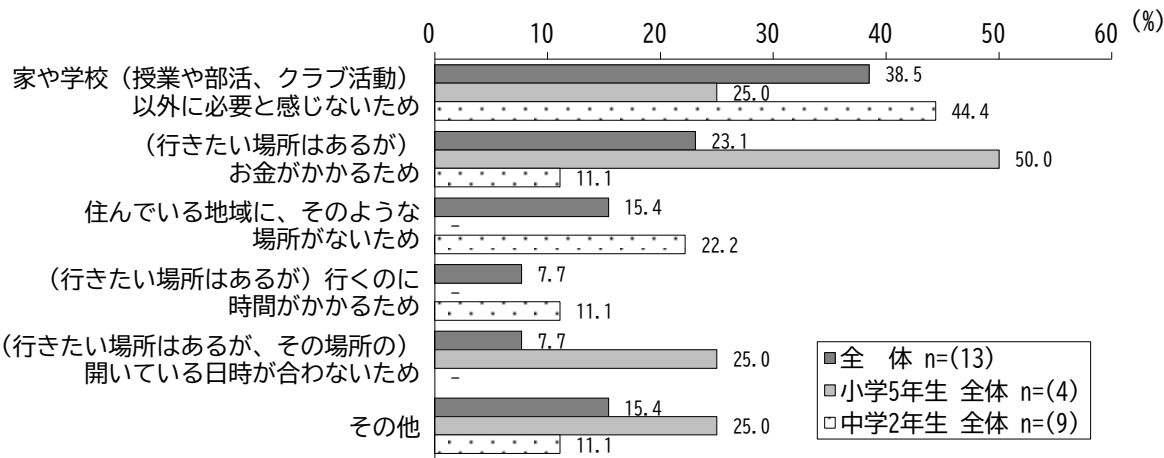


(6) 居場所が無いと感じる理由

【問22で「特になし」を選択した方のみ】

問23 家や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由は、なぜですか。（あてはまるものすべてにチェック）

※該当者が少ないため、グラフは参考とする。



7. 「ヤングケアラー」の認知度

(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

問24 「ヤングケアラー」とは、本来大人がになうと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことです。

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

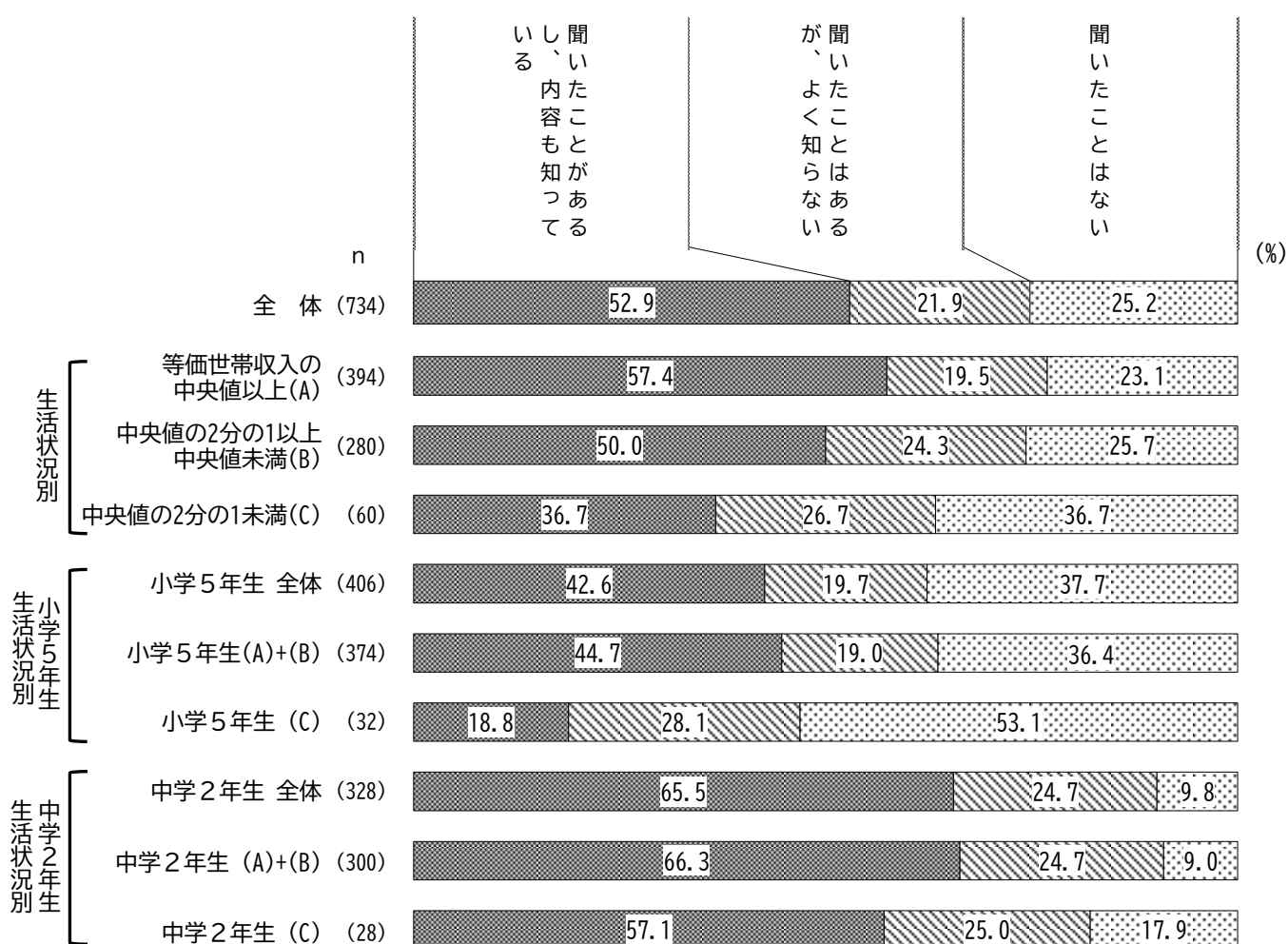
(あてはまるもの1つにチェック)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、全体で「聞いたことがあるし、内容も知っている」が52.9%と最も高く、次いで「聞いたことはない」25.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」21.9%となっている。

生活状況別にみると、「聞いたことはない」は中央値の2分の1未満(C)が36.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「聞いたことはない」は小学5年生が中学2年生より27.9ポイント高く、「聞いたことがあるし、内容も知っている」は中学2年生が小学5年生より22.9ポイント高くなっている。

小学5年生より中学2年生は、言葉の認知度が高い傾向がある。



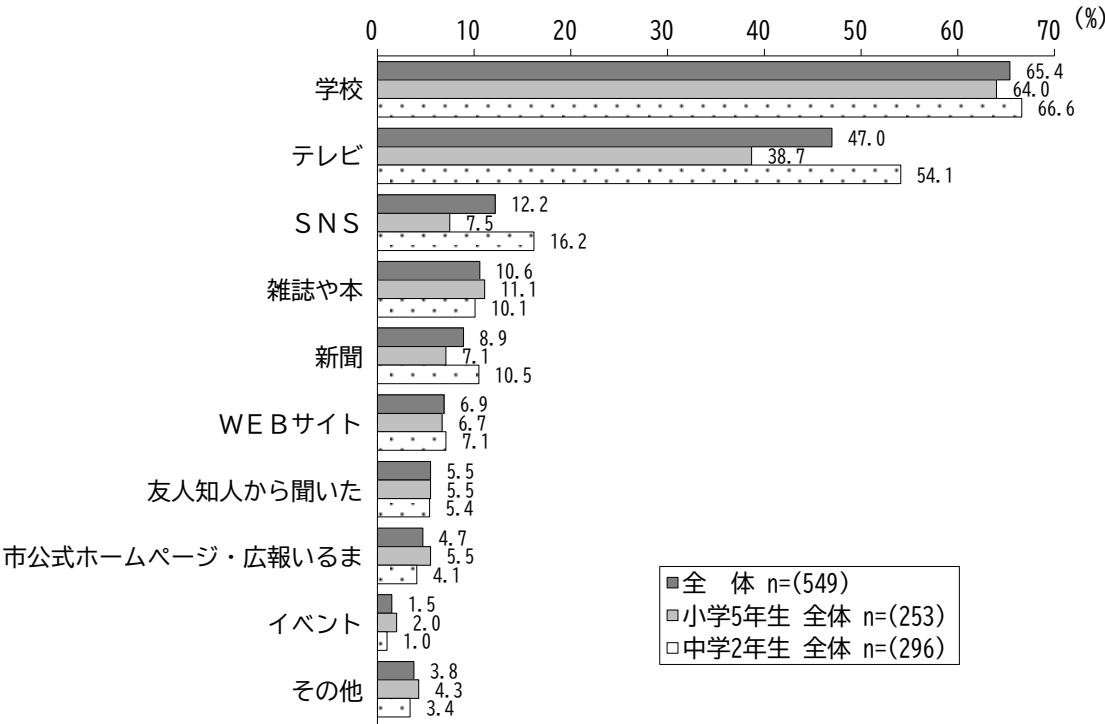
(2)「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

【問24で「聞いたことがあるし、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」のいずれかを選択した方のみ】

問25 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてにチェック)

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけは、全体で「学校」が65.4%と最も高く、次いで「テレビ」47.0%、「SNS」12.2%などとなっている。

学年別にみると、「テレビ」は中学2年生が小学5年生より15.4ポイント、「SNS」は8.7ポイント高くなっている。



8. こどもの心理的な状態

(1) 自分のことについて

問26 それぞれの質問について、「そう思う、どちらかといえばそう思う、どちらかといえばそう思わない、そう思わない」のどれかから回答してください。

あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

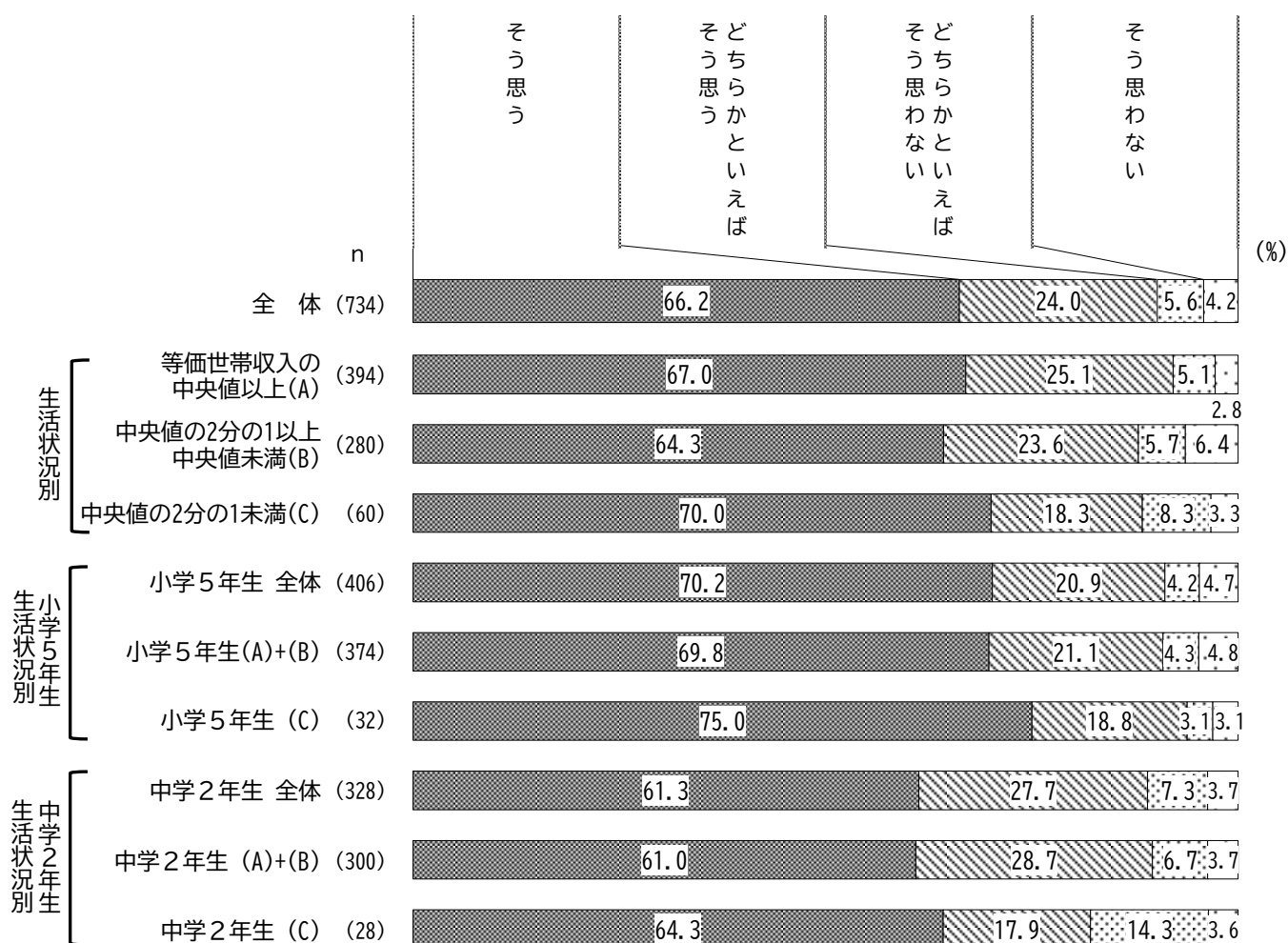
(それぞれについて、あてはまるものを選んでください)

a) がんばればよいことがあると思う

がんばればよいことがあると思うかは、全体で「そう思う」が66.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」24.0%、「どちらかといえばそう思わない」5.6%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思う」は中央値の2分の1未満(C)が70.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より8.9ポイント高く、「どちらかといえばそう思う」は中学2年生が小学5年生より6.8ポイント高くなっている。

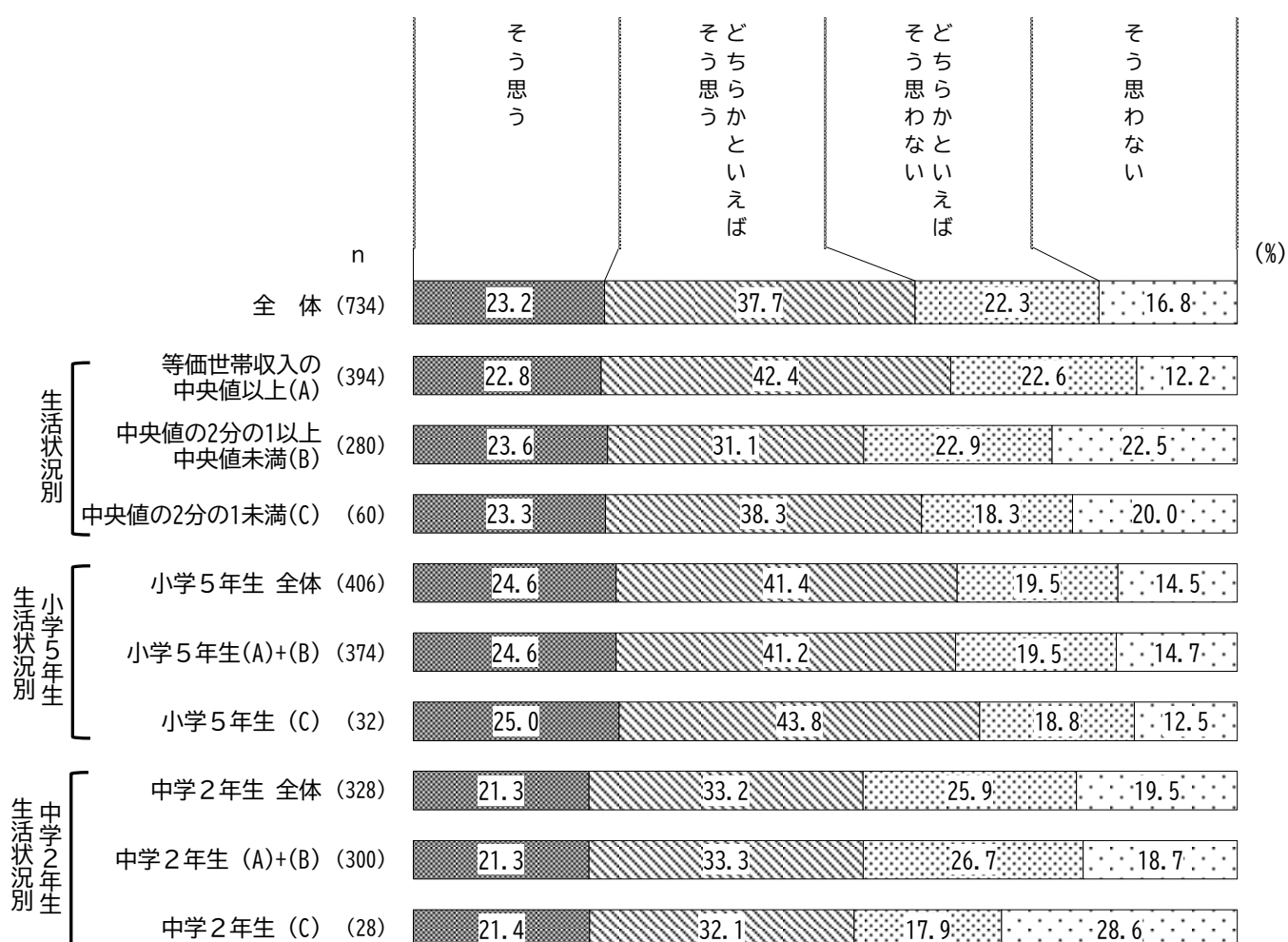


b) 自分には自信があると思う

自分には自信があると思うかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が37.7%と最も高く、次いで「そう思う」23.2%、「どちらかといえばそう思わない」22.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思わない」は中央値の2分の1以上中央値未満（B）が22.5%と最も高くなっている。

学年別にみると、「どちらかといえばそう思う」は小学5年生が中学2年生より8.2ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より6.4ポイント高くなっている。



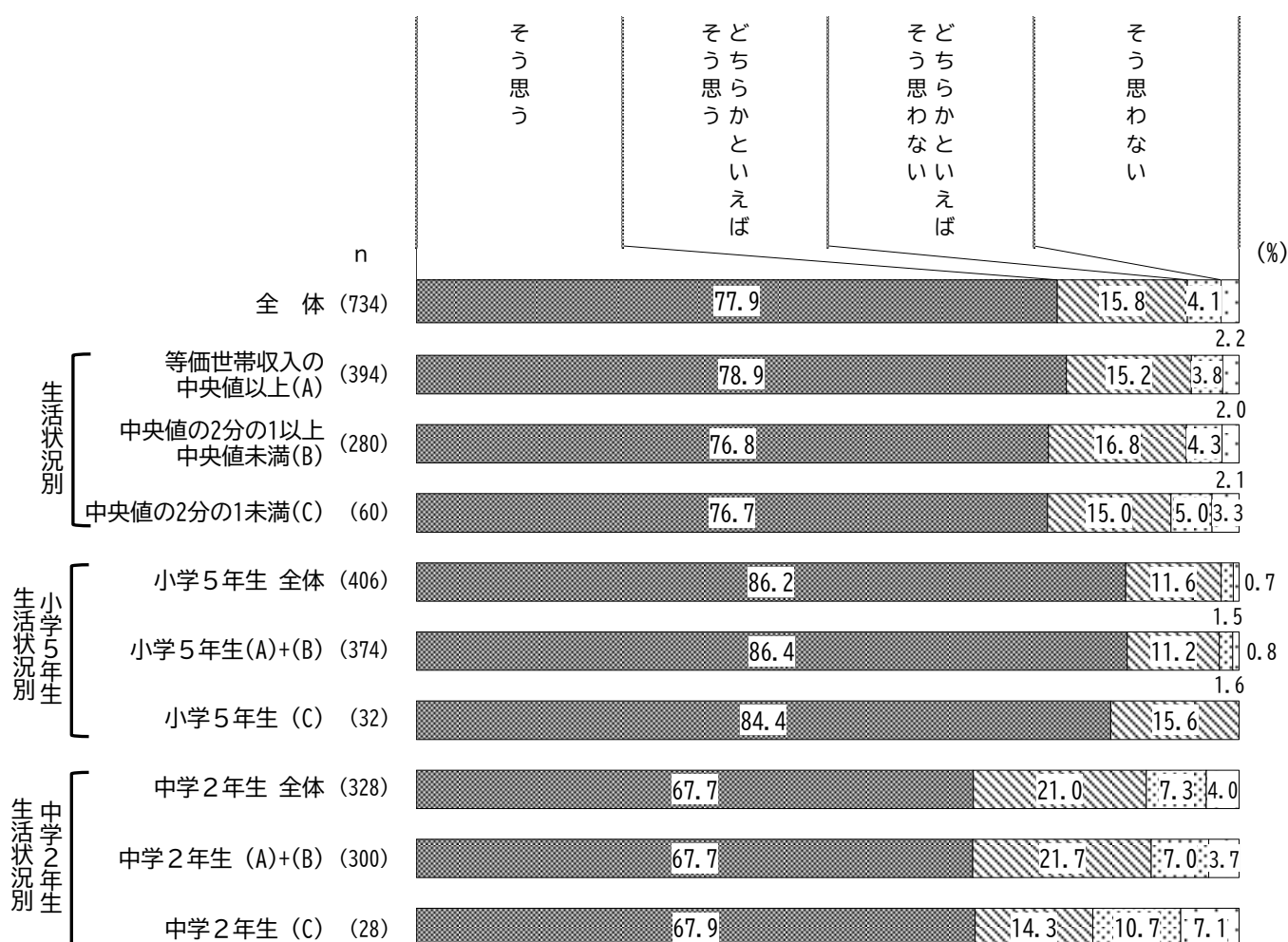
c) 家で過ごすのは安心できると思う

家で過ごすのは安心できると思うかは、全体で「そう思う」が77.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」15.8%、「どちらかといえばそう思わない」4.1%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思わない」は中央値の2分の1未満(C)が3.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より18.5ポイント高く、「どちらかといえばそう思う」は中学2年生が小学5年生より9.4ポイント高くなっている。

小学5年生より中学2年生は、家で過ごすのは安心できると思わないが高くなる傾向がある。

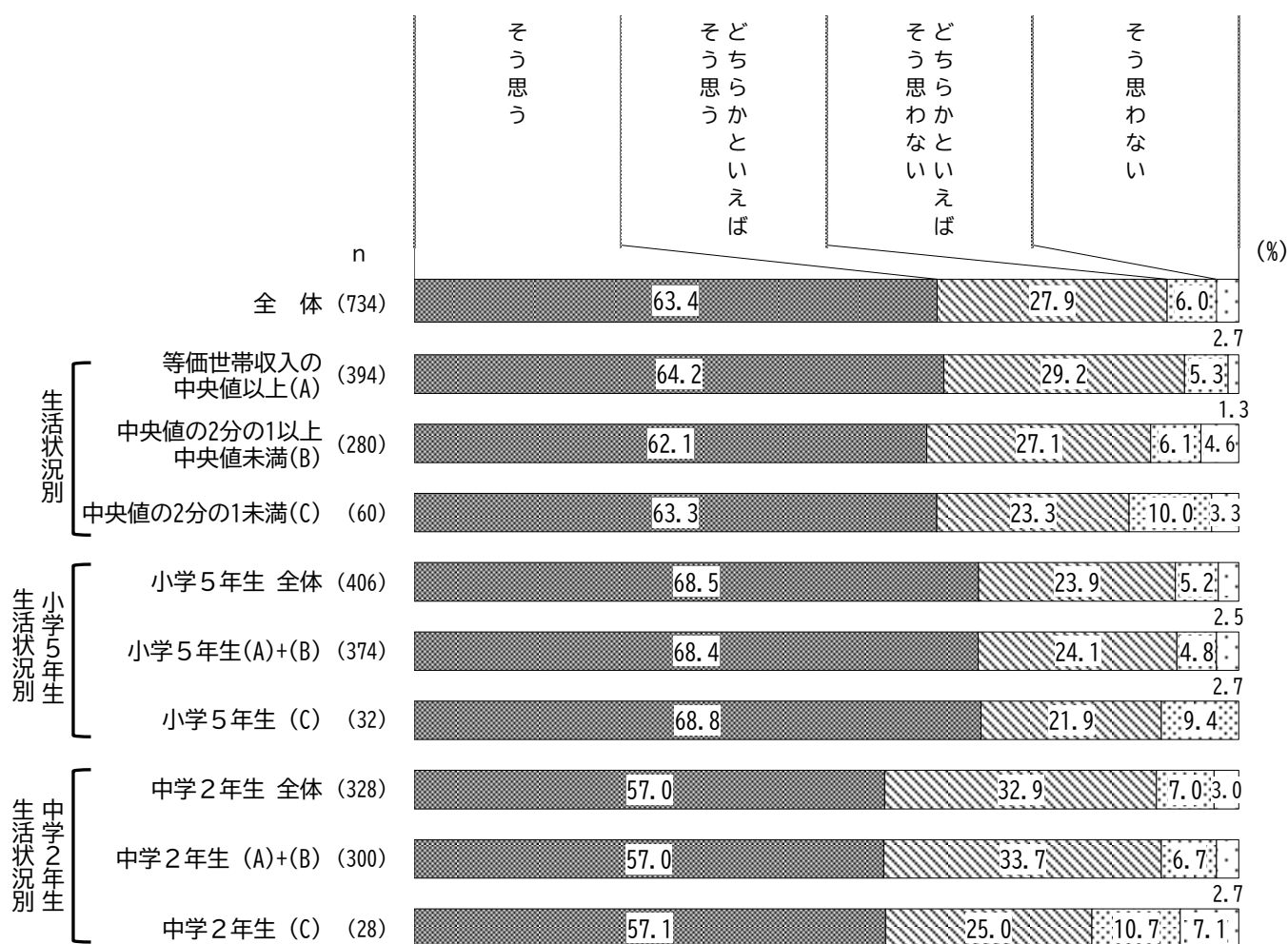


d) 自分は家族に愛されていると思う

自分は家族に愛されていると思うかは、全体で「そう思う」が63.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」27.9%、「どちらかといえばそう思わない」6.0%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は中央値の2分の1未満（C）が10.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より11.5ポイント高く、「どちらかといえばそう思う」は中学2年生が小学5年生より9.0ポイント高くなっている。

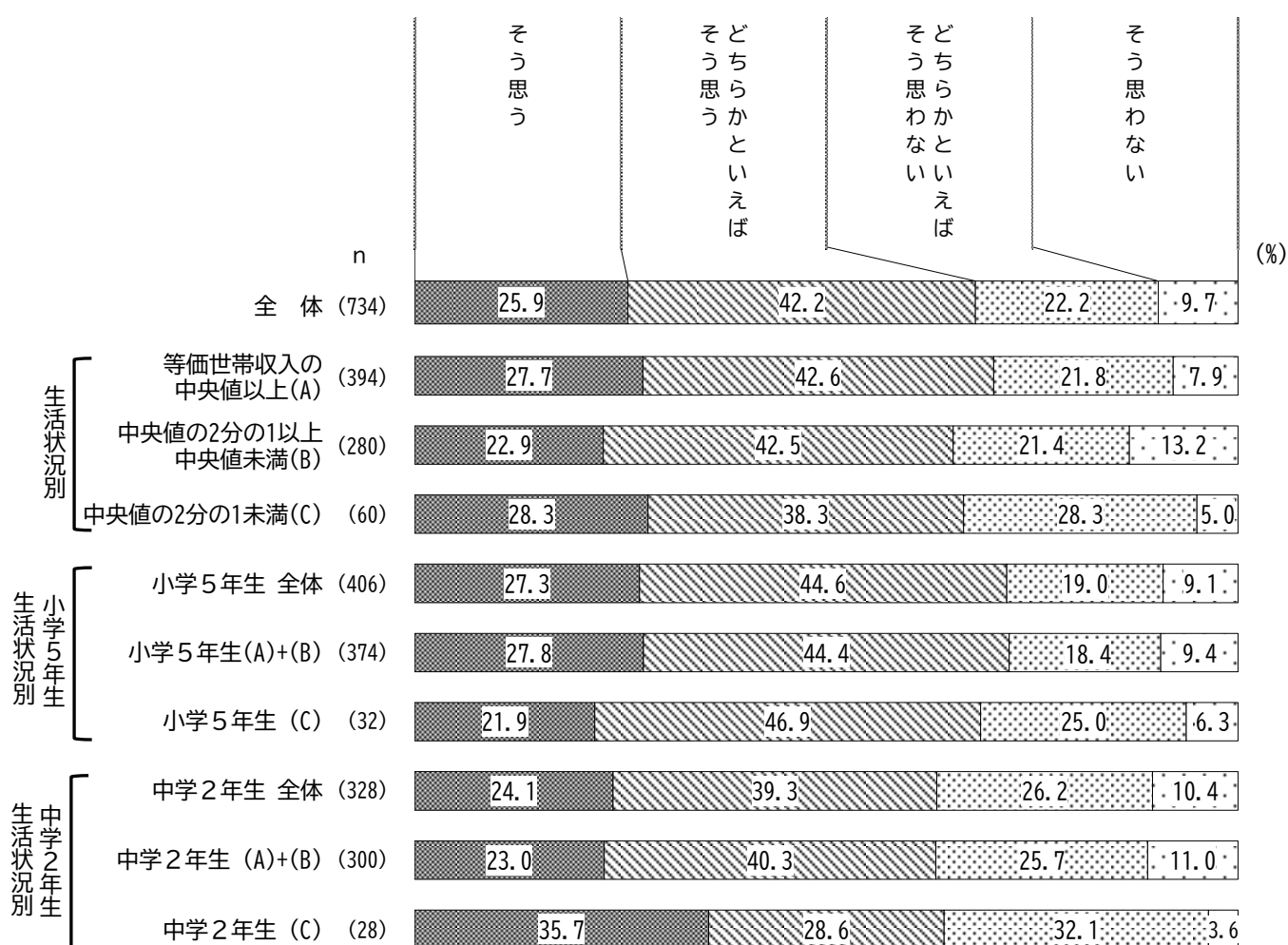


e) 自分は人のために役立っていると思う

自分は人のために役立っていると思うかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が42.2%と最も高く、次いで「そう思う」25.9%、「どちらかといえばそう思わない」22.2%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は中央値の2分の1未満(C)が28.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より7.2ポイント高く、「どちらかといえばそう思う」は小学5年生が中学2年生より5.3ポイント高くなっている。

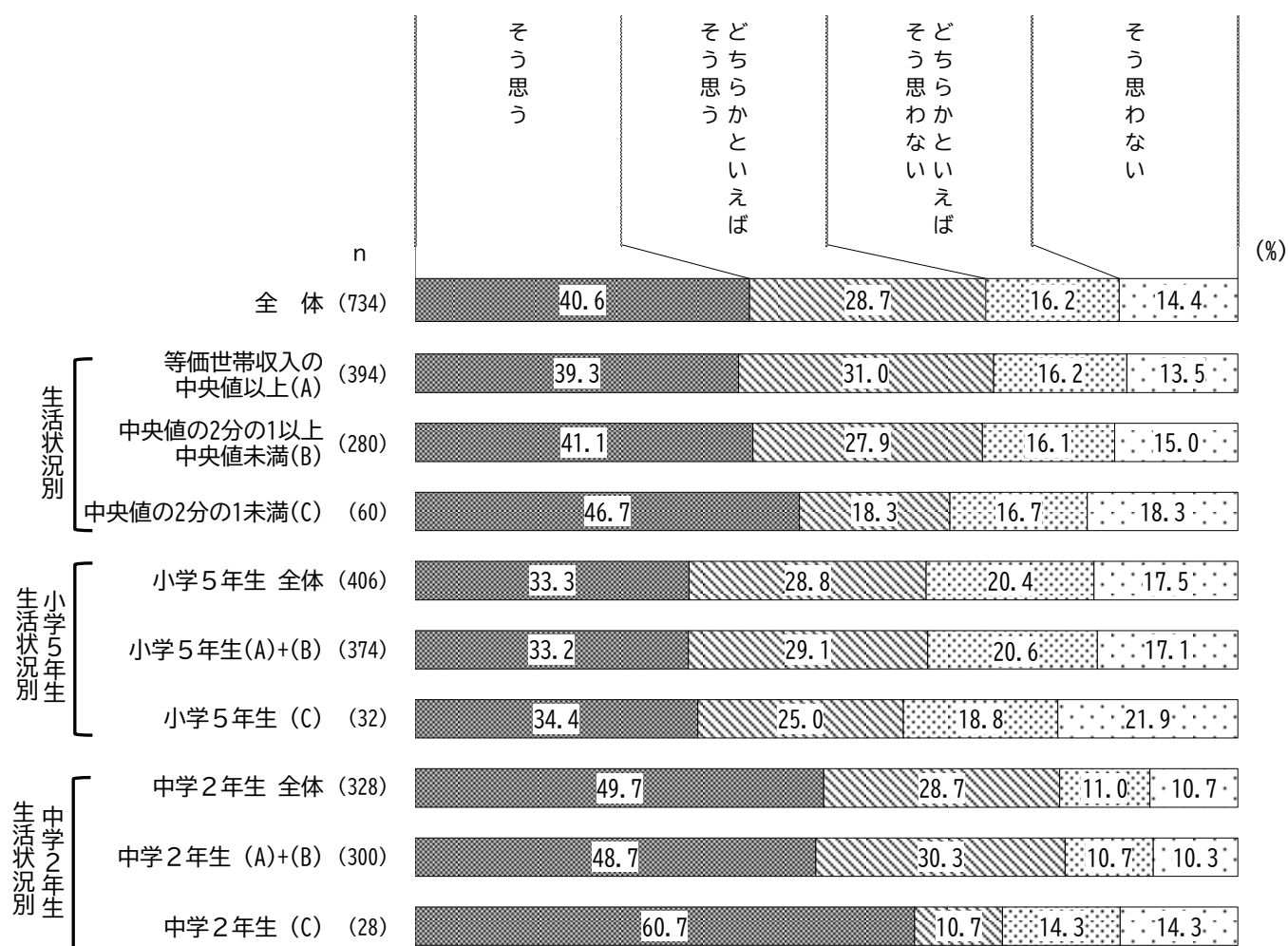


f) 不安を感じることもある

不安を感じることは、全体で「そう思う」が40.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」28.7%、「どちらかといえばそう思わない」16.2%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思う」は中央値の2分の1未満(C)が46.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は中学2年生が小学5年生より16.4ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は小学5年生が中学2年生より9.4ポイント高くなっている。

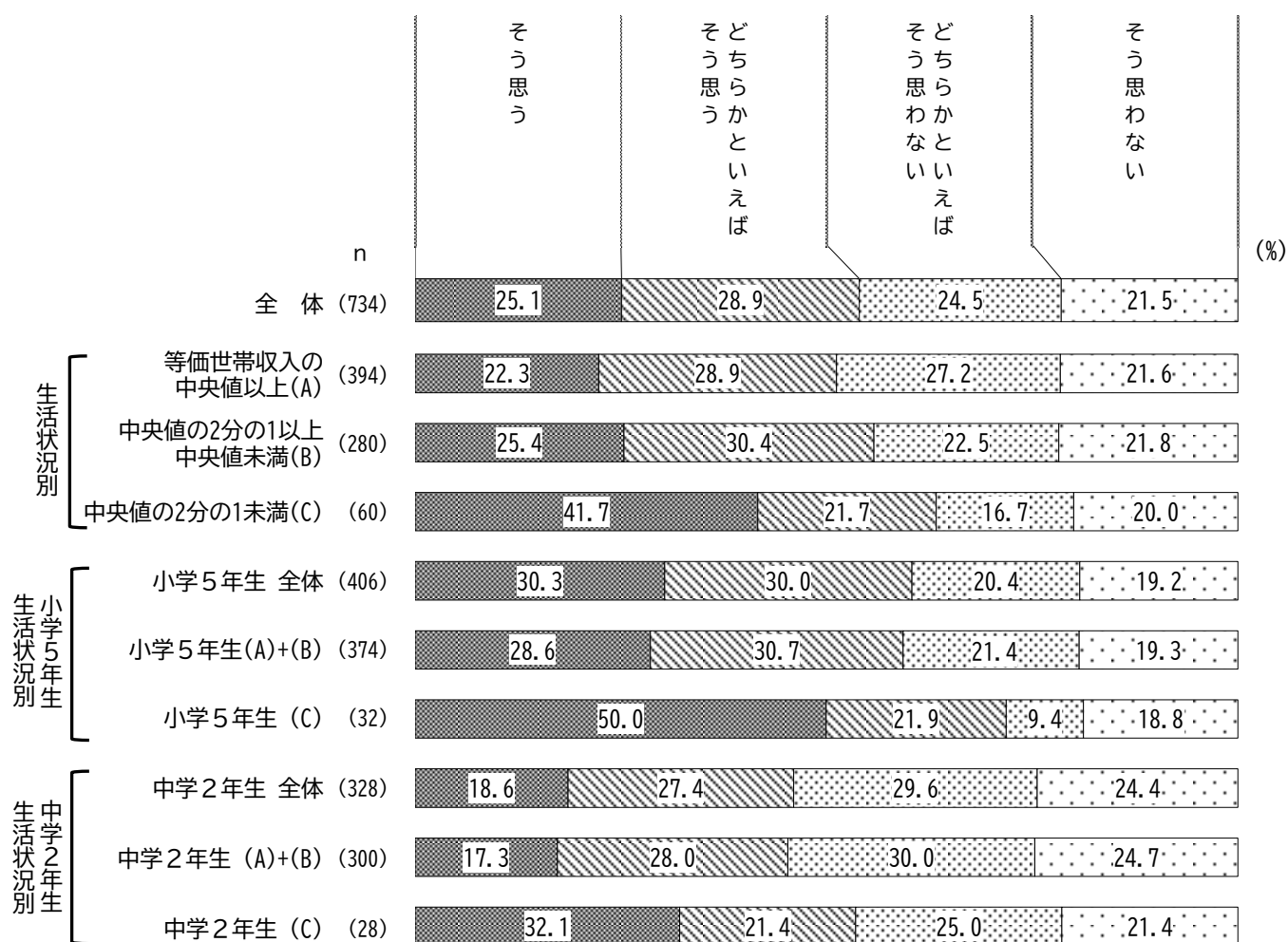


g) 一人でいることが寂しいと思う

一人でいることが寂しいと思うかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が28.9%と最も高く、次いで「そう思う」25.1%、「どちらかといえばそう思わない」24.5%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思う」は中央値の2分の1未満(C)が41.7%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より11.7ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より9.2ポイント高くなっている。

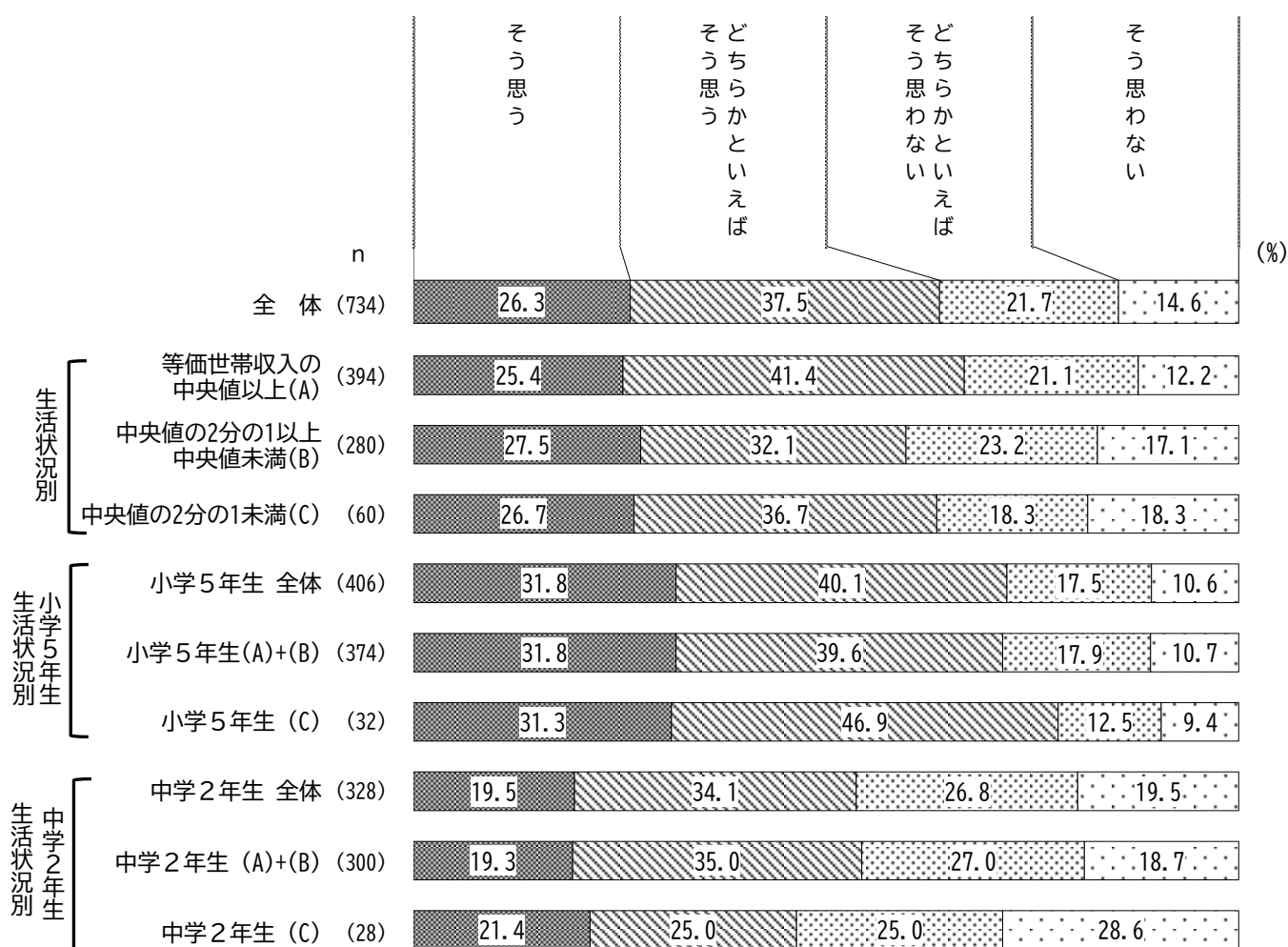


h) 今の自分が好きである

今の自分が好きであるかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が37.5%と最も高く、次いで「そう思う」26.3%、「どちらかといえばそう思わない」21.7%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえばそう思う」は等価世帯収入の中央値以上（A）が41.4%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より12.3ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より9.3ポイント高くなっている。

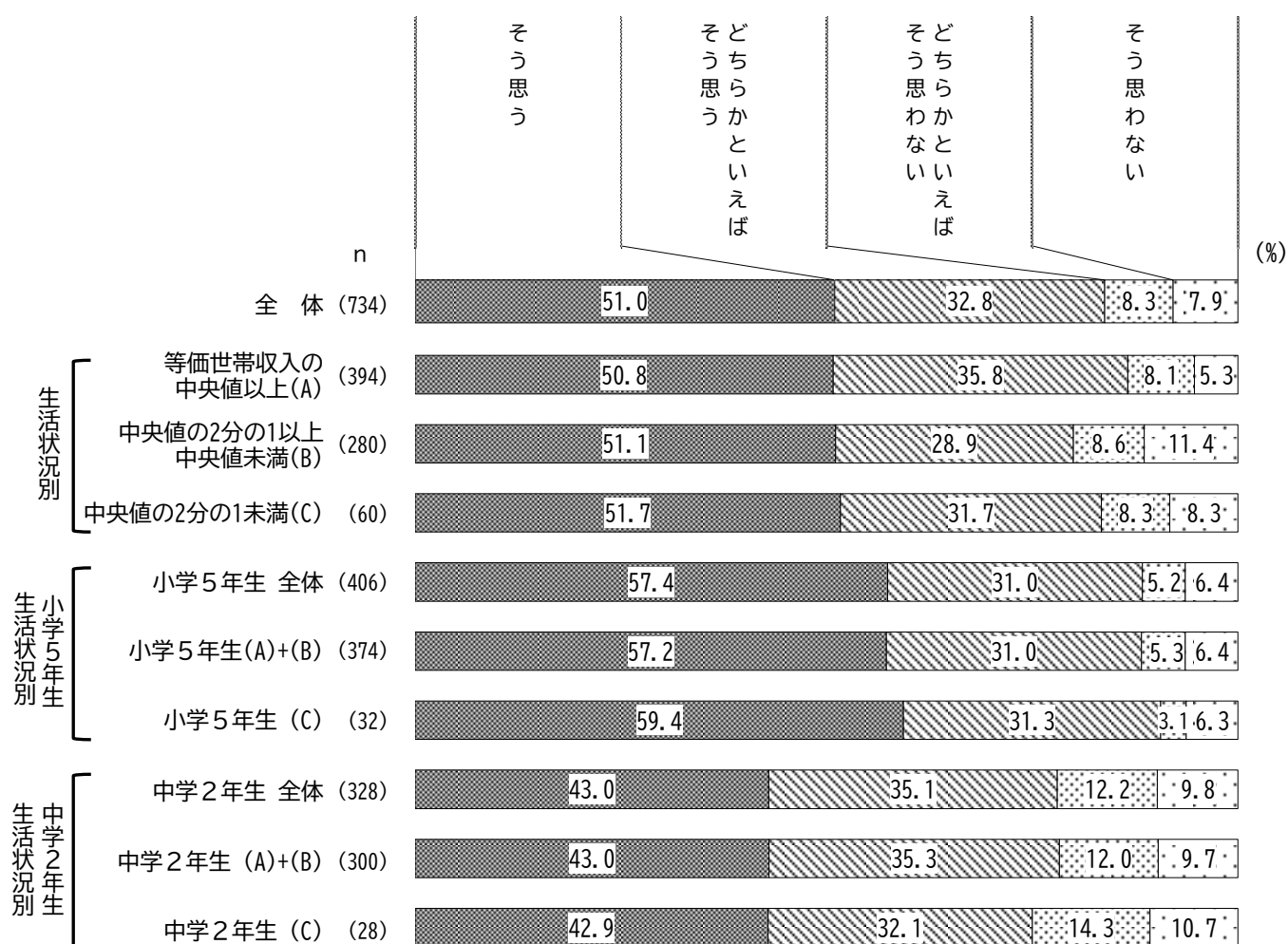


i) 自分には自分らしさというものがある

自分には自分らしさというものがあるかは、全体で「そう思う」が51.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」32.8%、「どちらかといえばそう思わない」8.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「そう思わない」は中央値の2分の1以上中央値未満（B）が11.4%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より14.4ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より7.0ポイント高くなっている。

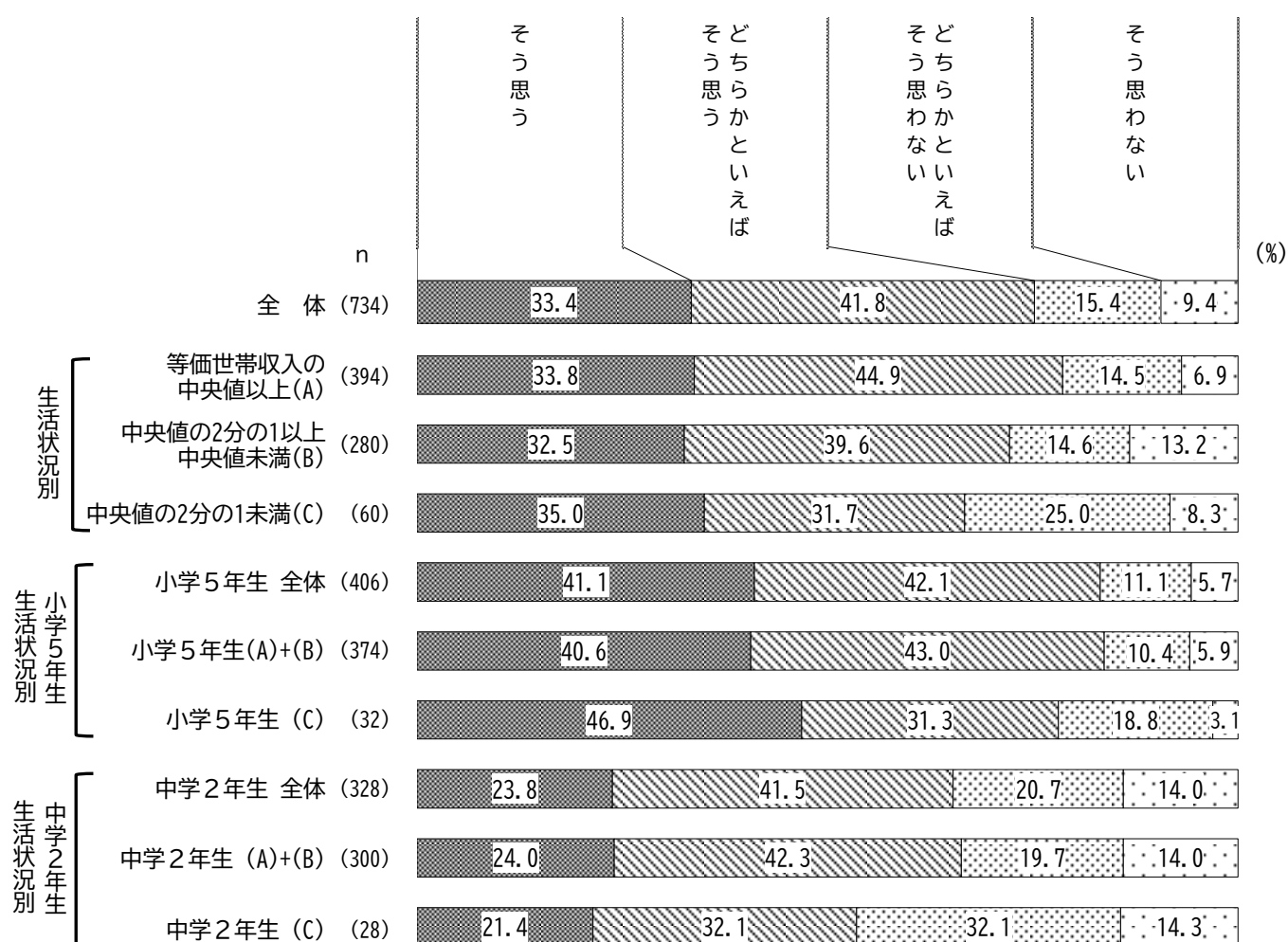


j) 自分の将来は明るいと思う

自分の将来は明るいと思うかは、全体で「どちらかといえばそう思う」が41.8%と最も高く、次いで「そう思う」33.4%、「どちらかといえばそう思わない」15.4%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は中央値の2分の1未満(C)が25.0%と最も高くなっている。

学年別にみると、「そう思う」は小学5年生が中学2年生より17.3ポイント高く、「どちらかといえばそう思わない」は中学2年生が小学5年生より9.6ポイント高くなっている。



9. 現在の生活の満足度

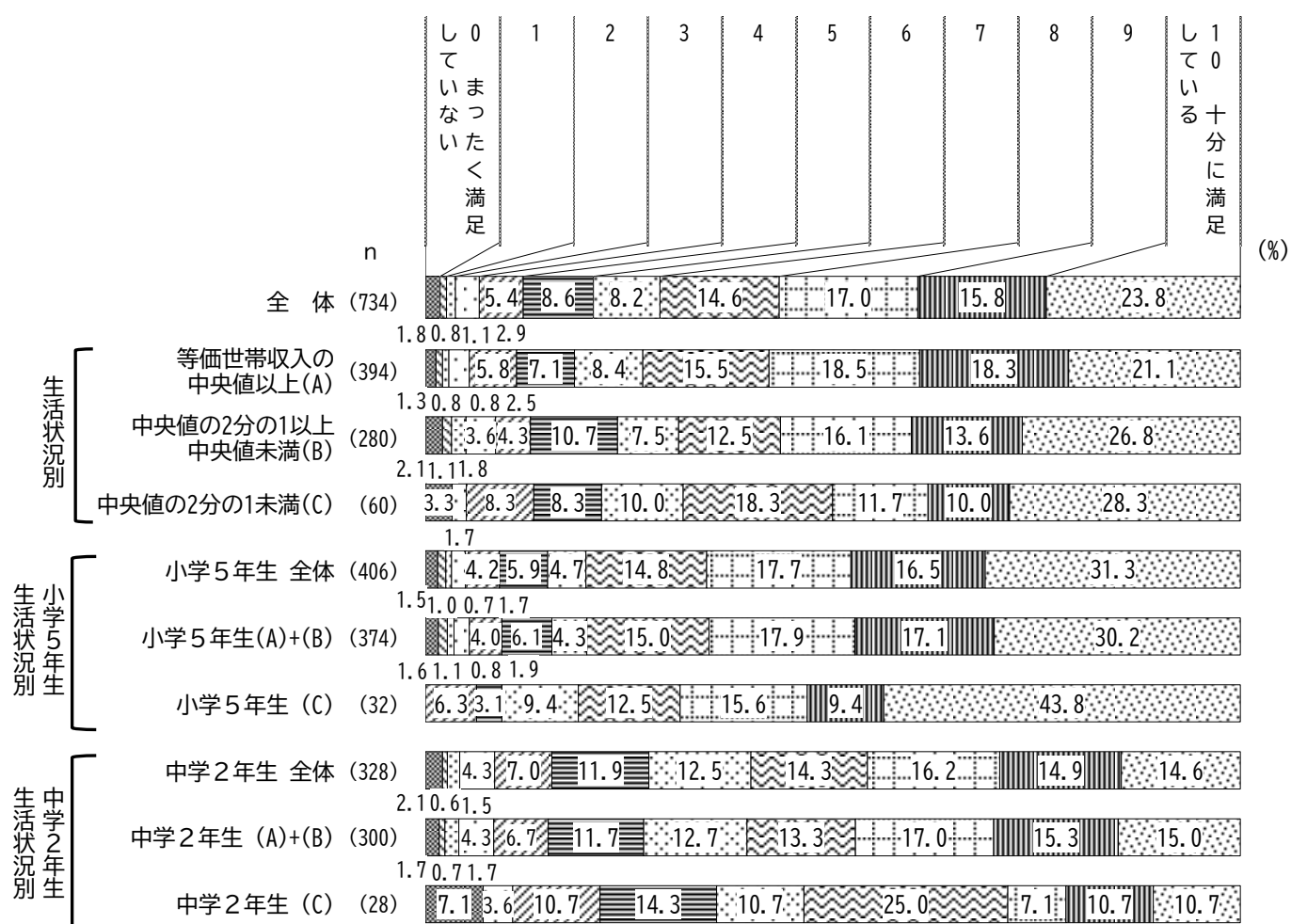
(1) 最近の生活の満足度 児童・生徒

問27 最後に、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つにチェック)

児童・生徒の最近の生活の満足度について10段階(数字が大きいほど満足度が高い)で評価してもらったところ、全体で満足度「10」が23.8%と最も高く、次いで満足度「8」17.0%、満足度「9」15.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「10」は中央値の2分の1未満(C)が28.3%と最も高くなっている。

学年別にみると、満足度「10」は小学5年生が中学2年生より16.7ポイント高く、満足度「6」は中学2年生が小学5年生より7.8ポイント高くなっている。



第3章 小学校5年生／中学校2年生の保護者調査結果

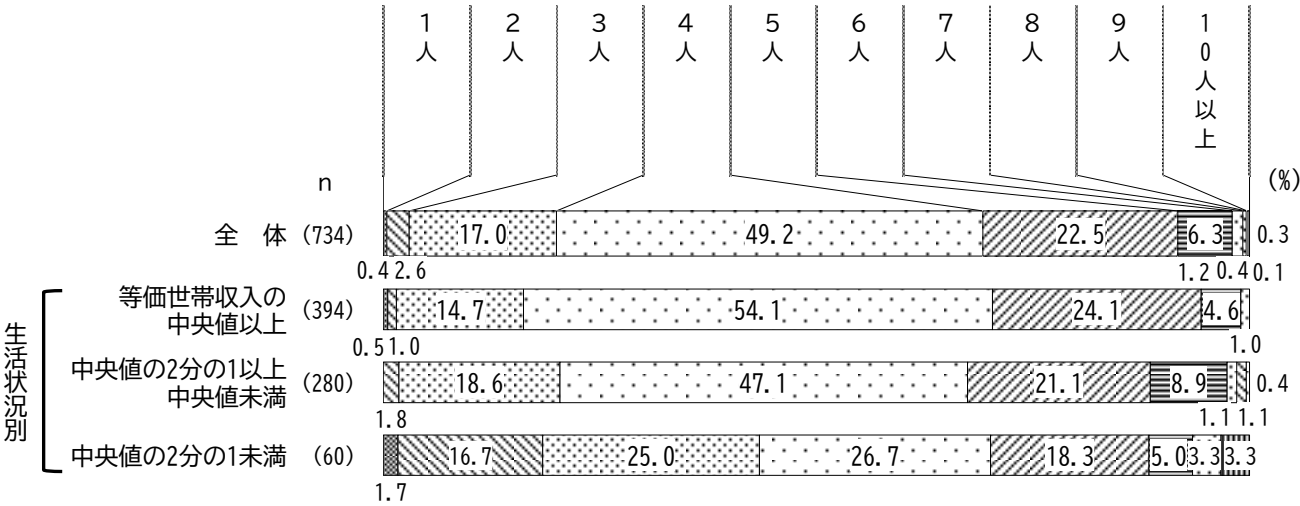
1. 保護者と世帯の概要

(1) 同居人数

問2① お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（あなたやお子さんを
含む。）を教えてください。

同居人数は、全体で「4人」が49.2%と最も高く、次いで「5人」22.5%、「6人」6.3%など
となっている。

生活状況別にみると、「2人」は中央値の2分の1未満が16.7%と最も高くなっている。

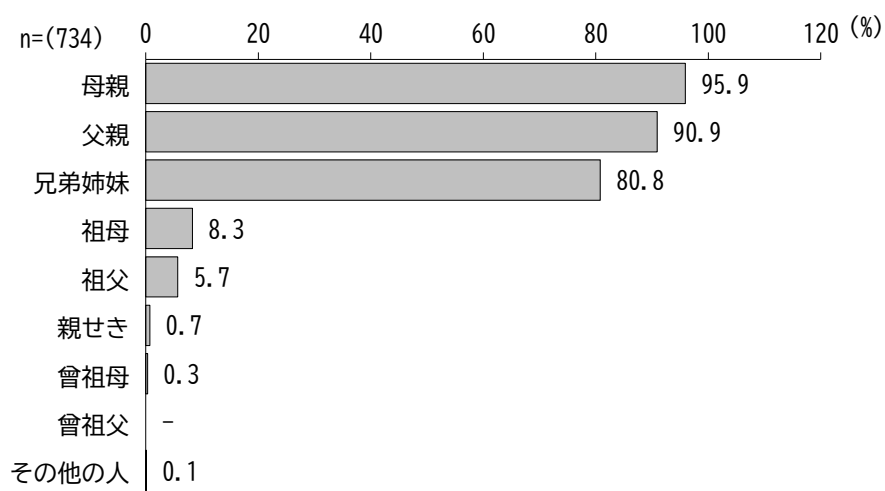


(2) 家族構成

問2② お子さんと同居しているご家族の方はどなたですか。兄弟姉妹については、人数も教えてください。(あてはまるものすべてにチェック。人数は数字で回答してください。)

※単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

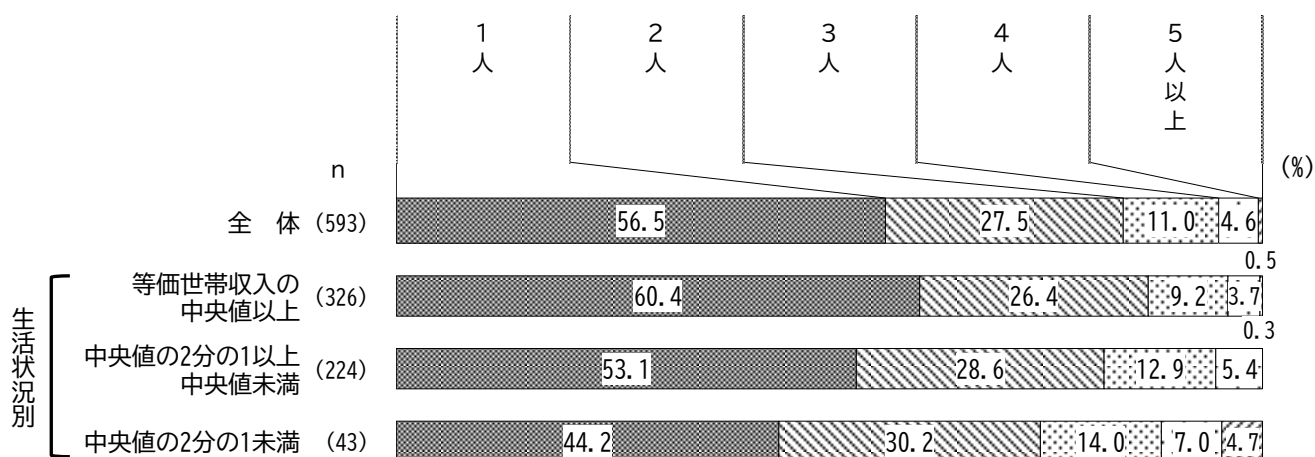
家族構成は、全体で「母親」が95.9%と最も高く、次いで「父親」90.9%、「兄弟姉妹」80.8%などとなっている。



兄弟・姉妹の人数

兄弟姉妹の人数は、全体で「1人」が56.5%と最も高く、次いで「2人」27.5%、「3人」11.0%などとなっている。

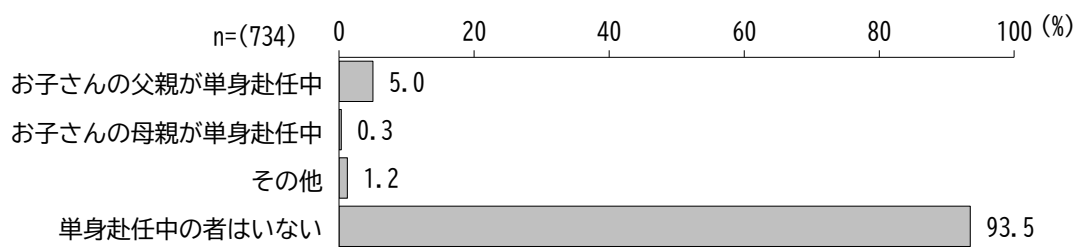
生活状況別にみると、「5人以上」は中央値の2分の1未満が4.7%と最も高くなっている。



(3) 単身赴任者の有無

問3 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(あてはまるものすべてにチェック)

単身赴任者の有無は、全体で「単身赴任中の者はいない」が93.5%と最も高く、次いで「父親が単身赴任中」5.0%、「母親が単身赴任中」0.3%などとなっている。

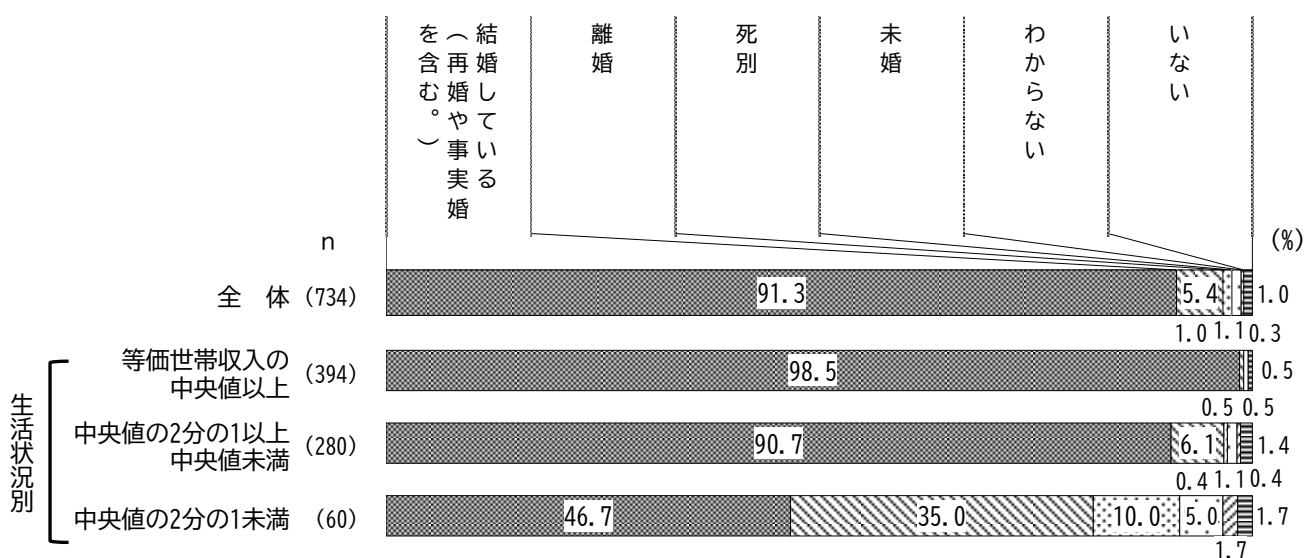


(4) 親の婚姻状況

問5 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つにチェック)

婚姻の状況は、全体で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が91.3%と最も高く、次いで「離婚」5.4%、「未婚」1.1%などとなっている。

生活状況別にみると、「離婚」は中央値の2分の1未満が35.0%と最も高くなっている。

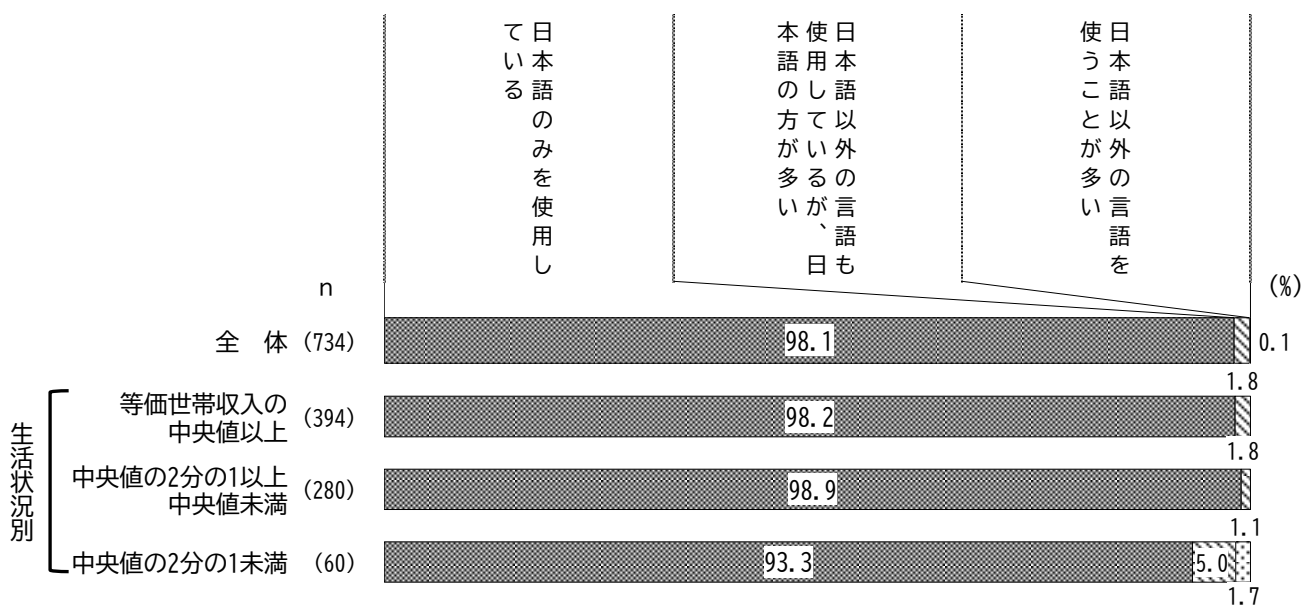


(5) 外国語の使用状況

問6 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

日本語以外の言語使用は、全体で「日本語のみを使用している」が98.1%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」1.8%、「日本語以外の言語を使うことが多い」0.1%となっている。

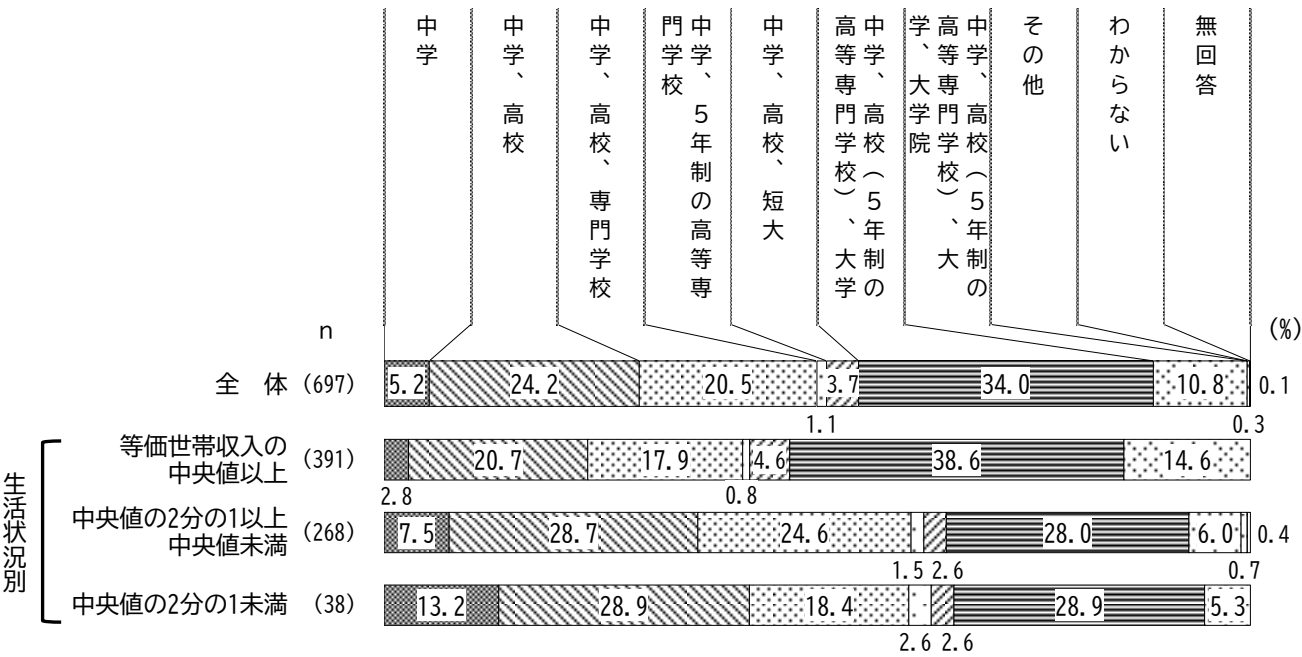
生活状況別にみると、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」は中央値の2分の1未満が5.0%と最も高くなっている。



b) 父親

父親の学歴は、全体で「中学、高校（5年制の高等専門学校）、大学」が34.0%と最も高く、次いで「中学、高校」24.2%、「中学、高校、専門学校」20.5%などとなっている。

生活状況別にみると、「中学」は中央値の2分の1未満が13.2%と最も高くなっている。



2. 保護者の就労状況

(1) 母親・父親の就労状況

【問4で「母親」か「父親」あるいは両方に「20歳未満」～「51歳以上」を選択した方のみ】

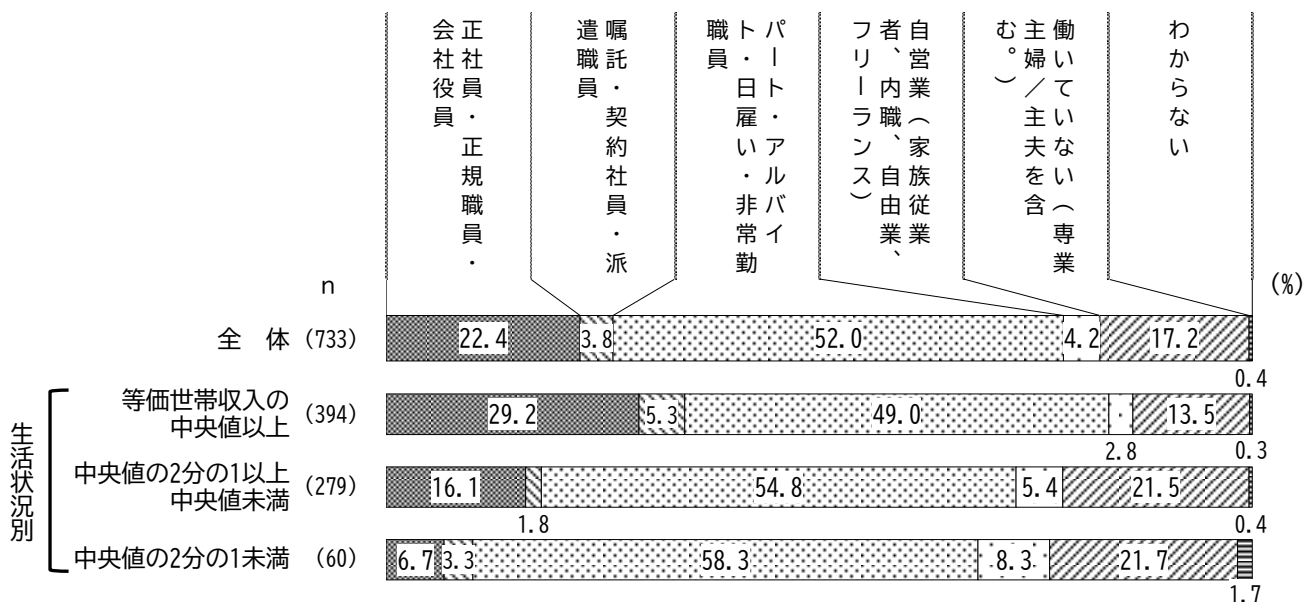
問8 お子さんの親の就労状況についてあてはまるものを回答してください。

(それぞれひとつにチェック)

a) 母親の就労状況

母親の就労状況は、全体で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が52.0%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」22.4%、「働いていない（専業主婦/主夫を含む。）」17.2%などとなっている。

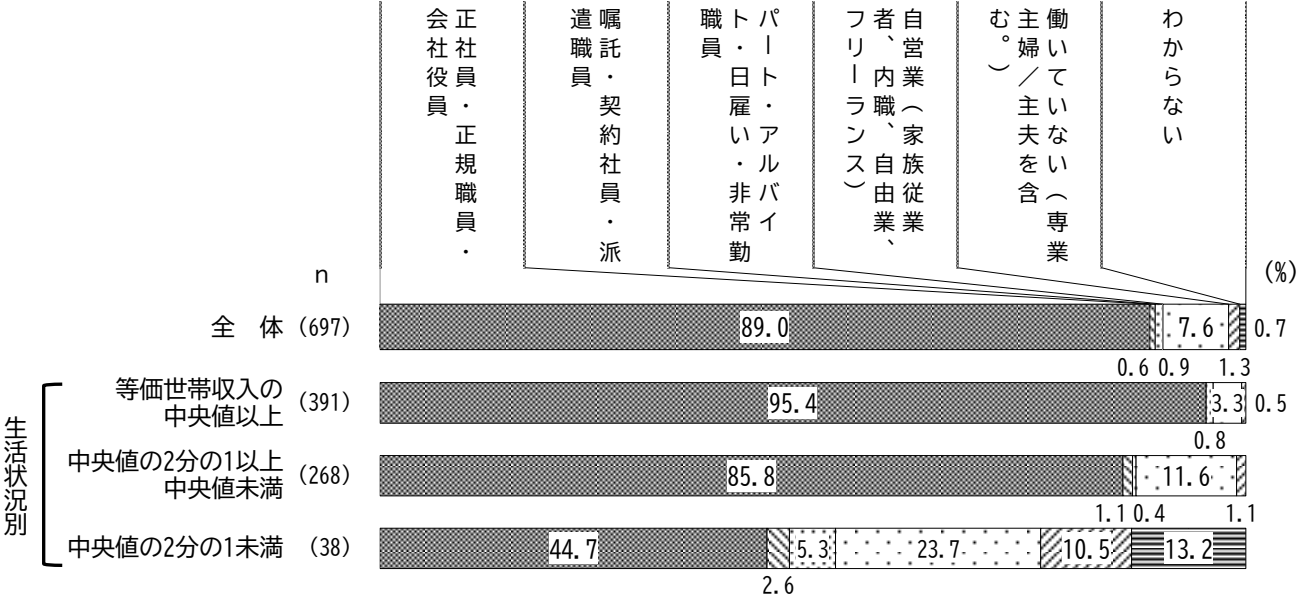
生活状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は等価世帯収入の中央値以上が29.2%と最も高くなっている。



b) 父親の就労状況

父親の就労状況は、全体で「正社員・正規職員・会社役員」が89.0%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランス）」7.6%、「働いていない（専業主婦/主夫を含む。）」1.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランス）」は中央値の2分の1未満が23.7%と最も高くなっている。



(2) 働いていない理由

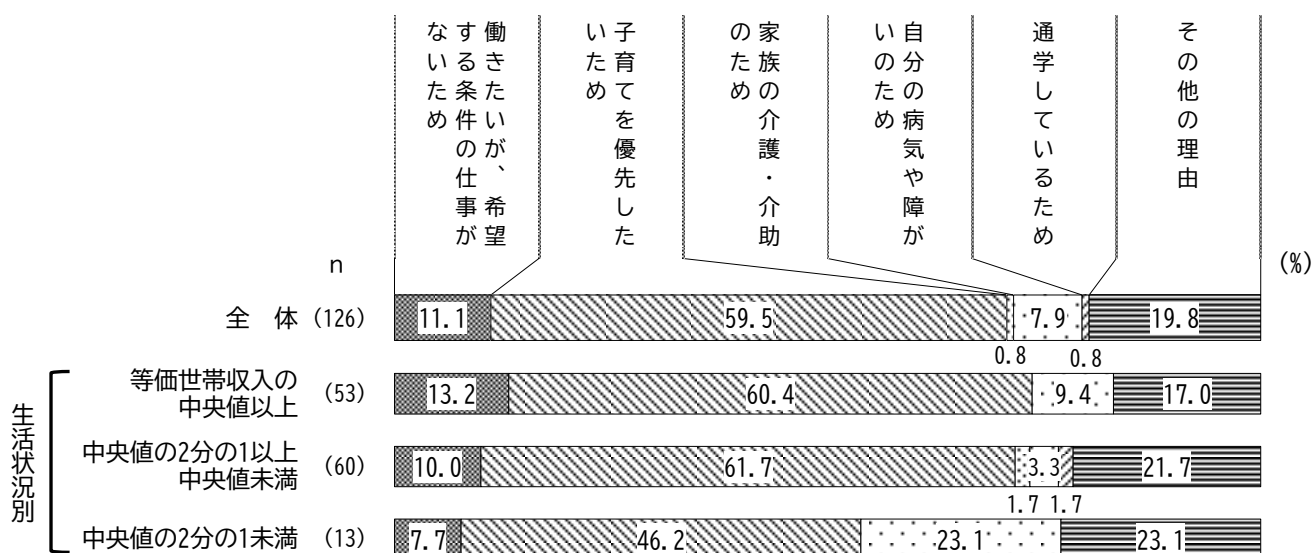
【問8で「母親」か「父親」あるいは両方とも「働いていない（専業主婦/主夫を含む。）」を選択した方のみ】

問9 働いていない最も主な理由を教えてください。

a) 母親が働いていない理由

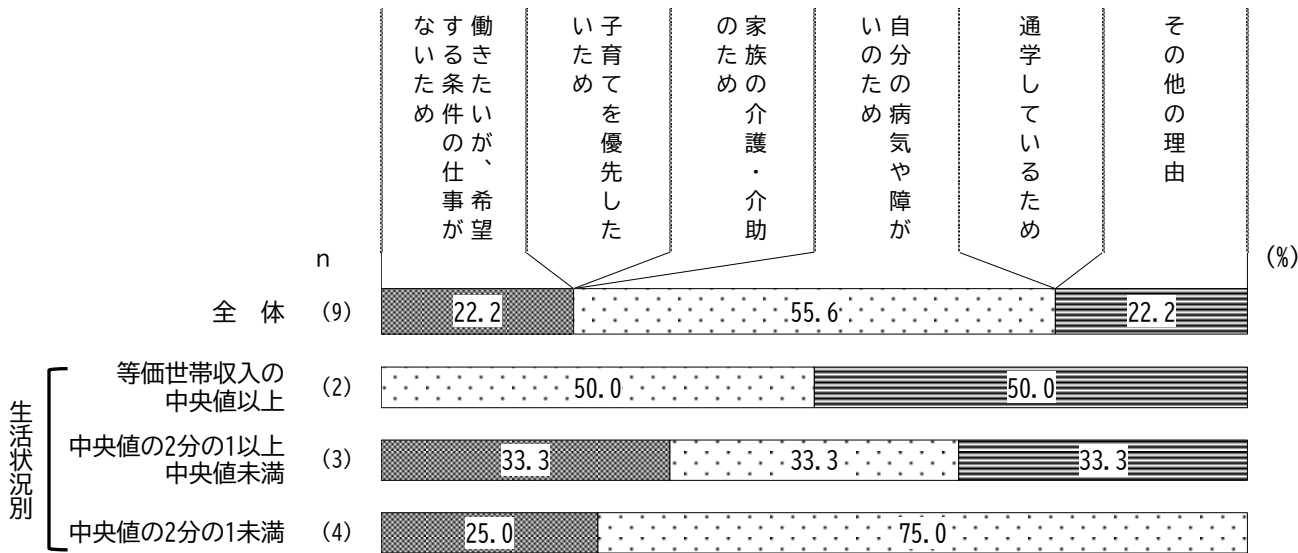
母親が働いていない理由は、全体で「子育てを優先したいため」が59.5%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」11.1%、「自分の病気や障がいのため」7.9%などとなっている。

生活状況別にみると、「自分の病気や障がいのため」は中央値の2分の1未満が23.1%と最も高くなっている。



b) 父親が働いていない理由

※該当者が少ないため、グラフは参考とする。



3. こどもとの関わり方

(1) こどもとの関わり方

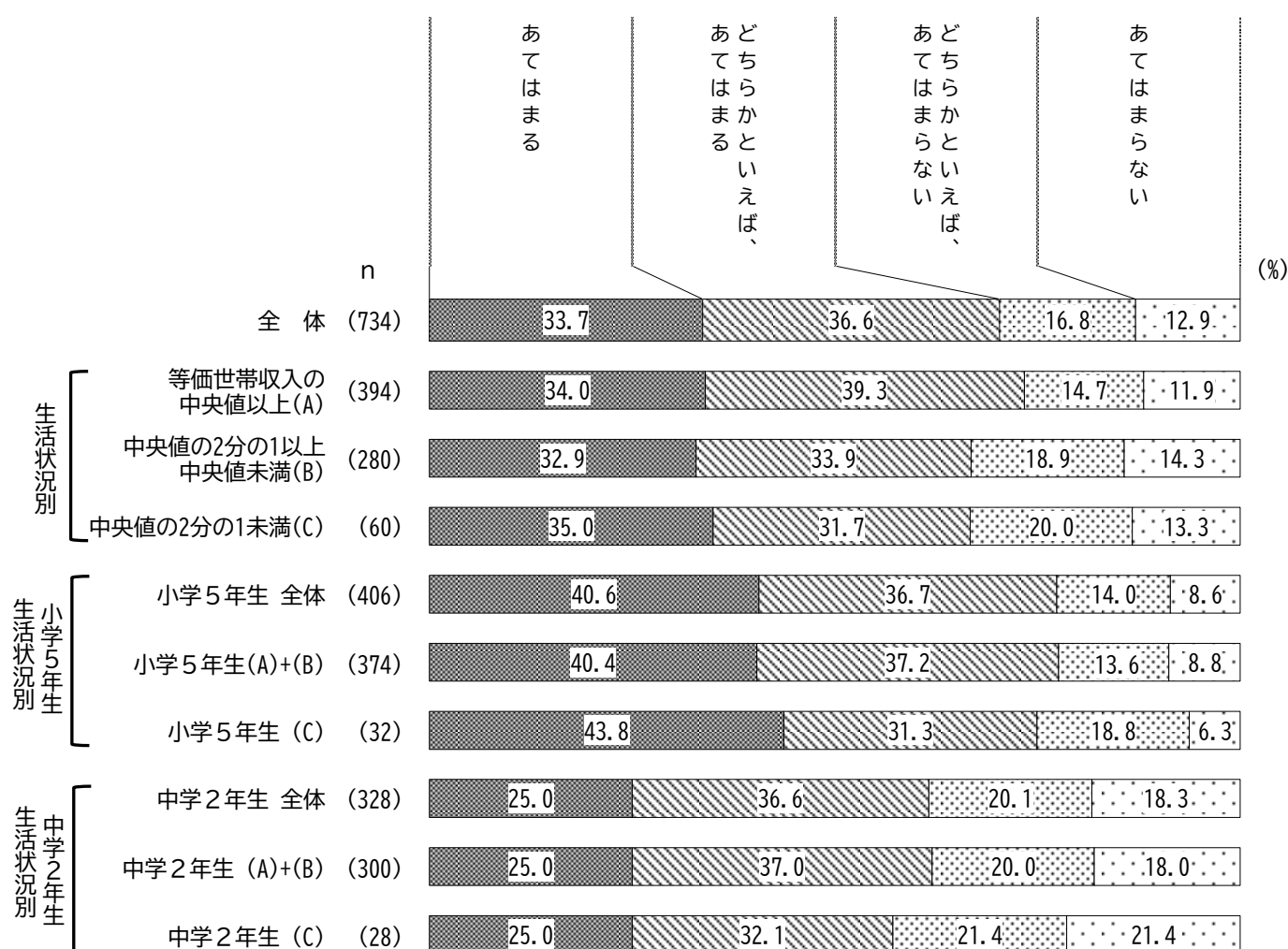
問10 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(それぞれひとつにチェック)

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかどうかは、全体で「どちらかといえば、あてはまる」が36.6%と最も高く、次いで「あてはまる」33.7%、「どちらかといえば、あてはまらない」16.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」は中央値の2分の1未満(C)が20.0%と最も高くなっている。

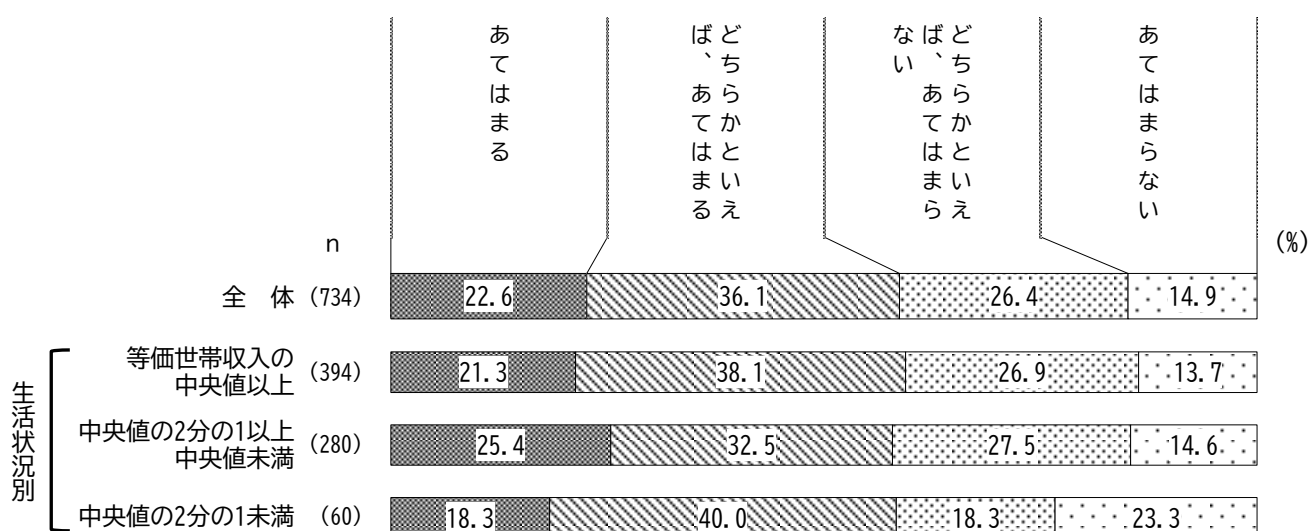
学年別にみると、「あてはまる」は小学5年生が中学2年生より15.6ポイント高く、「あてはまらない」は中学2年生が小学5年生より9.7ポイント高くなっている。



b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

お子さんに本や新聞を読むように勧めているかどうかは、全体で「どちらかといえば、あてはまる」が36.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまらない」26.4%、「あてはまる」22.6%などとなっている。

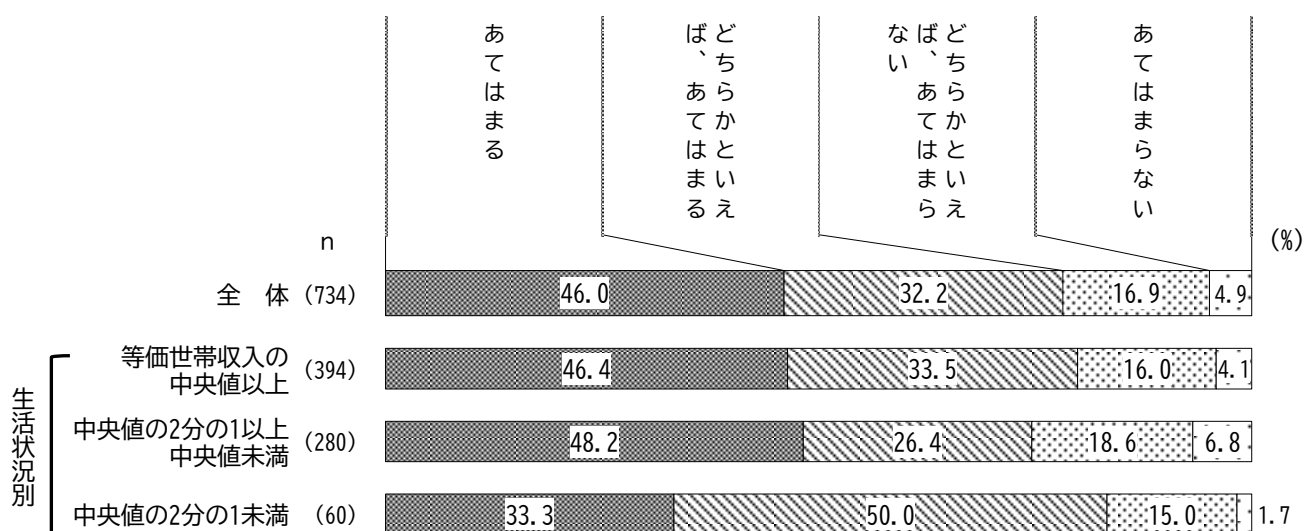
生活状況別にみると、「あてはまらない」は中央値の2分の1未満が23.3%と最も高くなっている。



c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたかどうかは、全体で「あてはまる」が46.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」32.2%、「どちらかといえば、あてはまらない」16.9%などとなっている。

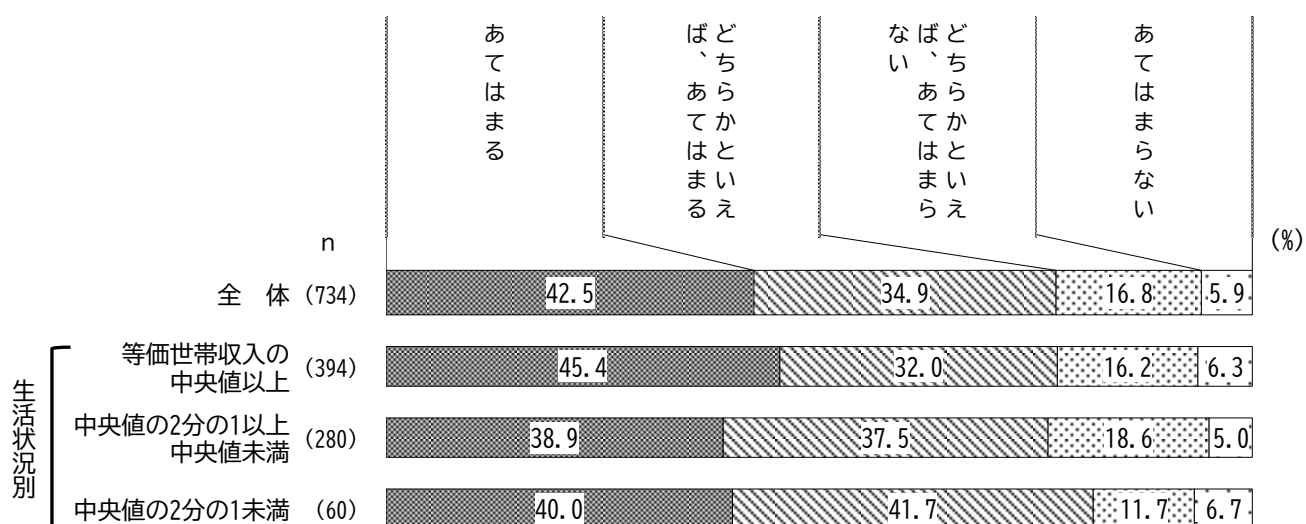
生活状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまる」は中央値の2分の1未満が50.0%と最も高くなっている。



d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかどうかは、全体で「あてはまる」が42.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」34.9%、「どちらかといえば、あてはまらない」16.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまる」は中央値の2分の1未満が41.7%と最も高くなっている。



4. 学校との関わり方

(1) 学校との関わり・参加

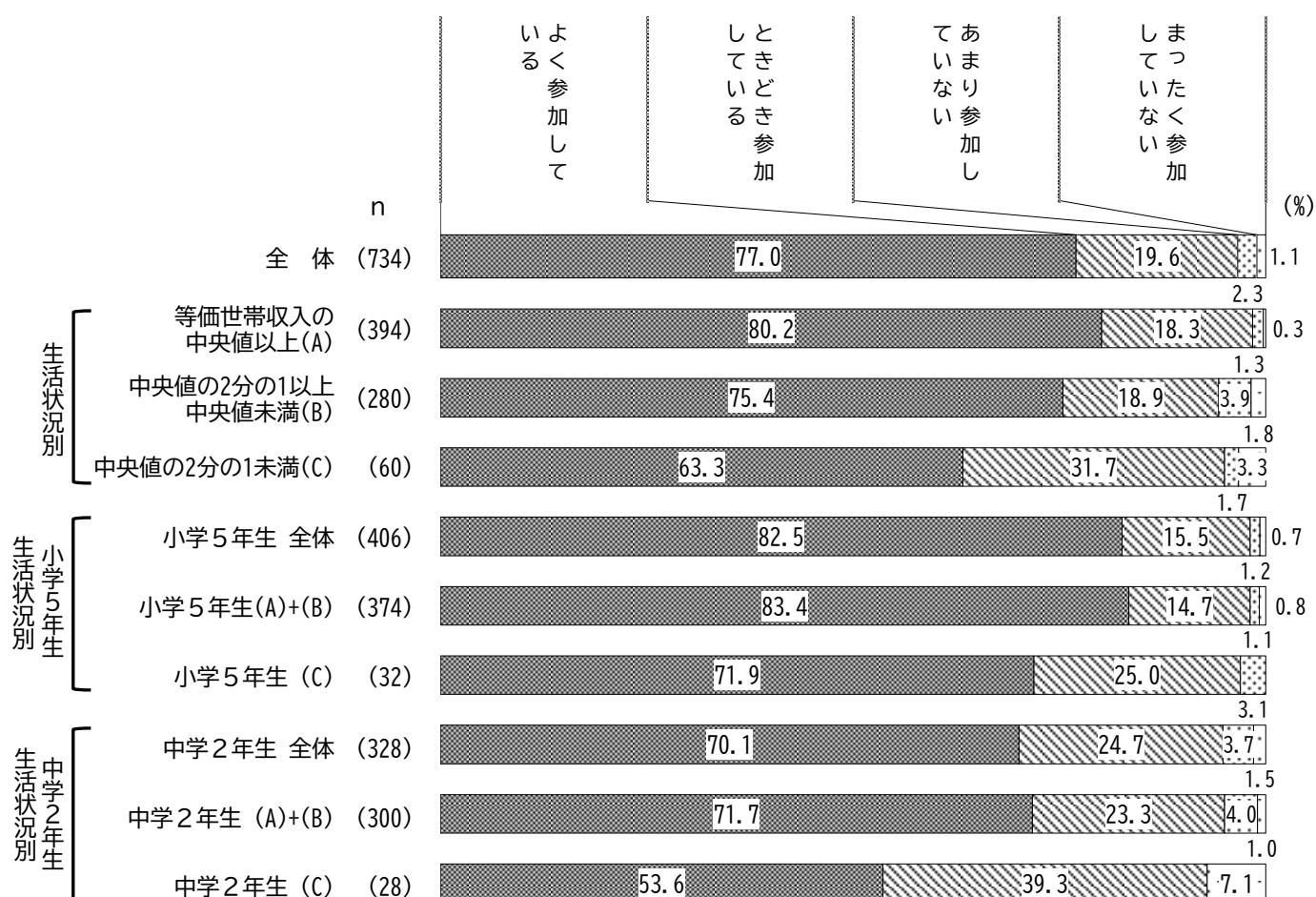
問11 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(それぞれひとつにチェック)

a) 学校行事への参加

学校行事への参加は、全体で「よく参加している」が77.0%と最も高く、次いで「ときどき参加している」19.6%、「あまり参加していない」2.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「ときどき参加している」は中央値の2分の1未満（C）が31.7%と最も高くなっている。

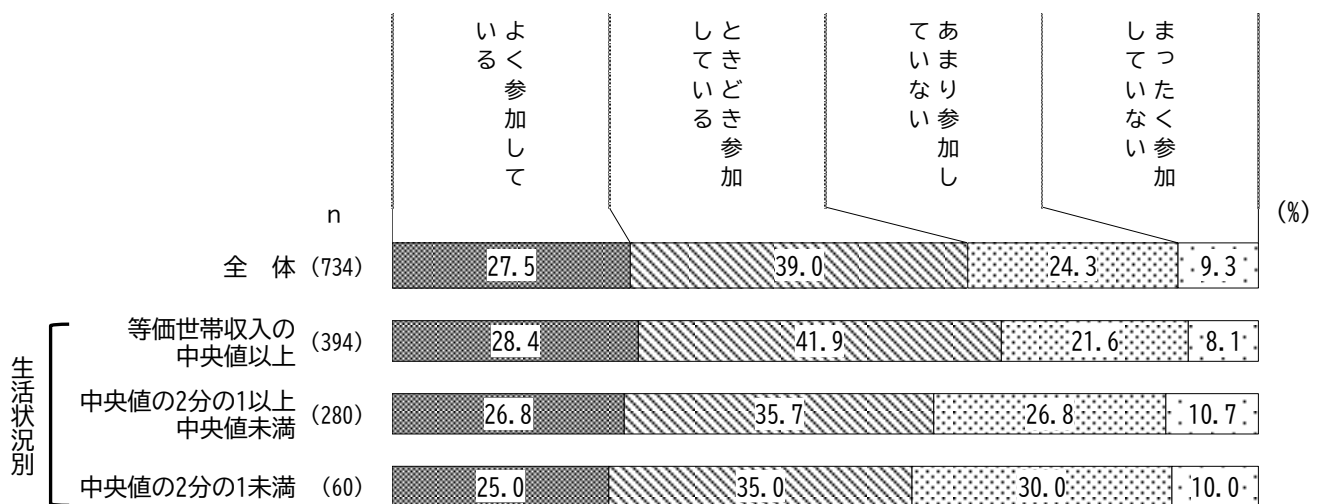
学年別にみると、「よく参加している」は小学5年生が中学2年生より12.4ポイント高く、「ときどき参加している」は中学2年生が小学5年生より9.2ポイント高くなっている。



b) PTA活動等への参加

PTA活動等への参加は、全体で「ときどき参加している」が39.0%と最も高く、次いで「よく参加している」27.5%、「あまり参加していない」24.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「あまり参加していない」は中央値の2分の1未満が30.0%と最も高くなっている。



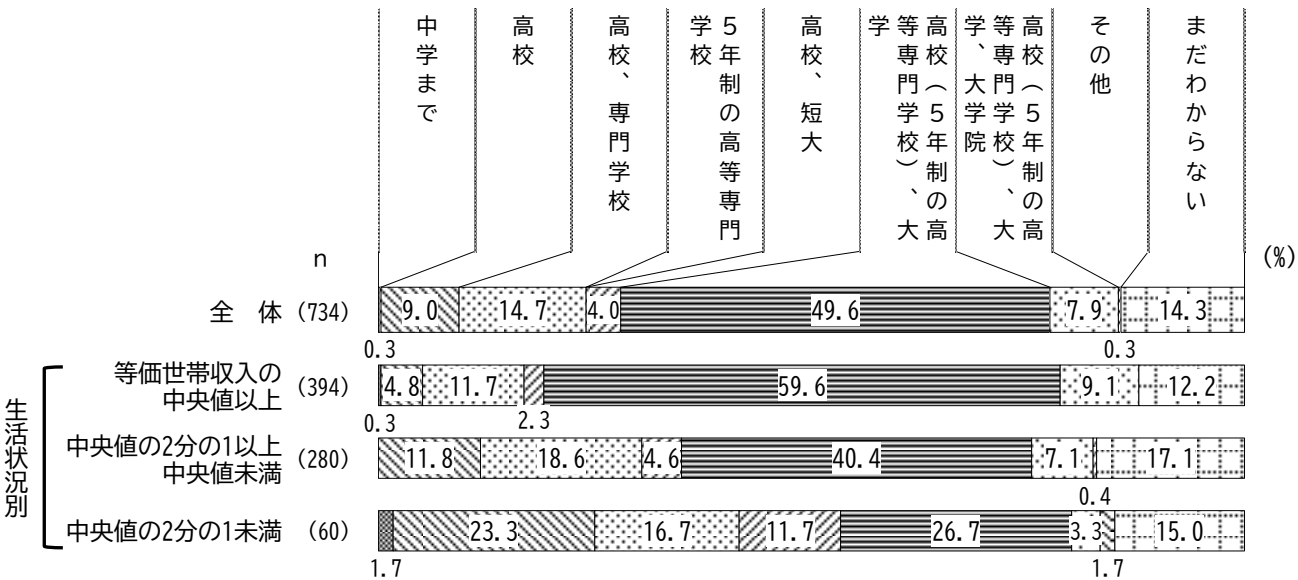
5. 進学期待・展望

(1) こどもの進学段階に関する希望・展望

問12 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

こどもの進学段階に関する希望・展望は、全体で「高校（5年制の高等専門学校）、大学」が49.6%と最も高く、次いで「高校、専門学校」14.7%、「まだわからない」14.3%などとなっている。

生活状況別にみると、「高校（5年制の高等専門学校）、大学」は等価世帯収入の中央値以上が59.6%と最も高くなっている。



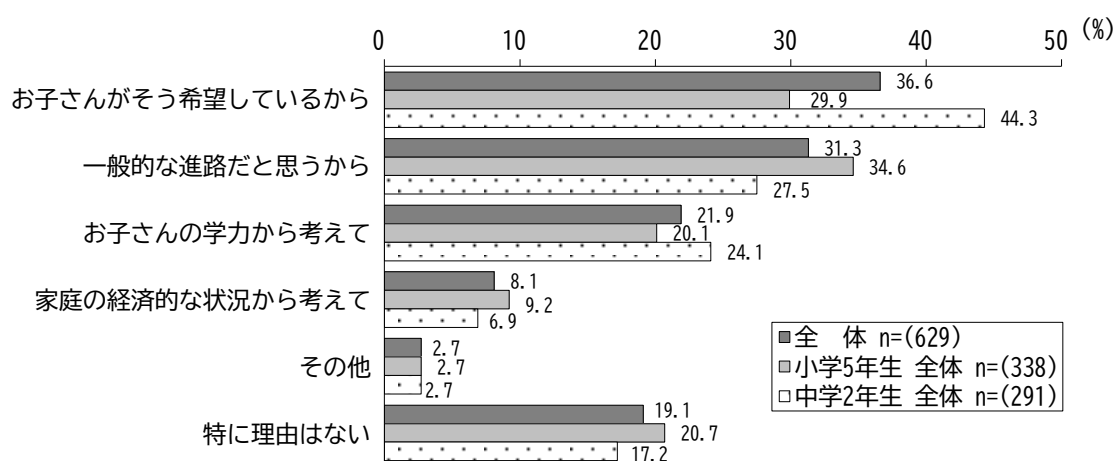
(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由

【問12で「中学まで」「高校」「高校、専門学校」「5年生の高等専門学校」「高校、短大」「高校（または5年生の高等専門学校）、大学」「高校（または5年生の高等専門学校）、大学、大学院」「その他」のいずれかを選択した方のみ】

問13 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてにチェック）

こどもの進学段階に関する希望・展望のそう考える理由は、全体で「お子さんがそう希望しているから」が36.6%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」31.3%、「お子さんの学力から考えて」21.9%などとなっている。

学年別にみると、「お子さんがそう希望しているから」は中学2年生が小学5年生より14.4ポイント高く、「一般的な進路だと思うから」は小学5年生が中学2年生より7.1ポイント高くなっている。



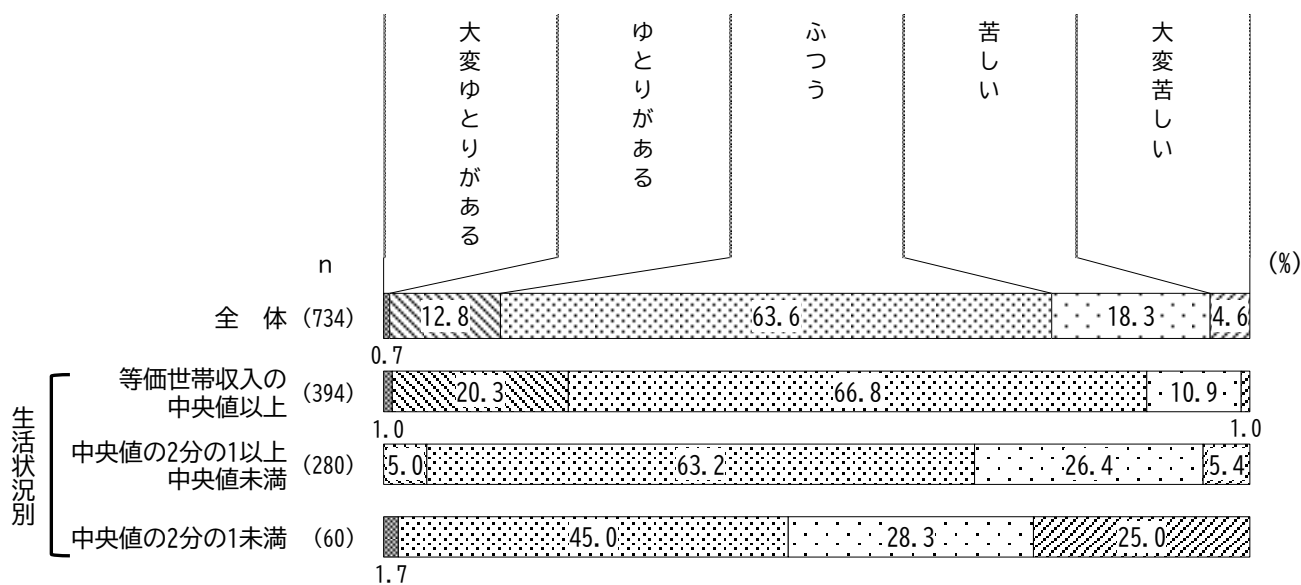
6. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 暮らしの状況についての認識

問14 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
(あてはまるもの1つにチェック)

暮らしの状況についての認識は、全体で「ふつう」が63.6%と最も高く、次いで「苦しい」18.3%、「ゆとりがある」12.8%などとなっている。

生活状況別にみると、「苦しい」は中央値の2分の1未満が28.3%と最も高くなっている。



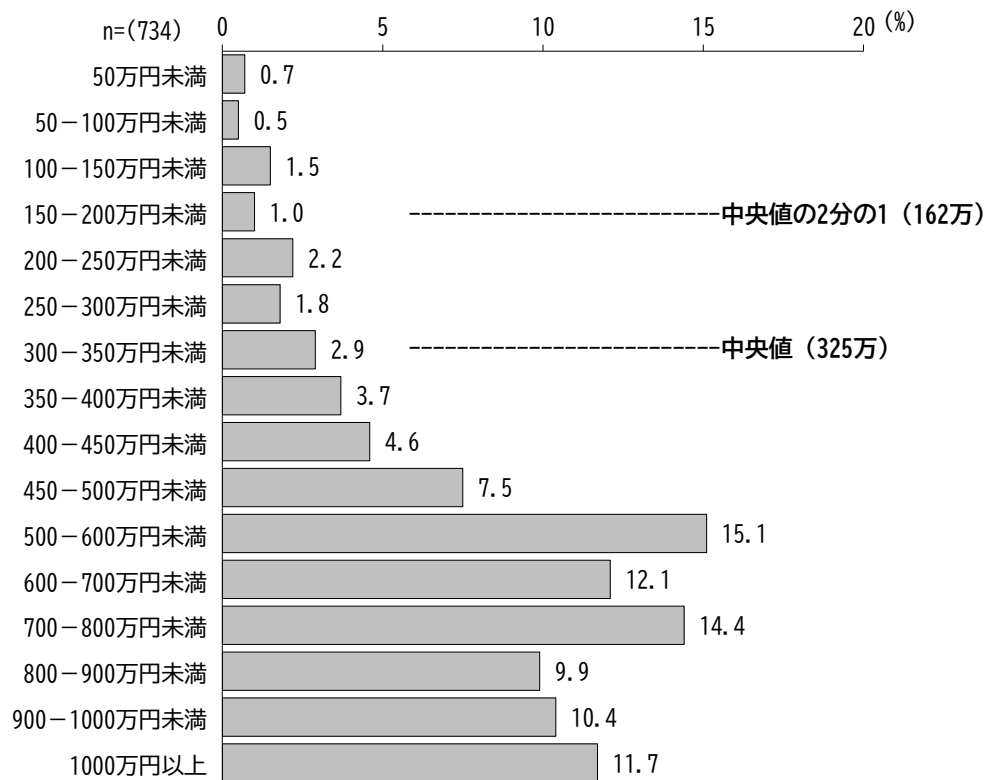
(2) 世帯全体の年間収入

問15 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つにチェック)
 ※令和5(2023)年の年間収入についてお答えください。

*収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

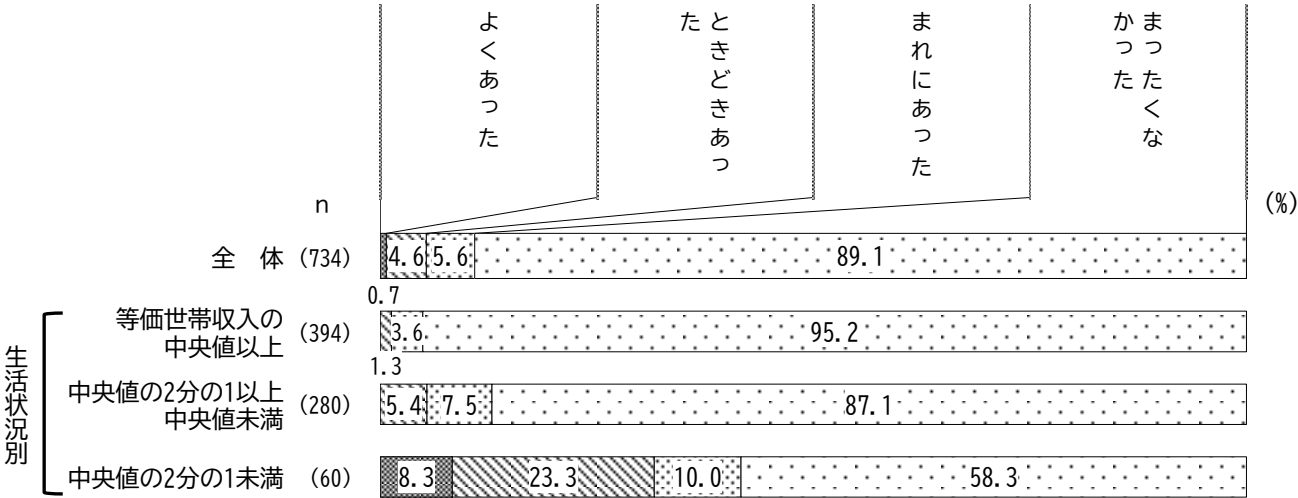
等価世帯収入の水準は、全体で「500－600万円未満」が15.1%と最も高く、次いで「700－800万円未満」14.4%、「600－700万円未満」12.1%などとなっている。



(3) 食料が買えなかった経験

問16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つにチェック)

食料が買えなかった経験は、全体で「まったくなかった」が89.1%と最も高く、次いで「まれにあった」5.6%、「ときどきあった」4.6%などとなっている。
生活状況別にみると、「ときどきあった」は中央値の2分の1未満が23.3%と最も高くなっている。

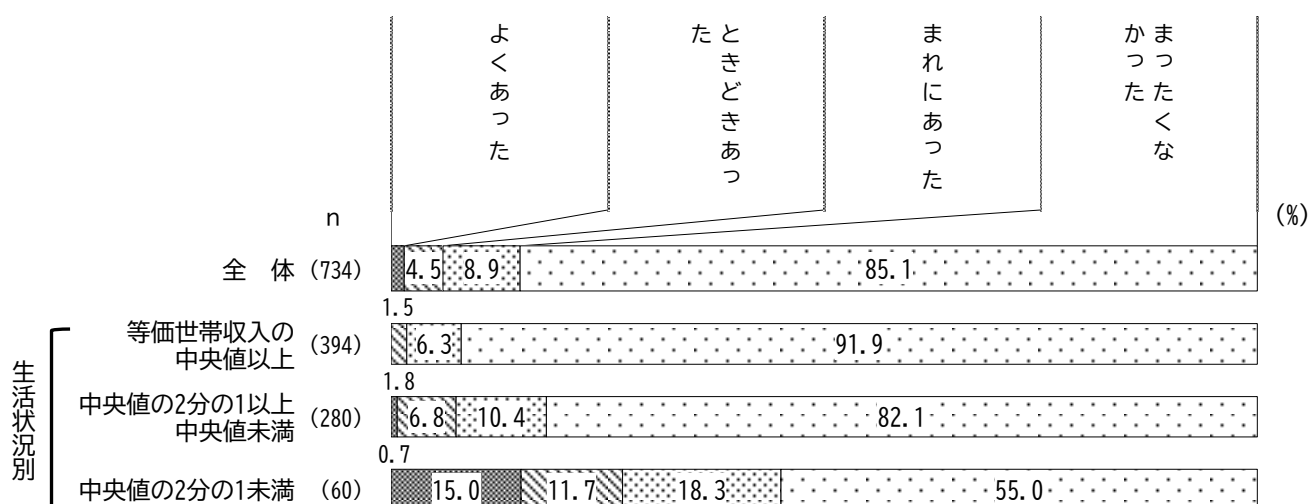


(4) 衣服が買えなかった経験

問17 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの1つにチェック)

衣服が買えなかった経験は、全体で「まったくなかった」が85.1%と最も高く、次いで「まれにあった」8.9%、「ときどきあった」4.5%などとなっている。

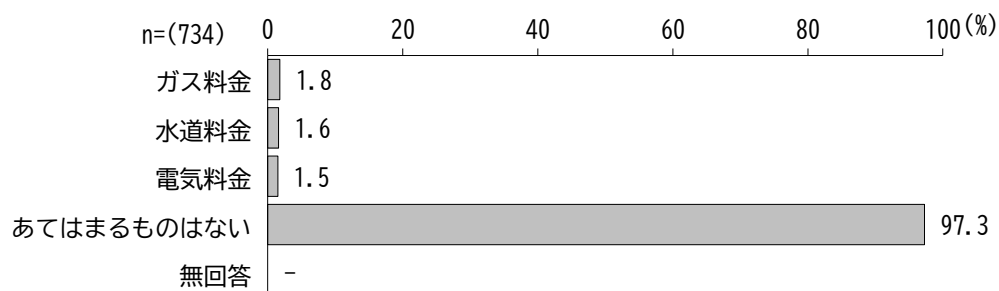
生活状況別にみると、「まれにあった」は中央値の2分の1未満が18.3%と最も高くなっている。



(5) 公共料金における未払いの経験

問18 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(あてはまるものすべてにチェック)

公共料金における未払いの経験は、全体で「あてはまるものはない」が97.3%と最も高く、次いで「ガス料金」1.8%、「水道料金」1.6%などとなっている。



（６）支援制度の利用状況

問19 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(それぞれあてはまるもの1つを選択)

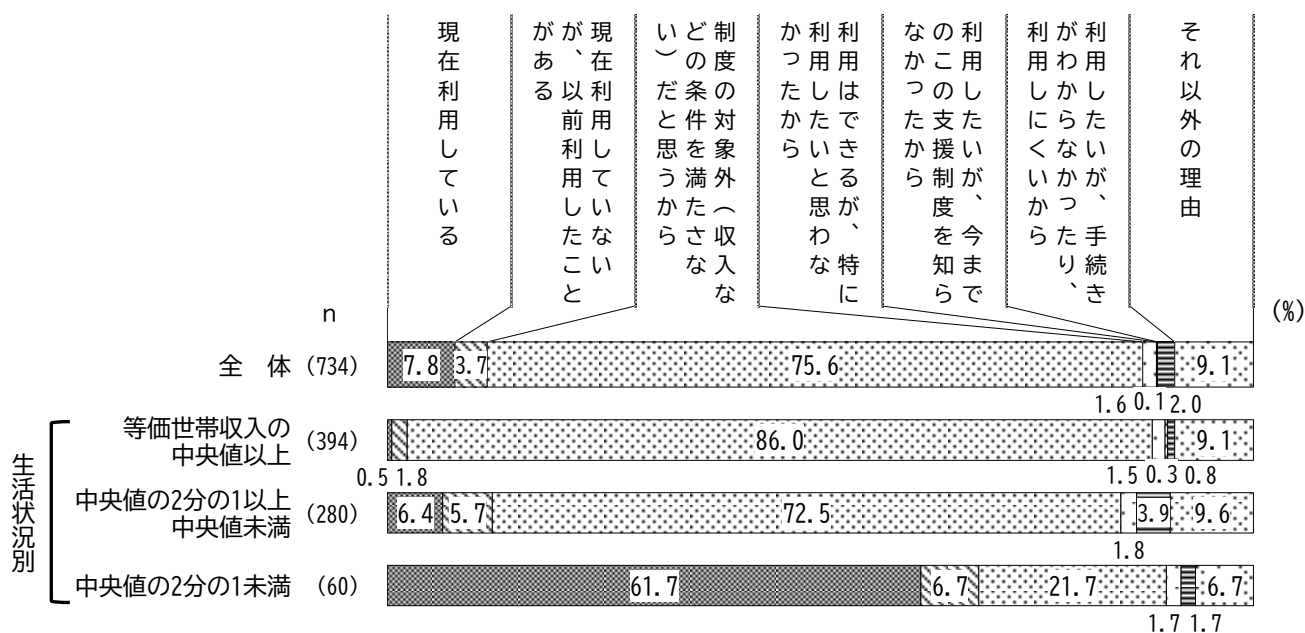
また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(あてはまるもの1つにチェック)

a) 就学援助

就学援助は、全体で「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が75.6%と最も高く、次いで「現在利用している」7.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」3.7%などとなっている。

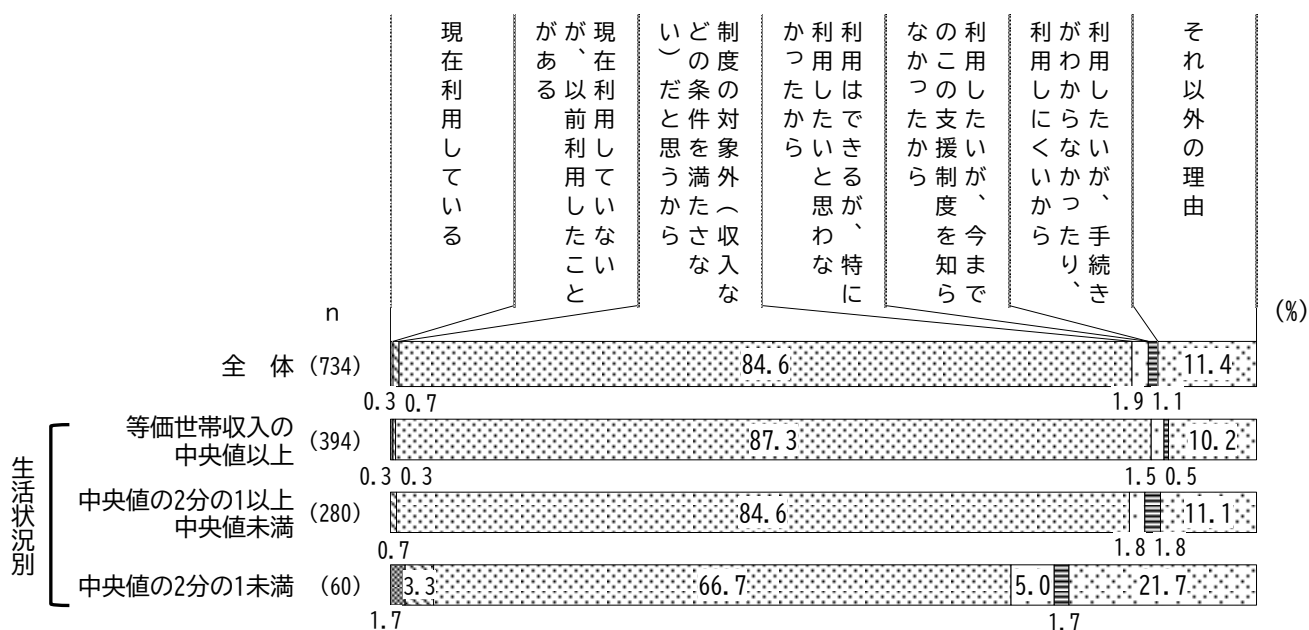
生活状況別にみると、「現在利用している」は中央値の2分の1未満が61.7%と最も高くなっている。



b) 生活保護

生活保護は、全体で「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.6%と最も高く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.1%などとなっている。

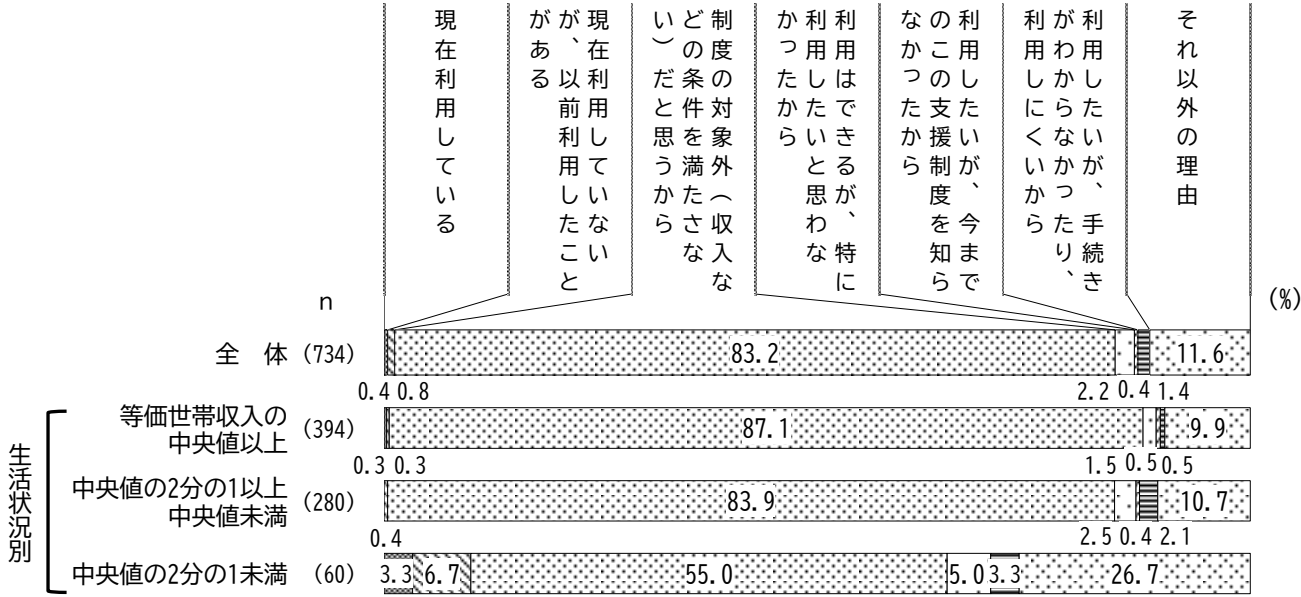
生活状況別にみると、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」は中央値の2分の1未満が5.0%と最も高くなっている。



c) 生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口は、全体で「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ
と思うから」が83.2%と最も高く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったか
ら」2.2%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.4%などとなっ
ている。

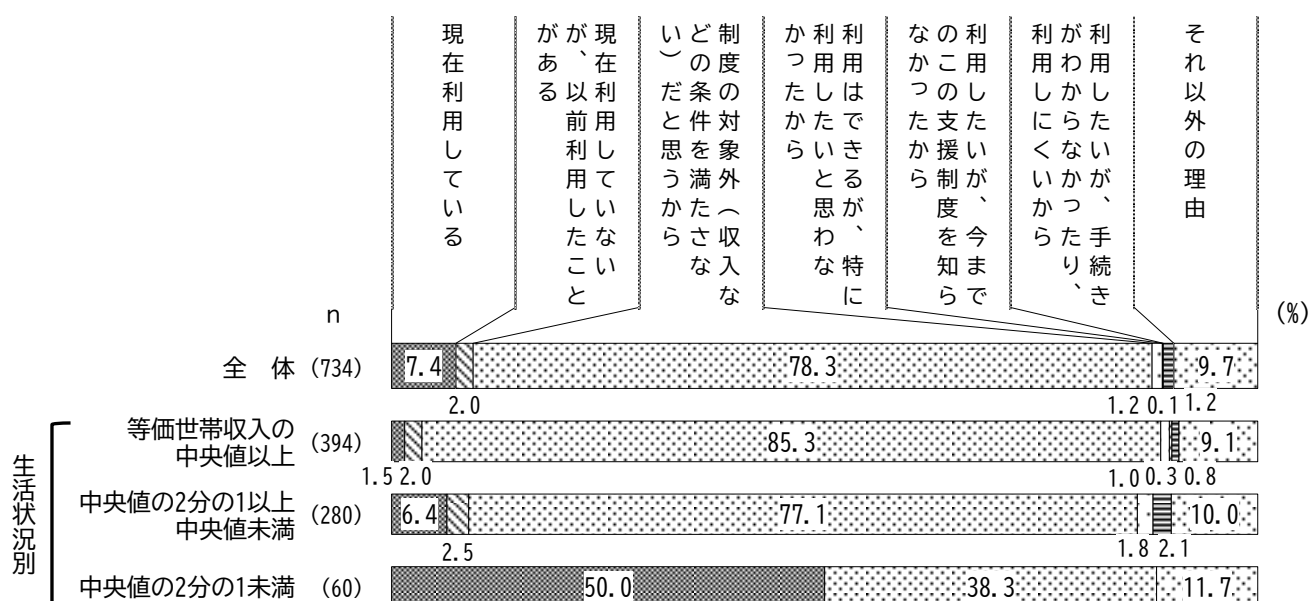
生活状況別にみると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」は中央値の2分の1
未満が6.7%と最も高くなっている。



d) 児童扶養手当

児童扶養手当は、全体で「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が78.3%と最も高く、次いで「現在利用している」7.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.0%などとなっている。

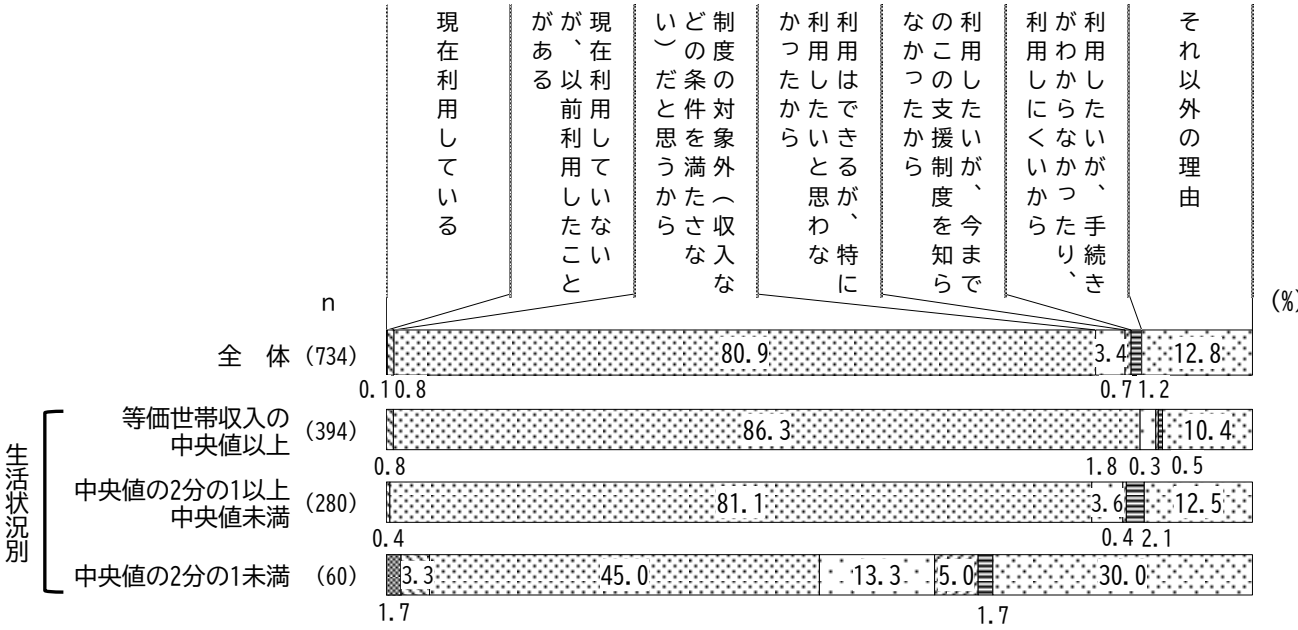
生活状況別にみると、「現在利用している」は中央値の2分の1未満が50.0%と最も高くなっている。



e) 母子家庭等就業・自立支援センター

母子家庭等就業・自立支援センターは、全体で「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が80.9%と最も高く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」3.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.2%などとなっている。

生活状況別にみると、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」は中央値の2分の1未満が13.3%と最も高くなっている。



7. 「ヤングケアラー」の認知度・居場所

(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

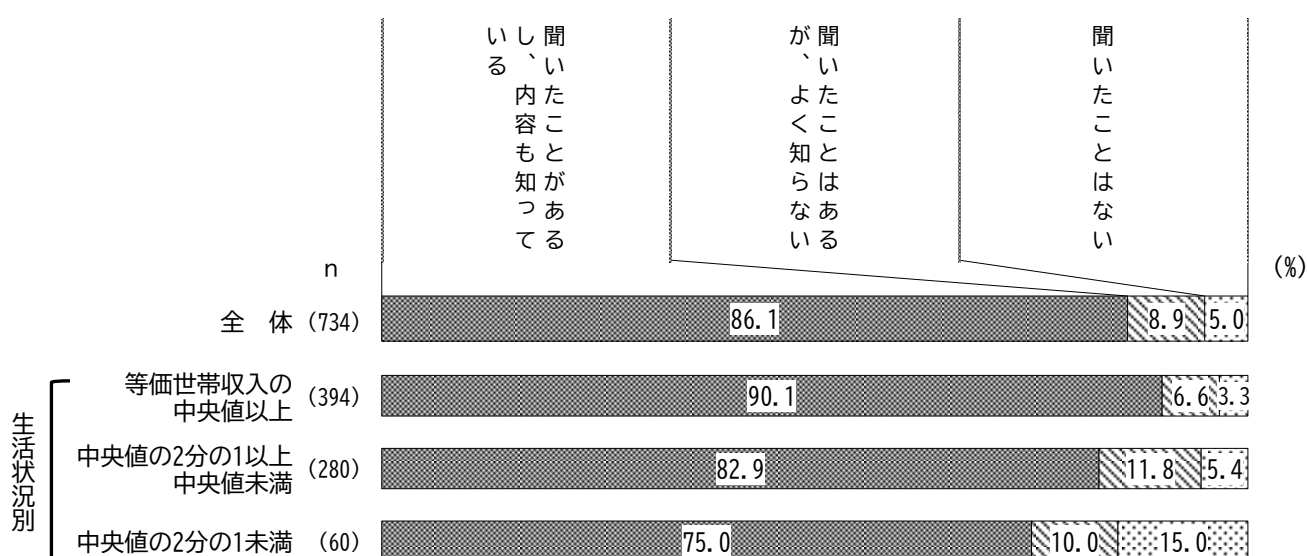
問20 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことです。

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つにチェック)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、全体で「聞いたことがあるし、内容も知っている」が86.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」8.9%、「聞いたことはない」5.0%となっている。

生活状況別にみると、「聞いたことはない」は中央値の2分の1未満が15.0%と最も高くなっている。

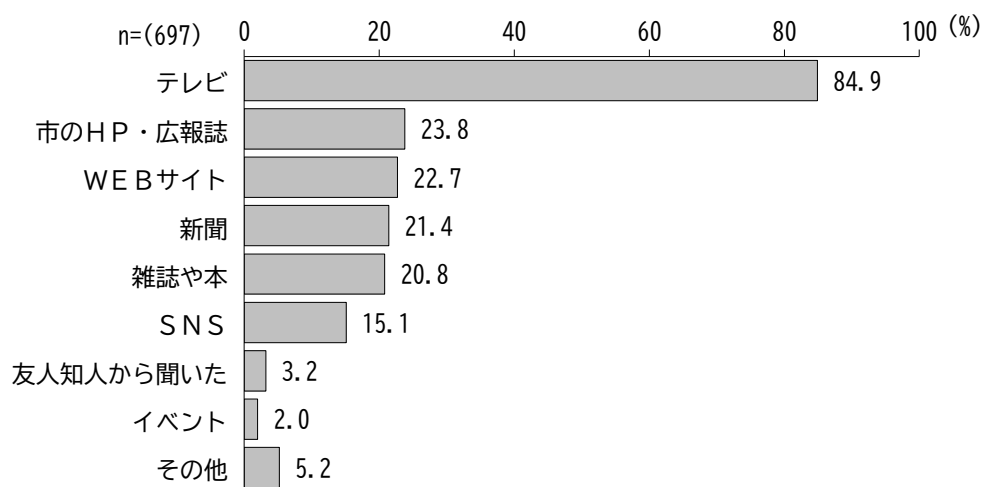


(2)「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

【問20で「聞いたことがあるし、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」のいずれかを選択した方のみ】

問21 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてにチェック)

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけは、全体で「テレビ」が84.9%と最も高く、次いで「市のHP・広報誌」23.8%、「WEBサイト」22.7%などとなっている。

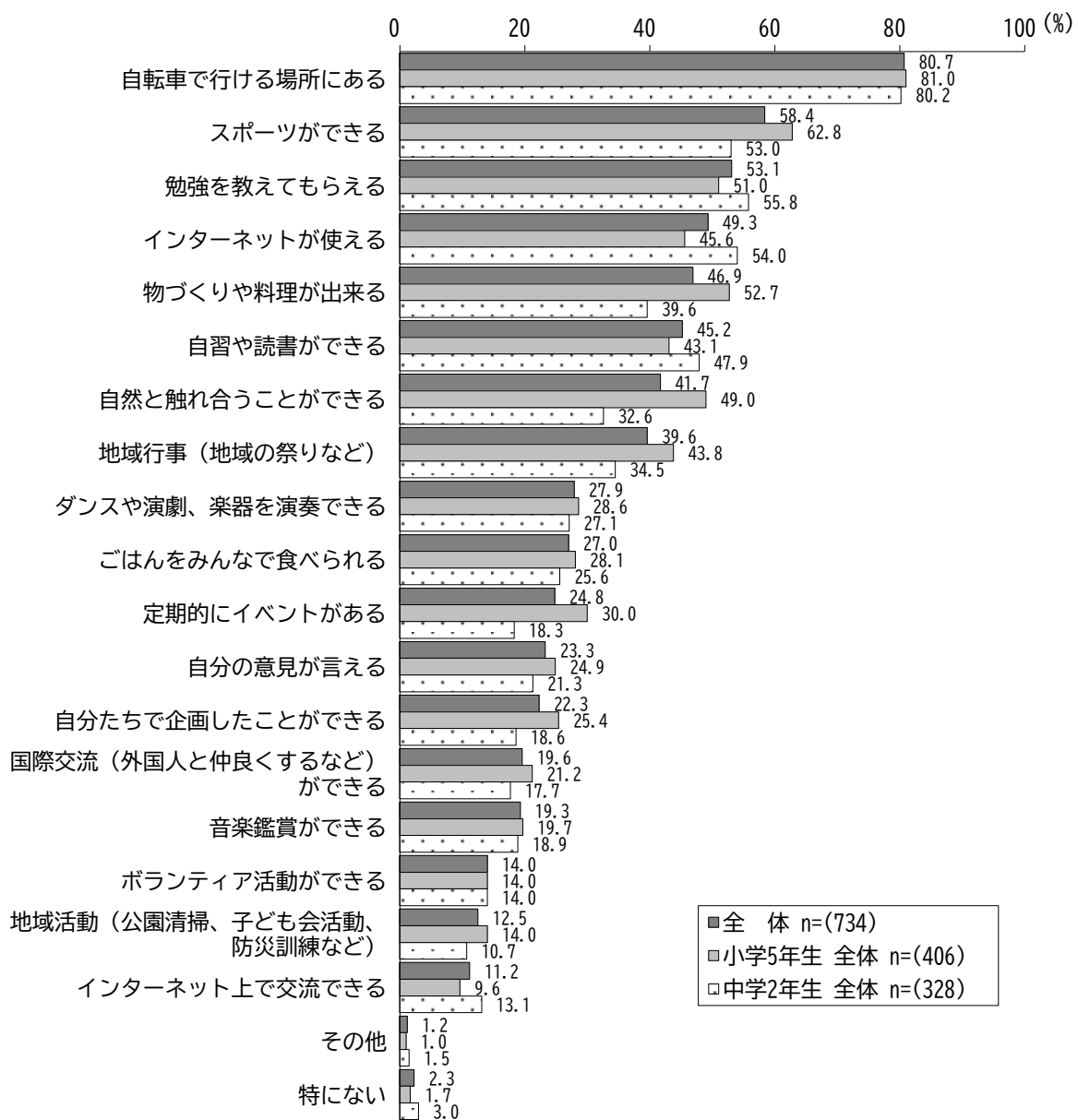


(3) こどもが過ごす場所として利用したい場所

問22 こどもが過ごす場所として、どのような場所であればこどもは利用したいと思いますか。
(あてはまるものすべてにチェック)

こどもが過ごす場所として利用したい場所は、全体で「自転車で行ける場所にある」が80.7%と最も高く、次いで「スポーツができる」58.4%、「勉強を教えてもらえる」53.1%などとなっている。

学年別にみると、「自然と触れ合うことができる」は小学5年生が中学2年生より16.4ポイント高くなっている。



8. 保護者の心理的な状態

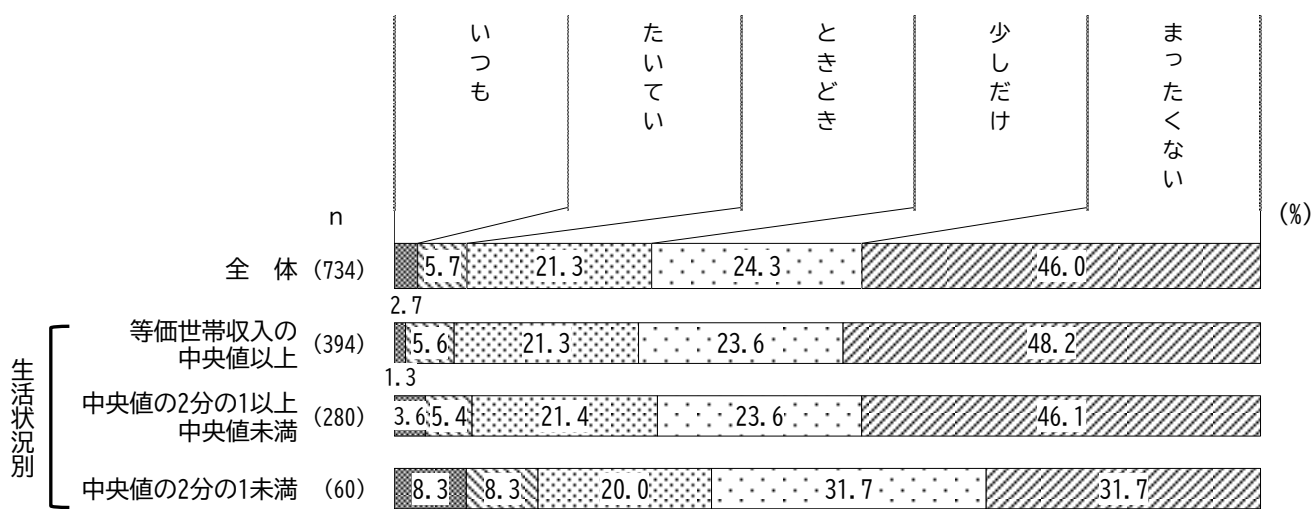
(1) この1か月の自分の気持ち

問23 この1か月のあなたの気持ちはどのようなでしたか。
(それぞれあてはまるもの1つにチェック)

a) 神経過敏に感じた

神経過敏に感じたことは、全体で「まったくない」が46.0%と最も高く、次いで「少しだけ」24.3%、「ときどき」21.3%などとなっている。

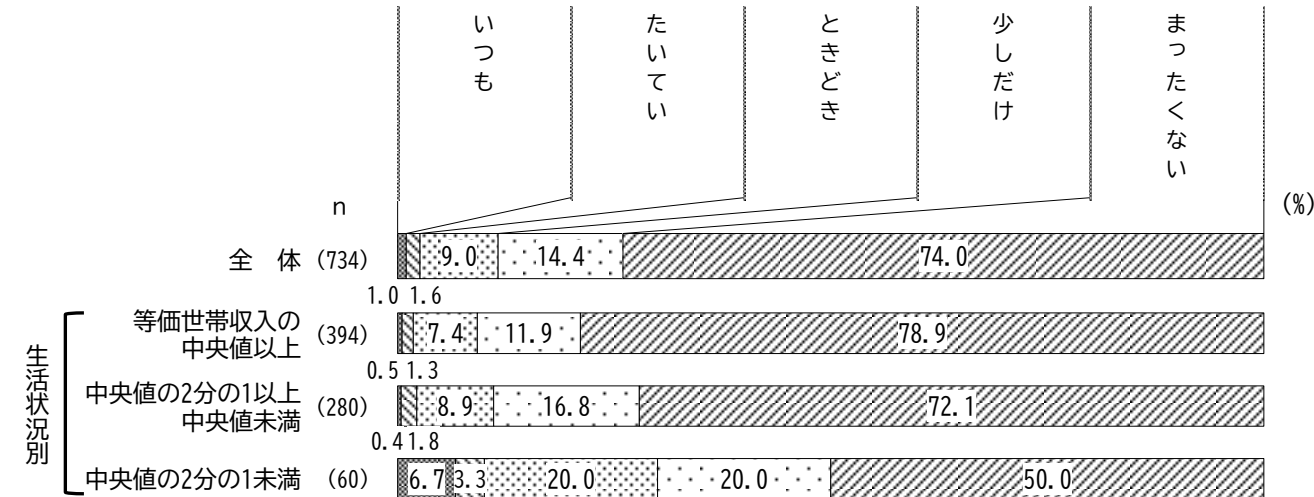
生活状況別にみると、「少しだけ」は中央値の2分の1未満が31.7%と最も高くなっている。



b) 絶望的だと感じた

絶望的だと感じたことは、全体で「まったくない」が74.0%と最も高く、次いで「少しだけ」14.4%、「ときどき」9.0%などとなっている。

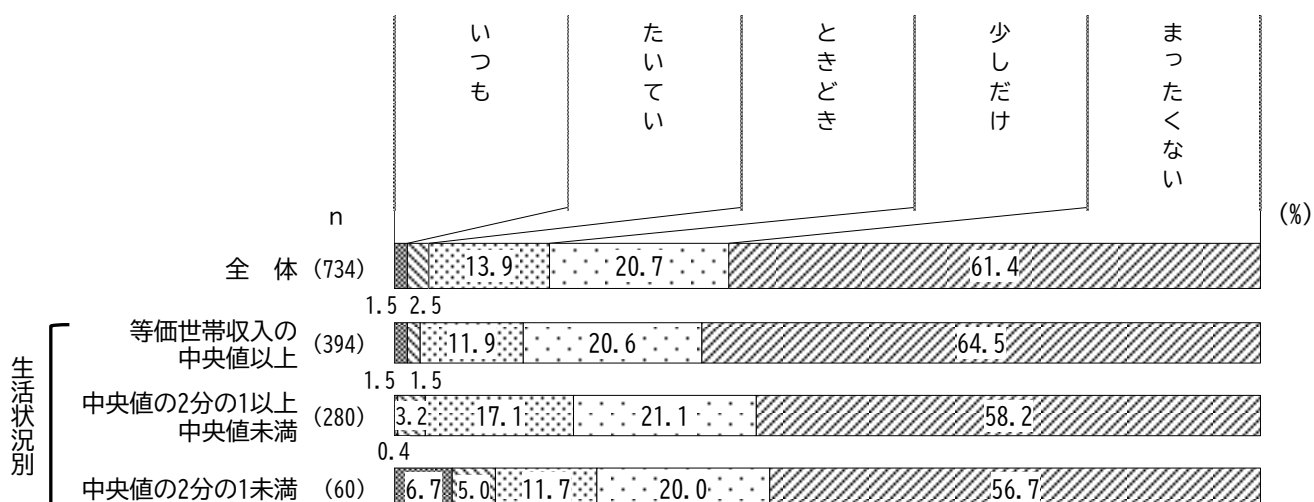
生活状況別にみると、「ときどき」は中央値の2分の1未満が20.0%と最も高くなっている。



c) そわそわ、落ち着かなく感じた

そわそわ、落ち着かなく感じたことは、全体で「まったくない」が61.4%と最も高く、次いで「少しだけ」20.7%、「ときどき」13.9%などとなっている。

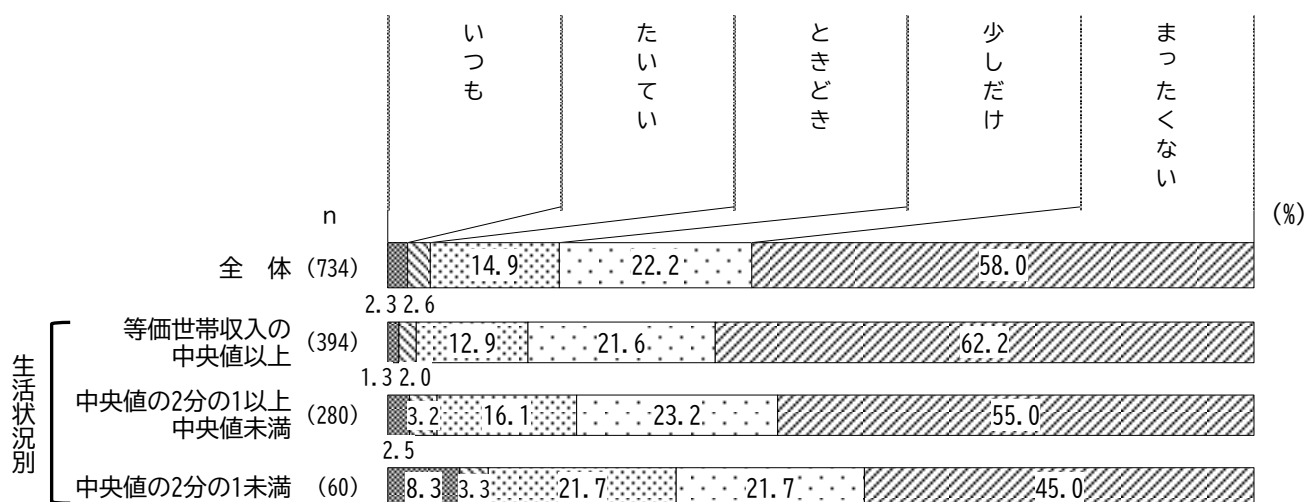
生活状況別にみると、「いつも」は中央値の2分の1未満が6.7%と最も高くなっている。



d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じたことは、全体で「まったくない」が58.0%と最も高く、次いで「少しだけ」22.2%、「ときどき」14.9%などとなっている。

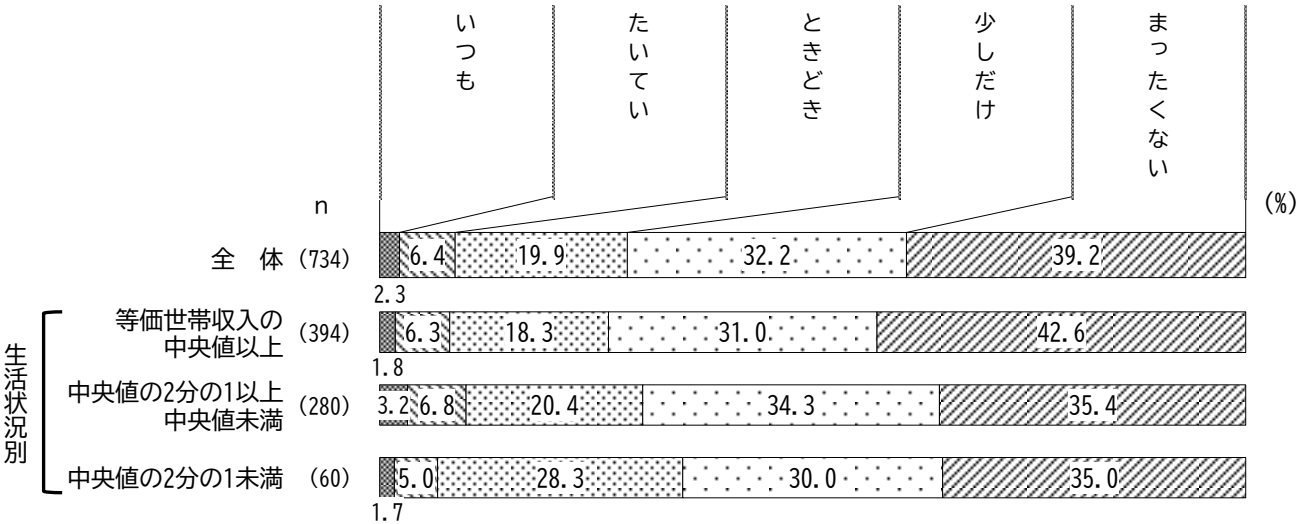
生活状況別にみると、「ときどき」は中央値の2分の1未満が21.7%と最も高くなっている。



e) 何をするのも面倒だと感じた

何をするのも面倒だと感じたことは、全体で「まったくない」が39.2%と最も高く、次いで「少しだけ」32.2%、「ときどき」19.9%などとなっている。

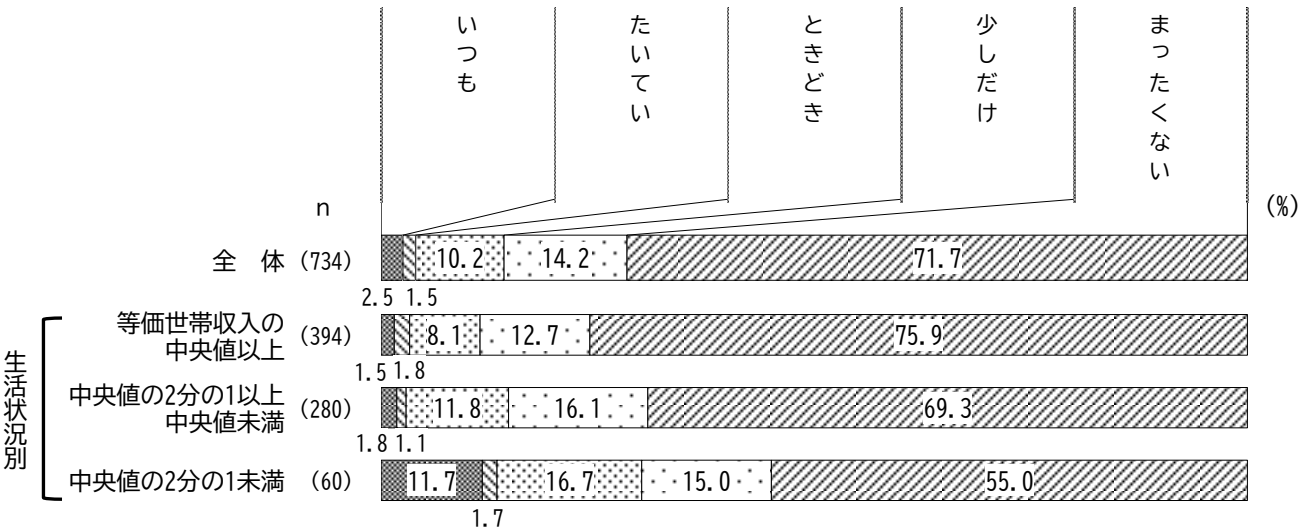
生活状況別にみると、「ときどき」は中央値の2分の1未満が28.3%と最も高くなっている。



f) 自分は価値のない人間だと感じた

自分は価値のない人間だと感じたことは、全体で「まったくない」が71.7%と最も高く、次いで「少しだけ」14.2%、「ときどき」10.2%などとなっている。

生活状況別にみると、「いつも」は中央値の2分の1未満が11.7%と最も高くなっている。



9. 頼れる人の有無・相手

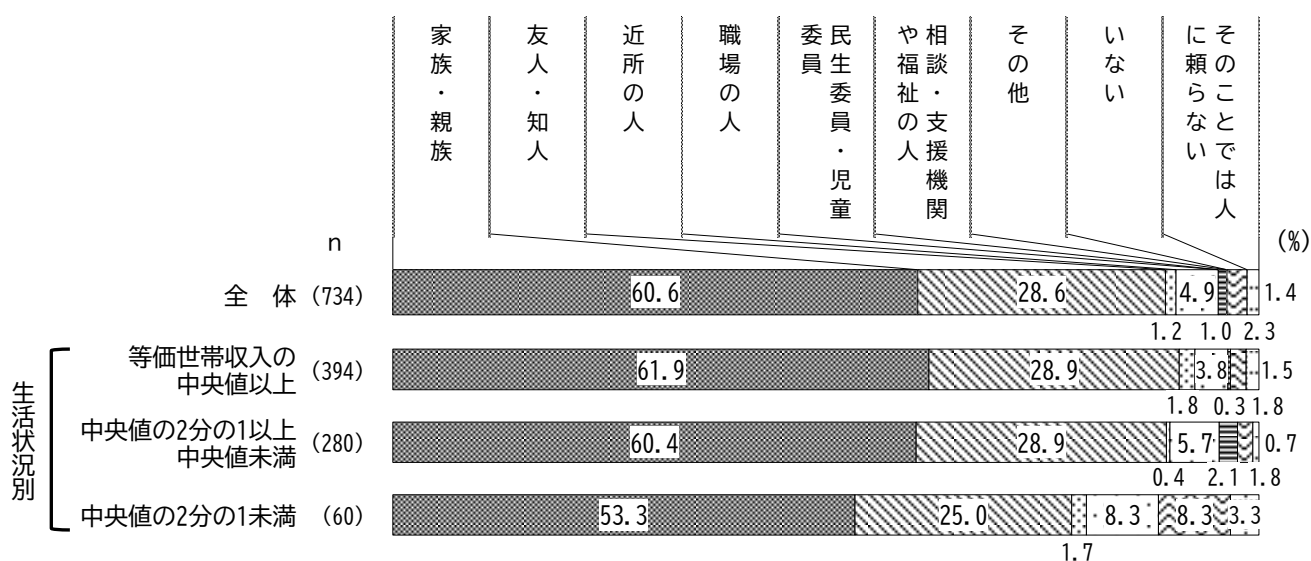
(1) 頼れる人の有無

問24 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(それぞれあてはまるもの1つにチェック)

a) 子育てに関する相談相手

子育てに関する相談相手は、全体で「家族・親族」が60.6%と最も高く、次いで「友人・知人」28.6%、「職場の人」4.9%などとなっている。

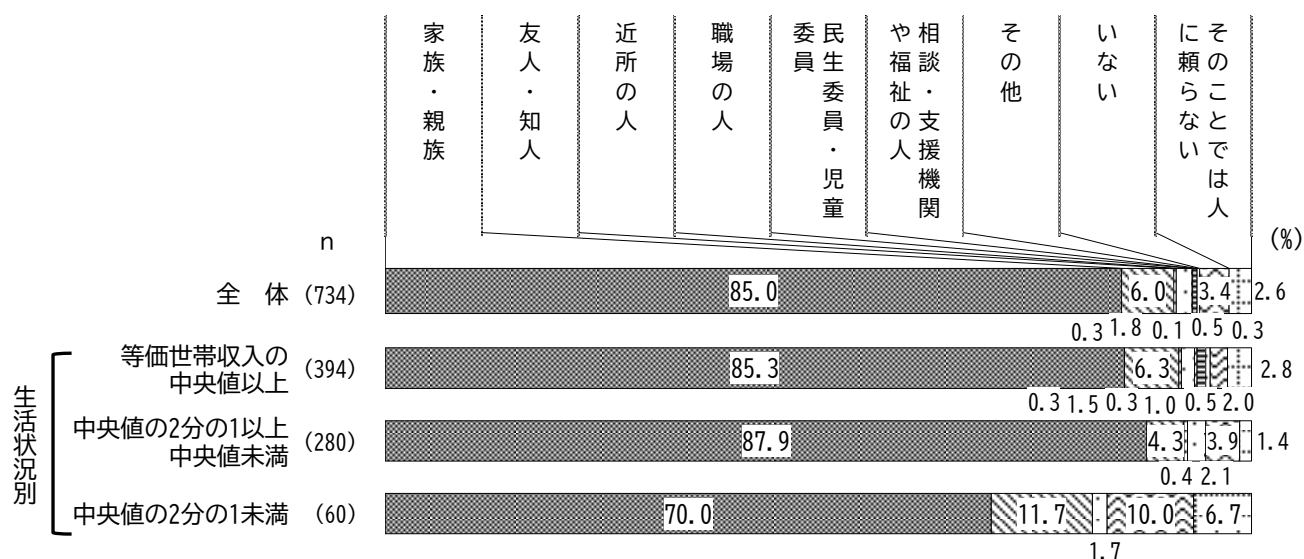
生活状況別にみると、「いない」は中央値の2分の1未満が8.3%と最も高くなっている。



b) 重要な事柄の相談相手

重要な事柄の相談相手は、全体で「家族・親族」が85.0%と最も高く、次いで「友人・知人」6.0%、「いない」3.4%などとなっている。

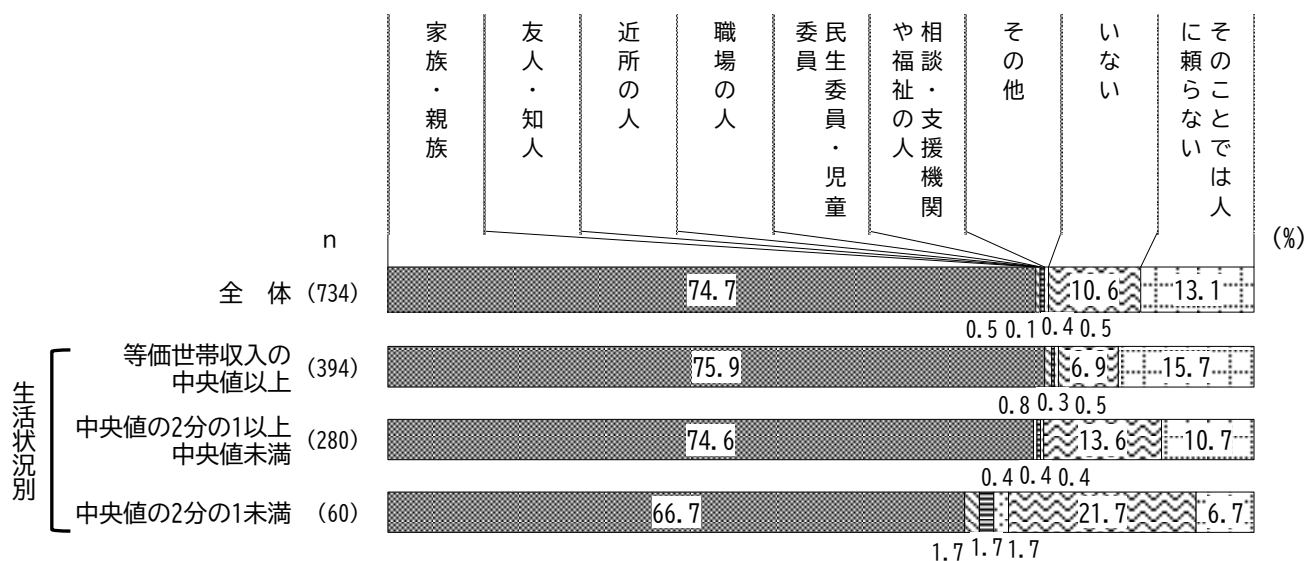
生活状況別にみると、「いない」は中央値の2分の1未満が10.0%と最も高くなっている。



c) いざという時の金銭の援助に関して頼れる相手

いざという時の金銭の援助に関して頼れる相手は、全体で「家族・親族」が74.7%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」13.1%、「いない」10.6%などとなっている。

生活状況別にみると、「いない」は中央値の2分の1未満が21.7%と最も高くなっている。



10. 現在の生活の満足度

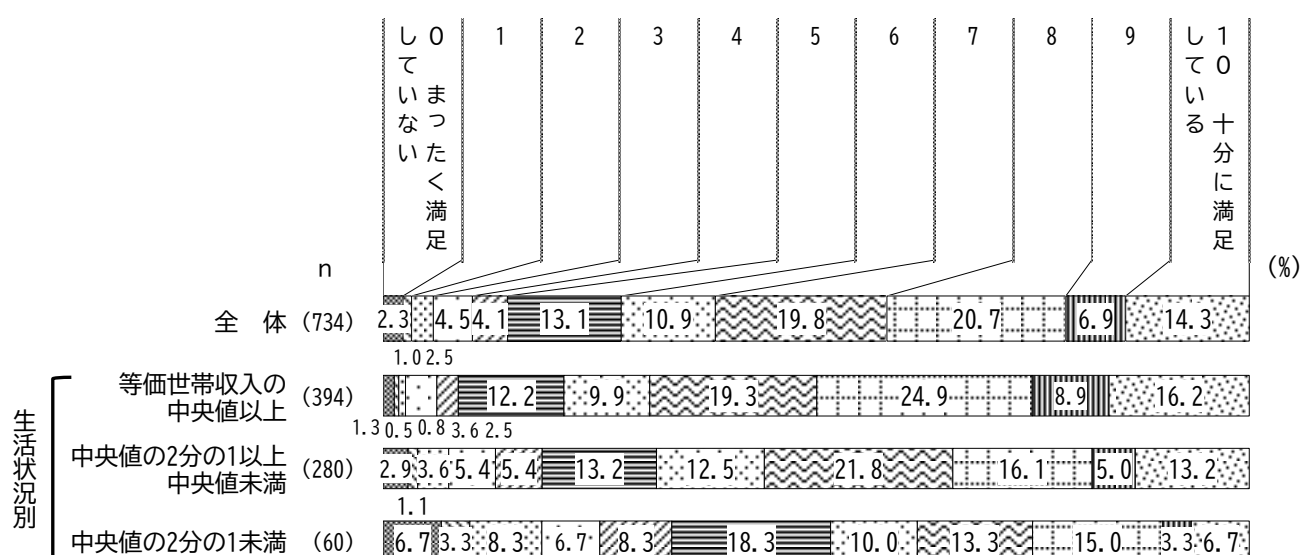
(1) 最近の生活の満足度 保護者

最後に、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していないから「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

（あてはまるもの1つにチェック）

保護者の最近の生活の満足度について10段階（数字が大きいほど満足度が高い）で評価してもらったところ、全体で満足度「8」が20.7%と最も高く、次いで満足度「7」19.8%、満足度「10」14.3%などとなっている。

生活状況別にみると、満足度「2」は中央値の2分の1未満が8.3%と最も高くなっている。



第3部 調査票

※紙での調査を実施した「第1部 こども・子育て支援に関するニーズ調査」の未就学児調査、就学児調査、妊婦調査のみを掲載している。

「第2部 こどもの意識・生活に関する調査」はWeb調査のみのため掲載していない。

1. 未就学児調査

保護者の皆様へ

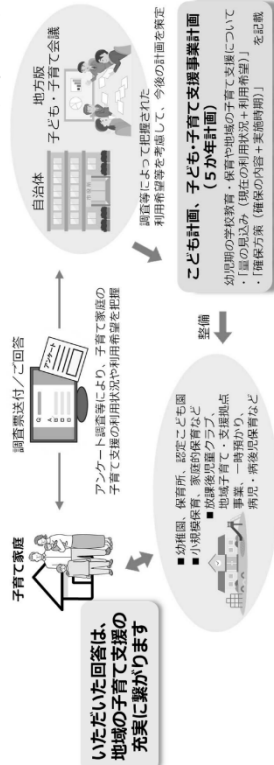
入間市 こども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。入間市では、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に子育ての環境を整備しています。この度、次期計画の策定及び「こども計画」の新規策定のための調査を実施することといたしました。

この調査は、就学前のお子さんがいらっしゃる世帯を無作為に選び、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市の子育て支援施策に活かすために利用し、回答者が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月
入間市長 杉島 理一郎



いただいた回答は、地域の子育て支援の充実に繋がります

調査票の記入にあたって

- 1 調査は、封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方にご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。調査票、封筒ともに、お名前を書いていただく必要はありません。
- 3 調査票への回答は、選択肢を○で囲んでいただくものと、数字などを記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 インターネットまたは本調査票のどちらか一方でご回答をお願いします。いずれの方法で、**3月29日(金)**までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函または送付してください。

WEB 回答ページ ※パソコン、タブレット、スマートフォンからアクセスできます。

<https://en.surece.co.jp/2024irumamp>



ID :

パスワード :

*アドレスを打ち込む際は、ブラウザの検索バーではなく、アドレスバーに入力してください。

問合せ先

本調査への質問または不明な点がありまして、下記までお問合せください。

【設問内容不明】

入間市 こども支援部 とも支援課
株式会社 サーベイリサーチセンター
(平日 8:30-17:15・土日祝を除く)
電話：04 (2964) 1111 内線：2341 (担当：根本)

【WEB 回答フォーム(委託先)】

株式会社 サーベイリサーチセンター
(平日 9:00-17:00・土日祝を除く)
電話：03 (6826) 4666 (担当：根本)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の郵便番号の下2桁をご記入ください。なお、郵便番号は送付した封筒の宛名に書かれています。

郵便番号 358-00□□

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枚に一字。)

西暦 20□□年 □□月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当ではまる番号1つに○をつけてください。(問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる 2. パートナーがいる 3. 配偶者(パートナー)はいない

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を、家族の中で主にしている方はどなたですか。お子さんからみられた関係で当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

封筒の宛名のお子さんの育ちをめぐり環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみられた関係で当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育所(園)
7. 認定こども園 8. その他 ()

問7 日頃、宛名のお子さんの看病や世話などをみてもらえる親族・知人はいいますか。ご記入いただいている方からみられた関係で当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。もしくは、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある	⇒ 問8-1△	2. いない／ない	⇒ 問9△
----------	---------	-----------	-------

問8-1 問8で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。ご記入いただいている方からみただけで当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者（パートナー）	2. 父母等の親族
3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 子育て支援施設（子育て支援センター・児童センター・NPO等）	
6. 保健所・健康福祉センター（いるティーきっすらじざわ）	
7. 助産師・保健師	8. 保育所（園）
9. 幼稚園	10. 民生委員・児童委員
11. かかりつけの医師	
12. 市こども支援課窓口（いるティーきっすらよおか）	
13. その他（	）

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問12△
6. これまで就労したことがない ⇒ 問12△

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問12△
6. これまで就労したことがない ⇒ 問12△

問9-1 一週間の就労状況及び祝日の勤務状況についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、就労する曜日が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 母親

勤務曜日	1.月曜日	2.火曜日	3.水曜日	4.木曜日	5.金曜日	6.土曜日	7.日曜日
祝日の勤務	1. 有	2. 無					

(2) 父親

勤務曜日	1.月曜日	2.火曜日	3.水曜日	4.木曜日	5.金曜日	6.土曜日	7.日曜日
祝日の勤務	1. 有	2. 無					

問9-2 1日あたりの「就労時間（就業時間含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」を口内に具体的な数字で記入ください（数字は一律に一字、該当しない部分は空白のまま）。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 母親

	平日（月曜～金曜）	土曜日	日曜日
1. 1日当たりの就労時間	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
2. 家を出る時刻 （自宅勤務の場合は開始時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
3. 帰宅時刻 （自宅勤務の場合は終業時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分

(2) 父親

	平日（月曜～金曜）	土曜日	日曜日
1. 1日当たりの就労時間	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
2. 家を出る時刻 （自宅勤務の場合は開始時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
3. 帰宅時刻 （自宅勤務の場合は終業時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分

問10 宛名のお子さんの保護者の現在のテレワーク状況をうかがいます。

テレワーク（在宅）を利用していますか 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 制度があり、制度を利用している	⇒ 問10-1△
2. 制度があり、利用していないが、利用したい	
3. 制度があり、利用しておらず、今後も利用しない	
4. 制度がない	

問10-1 問10で「1」に○をつけた方にうかがいます。

テレワーク（在宅）期間中、もっとも過ごす時間は変わりましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った



宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここについて「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問13-1へ 2. 利用していない ⇒ 問13-5へ

問13-1 問13-1～4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方に向かいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(園) (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 認可の小規模な保育施設(地域型保育) (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6人～19人のもの)	6. 認可の事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 認可の家庭的保育※ (保育者の家庭等で5人以下のこどもを保育する事業(保育ママ))	8. 認可の居宅訪問型保育※ (ベビーママのような保育者がこどもの家庭を訪問し保育する事業)
9. 認可外の保育施設	10. 児童発達支援 (発達支援を必要とするこどもを対象に、日常生活の基本的動作の指導等を行う通所施設)
11. その他()	

※現在、入園市には該当する施設、制度はありません。なお、他の市区町村で利用されている場合はお答えください。

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一律に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □ 日・1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分) から □ 時 □ 分 まで □ 分

(2) 希望

1週当たり □ 日・1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分) から □ 時 □ 分 まで □ 分

問11 問9の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方に向かいます。該当しない方は、問13へお進みください。

就労状況に対する転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問9の(1)または(2)で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない。または「6」これまで就労したことがないに○をつけた方に向かいます。該当しない方は、問13へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下のこどもが □ 歳になったところに就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下のこどもが □ 歳になったところに就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間



宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問115 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）〇9時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一律に一字）（一定の利用料がかかります）

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		□□時 □□分から □□時 □□分まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		□□時 □□分から □□時 □□分まで

問115-1 「3. 月に1～2回利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）

問116 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）〇9時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。（一定の利用料がかかります）

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		
		□□時 □□分から □□時 □□分まで

問116-1 「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）



宛名のお子さんが、〇～2歳の方にうかがいます。

問117 宛名のお子さんが、〇～2歳の方にうかがいます。

現在、子育て支援センターを利用していますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）

※子育て支援センター……主に3歳未満児の親子が集い、交流や育児相談、子育ての情報を得たりする場。使用料は無料（教材等実費負担が発生する場合があります）。

※子育て支援センター一覧

子育て支援センター-あおぞら	子育て支援センター-あおいどり
ChaCha Iruma 子育て支援センター	こどものくに保育園 子育て支援センター
あけぼの保育園 子育て支援センター-あけぼの	子育て家庭支援センター-あいくる
子育て支援センター-あん	子育て支援センター-むぎ
おやこの遊びひろば（児童センター内）	
〔出張ひろば〕 講沢地区センター/金子地区センター/武蔵館/東講沢地区センター/第6区公会堂/白鷺神社内二区公会堂/藤沢地区センター-藤の台分館	

1. 利用している

1ヶ月当たり □□回程度

2. 利用していない

問118 宛名のお子さんが、〇～2歳の方にうかがいます。

子育て支援センターの今後の利用希望について、当てはまる番号1つに〇をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

1. 利用していないが、今後利用したい

1ヶ月当たり □□回程度

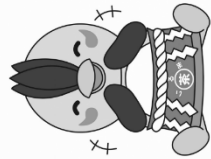
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1ヶ月当たり 更に □□回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

いるティーからのお知らせ

子育て支援センターでは、お子さんを安全な場所であつくり遊ばせることができ、お母さん・お父さん同士もお話しすることが出来ます。
毎日、色々な講座やイベント、季節の行事に合わせた催しが行われていますので、ぜひ遊びにいらしてください。
子育てや家庭について悩んでいることを相談することもできますよ。



問19 すべての方にうかがいます。

下記の事業・施設で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名	A		B		C	
	知っている はい	いいえ	これまでに利用 したことがある はい	いいえ	今後利用したい はい	いいえ
①ファミリー・サポート・センター事業	1	2	1	2	1	2
②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
③児童センター	1	2	1	2	1	2
④地区センター（公民館）の子育て支援事業	1	2	1	2	1	2
⑤新生児訪問（生後4ヶ月までの家庭訪問）	1	2	1	2	1	2
⑥子育て世代包括支援センター（いるティーきっず）	1	2	1	2	1	2
⑦妊産婦・乳幼児相談窓口（健康福祉センター）	1	2	1	2	1	2
⑧産前・産後ケア事業 （産前・産後に育児や家事支援を行う事業）	1	2	1	2	1	2
⑨児童発達支援センター「ういず」（元気キッズなど）	1	2	1	2	1	2
⑩茶おちゃお（子ども未来室事業の通級指導教室）	1	2	1	2	1	2
⑪西部地域保健センター （発達に気になる子どもに専門的な支援を行う通所施設）	1	2	1	2	1	2

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問20 平日の定期的な教育・保育事業を利用していただけた保護者の方（問13で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していただけない方は、問21にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで、平日の利用ができなかったことはありますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問20-1 △ 2. なかった ⇒ 問21 △

問20-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった時に、この1年間に何回利用したかとして当ではまる番号1つに○をつけ、それぞれの回数も口内に数字で記入してください（平日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一位に一字。）。

	1年間の対応方法		日数	
ア. 父親が休んで、こどもをみた			□□	日
イ. 母親が休んで、こどもをみた			□□	日
ウ. （同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった			□□	日
エ. 父親又は母親のうちの就労していない方がこどもをみた			□□	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施しているサービスを含む）			□□	日
カ. ベビーシッターを利用した			□□	日
キ. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた			□□	日
ク. その他（ ）			□□	日

問20-2 問20-1で「ア・父親が休んで、こどもをみた」「イ・母親が休んで、こどもをみた」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましか。当ではまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字で記入してください（数字は一位に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□□□ 日
2. 利用したいとは思わない

問20-3 問20-2で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらえない不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用時間日数など）
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）



宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、保護者の利用、通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当ではまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字で記入してください（数字は一位に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （利用など理由を問わずに保育所などで一時的にこどもを保育する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター （保育所や幼稚園への送迎などで一時的にこどもを預かる事業）	□□ 日
4. ベビーシッター	□□ 日
5. ショートステイ （保護者の病気などで一時的に養育できない場合に、児童養護施設や里親家庭に宿泊し、一時的に児童を預かる事業）	□□ 日
6. トワイライトステイ ※入居時にはありません	□□ 日
7. その他（ ）	□□ 日
8. 利用していない	



問22 宛名のお子さんについて、保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）（一定の利用料がかかります）

1. 利用したい	計	□□	日
ア. 私用（買物、ごとも（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的		□□	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、ごとも（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		□□	日
ウ. 不定期の就労		□□	日
エ. その他（ ）		□□	日
2. 利用する必要はない			

問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に泊ってもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人に泊ってもらった	□□泊
	イ. ショートステイを利用した	□□泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□泊
	エ. こどもを同行させた	□□泊
	オ. こどもだけで留守番をさせた	□□泊
	カ. その他（ ）	□□泊
2. なかった		



宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問26へ
問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）・高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

また、「学童保育室」「放課後子ども教室」の場合には、利用を希望する時間口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

※「学童保育室」…保護者が就労等により帰宅時刻にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。利用料（月額）：7,000円～11,000円

※「放課後子ども教室」…放課後等に小学校の余裕教室を活用して、様々な学習、体験、交流等を行うためのです。利用料 500円（保険代）※教材代等は別途発生する場合があります。

※先のことになりましたが、現在お待ちのイメージをお答えください。

場 所	小学校低学年 （1～3年生）	小学校高学年 （4～6年生）
1. 自宅	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
3. 習い事（スポーツ、音楽、学習塾など）	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
4. 学童保育室（放課後児童クラブ）	週 □□ 日くらいい → 下校時から □□ 時 □□ 分まで	週 □□ 日くらいい → 下校時から □□ 時 □□ 分まで
5. 放課後子ども教室	週 □□ 日くらいい → 下校時から □□ 時 □□ 分まで	週 □□ 日くらいい → 下校時から □□ 時 □□ 分まで
6. 児童センター	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
7. ファミリー・サポート・センター	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
8. 放課後等デイサービス （発達面に支援が必要な児童に対して、生活能力向上等を図る通所支援事業）	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
9. 地区センター（公民館）	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい
10. その他（公園、校庭等）	週 □□ 日くらいい	週 □□ 日くらいい

問25 こどもが過ごす場所として、どのような場所であればこどもは利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自転車で行ける場所にある	2. 自然と触れ合うことができる
3. 物づくりや料理が出来る	4. ダンスや演劇、楽器を演奏できる
5. 音楽鑑賞ができる	6. スポーツができる
7. 勉強を教えてもらえる	8. 自習や読書ができる
9. インターネットが使える	10. 国際交流（外国人と仲良くするなど）ができる
11. 地域行事（地域の祭りなど）	12. 地域活動（公園清掃、こども会活動、防災訓練など）
13. ボランティア活動ができる	14. 定期的にイベントがある
15. こはんをみんなで食べられる	16. 自分の意見が言える
17. 自分たちで企画したことができる	18. インターネット上で交流できる
19. その他（ ）	
20. 特になし	



すべての方に、育児休業の取得についてうかがいます。

問26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、該当する理由に○をつけてください。

母親（いずれかに○）		父親（いずれかに○）	
1. 働いていなかった	理由 ↓	1. 働いていなかった	
2. 取得した（取得中である）		2. 取得した（取得中である）	
3. 取得していない		3. 取得していない	
理由を選んでください		理由を選んでください	
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事に忙しかつた 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのに難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所（園）などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず退職した 15. その他（ ）			

問26-1 問26で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は問25へお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親		(2) 父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	問27ハ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した	問27ハ
2. 現在も育児休業中である		2. 現在も育児休業中である	
3. 育児休業中に離職した		3. 育児休業中に離職した	

問26-2 問26-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初め（4月）の保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	年度初め（4月）の入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった
(1) 母親	1	2
(2) 父親	1	2

問26-3 育児休業からは、「実態」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月の時点で取りだったかですか。口内に数字でご記入ください（数字は一位に一字）。

	実態の取得期間	希望
(1) 母親	何歳何ヶ月	何歳何ヶ月
(2) 父親	何歳何ヶ月	何歳何ヶ月



ヤングケアラーについてうかがいます。

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※本来ならば大人が担うと想定されているような家事や家族の世話、介護を日常的に行っていることのこと

1. 聞いたことがあるし、内容も知っている

2. 聞いたことはあるが、よく知らない

3. 聞いたことはない

問27-1 前問で「1. 聞いたことがあるし、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. テレビ 2. 新聞 3. 雑誌や本 4. 市公式ホームページ・広報のま

5. イベント 6. WEBサイト 7. SNS 8. 友人知人から聞いた

9. その他（ ）



最後に、子育ての環境や支援についてうかがいます。

問28 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問29 教育・保育事業の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、今後の参考とさせていただきますので、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。ご返信がございましたら、今後の参考とさせていただきますので、ご自由にご記入ください。



2. 就学児調査

保護者の皆様へ

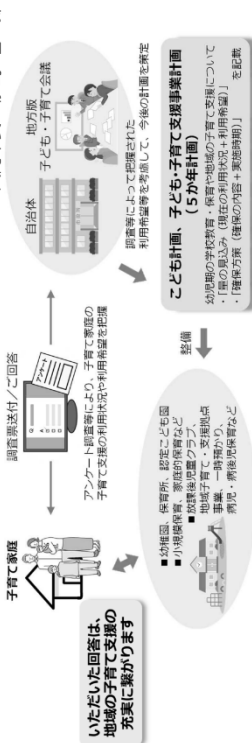
入間市 こども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。入間市では、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に子育ての環境を整備しています。この度、次期計画の策定及び「こども計画」の新規策定のための調査を実施することといたしました。

この調査は、小学生のお子さんがいっしょに世帯を無作為に選び、ご協力を願います。この調査は、小中学生のお子さんがいる世帯を無作為に選び、ご協力を願います。回答者が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

大変お忙しいとは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月
入間市長 杉島 理一郎



調査票の記入にあたって

- 1 調査は、封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方にご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。調査票、封筒ともに、お名前を書いていただく必要はありません。
- 3 調査票への回答は、選択肢を○で囲んでいただくものと、数字などを記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 インターネットまたは本調査票のどちらか一方でご回答をお願いします。いずれの方法で、**3月29日(金)**までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函または送付してください。

WEB 回答ページ * パソコン、タブレット、スマートフォンからアクセスできます。

<https://en.surece.co.jp/2024irumasp>

ID:

パスワード:

*アドレスを打ち込む際は、ブラウザの検索バーではなく、アドレスバーに入力してください。

問合せ先 本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問合せください。

【設問内容不明】
入間市 こども支援課
株式会社 サーベリサーチセンター
(平日 9:00-17:00・土日祝を除く)
電話: 04 (2964) 1111 内線: 2341

【WEB 回答フォーム (委託先)】
株式会社 サーベリサーチセンター
(平日 9:00-17:00・土日祝を除く)
電話: 03 (6826) 4666 (担当: 根本)

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お子さんが通われている小学校名、学年をご記入ください。

_____ 学校 _____ 年生

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問2で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる 2. パートナーがいる 3. 配偶者 (パートナー) はいない

封筒の宛名のお子さんの育ちをめぐり環境についてうかがいます。

問4 日頃、宛名のお子さんの看病や世話などをみてもらえる親族・知人はいいますか。ご記入いただいている方から見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰 (どこ) ですか。ご記入いただいている方から見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者 (パートナー) 2. 父母等の親族
3. 友人や知人 4. 近所の人
5. 子育て支援施設 (児童センター等) 6. 健康福祉センター・保健所
7. 学校 8. 教育センター
9. 民生委員・児童委員 10. 塾
11. かかりつけの医師 12. 市の子育て関連窓口
13. その他 ()
14. いらない/ない

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入不要】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問8へ
- これまで就労したことがない ⇒ 問8へ

（2）父親 【母子家庭の場合は記入不要】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問8へ
- これまで就労したことがない ⇒ 問8へ

問6-1 一週間の就労状況についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、就労する曜日が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）母親

勤務曜日	1.月曜日	2.火曜日	3.水曜日	4.木曜日	5.金曜日	6.土曜日	7.日曜日
祝日の勤務	1. 有	2. 無					

（2）父親

勤務曜日	1.月曜日	2.火曜日	3.水曜日	4.木曜日	5.金曜日	6.土曜日	7.日曜日
祝日の勤務	1. 有	2. 無					

問6-2 1日あたりの「就労時間（残業時間含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」を口内に具体的な数字で記入してください（数字は一枚に一字、該当しない部分は空白で）。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

（1）母親

	平日（月曜～金曜）	土曜日	日曜日
1. 1日当たりの就労時間	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
2. 家を出る時刻 （自宅勤務の場合は開始時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
3. 帰宅時刻 （自宅勤務の場合は終業時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分

（2）父親

	平日（月曜～金曜）	土曜日	日曜日
1. 1日当たりの就労時間	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
2. 家を出る時刻 （自宅勤務の場合は開始時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
3. 帰宅時刻 （自宅勤務の場合は終業時刻）	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分

問7 宛名のお子さんの保護者の現在のテレワーク状況をうかがいます。

テレワーク（在宅）を利用していますか 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 制度があり、制度を利用している ⇒ 問7-1へ

2. 制度があり、利用していないが、利用したい

3. 制度があり、利用しておらず、今後も利用しない

4. 制度がない

問7-1 問7で「1」に○をつけた方にうかがいます。

テレワーク（在宅）期間中、こどもと過ごす時間は変わりましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 増えた

2. 変わらない

3. 減った

問8 問6の（1）または（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問9へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枚に一字）。

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下のこともが□□歳になったところに就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり□□日 1日当たり□□時間

3. すぐに対しても、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり□□日 1日当たり□□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下のこどもが□□歳になったところに就労したい
→希望する就労形態

3. すぐにくても、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり□□日 1日当たり□□時間

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり□□日 1日当たり□□時間



宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」及び「放課後子ども教室」の場合は、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

※「学童保育室」…保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、こどもの生活の場を提供するものです。
利用料（月額）：0～7,000円（公立学童保育室） ※所得に応じた利用料設定
7,500円～11,000円（民間学童保育室）
※「放課後子ども教室」…放課後等に小学校の余裕教室を活用して、様々な学習、体験、交流等を行うものです。至小中学校区で実施しています。利用料500円（保険代）※教材代等は別途発生する場合があります。
※これから入学される新小学1年生の方は問11へお進みください

1. 自宅	週	□	日	□	くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週	□	日	□	くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日	□	くらい
4. 学童保育室（放課後児童クラブ）※	週	□	日	□	くらい
5. 放課後子ども教室 ※	→下校時から	□	時	□	分まで
6. 児童センター	週	□	日	□	くらい
7. ファミリー・サポート・センター（学童保育室等への送迎などで、一時的に児童を預かる事業）	週	□	日	□	くらい
8. 放課後等デイサービス（発達面に支援が必要な児童に対して、生活能力向上等を図る通所支援事業 ※所得に応じた利用料設定）	→下校時から	□	時	□	分まで
9. 地区センター（公民館等）	週	□	日	□	くらい
10. その他（公園、校庭等）	週	□	日	□	くらい

問10 問9で「4. 学童保育室」に○をつけなかった方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在就労していないため

2. 就労しているが、こどもを預かってくれる人がいるため

3. 就労しているが、利用料金がかかるから

4. 就労しているが、こどもだけでも大丈夫だと思うから

5. 就労しているが、学童保育室の開設時間が短いから

6. 就労しているが、こどもが学童保育室に行きたがらないから

7. 学童保育室に入らなかったため

8. その他（ ）

問11 放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）になった場合について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また「学童保育室」及び「放課後子ども教室」の場合は、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

*該当しない学年は、空白のままお進みください。

場 所	小学校低学年（1～3年生）	小学校高学年（4～6年生）
1. 自宅	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
3. 習い事（スポーツ、音楽、学習塾など）	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
4. 学童保育室（放課後児童クラブ）	週 □ 日 □ くらい →下校時から □ 時 □ 分まで	週 □ 日 □ くらい →下校時から □ 時 □ 分まで
5. 児童センター	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
6. 放課後子ども教室	週 □ 日 □ くらい →下校時から □ 時 □ 分まで	週 □ 日 □ くらい →下校時から □ 時 □ 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
8. 放課後等デイサービス	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
9. 地区センター（公民館）	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい
10. その他（公園、校庭等）	週 □ 日 □ くらい	週 □ 日 □ くらい

問12 こともが過ごす場所として、どのような場所であればこともは利用すると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自転車で行ける場所にある	2. 自然と触れ合うことができる
3. 物づくりや料理が出来る	4. ダンスや演劇、楽器を演奏できる
5. 音楽鑑賞ができる	6. スポーツができる
7. 勉強を教えてもらえる	8. 自習や読書ができる
9. インターネットが使える	10. 国際交流（外国人と仲良くするなど）ができる
11. 地域行事（地域の祭りなど）	12. 地域活動（公園清掃、こども会活動、防災訓練など）
13. ボランティア活動ができる	14. 定期的にイベントがある
15. こはんをみんなで食べられる	16. 自分の意見が言える
17. 自分たちで企画したことができる	18. インターネット上で交流できる
19. その他（	
20. 特になし	

問13 宛名のお子さんについて、土曜日に、学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「1. 希望する」に○をつけた方は、希望の時間を数字で記入してください。

1. 希望する	⇒	利用したい時間帯	□□時	□□分	から	□□時	□□分	まで
2. 希望しない								

問14 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「1. 希望する」に○をつけた方は、希望の時間を数字で記入してください。

1. 希望する	⇒	利用したい時間帯	□□時	□□分	から	□□時	□□分	まで
2. 希望しない								

子育ての環境や支援についてうかがいます。

問15 次の事業で、知っているものや利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名	A		B		C	
	知っている	はい	これまでに利用したことがある	はい	今後利用したい	はい
①ファミリー・サポート・センター事業	1	2	1	2	1	2
②ショートステイ （保護者の病気などで一時的に養育できない場合に、児童養護施設や里親家庭に泊泊し、一時的に児童を預かる事業）	1	2	1	2	1	2
③放課後等サービス	1	2	1	2	1	2
④ファミリーバーキュー&デイキャンプ （18歳までの青少年、青少年を含む家族での青少年活動センターの炊事場やキャンプ場の利用）	1	2	1	2	1	2
⑤こどもの居場所作り事業 （地区センター（公民館）や小学校の校庭、体育館を開放する事業）	1	2	1	2	1	2
⑥こどもの居場所 （地域で行われているこども食堂や学習支援など）	1	2	1	2	1	2

ヤングケアラーについてうかがいます。

問16 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※本来ならば大人が担うと想定されているような家事や家族の世話、介護を日常的に行っていることのこと

1. 聞いたことがあるし、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問16-1 前問で「1. 聞いたことがあるし、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. テレビ	2. 新聞	3. 雑誌や本	4. 市公式ホームページ・広報
5. イベント	6. WEBサイト	7. SNS	8. 友人知人から聞いた
9. その他（			

最後に、子育ての環境や支援についてうかがいます。

問17 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてどのように感じていますか。当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	1	2	3	4	5	→	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	---	---	--------

問18 教育・保育事業の充実など子育て環境や支援に関して意見がございましたら、今後の参考とさせていただきますので、ご自由にご記入ください。

--



調査にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函願います。

3. 妊婦調査

妊婦の方がお答えください

問1 お住まいの地区はどこですか。該当する番号に○をつけてください。※裏面に参考あり

1. 豊岡地区

2. 東金子地区

3. 金子地区

4. 宮寺・二本木地区

5. 藤沢地区

6. 西武地区

問2 配偶者（予定）についてお答えください。当てはまる番号一つに○をつけてください。

1. いる

2. いない

問3 希望する子どもの数について、当てはまる番号一つに○をつけてください。

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人以上

問4 妊娠・出産・子育てするうえで、相談できる人もしくは相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者（パートナー）

2. 父母等の親族

3. 友人・知人

4. 近所の人

5. 子育て支援施設（子育て支援センター、保育所等）

6. 健康福祉センター・保健所

7. こども支援課窓口

8. 保健師・助産師

9. 民生委員・児童委員

10. かかりつけ医

11. その他

12. いない/ない

問5 現在の就労状況について伺います。当てはまる番号一つに○をつけてください。

(1) あなたの就労状況

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労中である

2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労中である

3. 就労していない

(2) 配偶者（パートナー）の就労状況

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労中である

2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労中である

3. 就労していない

問6 出産後の就労希望について伺います。当てはまる番号一つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で働きたい/働き続けたい

2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働きたい/働き続けたい

3. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）

問7 出産後に利用したい保育施設等についてお答えください。当てはまる番号一つに○をつけてください。※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 幼稚園

2. 認可保育所（園）

3. 認定こども園

4. 勤務先の保育施設

5. まだわからない

6. その他（ ）

問8 いつ頃から保育施設等を利用したいですか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

1. 産後なるべく早く

2. 産後～6カ月までに

3. 6カ月～1歳までに

4. 1歳～2歳までに

5. 2歳～3歳までに

6. 3歳以降

7. まだわからない

～母子健康手帳を交付された皆様へ～

こども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください

市民の皆様には日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

入間市では、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し計画的に子育ての環境を整備しています。この度、次期計画の策定及び「こども計画」の新規策定のため調査を実施することといたしました。

この調査は、令和6年3月以降に母子健康手帳の交付を受けた方を対象に、出産後の教育・保育等のニーズ量や妊娠・出産・子育てに関するご意見を把握し、計画に反映していくものです。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年3月

入間市長 杉 島 理一郎

回答にあたって

- ・この調査は無記名で行います。お名前をご記入いただく必要はありません。
- ・回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用することは一切ありません。
- ・質問は、順をおってお答えいただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問がありますので、各問の案内に従ってお進みください。
- ・今回の調査は、今後の教育・保育施設のニーズを把握するものであり、認可保育施設の入所申請ではございませんのでご注意ください。
- ・「妊婦へのアンケート」と重複する質問がありますが、お手数ですが本調査についても回答をお願いします。

Web 回答はこちら



担当：入間市 こども支援部 こども支援課
電話 04-2964-1111 内線 2341

210

問9 どの地区に所在する保育施設等を利用したいですか、当てはまる番号・記号一つに○をつけてください。

1. 市内のお住まいの地区

2. お住まいとは別の市内の地区

➡ア.豊岡地区 イ.東金子地区 ウ.金子地区 エ.宮寺・二本木地区 オ.藤沢地区 カ.西武地区

3. 他の市町村 ()

4. まだわからない

問10 問7で、「2認可保育所(園)」または「3.認定こども園」と答えた方に伺います。出産後、勤務のため、土曜・日曜・祝日に認可保育所(園)の利用希望はありますか。当てはまる番号・記号一つに○をつけ、□内に時間を記入してください。

【土曜日】

1. 希望する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月1～2回利用したい

➡

利用したい時間帯

□□時から □□時まで

【日曜・祝日】

1. 希望する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月1～2回利用したい

➡

利用したい時間帯

□□時から □□時まで

問11 育児休業の利用希望について伺います。育児休業を取得する予定がありますか。当てはまる番号一つに○をつけてください。また、取得する場合は、お子さんが何歳まで取得したいか□に数字で記入してください。

(1) あなたの取得予定

1. 取得する(取得したい)

➡

子どもが□歳□□カ月まで

2. 取得しない

➡

問13へ

3. 就労しない

➡

問13へ

(2) 配偶者(パートナー)の取得予定

1. 取得する(取得したい)

➡

□□日間/□週間/□カ月間

2. 取得しない

3. わからない、就労していない

問12 問11(1)で、「1.取得する(取得したい)」と答えた方に伺います。あなたの仕事復帰のタイミングは、いつにしたいとお考えですか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

1. 年度初め(4月)の入所のタイミング

2. それ以外

裏面に続く

問13 次の事業で、今後利用したいと思うものをお答えください。事業それぞれについて「はい」「いいえ」の当てはまる番号に○をつけてください。

事業名	はい	いいえ
① ファミリー・サポート・センター事業 (保育所や幼稚園への送迎などで一時的に子どもを預かる事業)	1	2
② 産前・産後ヘルパー派遣事業 (ホームヘルパーが訪問し、家事支援・育児支援を行う事業)	1	2
③ 訪問型産前・産後ケア事業 (助産師が訪問し、乳児ケア・育児相談等を行う事業)	1	2
④ 宿泊型産後ケア事業 (医療機関に宿泊し、母体の回復・育児指導等を行う事業)	1	2
⑤ 通所型産後ケア事業 (施設に通所し育児指導や母子交流などの支援を行う事業)	1	2
⑥ 両親学級 (妊婦等が出産や子育ての知識を習得するための教室)	1	2
⑦ 子育て支援センター (親子同士の交流、育児相談・情報提供を行う事業)	1	2
⑧ 一時預かり事業 (保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	1	2

問14 出産・子育て支援等に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

参考：お住まいの地区

番号	地区	町名
1	豊岡地区	豊岡、扇町屋、善蔵新田、東町、扇台、久保稲荷、黒須、河原町、春日町、宮前町、健山、高倉、向陽台
2	東金子地区	小谷田、上小谷田、新久、森坂、牛沢町、狭山ヶ原、狭山台(四丁目)
3	金子地区	根岸、中神、花ノ木、下谷ヶ貫、上谷ヶ貫、西三ツ木、三ツ木台、寺竹、南峯、木蓮寺、金子中央、狭山台(三丁目)
4	宮寺・二本木地区	宮寺、二本木、駒形富士山、狭山台(上記以外)、高根
5	藤沢地区	上藤沢、下藤沢、東藤沢
6	西武地区	仏子、野田、新光

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

入間市
こども・子育て支援に関するニーズ調査(令和6年3月実施)
こどもの意識・生活に関する調査(令和6年2月実施)
報告書

令和6年6月発行

発 行：入間市 こども支援部 こども支援課
埼玉県入間市豊岡1-16-1
電 話 04-2964-1111
